

ISSN 1883-132X

# 沖縄県立博物館・美術館年報

(平成25年度版)

No. 7

沖縄県立博物館・美術館年報

No. 7

2015

沖縄県立博物館・美術館

2015

沖縄県立博物館・美術館

沖縄県立博物館・美術館年報 7  
2015年(平成27)3月20日

編集・発行：沖縄県立博物館・美術館

住 所：〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番地1号

T E L：098-941-8200(代表)

F A X：098-941-2392(代表)

ホームページ：<http://www.museums.pref.okinawa.jp>

(沖縄県立博物館・美術館ホームページ)

印 刷：株式会社 国際印刷

住 所：〒901-0147

沖縄県那覇市宮城1丁目13番9号 (TEL：098-857-3385)

# 目 次

## 概要 ..... 1

沿革  
日誌抄  
施設・設備  
組織  
沖縄県立博物館・美術館協議会  
予算  
収蔵資料現在高

## 利用統計 ..... 19

### 入館者統計

1. 総入館者集計
2. 団体別入館者月別集計
3. 展覧会別入館者集計
4. 2013年度月間入館者数
5. 年間入館者数の年次推移
6. 減免申請集計
7. 団体入館内訳

### 施設利用者統計

1. 月別施設利用集計
2. 施設貸出内訳
3. 県民ギャラリー貸出件数

## 博物館 ..... 51

### 調査研究等の活動

1. 調査研究の概要
2. 博物館総合調査 - 鳩間島・黒島・新城島総合調査 -
3. 博物館共同研究事業
4. 調査・研究・講演・著作論文等
5. 職員研修

### 展示活動

1. 展示活動概要
2. 常設展
3. 常設展 展示替え
4. 特別展 「『海・山・川のおくりもの 目からウロコの生き物展！～生物多様性ホットスポット JAPAN～』」
5. 企画展 「大嶺薫コレクション展 - 探求する心とその世界 - 」
6. 企画展 「新収蔵品展 - 平成24年度新収蔵資料 - 」
7. 企画展 「サキタリ洞遺跡発掘調査速報展 - 島に生きた旧石器人とその文化を探る - 」
8. 企画展 「三線のチカラ - 形的美と音の妙 - 」

### 教育普及活動

1. 博物館教育普及活動の概要
2. 学校連携事業
3. 博物館体験学習教室
4. 博物館文化講座
5. 学芸員講座
6. 展示解説会
7. バックヤード・ツアー
8. 夏休み！博物館学芸員教室
9. 博物館ボランティア活動
10. ふれあい体験室
11. 企画展関連事業
12. 常設展に関する取り組み
13. 沖縄県立博物館・美術館のフリーパス
14. 職場研修受入
15. 職場体験受入
16. 普及資料の貸出

### 資料収集・保存管理

1. 収蔵資料現在高
2. 2013（平成25）年度新収蔵資料高
3. 2013（平成25）年度新収蔵資料目録
4. 所蔵指定文化財
5. 修理事業
6. 資料収集事業
7. 資料貸出
8. 写真貸出

## 美術館 ..... 107

### 調査研究等の活動

1. 調査研究の概要
2. 調査・研究・講演・著作論文等

### 展示活動

1. 展示活動概要
2. コレクション展（常設展）
3. 企画展 「安次嶺金正展 - 緑の抒情 - 」
4. 企画展 「森山大道 終わらない旅 北ノ南」

### 教育普及活動

1. 美術館教育普及活動の概要
2. 鑑賞活動支援
3. バックヤード・ツアー
4. 美術講座
5. コレクション・企画展関連シンポジウム
6. ワークショップ
7. アウトリーチ（出前講座）
8. 美術館招待事業（美術館へ行く）
9. 図工・美術担当教職員等講座
10. 鑑賞用ワークシート作成
11. 団体鑑賞ツアーのパンフレット（美術館は教室だ）
12. 「移動展 in 渡名喜島」
13. 研修対応

**資料収集・保存管理**

- 1. 収蔵作品現在高
- 2. 2013 (平成25) 年度新収蔵作品高
- 3. 2013 (平成25) 年度新収蔵作品目録
- 4. 作品収集事業
- 5. 保存管理事業
- 6. 作品貸出

**文化の杜共同企業体 (指定管理者) ..... 129**

**文化の杜共同企業体概要**

**運営方針**

**組織**

**文化の杜共同企業体・美術館企画アドバイザー会議**

**展示活動**

- 1. 展示活動概要 (美術館企画展)
  - (1) 「スタジオジブリ・レイアウト展」
  - (2) 「平山郁夫展 大唐西域画への道」
  - (3) 「寛永再建三百八十年記念 京都 清水寺展」
- 2. 自主企画事業
  - (1) 「マリー・アントワネット物語展」
  - (2) 「ジミー大西作品展 - 挑戦と革新 - 」

**教育・イベント活動**

- 1. ワークショップ等
- 2. 展示会等
- 3. しまくとぅばプロジェクト
- 4. おもろ夜会
- 5. その他

**広報・交流事業活動**

- 1. 広報事業

**調査・研究等の活動**

- 1. 調査・研究等

**その他**

- 1. 職員研修
- 2. 消防訓練等

**全館共同事業 ..... 161**

**学芸員実習及び職場体験学習**

- 1. 博物館実習
- 2. 美術館実習
- 3. 職場体験受け入れ

**国際博物館の日**

**移動展**

**燻蒸・消毒処理**

**刊行物**

**展覧会一覧**

**その他の活動 ..... 169**

**沖縄県博物館協会**

**全国組織との関わり**

- 1. 日本博物館協会関連
- 2. 全国科学博物館協議会
- 3. 全国歴史民俗系博物館協議会
- 4. 美術館連絡協議会
- 5. 九州博物館協議会

**沖縄博物館友の会**

**happ (美術館友の会)**

**関係法規抄録 ..... 177**

- 博物館法
- 博物館法施行令
- 博物館法施行規則
- 博物館の登録に関する規則
- 沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則
- 沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則
- 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例
- 沖縄県立博物館・美術館管理規則
- 沖縄県立博物館・美術館館長執務規程
- 博物館・美術館学芸業務嘱託員設置規程
- 博物館・美術館教育普及業務嘱託員設置規程
- 美術品調査嘱託員設置規程
- 美術品保存修復嘱託員設置規程
- 沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領

# 概 要

沿革

日誌抄

施設・設備

組織

沖縄県立博物館・美術館協議会

予算

収蔵資料現在高

## 沿革

### 【前史】

1936年（昭和11）、旧首里城北殿に沖縄県教育会附設郷土博物館が創設されたが、沖縄戦により全焼した。終戦後、米国海軍軍政府ウィラード・A・ハンナ少佐とJ・T・ワトキンス少佐が、アメリカに沖縄の歴史文化を紹介するために焼土の中から仏像や陶器などの文化財を収集し、1945年（昭和20）8月石川市（現うるま市）東恩納に沖縄陳列館を創設した。

一方、首里城周辺では、廃墟の中から残欠文化財の収集が行われ、1946年（昭和21）3月頃、首里市汀良に首里市立郷土博物館が設立された。

### 【創設】

1946年（昭和21）4月24日、沖縄陳列館は沖縄民政府に移管され、東恩納博物館と改称した。また、1947年12月には、首里市立郷土博物館も沖縄民政府に移管され、首里博物館と改称した。

### 【発展】

1953年（昭和28）、東恩納博物館が移転して、首里博物館と合併した。5月には、龍潭池畔に赤瓦屋根の本館とペルリ記念館が建設され、落成式の当日、戦後アメリカに持ち去られていた「おもろさうし」等の文化財が返還された。

1955年（昭和30）9月、沖縄民政府立首里博物館から琉球政府立博物館に改称した。さらに、1966年（昭和41）には首里大中町の旧中城御殿跡に新館を建設して移転した。

1972年（昭和47）の日本復帰に伴い、名称を沖縄県立博物館と改め、1973年（昭和48）に2階部を増築し、展示スペースを拡充した。

1980年代末（昭和60年代）頃から建物の老朽化が顕著になり、新館建設・移転が具体的に計画される。

2004年（平成16）、那覇新都心（おもろまち）に新館の建設を着工した。首里在の博物館（旧博物館）は新館への移転準備のため、2006年（平成18）3月に閉館した。

2007年（平成19）11月1日、美術館を併設した沖縄県立博物館・美術館として開館した。

### 【あゆみ】

- 1946（昭和21）4月 沖縄陳列館を「東恩納博物館」と改称し、沖縄民政府の所管となる。（24日）
- 1947（昭和22）12月 前年3月に首里汀良町に設立された「首里市立郷土博物館」が民政府に移管され、「沖縄民政府立首里博物館」に改称する。
- 1953（昭和28）3月 「東恩納博物館」を「首里博物館」に移転合併する。
  - 5月 「首里博物館」は汀良町から当蔵町に移り、龍潭池畔に瓦葺の本館が完成した。米国民政府によりペルリ来琉百周年記念事業の一環として、「ペルリ記念館」を附設して落成、贈呈される。落成当日、米国大統領から戦後にアメリカに渡っていた「おもろさうし」等文化財が返還された。（26日）
- 1954（昭和29）8月 ハワイから三線「江戸与那」が返還される。
- 1955（昭和30）9月 「首里博物館」の名称を「琉球政府立博物館」に改称する。
- 1963（昭和38）4月 米国民政府から河島コレクションが贈呈される。
- 1965（昭和40）9月 大中町の旧尚家屋敷跡（中城御殿）を購入する。
- 1966（昭和41）10月 米国による援助で鉄筋コンクリート建の新館を新敷地に建設し移転する。
  - 11月 新館開館記念「現代美術展」が開催され、同時に尚家所蔵文化財も特別陳列された。（3日）
- 1968（昭和43）9月 太宰府天満宮から鄭元偉書「徳高」扁額が寄贈される。（30日）
- 1970（昭和45）10月 沖縄タイムス社及びG. H. カー博士より前庭に花園を贈呈される。
- 1971（昭和46）2月 八重山出土の陶器類約500点、検察庁より譲渡される。
- 1972（昭和47）2月 サントリー美術館との共催で、「50年前の沖縄」写真展が開催される。
  - 5月 サントリー美術館寄贈の植樹造園譲与式が行われた。（27日）
  - 琉球切手原画及び切手類、郵政庁より譲渡される。（13日）
  - 日本への復帰に伴い「沖縄県立博物館」と改称する。
- 1973（昭和48）2月 国庫補助により2階部を増築し、展示室を3室増設する。
  - 5月 「田名家文書」の寄託をうける。（9日）
  - 7月 琉球切手原画が沖縄郵政管理事務所より譲渡される。（16日）

- 1973 (昭和48) 12月 琉球新報社から映画フィルム「沖繩」「海の民・沖繩島物語」「南の島・琉球」の3巻を寄贈される。(17日)  
多和田真淳氏考古資料の寄託をうける。(19日)
- 1974 (昭和49) 11月 大阪天満宮から浦添王子朝薫書「徳馨」の寄託をうける。(27日)  
糸満市摩文仁の平昌博物館から全資料譲与される。
- 1976 (昭和51) 4月 創立30周年記念式典を行う。(24日)  
7月 大英博物館から皇太子殿下に贈られた始祖鳥のレプリカ標本が寄贈される。  
12月 『博物館30年の歩み展』開催。
- 1977 (昭和52) 9月 玉陵石獅子を玉陵へ移管。  
11月 円覚寺の鐘、前庭に展示。
- 1978 (昭和53) 3月 G. H. カー博士より資料寄贈。  
7月 円覚寺の鐘楼が前庭に完成。
- 1979 (昭和54) 2月 尚裕氏より玉陵石獅子レプリカ2体が寄贈される。  
6月 特別展『沖繩の洞穴と洞穴生物』開催。
- 1980 (昭和55) 1月 特別展『日本の美 - 救世熱海美術館名品展 -』及び『沖繩県立博物館名品展』開催  
2月 『移動博物館』を久米島の具志川・仲里両村で開催する。以後、離島市町村で毎年実施する(2008年度からは「移動展」に改称)。  
8月 特別展『琉球のシダ植物』開催。  
11月 特別展『失われた生物たち - 大恐竜展』開催
- 1981 (昭和56) 3月 博物館法に基づき「登録博物館」として登録される。(3月30日付け)  
5月 仲嶺俊子氏より貝類標本約2,000点が寄贈される。  
8月 G. H. カー博士より図書、写真等が寄贈される。  
10月 特別展『沖繩の美 - 日本民芸館蔵 -』及び『戦前の沖繩写真展』開催。
- 1982 (昭和57) 5月 新たに常設展として自然部門を設置。  
7月 企画展『沖繩の昆虫』開催。  
10月 特別展『熊本県・沖繩県交流展 - 熊本の歴史と文化』開催。
- 1983 (昭和58) 5月 企画展『琉球の漆工芸』開催。  
11月 特別展『沖繩県・熊本県交流展 - 沖繩の美 風土と美術工芸』を熊本県立美術館にて開催。
- 1984 (昭和59) 6月 企画展『玉城朝薫生誕三百年記念展 - 琉球芸能の世紀』開催。  
7月 企画展『沖繩のシダ・貝・昆虫標本展』開催。  
10月 企画展『今帰仁グスク展』開催。
- 1985 (昭和60) 2月 企画展『紅型衣装と型紙展』開催。  
3月 大嶺薫コレクションが贈呈される。  
11月 特別展『グスク - グスクが語る古代琉球の歴史とロマン』開催。
- 1986 (昭和61) 2月 特別展『大嶺薫コレクション - 美術工芸の美を求めて』開催。  
12月 天野鉄夫コレクション1,588点の寄贈をうける。
- 1987 (昭和62) 7月 「旧大安禅寺の鐘」が米国より返納寄贈され、泊高校で贈呈式が行われる。  
10月 スポーツ芸術・特別展『沖繩の自然・歴史・文化』『沖繩近代の絵画 - 物故作家』開催。  
12月 企画展『田名家収蔵品展 - ある首里士族の400年』開催。  
企画展『現代沖繩の陶芸 - 天野鉄夫コレクション』開催。
- 1988 (昭和63) 8月 特別展『ヤンバルの自然』開催。  
11月 特別展『三線名器100挺展』開催。
- 1989 (平成元) 11月 特別展『岡田コレクション・インドネシア更紗展』開催。  
12月 企画展『真境名由康生誕100年記念「芸能資料展」』開催。
- 1990 (平成2) 1月 特別展『大アンデス文明展』開催。  
6月 湧田窯搬入。  
8月 企画展『沖繩の野鳥』開催。  
11月 企画展『沖繩の祭り』開催。
- 1991 (平成3) 2月 企画展『技と美 - 大城志津子の世界 -』開催。  
8月 企画展『沖繩のチョウ展』開催。  
9月 企画展『壺屋陶工遺作展』開催。  
10月 特別展『アジアの祭りと芸能』開催。
- 1992 (平成4) 2月 企画展『琉球の香り・あわもりの歴史と文化』開催。

- 1992 (平成4) 3月 仲嶺俊子氏より貝類コレクションを寄贈される。  
4月 旧中城御殿の石牆整備工事に伴う第1次埋蔵文化財発掘調査開始(～7月3日)  
6月 特別展『古代メキシコ至宝展』開催。  
8月 特別展『沖縄の貝類 - 海からの贈りもの』開催。  
10月 復帰20周年記念特別展『琉球王国 - 大交易時代とグスク』開催。
- 1993 (平成5) 1月 特別展『尚家継承琉球王朝文化遺産展』開催。  
2月 企画展『謝花雲石展』開催。  
3月 ハワイ在住の伊福盛寿氏から50点余のコレクション寄贈された。  
7月 旧中城御殿石垣工事にかかる第2次発掘調査開始(～9月2日)  
企画展『芭蕉布と平良敏子』開催。  
8月 特別展『沖縄の川と生きもの』開催。  
10月 企画展『刻まれた歴史 - 沖縄の石碑と拓本』開催。  
企画展『琉球王朝時代の楽器 - 三線と御座楽』開催。
- 1994 (平成6) 7月 特別展『子どもの世界』開催。  
旧中城御殿石垣工事にかかる第3次発掘調査開始(～8月20日)
- 1995 (平成7) 3月 横浜国立大学教授長谷川善和氏より鹿類の化石約25,000点が寄贈された。  
6月 戦後50周年記念特別展『甦る沖縄・戦災文化財と戦後生活資料展』開催。
- 1996 (平成8) 3月 栗田文子氏よりワラザン資料を寄贈される。  
7月 特別展『大久米島展 - しぜん・ひと・もの』開催。  
10月 『新収蔵品展・ワラザン展』開催。  
福田経子氏より「フクダコレクション」贈呈  
12月 企画展『沖縄県立博物館50年の歩み』開催、創立50周年式典を行う。
- 1997 (平成9) 4月 特別展『アルゼンチンの大恐竜展』開催。
- 1998 (平成10) 7月 企画展『琉球王国時代の植物標本 - ペリーが持ち帰った植物たち』開催。  
11月 特別展『包むこころ ふるしき』開催。
- 1999 (平成11) 8月 特別展『三線のひろがり可能性』開催。  
10月 企画展『日本の技 - 伝統のかたち』開催。  
(第7回全国重要無形文化財保持団体秀作展『日本の伝統美と技の世界』巡回展)  
11月 ホノルル美術館から G. H. カー博士コレクション(考古資料6,000点余)寄贈。
- 2000 (平成12) 2月 企画展『工芸王国 - きらめく手わざの世界を沖縄から』開催。  
7月 サミット開催記念特別展『大琉球展』開催。  
11月 ハワイ移民100周年記念特別展『日系移民1世紀展 - From Bento to Mixed Plate』開催。
- 2001 (平成13) 2月 企画展『沖縄の繊維・染料植物展』開催。  
3月 企画展『工芸王国 - 人・技・心』開催。  
11月 特別展『かざりとかたち』開催。
- 2002 (平成14) 8月 特別展『港川入展』開催。  
10月 企画展『沖縄の文化財展』開催。
- 2003 (平成15) 2月 企画展『おきなわナースものがたり』開催。  
7月 企画展『旅する種子 - 運ばれるための巧妙なしかけ』開催。  
10月 企画展『あじまあ 沖縄の伝統とくらし - 沖縄県立博物館収蔵資料展』を国立民族学博物館で開催。  
特別企画展『沖縄織物へのメッセージ - 田中俊雄の研究』開催。
- 2004 (平成16) 2月 企画展『戦前・戦後の文化財保護 - 仲座久雄の活動をとおして』開催。  
3月 企画展『工芸王国 - てわざの今、そして未来へ』開催。  
8月 企画展『沖縄歴史を綴る秘宝展』(沖縄コレクター友の会主催)開催。  
11月 企画展『自然界のエイリアン - 海をこえて持ちこまれた動物たち』開催。
- 2005 (平成17) 2月 特別展『いま・むかし、おもちゃ大博覧会 - 入江正彦 児童文化史コレクション』開催。
- 2006 (平成18) 2月 閉館記念特別展『柳宗悦の心と眼 - 柳宗悦の民藝と巨匠たち展』開催。  
3月 『ありがとう・さよなら』キャンペーン(22日～31日 無料入館)  
企画展『わたしの宝もの展』(博物館友の会主催)開催。  
4月1日から博物館新館移転準備のため2007年(平成19)10月末まで休館する。  
7月 博物館新館展示工事安全祈願祭(於:波之上)  
8月 鳥籠7点寄贈(11日)



- 2006 (平成18) 10月 尚順男爵関係資料寄贈 (19日)  
謝花雲石書「萬國陽和」屏風の寄贈 (26日)
- 12月 稲嶺一郎関係資料寄贈 (26日)
- 2007 (平成19) 2月 坂口總之輔氏カメラ寄贈 (16日)
- 3月 新館へ事務所移転 (29日)。首里在の沖縄県立博物館閉館式 (30日) を行い、全ての組織・機能等は教育庁文化施設建設室に、また首里の博物館敷地及び建物の管理は教育庁文化課にそれぞれ引き継ぐ (31日)。
- 4月 新館での事務を開始する。(1日)
- 7月 沖縄県立博物館・美術館の指定管理者として文化の杜共同企業体が指定を受ける。
- 8月 指定管理者・文化の杜共同企業体が開館事前準備のため事務をはじめめる。
- 11月 那覇市おもろまちに沖縄県立博物館・美術館が開館する。(1日)  
同時に、博物館新館開館記念展『人類の旅 - 港川人の来た道 -』と美術館開館記念展『沖縄文化の軌跡 1872-2007』を開催する。
- 2008 (平成20) 2月 博物館企画展『新収蔵品展 - 平成17・18年度収蔵資料』開催。
- 3月 指定管理者企画展『世界の現代アーティスト50人展』開催。  
美術館常設展開会式 (25日)
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展 - 平成19年度収蔵資料』開催。  
指定管理者企画展『情熱と戦争の狭間で - 無言館・沖縄・画家たちの表現』開催。  
美術館企画展『新収蔵品展 ポリエドール - 沖縄・アジアの多様性』開催。
- 7月 指定管理者特別展『恐竜ミュージアム2008』開催。  
指定管理者企画展『しまくとぅば』開催。
- 9月 博物館企画展『ずしがめの世界』開催。  
開館一周年記念博物館特別展『甦る琉球王国の輝き』開催。
- 11月 美術館企画展『美術家たちの「南洋群島」』開催。
- 2009 (平成21) 1月 博物館企画展『発掘された日本列島2008』開催。  
博物館企画展『沖縄考古学ニュース』開催。  
美術館企画展『移動と表現 - 変容する身体・言語・文化』開催。
- 4月 指定管理者企画展『アトミックサンシャインの中へ in 沖縄』開催。
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展 - 平成20年度資料』開催。  
指定管理者自主事業『王昭展』開催。
- 7月 指定管理者企画展『豊潤の美を求めて - 金城安太郎と高島華宵』開催。  
指定管理者企画展『琉球絵画展』開催。
- 9月 指定管理者企画展『オキナワデザインの現在』開催。
- 10月 博物館特別展『琉球使節、江戸へ行く!』開催。  
美術館企画展『名渡山愛順展 - 名渡山愛順が見た沖縄』開催。
- 12月 博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
- 2010 (平成22) 1月 美術館企画展『タカエズトシコ展』開催。
- 2月 博物館企画展『造礁サンゴ展 - 楽園をつくった偉大な建築家』開催。  
博物館企画展『ものづくり今昔』開催。
- 4月 総務班が設置され、三班体制となる  
指定管理者企画展『いわさきちひろ』展開催。  
指定管理者自主事業『石川直樹写真展』開催。
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展 - 平成21年度収蔵資料』開催。  
指定管理者企画展『遠き道 - はて無き精進の道程』開催。
- 7月 指定管理者企画展『沖縄マンガ』展開催。
- 9月 指定管理者企画展『風土と建築』開催。  
博物館特別展『海のクロスロード 八重山展』開催。
- 11月 美術館企画展『母たちの神 - 比嘉康雄』展開催。
- 12月 博物館・指定管理者企画展『アイヌ - 美を求める心』開催。
- 2011 (平成23) 1月 美術館企画展『安谷屋正義』展開催。  
美術館企画展『安谷屋正義』展開催。
- 2月 博物館企画展『骨の科学』開催。
- 3月 博物館企画展平成22年度『大嶺薫コレクション展』開催。

- 2011 (平成23) 4月 博物館企画展平成23年度『大嶺薫コレクション展』開催。  
指定管理者企画展『國吉清尚』開催。
- 5月 博物館企画展『新収蔵品展 - 平成22年度収蔵資料』開催。  
指定管理者企画展『生誕100年記念展 岡本太郎と沖縄 - ここが世界の中心だ』開催。
- 7月 指定管理者企画展『ロボット展』開催。  
指定管理者企画展『印象派の誕生』開催。
- 9月 美術館企画展『東松照明展<太陽へのラブレター>』開催。
- 10月 博物館企画展『第19回全国重要無形文化財保持団体秀作展「日本の伝統美と技の世界」』開催。  
博物館企画展『沖縄県無形文化財工芸技術保持団体協議会設立10周年記念「工芸王国 - 受けつがれる琉球のわざと美」』開催。
- 11月 博物館特別展『宇宙 - 遙かなるロマンを求めて』開催。
- 2012 (平成24) 1月 博物館企画展『檀王法林寺開創400年記念「琉球と袋中上人 - エイサーの起源をさぐる」』開催。  
美術館企画展『沖縄の美術シリーズ3 玉那覇正吉』開催。
- 3月 指定管理者企画展『本土復帰40周年記念「田中一村展 - 琉球弧で開花した美の世界」』開催。
- 4月 博物館企画展『沖縄復帰40周年記念「紅型 BINGATA 琉球王朝のいるとかがたち」』開催。
- 5月 指定管理者企画展『土門拳の昭和と沖縄』開催。
- 6月 博物館企画展『新収蔵品展 - 平成23年度収蔵資料』開催。  
博物館企画展『大嶺薫コレクション展』開催。
- 7月 指定管理者企画展『旅する仮面』開催。  
指定管理者自主事業『お化け屋敷で科学する』展開催。(沖縄テレビ共催)
- 9月 美術館企画展『山田實展 - 人と時の往来』開催。  
博物館特別展『本土復帰40周年記念「OKINAWA から沖縄へ」』開催。
- 11月 美術館企画展『復帰40周年記念「アジアをつなぐ - 境界を生きる女たち1984-2012」』開催。
- 12月 博物館企画展『大山盛保生誕100年記念 発見への情熱』開催。
- 2013 (平成25) 2月 指定管理者自主事業『マリー・アントワネット物語』展開催。(沖縄タイムス共催)  
指定管理者企画展『スタジオジブリ・レイアウト展』開催。
- 5月 博物館企画展『大嶺薫コレクション - 探求する心とその世界 - 』展開催。  
博物館企画展『新収蔵品展 - 平成24年度収蔵資料』開催。  
指定管理者企画展『佐川美術館蔵 平山郁夫 - 大唐西域画への道 - 』開催。
- 7月 博物館特別展『海山川のおくりもの 目からウロコの大生き物展 - 生物多様性ホットスポットJAPAN』開催。  
指定管理者自主事業『ジミー大西作品展 - 挑戦と革新 - 』開催。
- 9月 美術館企画展『沖縄の美術シリーズ4 安次嶺金正展 - 緑の抒情 - 』開催。
- 11月 指定管理者企画展『京都 清水寺展』開催。
- 2014 (平成26) 1月 美術館企画展『森山大道 終わらない旅 北/南』開催。
- 2月 博物館企画展『サキタリ洞遺跡発掘調査速報展』開催。  
博物館企画展『三線のチカラ - 形的美と音の妙 - 』開催。(～5月11日)

【歴代館長】

**東恩納博物館**

大嶺 薫 (1946年4月～1953年3月)

**首里博物館**

豊平 良顕 (1947年12月～1948年3月)

原田 貞吉 (1948年8月～1953年3月)

**沖縄民政府立首里博物館**

原田 貞吉 (1953年3月～1955年5月)

**琉球政府立博物館**

山里 永吉 (1955年5月～1958年8月)

金城増太郎 (1958年9月～1961年12月)

大城 知善 (1962年2月～1969年11月)

外間 正幸 (1969年12月～1972年4月)

**沖縄県立博物館**

外間 正幸 (1972年5月～1981年3月)

大城徳次郎 (1981年4月～1983年3月)

大城 立裕 (1983年 4月～1986年 3月)  
宜保榮治郎 (1992年 4月～1994年 3月)  
當間 一郎 (1996年 4月～1999年 3月)  
平田 與進 (2000年 4月～2002年 3月)  
名嘉 政修 (2005年 4月～2006年 3月)  
新垣 隆雄 (2007年 4月～2007年10月)

大城 宗清 (1986年 4月～1992年 3月)  
系数 兼治 (1994年 4月～1996年 3月)  
大城 将保 (1999年 4月～2000年 3月)  
當眞 嗣一 (2002年 4月～2005年 3月)  
宮城 清志 (2006年 4月～2007年 3月)

### 沖縄県立博物館・美術館

牧野 浩隆 (2007年11月～2011年 3月)  
安里 進 (2013年 5月～ )

白保 台一 (2011年 4月～2013年 2月)

## II. 日誌抄 (2013年 4月1日～2014年 3月31日)

2013年 (平成25)

- 4月 2日 県立博物館・美術館全体会議  
11日 視察来館 (嘉手苧孝夫・県文化スポーツ統括監)  
17日 第1回経営調整会議  
23日 IPM 会議  
表敬来館 (小幡俊弘・JICA 沖縄所長)  
24日 視察来館 (湧川盛順・県文化観光スポーツ部長)  
表敬来館 (室瀬和美 国指定重要無形文化財「蒔絵」保持者 (人間国宝))  
26日 継続ボランティア登録証交付式  
30日 内覧会 (大嶺薫レクシオン展)  
5月 1日 安里進館長就任・辞令交付式 (於: 川上好久・県副知事応接室)  
県立博物館・美術館全体会議  
9日 カンボジアとのテレビ会議 (「平和文化」創造の博物館づくり協力) (於: JICA 沖縄)  
14日 キャンパスメンバーズ交付式 (沖縄国際大学)  
15日 開会式 (美術館企画展「佐川美術館所蔵 平山郁夫展」) (指定管理者主催)  
開会式 (博物館新収蔵品展)  
第2回経営調整会議  
20日 沖縄県博物館協会理事会 (安里進館長他)  
22日 表敬来館 (東海大学教授)  
23日 九州博物館協議会総会・研修会出席 (安里進館長) (於: 福岡市) (~ 24日)  
25日 美術館支援組織「hap」総会出席 (安里進館長他)  
28日 記者発表 (南部振興会資料寄贈)  
29日 博物館支援組織「博物館友の会」総会出席 (安里進館長他)  
6月 4日 学芸員実習開校式  
県立博物館・美術館指定管理者制度運用委員会  
5日 沖縄県博物館協会総会・研修会出席 (安里進館長他) (於: 宮古島市) (~ 6日)  
18日 第3回経営調整会議  
21日 表敬来館 (仲田允碩・伊是名村教育長)  
24日 燻蒸休館 (~ 7/2)  
7月 3日 視察来館 (河上一雄・公益財団法人日本修学旅行協会理事長)  
4日 美術館新規ボランティア研修開講式  
5日 来館 (室瀬和美 重要無形文化財「蒔絵」保持者)  
8日 県立博物館・美術館全体会議  
11日 全国歴史民俗系博物館協議会年次集会 (安里進館長他) (於: 横浜市歴史博物館)  
12日 開会式 (博物館特別展「目からウロコの生き物展」)  
内覧会 (「ジミー大西作品展 - 挑戦と革新 -」) (指定管理者自主企画)  
17日 第4回経営調整会議  
23日 IPM 会議  
30日 シンポジウム「人間国宝と語る 琉球のうるし・創造と未来」実行委員会 (館長他)

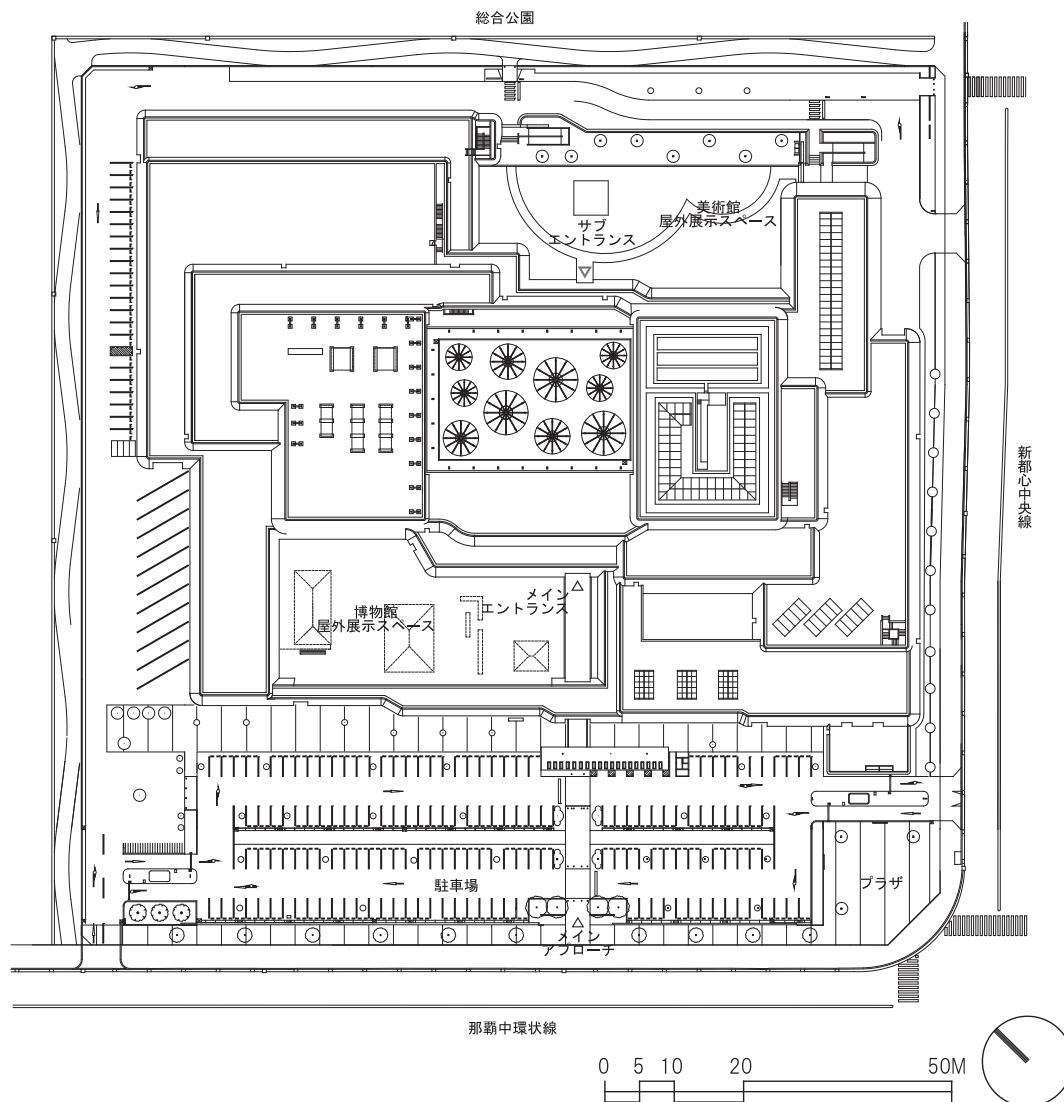
- 8月5日 県立博物館・美術館全体会議  
9日 視察来館（知事公室主催万国津梁フォーラム出席研究者）  
14日 空手道会館展示計画検討委員会（安里進館長）（於：県庁会議室）  
第5回経営調整会議  
15日 県立博物館・美術館協議会  
29日 視察来館（県文化観光スポーツ部新職員）  
調査来館（韓国故宫博物館調査団）
- 9月2日 県立博物館・美術館全体会議  
3日 学芸員実習開講式  
6日 美術館ボランティア登録式  
記者発表（美術館企画展「安次嶺金正展」）  
10日 開会式（美術館企画展「安次嶺金正展 - 緑の叙情 - 」）  
12日 開会式（学芸員実習企画）  
18日 第6回経営調整会議  
19日 空手道会館展示計画検討委員会（安里進館長）（於：県庁会議室）  
20日 内覧会（美術館コレクションギャラリー展示替え）  
19日 県文化功労者表彰審査会出席（高原安伸参事・瑞慶山昇副館長）（県庁会議室）  
30日 JICA「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」開講式
- 10月2日 記者発表（筆寄贈）  
7日 県立博物館・美術館全体会議  
8日 記者発表（三線寄贈）  
9日 博物館長研修参加（高原安伸参事）（於：国立教育政策研究所社会教育実践研究センター）  
10日 視察来館（知事公室主催万国津梁フォーラム出席研究者）  
16日 第7回経営調整会議  
21日 全館消防訓練  
22日 表敬訪問（ランジ・ウチナー民間大使）  
23日 視察来館（北海道石狩市議会）  
24日 沖縄県博物館協会研修会（安里館長他）（於：青年会館）（～25日）  
25日 視察来館（静岡県議会）  
28日 知事表敬立会（「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」研修生）  
29日 開会式（「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」研修生・写真展）
- 11月2日 開会式（美術館企画展「京都 清水寺展」）（指定管理者主催）  
15日 紺綬褒章（東松照明・泰子氏）伝達式立会（館長他）（於：県庁会議室）  
17日 講演・シンポジウム「人間国宝と語る 琉球のうるし・創造と未来」（実行委員会主催）  
20日 視察（湧川盛順文化観光スポーツ部長）（於：サキタリ洞）  
第1回博物館常設展解説ガイド養成講座  
第8回経営調整会議  
21日 記者発表（サキタリ洞遺跡発掘調査成果）（於：サキタリ洞）  
26日 来館（中国河南省文物考古研究所関係者）  
IPM 会議  
27日 空手道会館展示計画検討委員会（安里進館長）（於：県庁会議室）  
28日 県立博物館・美術館移動展（於：渡名喜島）（～29日）
- 12月9日 県立博物館・美術館全体会議  
10日 サキタリ洞調査検討会  
14日 開会式（県芸術文化祭）（沖縄県主催）  
18日 第9回経営調整会議
- 1月6日 県立博物館・美術館全体会議  
沖縄観光新春の集い出席（安里進館長・高原安伸参事）（於：那覇市内）  
7日 来館（湧川盛順・県文化観光スポーツ部長）  
15日 第10回経営調整会議  
視察来館（鈴木和夫・公益財団法人全国修学旅行研究協会常務理事他）  
18日 お成り（秋篠宮殿下・妃殿下・「インカ帝国展」視察）  
23日 開会式（美術館企画展「森山大道 終わらない旅 北/南」）

- 19日 美術館第2回収集委員会
- 30日 日本博物館協会研修会(安里進館長)(於:大阪)  
平成26年度「久米村展」展示監修委員会
- 31日 内覧会(美術館コレクション展)
- 2月1日 視察来館(鈴木英敬・三重県知事)
- 4日 新名護博物館検討委員会(安里進館長他)(於:名護市)
- 10日 燻蒸休館(~11日)
- 12日 ケネディ駐日米国大使レセプション(安里進館長)(於:那覇市内)
- 13日 県立博物館・美術館全体会議
- 15日 記者発表(サキタリ洞調査成果)(於:館・サキタリ洞)
- 16日 内覧会(博物館企画展「サキタリ洞遺跡発掘調査速報展」)  
来館者総数300万人達成
- 18日 開会式(博物館企画展「三線のチカラ-形之美と音の妙」)  
監査委員会定期監査(職員監査)
- 19日 第11回経営調整会議
- 20日 視察来館(米国モンタナ州立大学附属博物館館長他)  
研修実施(社会教育主事講習)
- 21日 来館(明星大学事務局長)
- 25日 展示公開(那覇署所蔵梵鐘)  
視察来館(文化庁)
- 27日 来館(JICA 沖縄所長)
- 28日 名護博物館30周年記念式典(高原安伸参事)(於:名護博物館)
- 3月3日 県立博物館・美術館全体会議
- 4日 贈呈式(美術品寄贈者感謝状)
- 5日 視察来館(韓国故宫博物館関係者)
- 7日 平成25年度監査委員会定期監査(委員監査)
- 13日 贈呈式(三線寄贈)
- 19日 第12回経営調整会議
- 22日 新名護博物館検討委員会(安里進館長)
- 26日 伝達式(紺綬褒章)(於:県庁)
- 30日 表彰式(博物館企画展関連催事「三線ティーワジャコンテスト」)



博物館特別展 海・山・川のおくりもの 目からウロコの大生き物展!  
~ 生物多様性ホットスポット JAPAN ~

### III. 施設・設備



#### 建築概要

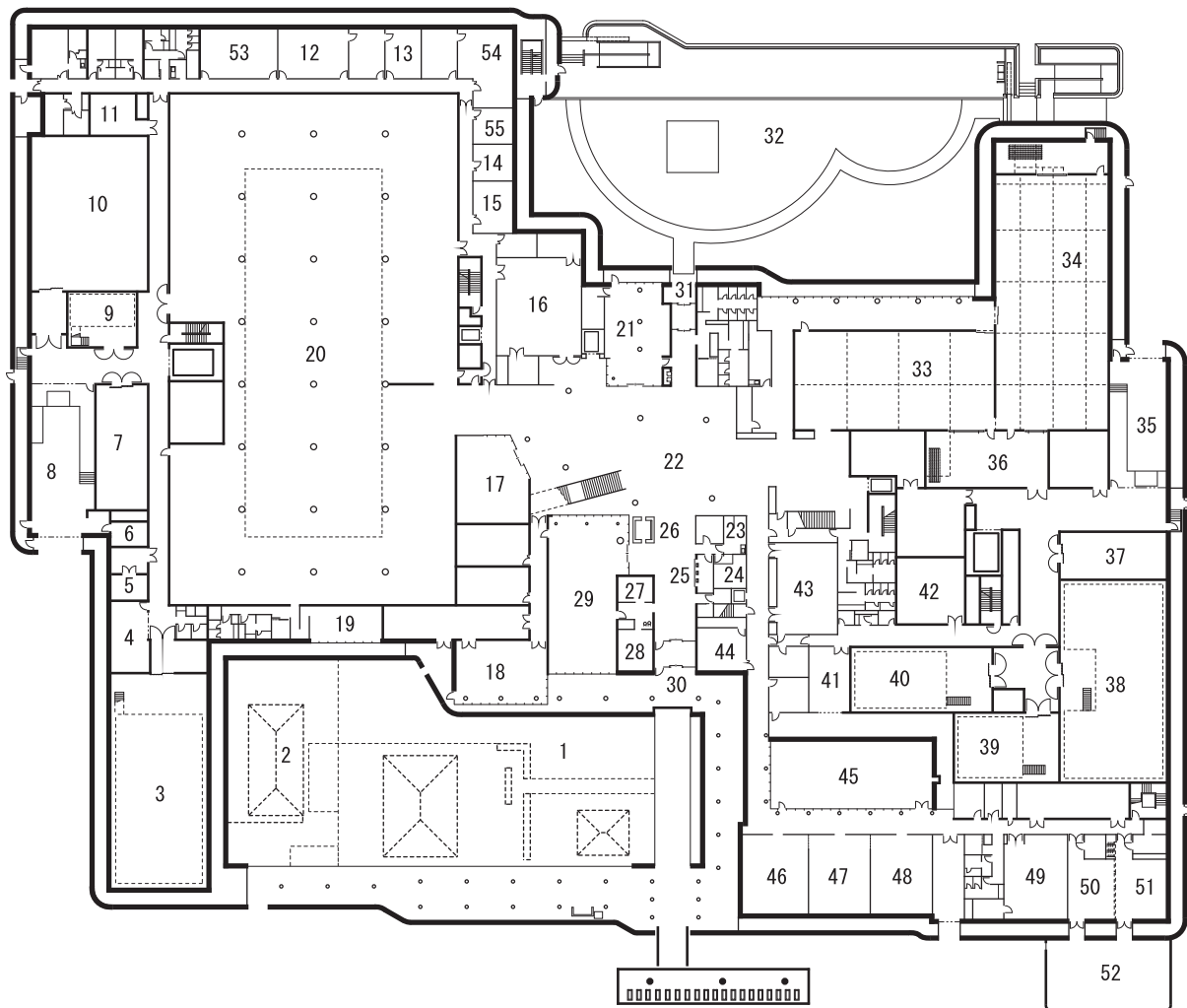
敷地面積	31,287㎡
建築面積	13,452㎡
延床面積	23,721㎡
博物館専有面積	10,478㎡
美術館専有面積	7,537㎡
共有面積	5,708㎡
高さ・最高高さ	GL + 21.8m
駐車場	
一般駐車場	140台
(うち身障者用4台)	
大型バス駐車場	10台
駐輪場	25台
関係者駐車場	22台
供用施設	
エントランスホール	724㎡
情報センター	217㎡
講堂 (212席)	349㎡

#### 博物館の主たる施設

展示施設	
総合展示室	1,252㎡
部門展示室	1,344㎡
自然史部門	360㎡
考古部門	262㎡
美術工芸部門	180㎡
歴史部門	120㎡
民俗部門	421㎡
屋外展示場	1,425㎡
企画展示室	351㎡
特別展示室	459㎡
教育普及施設	
ふれあい体験室	110㎡
博物館講座室	191㎡
実習室	108㎡

#### 美術館の主たる施設

収蔵施設(ダブルデッキ含む)	
自然史収蔵庫	417㎡
化石収蔵庫	245㎡
考古・陶磁器収蔵庫	613㎡
特別収蔵庫	439㎡
民俗収蔵庫	668㎡
大型収蔵庫	358㎡
液浸標本室	97㎡
一時保管庫	119㎡
調査研究施設	
研究室	176㎡
研究資料室	111㎡
会議室	72㎡
展示施設	
企画ギャラリー1	394㎡
企画ギャラリー2	490㎡
コレクションギャラリー1	164㎡
コレクションギャラリー2	284㎡
コレクションギャラリー3	370㎡
県民ギャラリー(1~3)	277㎡
県民ギャラリー(スタジオ)	111㎡
県民アトリエ	65㎡
こどもアトリエ	70㎡
屋外展示場	1,368㎡
教育普及施設	
美術館講座室	109㎡
収蔵施設(ダブルデッキ含む)	
収蔵庫a	683㎡
収蔵庫B	248㎡
収蔵庫C	204㎡
調査研究施設	
研究室	98㎡
研究資料室	98㎡
会議室	58㎡



## 1階

### (博物館)

- 1 博物館野外展示
- 2 湧田古窯
- 3 民俗収蔵庫
- 4 写真撮影室
- 5 冷凍庫
- 6 石工室
- 7 一時保管庫
- 8 トラックヤード
- 9 液浸標本室
- 10 大型収蔵庫
- 11 修理修復室
- 12 副館長室・県総務班
- 13 館長室
- 14 支援会室
- 15 博物館ボランティア室
- 16 博物館講座室
- 17 博物館ふれあい体験室
- 18 博物館実習室
- 19 博物館常設展示休憩室
- 20 博物館常設展示室

### (共有)

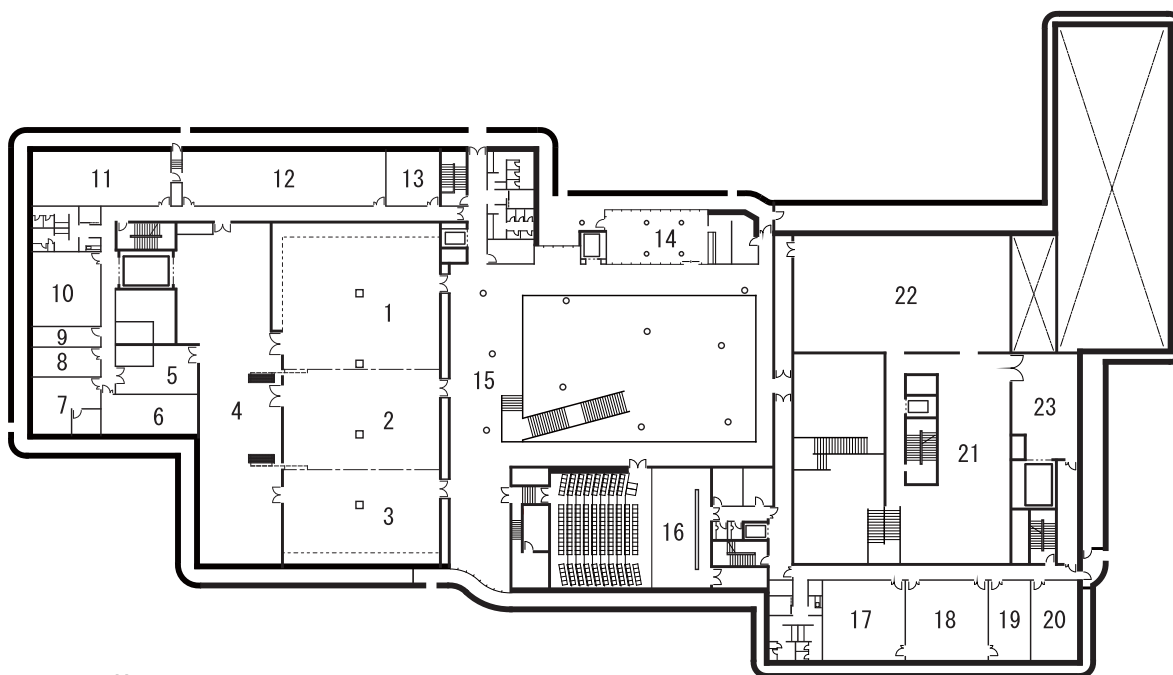
- 21 ミュージアムショップ
- 22 エントランスホール
- 23 授乳室
- 24 託児室
- 25 券売
- 26 総合案内
- 27 救護室
- 28 コインロッカー
- 29 情報センター
- 30 メインエントランス
- 31 サブエントランス

### (美術館)

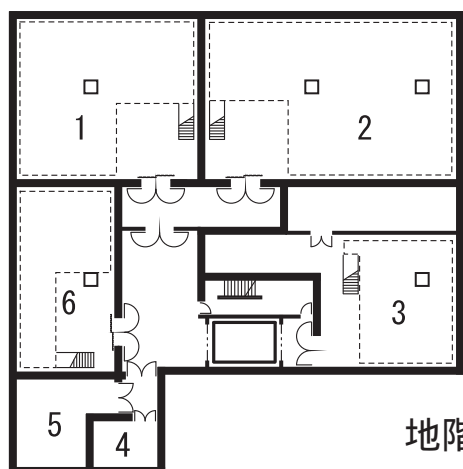
- 32 美術館屋外展示
- 33 美術館企画ギャラリー1
- 34 美術館企画ギャラリー2
- 35 トラックヤード
- 36 展示準備室
- 37 一時保管庫
- 38 収蔵庫A
- 39 収蔵庫B
- 40 収蔵庫C
- 41 保存修復室
- 42 工作室
- 43 美術館講座室
- 44 美術館ボランティア室
- 45 中庭
- 46 県民ギャラリー1
- 47 県民ギャラリー2
- 48 県民ギャラリー3
- 49 県民ギャラリー(スタジオ)
- 50 県民アトリエ
- 51 こどもアトリエ
- 52 屋外活動スペース

### (文化の杜共同企業体・指定管理者)

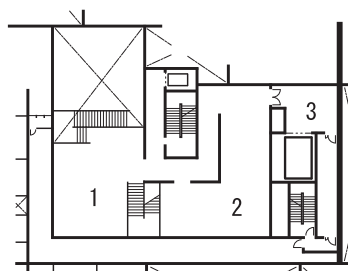
- 53 会議室
- 54 事務室
- 55 展示交流員控室



3階



地階



2階

3階

- (博物館)
- 1 企画展示室
  - 2 特別展示室1
  - 3 特別展示室2
  - 4 展示準備室
  - 5 工作室
  - 6 自然史実験室
  - 7 保存科学室
  - 8 フィルム保管庫
  - 9 映像編集室
  - 10 学芸員会議室
  - 11 研究資料室
  - 12 学芸員研究室
  - 13 研修室

(共有)

- 14 喫茶室
- 15 ホワイエ
- 16 講堂

(美術館)

- 17 研究資料室
- 18 学芸員研究室
- 19 情報処理室
- 20 副館長室
- 21 コレクションギャラリー2
- 22 コレクションギャラリー3
- 23 展示準備室

地階

(博物館)

- 1 特別収蔵庫
- 2 考古陶磁器収蔵庫
- 3 自然史収蔵庫
- 4 劣化フィルム収蔵庫
- 5 写真パネル収蔵庫
- 6 化石収蔵庫

2階

(美術館)

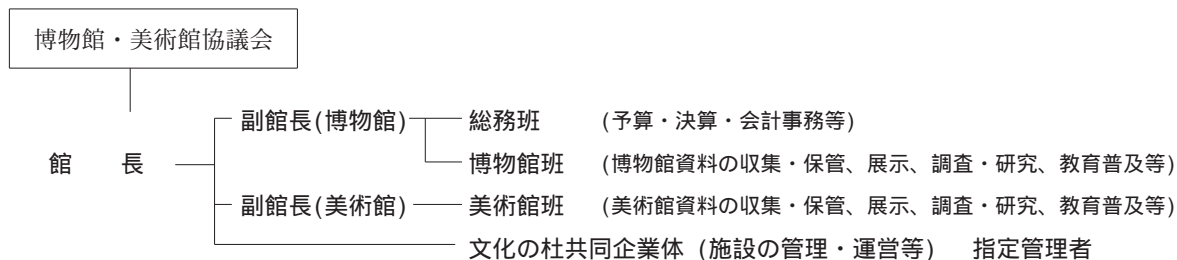
- 1 ホワイエ
- 2 コレクションギャラリー1
- 3 展示準備室



## IV. 組織

### 【組織】

沖縄県立博物館・美術館の組織は、「総務班」「博物館班」「美術館班」の県組織と、指定管理者である文化の杜共同企業体の4つにより構成されている。なお、文化の杜共同企業体については別項にて記述しているので参照頂きたい。



### 【職員構成】

2013年4月1日 現在

職名	氏名	担当業務
館長	安里 進	◎博物館・美術館の総括に関すること。 5/1 就任
参事兼副館長	嵩原 安伸	◎博物館業務の統括に関すること。 ◎総務班・博物館班の指揮監督に関すること。
副館長兼美術館班長	瑞慶山 昇	◎美術館業務の統括に関すること。

### (総務班)

職名	氏名	担当業務
班長	山川 優	◎総務班の総括に関すること。 ◎予算・執行の総括に関すること。 ◎文書管理の総括に関すること。 ◎指定管理者との調整に関すること。 ◎経営調整会議に関すること。 ◎博物館・美術館の連絡調整に関すること。 ◎九州博物館協議会に関すること。 ◎議会对応に関すること。 ◎視察対応に関すること。 ◎出納員に関すること。 ◎博物館/美術館協議会に関すること。 ◎全国・九州ブロック博物館協議会に関すること。
主査	古我知 泉	◎施設・財産関連業務に関すること。 ◎備品の登録業務に関すること。 ◎予算の資料作成に関すること。 ◎会計業務(沖縄振興推進特別交付金)に関すること。 ◎歳入に関すること。 ◎博物館・美術館広報宣伝に関すること。 ◎情報管理(ホームページ等)に関すること。 ◎博物館・美術館の連絡調整に関すること。
主査	幸地なつみ	◎会計業務(旅費、消耗品費を除く)に関すること。 ◎職員の給与、福利、服務及び研修業務に関すること。 ◎決算の資料作成に関すること。 ◎博物館・美術館の連絡調整に関すること。
主任	長濱美奈子	◎会計業務(旅費、消耗品費)に関すること。 ◎公用車の管理業務(支出含む)に関すること。 ◎出納業務に関すること。 ◎文書、公印の管理業務に関すること。
事務補助員	石関奈津子	文書受付に関すること。 業務補助に関すること。

(博物館班 学芸員)

博物館班長	久場 政彦	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎博物館班の総括に関する事。</li> <li>◎博物館予算に関する事。</li> <li>◎沖縄県博物館協会に関する事。</li> <li>◎議会対応に関する事。</li> <li>◎視察対応に関する事。</li> <li>◎博物館資料の収集方針に関する事。</li> <li>◎博物館活動の計画に関する事。</li> <li>◎学芸員実習・教職員研修の受け入れに関する事。</li> <li>◎博物館特別展示室・企画展示室の運営・管理に関する事。</li> <li>◎指定管理者との調整に関する事。</li> <li>◎博物館友の会に関する事。</li> </ul>
主 幹 (美術工芸)	園原 謙	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎美術工芸資料(絵画・陶器・漆器)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎企画展「三線のチカラ～形的美と音の妙」に関する事。</li> <li>◎JICA草の根技術協力事業に関する事。</li> <li>◎博物館総合・部門展示(美術工芸等)に関する事。</li> <li>◎博物館資料収集事業(基金)に関する事。</li> <li>◎博物館資料修理事業に関する事。</li> </ul>
主任学芸員 (美術工芸)	與那嶺一子	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎美術工芸資料(染織・書跡・彫刻)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎博物館総合・部門展示(美術工芸等)に関する事。</li> <li>◎大嶺薫コレクション展に関する事。</li> <li>◎写真資料等の貸し出し、撮影、整理に関する事。</li> <li>◎H27年度企画展に関する事。</li> <li>ふれあい体験室の運営に関する事。</li> <li>◎班長の補佐に関する事。</li> </ul>
主任学芸員 (民俗)	大湾ゆかり	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎民俗資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎平成25年度企画展に関する事。</li> <li>◎平成27年度特別展に関する事。</li> <li>◎博物館総合・部門展示(民俗資料)に関する事。</li> <li>◎保存管理調査(展示室・収蔵庫)に関する事。</li> <li>◎民俗資料に関する照会に関する事。</li> <li>◎屋外展示(民家・高倉)に関する事。</li> </ul>
主任学芸員 (歴史)	岸本 弘人	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎歴史資料(近現代)の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎博物館総合・部門展示(歴史分野)に関する事。</li> <li>◎特別展・企画展(歴史分野)に関する事。</li> <li>◎「国際博物館の日」に関する事。</li> <li>◎常設総合展示室に関する事。</li> <li>◎沖縄県博物館協会に関する事。</li> <li>◎「博物館・美術館年報」の編集・発行に関する事。</li> </ul>
主任学芸員 (自然史・生物)	山崎 仁也	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎生物資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎特別展「目からウロコの生き物展」に関する事。</li> <li>◎総合調査に関する事。</li> <li>◎博物館総合・部門展示(生物分野)に関する事。</li> <li>◎沖縄県博物館協会に関する事。</li> <li>◎屋外展示(植生)に関する事。</li> </ul>
主任学芸員 (自然史・地学)	仲里 健	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎地質・化石資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎IPM及び博物館資料の保存環境、燻蒸・消毒に関する事。</li> <li>◎博物館総合・部門展示(地質・化石分野)に関する事。</li> <li>◎化石資料整理事業に関する事。</li> <li>◎H27年度企画展に関する事。</li> </ul>
主任学芸員 (考古)	片桐千亜紀	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎考古資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する事。</li> <li>◎H26年特別展「水中文化遺産展」に関する事。</li> <li>◎博物館総合・部門展示(考古分野)に関する事。</li> <li>◎移動展に関する事。</li> <li>◎沖縄の遺産ブランド開発発信事業に関する事。</li> <li>◎文化財公開承認施設及び登録博物館に関する事。</li> <li>◎屋外展示(湧田窯)に関する事。</li> </ul>

主任 (歴史)	崎原 恭子	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎歴史資料（古琉球・近世）の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関する こと。</li> <li>◎博物館総合・部門展示（歴史分野）に関すること。</li> <li>◎H26年度企画展に関すること。</li> <li>◎資料収集事業に関すること。</li> <li>◎常設総合展示室に関すること。</li> <li>◎沖縄県博物館協会に関すること。</li> </ul>
主任 (人類)	藤田 祐樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎人類学資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること。</li> <li>◎沖縄の遺産ブランド開発発信事業に関すること。</li> <li>◎平成25年度企画展に関すること。</li> <li>◎平成26年度企画展に関すること。</li> <li>◎新収蔵品展に関すること。</li> <li>◎博物館総合・部門展示（人類学分野）に関すること。</li> <li>◎博物館紀要の編集・発行に関すること。</li> <li>◎収蔵品データ・収蔵品台帳に関すること。</li> </ul>
主任 (人類)	山崎 真治	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎人類学資料の収集・保管・整理・調査研究・公開等に関すること。</li> <li>◎沖縄の遺産ブランド開発発信事業に関すること。</li> <li>◎平成25年度企画展に関すること。</li> <li>◎博物館総合・部門展示（人類学分野）に関すること。</li> <li>◎情報センターの図書・データに関すること。</li> </ul>
嘱託員 (学芸補助)	早瀬 千明	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎『博物館・美術館年報』の編集・発行に関すること。</li> <li>◎写真資料の貸出、博物館資料の撮影等の受付に関すること。</li> <li>◎写真資料等の整理に関すること。</li> <li>◎発送業務集約に関すること。</li> <li>◎展示公開事業の補佐に関すること。</li> <li>◎学芸研究資料室の図書に関すること。</li> <li>◎学芸員の補佐に関すること。</li> <li>◎寄贈図書類の回覧に関すること。</li> </ul>
主任学芸員 (教育普及)	金城 久枝	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教育普及事業（ふれあい体験室、実習室、講座等）に関すること。</li> <li>◎教育普及資料の収集・購入・受入・保管・整理に関すること。</li> <li>◎博物館学習等の調査研究に関すること。</li> <li>◎博物館友の会に関すること。</li> <li>◎学習プログラムの策定・指導に関すること。</li> <li>◎ボランティア活動事業に関すること。</li> <li>◎体験学習教室の企画及び屋外展示の活用に関すること。</li> <li>◎学校連携事業に関すること。（大学含む）</li> <li>◎文化講座・学芸員講座の企画に関すること。</li> </ul>
嘱託員 (教育普及)	久田 千春	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい体験室、実習室、講座等に関すること。</li> <li>教育資料の収集・購入・受入・保管・整理等に関すること。</li> <li>博物館学習等の調査研究に関すること。</li> <li>◎視聴覚機器の整理・保管に関すること。</li> <li>文化講座の企画等に関すること。</li> <li>ふれあい体験室の運営に関すること。</li> <li>◎ボランティア活動の連絡調整に関すること。</li> <li>◎総合・部門展示の学習プログラムの策定・指導に関すること。</li> <li>◎博物館学習への各種照会事項対応の補助に関すること。</li> <li>◎教育普及担当学芸員の補佐に関すること。</li> </ul>

## (美術館班)

副館長 兼美術館班長	瑞慶山 昇	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎美術館班業務の総括に関する事。</li> <li>◎近現代美術の研究に関する事。</li> <li>◎議会に関する事。</li> <li>◎予算に関する事。</li> <li>◎公文の保管に関する事。</li> <li>◎博物館・美術館協議会に関する事。</li> <li>◎指定管理者との調整に関する事。</li> <li>◎外郭団体等への対応に関する事。</li> </ul>
主任学芸員	仲里 安広	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学芸員活動の総括に関する事。</li> <li>◎企画展1「安次嶺金正展」に関する事。</li> <li>◎近現代美術の研究に関する事。</li> <li>◎資料収集活動の総括に関する事。</li> <li>◎コレクション展示に関する事。</li> </ul>
主任学芸員	新里 義和	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎収蔵作品保存修復活動の総括に関する事。</li> <li>◎企画展2「森山大道展」に関する事。</li> <li>◎近現代美術の研究に関する事。</li> <li>◎収蔵作品データベースに関する事。</li> <li>◎コレクション展示に関する事。</li> </ul>
主任学芸員	豊見山 愛	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎展示公開活動の総括に関する事。</li> <li>◎近現代美術の研究に関する事。</li> <li>◎企画展1「安次嶺金正展」に関する事。</li> <li>◎教育普及活動に関する事。</li> <li>◎展示機材管理に関する事。</li> <li>◎平成26年度企画展に関する事。</li> <li>◎コレクション展示に関する事。</li> </ul>
主任学芸員	大城 仁美	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資料収集活動の総括に関する事。</li> <li>◎近現代美術の研究に関する事。</li> <li>◎企画展2「森山大道展」に関する事。</li> <li>◎展示公開活動に関する事。</li> <li>◎コレクション展示に関する事。</li> </ul>
主任学芸員	大城 直也	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教育普及活動の総括に関する事。</li> <li>◎移動展総括に関する事。</li> <li>◎教育普及活動の調査・研究に関する事。</li> <li>◎ボランティアに関する事。</li> <li>◎アーティスト・ギャラリートークに関する事。</li> <li>◎美術館講座に関する事。</li> <li>◎学芸員実習に関する事。</li> <li>◎コレクション展示に関する事。</li> </ul>
主査(再任用)	翁長 直樹	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎調査研究活動の総括に関する事。</li> <li>◎二次資料収集、整理、保管に関する事。</li> <li>◎近現代美術の研究に関する事。</li> <li>◎研究紀要に関する事。</li> <li>◎調査研究データベースに関する事。</li> <li>◎コレクション展示に関する事。</li> </ul>
嘱託員	齋 悠記	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎作品の調査に関する事。</li> <li>◎収蔵品のデータベースに関する事。</li> <li>◎収蔵品の画像管理に関する事。</li> <li>◎作品画像貸出に関する事。</li> <li>◎収集委員会資料作成に関する事。</li> <li>◎情報センターのデータに関する事。</li> <li>◎美術館ホームページに関する事。</li> <li>◎展示会の補助に関する事。</li> </ul>
嘱託員	仲村美奈子	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎展示室等の環境点検管理に関する事。</li> <li>◎収蔵庫の環境点検管理に関する事。</li> <li>◎作品の保存管理に関する事。</li> <li>◎作品の修復に関する事。</li> <li>◎作品貸出に関する事。</li> <li>◎IPMに関する事。</li> <li>◎展示会の補助に関する事。</li> </ul>
事務補助員	石橋 英子	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎文書の收受、発送に関する事。</li> <li>◎図書の受付、整理に関する事。</li> <li>◎文書等の整理、保管に関する事。</li> <li>◎業務補助に関する事。</li> </ul>

◎は主担当業務、 は副担当業務。

【人事異動】

2013年4月1日 現在

	職 名	氏 名	摘 要
転 出	総務班 班 長 博物館班 主任学芸員 " 主任学芸員	瑞慶覧 勝 利 岸 本 敬 池 原 盛 浩	教育庁施設課 教育委員会 (大平特別支援学校) 教育委員会 (浦西中学校)
転 入	館 長 参事兼副館長 総務班 班 長 " 主 任 " 事務補助員 " 事務補助員 博物館班 主任学芸員 " 主任学芸員 美術館班 事務補助員	安 里 進 嵩 原 安 伸 山 川 優 長 濱 美奈子 石 関 奈津子 比 嘉 梨 絵 大 湾 ゆかり 金 城 久 枝 石 橋 英 子	就任 5/1 観光政策課 文化振興課 中部福祉保険所 採用 ~9月 採用 10月~ 総務私学課 ((公財)文化振興会) 教育委員会 (寄宮中学校) 採用
退 職	総務班 事務補助員 美術館班 事務補助員	仲 村 希 下 地 千 紘	

## V. 沖縄県立博物館・美術館協議会

【第1回会議】

日 時：2013年8月15日 (木) 13:30~15:30

場 所：博物館講座室

委嘱状交付式：委嘱状交付 (新任の委員のみ)

会 議

あいさつ (安里進県立博物館・美術館館長)

議題

- ・平成24年度事業実績報告
- ・平成25年度事業中間報告
- ・平成26年度事業計画説明

沖縄県立博物館・美術館協議会委員名簿

(任期：平成24年7月10日～平成26年7月9日)

分 野	氏 名	所 属	職 名	
学 識 経 験 者	自然史	新 城 和 治	元琉球大学教育学部	元 教 授
	歴 史	里 井 洋 一	琉球大学教育学部	教 授
	考 古	當 眞 嗣 一	元沖縄県立博物館	元 館 長
	民 俗	稲 福 みき子	沖縄国際大学総合文化学部	教 授
	人 類	土 肥 直 美	琉球大学医学部	元准教授
	美 術 (絵画)	◎宮 城 篤 正	元沖縄県立芸術大学	元 学 長
	美 術 (立体)	西 村 貞 雄	元琉球大学教育学部	元 教 授
学 校 教 育 関 係 者	美 術 (写真)	前 原 基 男	沖縄県写真連盟	会 長
	小学校教育	崎 原 永 輝	沖縄県小学校長会	副 会 長
	中学校教育	川 満 順 二	沖縄県中学校長会	副 会 長
社 会 教 育 関 係 者	高校教育	真栄田 義 功	沖縄県高等学校長会	副 会 長
	社会教育	森 田 孟 則	沖縄県社会教育委員連絡協議会	会 長
	PTA	仲 西 春 雅	沖縄県高等学校 PTA 連合会	副 会 長

(◎会長、 副会長 2014年3月31日現在)

## VI. 予 算

2013歳出状況 (決算)

	博物館・美術館管理運営費	博物館・美術館指定管理費	博物館・美術館費	JICA受託事業費	沖縄遺跡のブランド開発・発信事業	合計
報酬	5,483,749		7,905,681			13,389,430
賃金			2,849,992			2,849,992
報償費			859,900			859,900
旅費			7,172,742	4,520	1,713,817	8,891,079
需用費			19,792,124		1,317,750	21,109,874
役務費			5,533,923			5,533,923
委託料		295,427,000	43,509,444	2,759,000	17,083,500	358,778,944
使用料及び賃借料			1,586,646		19,329	1,605,975
備品購入費			4,747,680		132,090	4,879,770
負担金補助及び交付金			91,000			91,000
繰出金						0
公課費			49,200			49,200
合計	5,483,749	295,427,000	94,098,322	2,763,520	20,266,486	418,039,087

2013歳入状況

	収入金額	説明
土地使用料	25,864	自動販売機土地使用料
建物使用料	4,583,109	喫茶室、ミュージアムショップの建物使用料
雑入	1,319,230	電気料金、雇用保険料等
展示会等助成金	2,560,000	「海と船の企画展」にかかる支援金（公益財団法人日本海事科学振興財団）
JICA受託事業	2,763,520	JICA受託事業（独立行政法人国際協力機構）
合計	11,251,723	

## VII. 収蔵資料現在高

当館が所蔵する資料の件数は以下の通りである。詳しい内訳は博物館、美術館それぞれの章において詳しく記述しているのでその頁をご参照頂きたい。

2014年3月31日現在

	分類	件数	小計
博物館	自然史	55,960	91,378
	人類	118	
	美術工芸	10,326	
	歴史	12,075	
	考古	6,671	
	民俗	6,228	
美術館	平面	1,627	4,364
	立体	66	
	映像	2,404	
	その他	267	
総計			95,742

# 利用統計

入館者統計  
施設利用者統計

# I. 入館者統計

## 1. 総入館者集計

(単位：人)

年 月	博物館						美術館						全 体						入 1 館日 数 均 数 2.43							
	常設展			特別展			企 画 展			コレクション展			全 体			展 示 室 合 計				総 入 館 者						
	有 料	無 料	小 計	有 料	無 料	小 計	有 料	無 料	小 計	有 料	無 料	小 計	有 料	無 料	小 計	有 料	無 料	小 計			展 示 以 外 (共 有)					
4	3,671	2,315	5,986	0	0	0	3,671	2,315	5,986	1,036	1,014	2,050	20,614	2,290	22,904	21,650	3,304	24,954	25,321	30,940	14,472	60,559	27	2,243		
5	3,588	3,537	7,125	798	2,104	2,902	0	0	0	1,013	1,914	2,927	20,096	2,123	22,219	21,109	4,037	25,146	25,495	35,173	14,022	48,320	27	1,790		
6	2,200	1,716	3,916	564	979	1,543	0	0	0	926	1,052	1,978	4,383	542	4,925	5,309	1,594	6,903	8,073	12,362	10,728	22,332	20	1,117		
7	3,431	2,719	6,150	0	0	0	8,151	1,846	9,997	11,582	4,565	16,147	1,306	991	0	1,306	991	2,297	12,888	5,556	18,444	16,039	42,317	25	1,693	
8	5,085	4,822	9,907	0	0	0	16,369	4,615	20,984	21,434	9,437	30,871	1,826	1,453	3,279	0	1,826	1,453	3,279	23,260	10,890	34,150	9,380	72,214	27	2,675
9	3,056	1,466	4,522	0	0	0	967	353	1,320	4,023	1,819	5,842	1,080	430	1,510	2,130	677	2,807	6,153	2,496	8,649	17,410	29,598	25	1,184	
10	4,306	3,767	8,073	0	0	0	0	0	0	4,306	3,767	8,073	1,011	1,805	2,816	1,474	537	4,827	6,791	6,109	12,900	15,352	27,877	26	1,072	
11	4,945	6,095	11,040	0	0	0	0	0	0	4,945	6,095	11,040	1,096	2,385	3,481	11,749	761	12,510	17,790	9,241	27,031	28,953	55,674	26	2,141	
12	4,381	2,492	6,873	0	0	0	0	0	0	4,381	2,492	6,873	1,269	941	2,210	7,364	478	7,842	8,633	1,419	10,052	13,014	3,911	16,925	25	1,839
1	3,890	2,426	6,316	0	0	0	0	0	0	3,890	2,426	6,316	1,033	628	1,661	734	2,395	5,551	5,551	3,160	8,711	46,887	55,551	26	2,137	
2	3,739	4,547	8,286	2,286	584	2,870	0	0	0	6,025	5,131	11,156	1,134	1,348	2,482	3,864	202	4,284	8,507	6,513	15,020	23,657	37,428	23	1,627	
3	3,840	1,803	5,643	3,923	901	4,824	0	0	0	7,763	2,704	10,467	1,200	752	1,952	1,504	237	1,741	3,693	10,467	3,693	14,160	21,254	33,494	26	1,288
合 計	46,112	37,705	83,817	7,571	4,588	12,139	25,487	6,814	32,301	79,170	49,087	128,257	13,930	14,487	28,417	70,210	7,581	77,791	84,140	22,068	106,208	163,310	71,155	234,465	303	1,754
目 標	58,732			7,844			10,355			76,931			16,253		45,081				138,265							
達成率	78.5%			96.5%			246.1%			102.9%			85.7%		155.7%				137.2%							

文化の日は特別対応として博物館常設展を無料とした。その人数は常設展にはカウントされていない。

## 2. 団体入館者集計

(単位：人)

月	県 内												県 外												合 計						
	小中生			高大生			特別支援校			その他			小 計			小中生			高大生			特別支援校			その他			小 計			
	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	人 数	団 体 数	
4月	2	205	6	581	0	0	2	114	10	900	4	191	3	321	0	0	0	0	7	512	1	22	0	0	0	0	1	22	18	1,434	
5月	12	768	1	22	2	69	11	282	26	1,141	2	207	0	0	0	0	0	0	2	207	1	122	0	0	0	0	1	122	29	1,470	
6月	11	386	10	537	2	69	0	0	23	992	0	0	1	149	0	0	0	0	1	149	0	0	0	0	0	0	0	0	24	1,141	
7月	6	170	3	48	3	49	16	393	28	660	1	113	0	0	0	0	0	0	1	113	1	28	0	0	0	0	1	28	30	801	
8月	3	54	1	6	0	0	62	2,477	66	2,537	0	0	1	31	0	0	0	0	1	31	0	0	0	0	0	0	0	0	67	2,568	
9月	3	377	2	34	0	0	1	22	6	433	0	0	2	54	0	0	0	0	2	54	0	0	0	0	0	0	0	0	8	487	
10月	22	1,755	3	349	3	160	2	119	30	2,383	2	216	12	971	0	0	0	0	14	1,187	0	0	0	0	0	0	0	0	44	3,570	
11月	46	3,386	1	36	2	24	4	118	53	3,564	5	414	11	1,635	0	0	0	0	16	2,049	0	0	0	0	0	0	0	0	69	5,613	
12月	19	1,149	6	276	3	73	1	26	29	1,524	0	0	8	1,245	1	21	0	0	9	1,266	0	0	0	0	0	0	0	0	38	2,790	
1月	12	1,133	4	117	1	8	0	0	17	1,258	0	0	2	284	0	0	0	0	2	284	0	0	1	67	0	0	0	1	67	20	1,609
2月	38	3,001	1	12	2	42	2	168	43	3,223	0	0	3	210	0	0	0	0	3	210	0	0	0	0	0	0	0	0	46	3,433	
3月	5	462	4	99	0	0	3	63	12	624	0	0	5	370	0	0	0	0	5	370	0	0	0	0	0	0	0	0	17	994	
合 計	179	12,846	42	2,117	18	494	104	3,782	343	19,239	14	1,141	48	5,270	1	21	0	0	63	6,432	3	172	1	67	0	0	0	4	239	410	25,910

その他に含まれる団体は幼稚・保育園などの教育機関である。 数値は団体員数を事前予約し観覧した学校である。

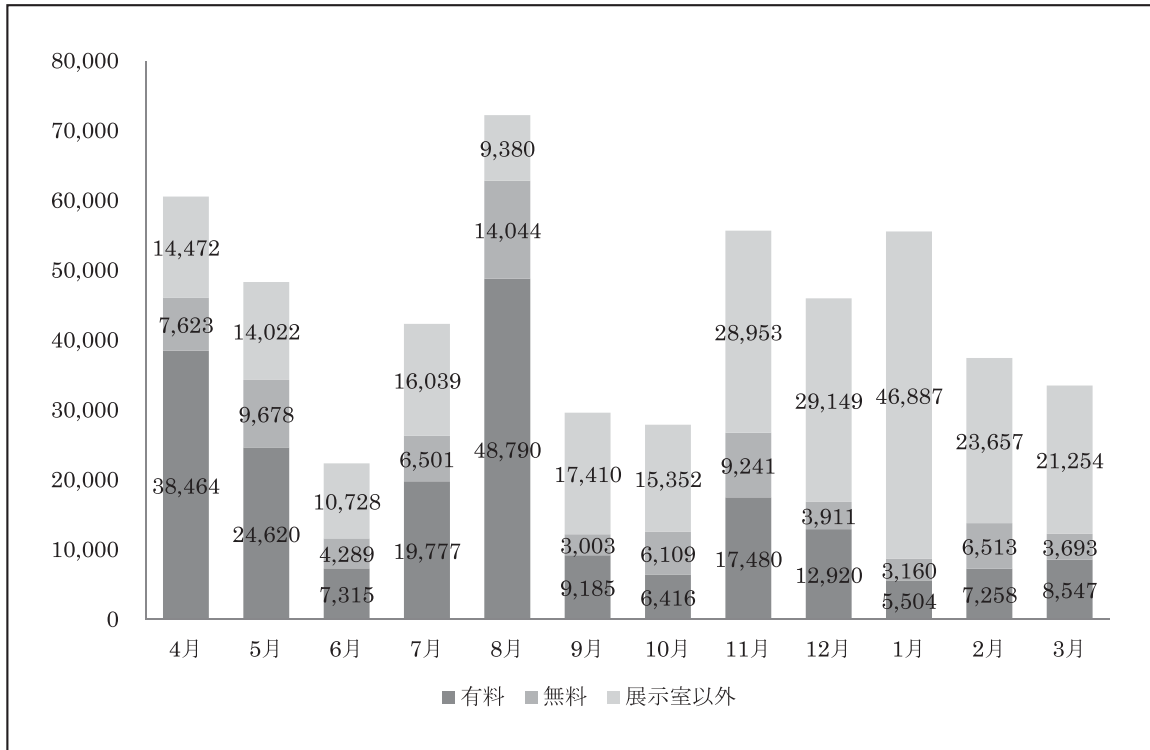


### 3. 展覧会別入館者集計

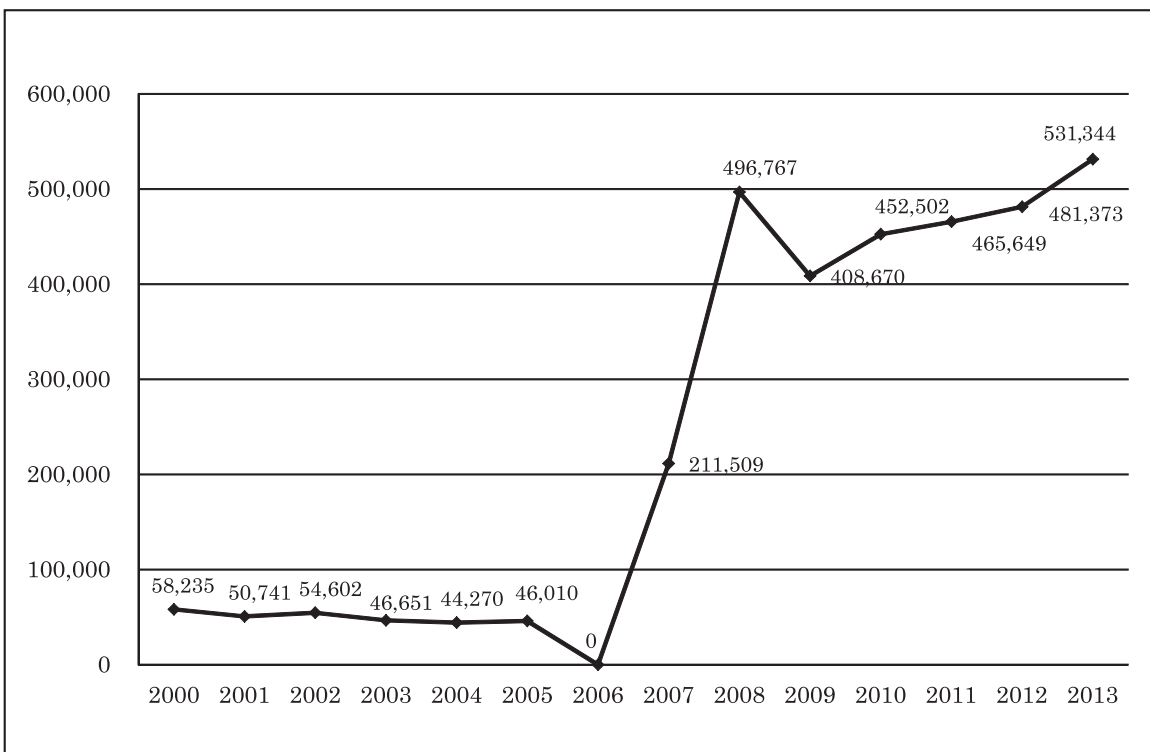
(単位：人)

展覧会名	観覧者区分	当日券	団体券	前売券	1日利用券	年間パス	その他割引	優待(障害)	有料者合計	無料者数	総合計	
博物館	企画展「新収蔵品展 平成24年度収蔵資料」	一般	213	0	0	889	66	9	1,177	392	1,569	
		高・大学生	4	0	0	40	0	9	53	0	53	
	「大嶺薫コレクション展」	小・中学生	12	0	0	29	0	0	4	41	29	70
		一般	0	0	0	0	91	0	0	91	2,315	2,406
	特別展「海山川のおくりもの 目からウロコの犬生き物展」	高・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	115	115
		小・中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	232	232
	企画展「三線のチカラ 形の美と音の妙」	一般	8,001	342	2,604	2,191	365	478	430	13,981	1,095	15,076
		高・大学生	462	4	84	177	0	41	34	768	34	802
		小・中学生	5,515	1,487	1,856	455	0	789	172	10,102	6,321	16,423
		一般	1,990	0	139	1,156	111	53	306	3,449	852	4,301
	企画展「サキタリ洞遺跡発掘調査速報展」	高・大学生	75	0	1	174	0	20	6	270	0	270
		小・中学生	70	0	12	29	0	2	14	113	98	211
一般		1,193	24	0	812	97	5	221	2,131	500	2,631	
高・大学生		53	0	0	128	0	13	1	194	1	195	
美術館	企画展「沖繩の美術シリーズ4 安次嶺金正展 緑の叙情」	小・中学生	50	0	0	2	0	0	52	34	86	
		一般	1,073	0	34	625	279	78	73	2,162	715	2,877
	企画展「森山大道 終わらない旅 北/南」	高・大学生	159	0	3	68	0	66	0	296	0	296
		小・中学生	42	0	0	21	0	2	1	66	69	135
	企画展「スタジオジブリ・レイアウト展」	一般	1,787	6	37	785	286	73	95	3,069	541	3,610
		高・大学生	125	78	0	124	0	54	0	381	0	381
指定管理者	企画展「平山郁夫展 大唐西域画への道」	小・中学生	21	0	2	6	0	0	30	62	92	
		一般	18,073	53	3,508	484	210	3,491	606	26,425	737	27,162
	企画展「京都 清水寺展」	高・大学生	3,551	111	528	67	0	646	38	4,941	0	4,941
		小・中学生	4,608	258	907	32	0	1,095	71	6,971	3,463	10,434
	企画展「大嶺薫コレクション展」	一般	3,950	42	560	476	393	550	241	6,212	639	6,851
		高・大学生	105	102	13	30	0	50	1	301	0	301
	企画展「京都 清水寺展」	小・中学生	108	103	13	11	0	6	2	243	116	359
		一般	9,357	25	2,992	312	512	3,094	689	16,981	593	17,574
	合計	高・大学生	386	0	87	28	0	272	9	782	0	782
		小・中学生	755	55	208	2	0	303	27	1,350	646	1,996
一般		45,637	492	9,874	7,730	2,410	7,831	2,410	75,678	8,379	84,057	
高・大学生		4,920	295	716	836	0	1,171	89	7,986	150	8,136	
小・中学生	11,181	1,903	2,998	587	0	2,197	296	18,968	11,070	30,038		

#### 4. 2013年度月間別入館者数



#### 5. 年間入館者数の年次推移



## 6. 減免申請集計

(単位：人)

項目	学校関係 (下見)		旅行社関係 (視察・引率)		福祉関係 (引率)		博物館・美術館 関係者(視察)		その他		合計		
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	
2013	4月	8	21	1	4	0	0	0	0	0	0	9	25
	5月	12	29	1	1	1	3	0	0	0	0	14	33
	6月	4	24	1	6	0	0	0	0	0	0	5	30
	7月	19	376	0	0	1	2	0	0	1	18	21	396
	8月	31	1,029	0	0	1	2	0	0	1	15	33	1,046
	9月	3	14	0	0	0	0	0	0	1	9	4	23
	10月	15	47	5	6	1	2	0	0	1	7	22	62
	11月	11	42	1	8	1	1	0	0	2	19	15	70
	12月	15	44	2	2	0	0	0	0	1	36	18	82
2014	1月	11	56	0	0	0	0	0	0	1	30	12	86
	2月	23	143	3	8	1	1	0	0	1	25	28	177
	3月	4	13	2	4	0	0	0	0	0	0	6	17
合計	156	1,838	16	39	6	11	0	0	9	159	187	2,047	

## 7. 団体入館内訳

県内 小学校

のべ166校 12,001名

No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数
1	4	19	真嘉比小学校	44	40	10	18	伊江小学校	17	79	11	21	名護小学校	142
2	5	1	豊崎小学校	90	41			大岳小学校	23	80		22	仲西小学校	105
3		2	大山小学校	178	42		24	屋良小学校	23	81		平敷屋小学校	49	
4	6		糸満小学校	92	43			具志川小学校	51	82			あげな小学校	65
5		14	狩俣小学校	10	44		25	恩納小学校	41	83		26	安慶田小学校	70
6		17	城辺小学校	21	45			座安小学校3年生	77	84		27	玉城小学校	76
7			久松小学校	52	46		30	古堅南小学校	118	85		28	大宮小学校	144
8		24	西城小学校	14	47			西原南小学校5年生	83	86		29	山内小学校	132
9		29	多良間小学校	18	48		31	川崎小学校	66	87			上原小学校	13
10		30	オキナウィンターナショナルスクール	18	49			西原南小学校4年生	68	88		兼次小学校	22	
11		31	西辺小学校	10	50			兼城小学校	114	89		上本部小学校	33	
12	7		北小学校	58	51	11	1	久部良小学校	9	90			東江小学校	111
13		4	阿波連小学校	3	52			室川小学校	61	91			白川小学校	105
14		7	伊良部小学校	30	53			津波小学校	18	92			辺土名小学校	34
15			砂川小学校	15	54			大浜小学校	186	93			白保小学校	19
16			カトリック学園海星小学校	21	55			波照間小学校	10	94	12	5	北丘小学校	33
17		13	上野小学校	36	56			漢那小学校	19	95		6	6	興小学校
18		14	鏡原小学校	23	57			竹富小学校	8	96				高原小学校
19			下地小学校	35	58			光洋小学校	82	97			塩屋小学校	12
20		18	沖縄アミックスインターナショナル	93	59		7	西原東小学校	78	98	7		新川小学校	72
21		21	福嶺小学校	8	60		8	銘苅小学校	127	99				真喜良小学校
22		平良第一小学校	103	61	12	豊崎小学校	115	100	11		宇栄原小学校	116		
23	9	オキナウィンターナショナルスクール	25	62		船越小学校	47	101				あげな小学校	66	
24	17	真嘉比小学校	44	63		中川小学校	33	102			北丘小学校	29		
25	25	瀬底小学校	53	64		東風平小学校	171	103	12		豊見城小学校	86		
26	9	坂田小学校	154	65		天妃小学校	69	104				喜如嘉小学校	16	
27	26	志真志小学校	135	66	14	高江洲小学校	99	105			安波小学校	6		
28		西原小学校	88	67		小祿南小学校	144	106	13		今帰仁小学校	46		
29		宜野湾小学校	125	68		西崎小学校	131	107				大宜味小学校	13	
30	10	1	沖縄カトリック小学校4年	79	69		西表小学校(合同就学旅行団)	24	108			美原小学校	173	
31			昭和薬大附属小学校	229	70	15	本部小学校	79	109	17		北丘小学校	32	
32	3	座安小学校	58	71			久辺小学校	32	110				兼原小学校	109
33	8	大里北小学校3年生	28	72		嘉芸小学校	39	111	18		伊良波小学校	92		
34	9	伊波小学校	129	73		金武小学校	90	112				北丘小学校	32	
35	16	田場小学校	150	74		中川小学校	13	113	1	8	古蔵小学校	60		
36		城前小学校	76	75		清水小学校	41	114			9	古蔵小学校	90	
37	17	大北小学校	120	76		仲里小学校	36	115		10	識名小学校	149		
38	18	屋部小学校	64	77	19	与那原小学校	136	116		15	当山小学校	173		
39		栗国小学校	16	78	20	あげな小学校	54	117		21	内間小学校	95		

No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	
118	1	21	天久小学校	95	135	2	13	上間小学校	125	152	2	25	曙小学校	51	
119		22	石嶺小学校	66	136			天久小学校	27	153		26	真和志小学校	66	
120		28	石嶺小学校	64	137			オキナウィンターナショナルスクール	17	154			銘苅小学校	125	
121		29	羽地小学校	57	138		14	宜野座小学校	41	155		27	真喜屋小学校	22	
122			松島小学校	127	139			さつき小学校	102	156			小祿小学校	81	
123		31	安謝小学校	96	140			具志頭小学校	54	157			大道小学校	53	
124			与儀小学校	61	141			潮平小学校	143	158			与儀小学校	76	
125	2	2	安謝小学校	25	142		19	金城小学校	136	159			垣花小学校	71	
126		4	佐敷小学校	68	143			前島小学校	58	160		28	真和志小学校	31	
127			北谷小学校	93	144		20	大名小学校	28	161			港川小学校	154	
128			安岡小学校	226	145			開南小学校	48	162	3	4	城東小学校	122	
129		5	上田小学校	97	146			天久小学校	70	163		5	神森小学校	131	
130		6	上田小学校	91	147			壺屋小学校	27	164		6	真嘉比小学校	69	
131			仲井真小学校	110	148		21	宮城小学校	133	165		7	泊小学校	71	
132			天久小学校	144	149			琉球大学教育学部附属小学校	118	166		12	泊小学校	69	
133		7	城岳小学校	83	150			松川小学校	81						
134		12	若狭小学校	51	151			天久小学校	34						

県内 中学校

のべ13校 845名

No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	
1	4	30	大里中学校	161	6	7	27	古堅中学校	14	11	11	21	西原中学校	220	
2	5	2	コザ中学校	207	7	8	3	首里中学校吹奏楽	29	12		22	兼城中学校	82	
3	6	11	ワールドミッションクリスチャンスクール	19	8		8	西崎中学校	15	13	2	6	那覇中学校	41	
4	7	10	南星中学校	6	9		16	糸満中学校美術部	10						
5		24	小祿中学校 美術部	28	10	11	7	安富祖中学校	13						

県内 高校

のべ25校 1,491名

No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	
1	4	26	石川高校	171	10	8	14	豊見城高校	6	19	1	10	北部農林高校生活科学科	44	
2			宜野湾高校	240	11	9	25	沖縄尚学高校	12	20		11	教育庁県立学校教育課 沖縄県高校生海外雄飛 プロジェクト	30	
3	6	6	陽明高校	6	12	10	8	美里工業高校	6			30	真和志高校	3	
4		7	美里工業高校	44	13		22	沖縄工業高等専門学校	5	21			北部農林高校食品科学科3年生	40	
5			美里高校	238	14		20	前原高校	338	22		7	八重山農林高校熱帯園芸科	12	
6		11	沖縄県高校生海外雄飛プロジェクト	16	15	11	8	名護高校	36	23	2	7	浦添高校	9	
7		14	那覇工業高校	36	16	12	10	浦添工業高校	84	24	3	11	那覇国際高校	18	
8		18	豊見城南高校	9	17		17	普天間高校	53	25		18			
9	7	5	陽明高校	4	18		18	名護商工高校	31						

県内 専門学校・大学

17校 626名

No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	
1	4	10	KBC学園I・D・A	36	7	6	15	琉球大学理学部地学系	17	14	12	7	琉球大学生生活科	43	
2		17	サイテックカレッジ那覇	26	8		21	沖縄看護専門学校	104	15		13	琉球大学観光科学科	34	
3		25	琉球大学	21	9		22	沖縄県立芸術大学	25	16	3	4	日本文化経済学院	57	
4		30	総合学園ヒューマンアカデミー	87	10	7	30	沖縄女子短期大学	15	17		8	アソシア社会大学	15	
5	5	22	琉球大学法文学部	22	11		31	琉球大学沖縄事情	29						
6	6	8	琉球大学教育学部生活 科教育研究博物館実習	42	12	9	3	サイテックカレッジ那覇	22						
					13	12	6	琉球大学観光科学科	31						

県内 特別支援学校

のべ18校 494名

No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数
1	5	8	鏡が丘特別支援学校	37	7	7	17	浦添小学校 特別支援学級	12	13	12	5	西原町小中学校特別 支援研究会	45
2		14	鏡が丘特別支援学校	32	8	10	8	鏡が丘特別支援学校浦 添分校高等部分教室	20	14		13	島尻特別支援学校	7
3	6	14	鏡が丘特別支援学校	28	9		10	うるま市 特別支援研究会	99	15		18	恩納小中学校 (特別支援学級)	21
4		19	大平特別支援学校	41	10		30	大平特別支援学校 中学部1年	41	16	1	31	大平特別支援学校 久米島高校分教室	8
5	7	10	島尻特別支援学校	28	11	11	15	八重山特別支援学校 小学部	16	17	2	18	県立沖縄ろう学校 (高等部)	21
6		17	森川特別支援学校	9	12		23	大平特別支援学校高等 部久米島高校分教室	8	18		28	沖縄市立山内小学校 わかば・たんぼぼ学級	21

県内 幼稚園・保育園・その他

のべ104団体 3,782名

No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数
1	4	3	木の国学童	101	5	5	2	すくすく幼稚園	19	9	5	14	沖縄療育園ピノキオ	10
2		24	那覇市立成西幼稚園	13	6		10	デューキッズインター ナショナルアカデミー	15	10		15	沖縄療育園ピノキオ	8
3	5	1	那覇市立開南幼稚園	59					98	11		16	沖縄療育園ピノキオ	8
4		2	社会福祉法人やえせ福 祉やえせ北保育園	16	7		14	城東幼稚園	98	12		17	那覇市立古蔵幼稚園	3
					8			エミール幼稚園	22	13			第2エミール幼稚園	24

No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	
14	7	4	オキナウィンターナショナルスクール	26	46	8	9	安謝保育園	28	75	8	22	泊児童クラブ	63	
					47			松川児童クラブ	47	76			にこにこ学童	31	
15		19	マリア保育園	12	48			しんざと学童	41	77			当山学童クラブ	16	
16			清ら風保育園	18	49		13	さくらんぼ保育園	38	78			千草保育園	53	
17		23	学童センターゆいゆい	35	50			ながやま保育園	108	79			みらい保育園	35	
18			沖縄キッズクラブ	27	51		14	久場川保育所	12	80		23	あやめ保育園	43	
19		24	城岳幼稚園	23	52			なかよし学童クラブ	47	81			ガジマル保育園	48	
20		25	ハッピー学童クラブ	37	53			開南児童クラブ	38	82			ことぶき学童クラブ	59	
21		28	新里区子ども会	37	54			学童館	95	83			太陽の子学童クラブ	54	
22			当山子供会	25	55			沖縄小児発達センター	9	84			みやび学童クラブ	28	
23		30	嘉数学童クラブ	12	56			放課後等デイサービス ちゅらら	18	85			沖縄療育園	10	
24			よなは学童クラブ	33						86		24	障害児通所支援事業カ ラフルディ	6	
25			サウント学童	20	57			放課後等デイサービス あいあい	15						
26			当山学童クラブ	9						87		27	當間学童児童クラブ	60	
27			こざくら児童クラブ	42	58			児童デイサービスみは ま発達支援	26	88		29	さくら保育園	54	
28		31	児童デイサービスいっ ぽクラブ	17						89		30	おおたけ保育園	25	
					59			安謝児童クラブ	61	90			勢理客保育園	34	
29			団体名不明(予約なし)	20	60		15	大芽学童クラブ	65	91		31	まつやま保育園	50	
30	8	2	みはら保育園	17	61			さざなみ学童クラブ	48	92	9	11	オキナウィンターナシ ョナルスクール	22	
31			団体名不明(予約なし)	43	62			汀良児童クラブ	28						
32			児童デイサービス与那原	22	63			垣花児童クラブ	38	93	10	22	オキナウィンターナシ ョナルスクール	22	
33		4	愛心学園	34	64			むぎの子学童クラブ	40						
34		6	平良川学童クラブ	75	65		16	前島学童クラブ	36	94		31	真和志幼稚園	97	
35			津嘉山学童クラブ	58	66			汀良児童クラブ	36	95	11	7	こざくら保育園	18	
36			當間学童	51	67			健やか児童クラブ	52	96		8	ペリー保育園	45	
37		7	学童クラブあかちゃん学校	34	68			コロニー児童くわえ	36	97			天久保育園	40	
38			学童クラブわらびんちゃ	44	69			石垣ボレーズ	21	98		14	エミール保育園	15	
39			にこにこ学童	50	70		20	沖縄カトリック学校学 童クラブ	73	99	12	16	長田学童クラブ	26	
40		8	正道館学童クラブ	18						100	2	18	南風原町立北丘幼稚園	104	
41			真和志学童クラブ	63	71			沖縄カトリック学校YY学 童	27	101		21	那覇市立天久幼稚園	64	
42			よなは学童クラブ	47	72			神森やまねこ学童	20	102	3	18	第二エミール保育園	26	
43			おろく保育園	28	73			神森第2やまねこ学童 クラブ	23	103		26	大謝名児童館三線クラ ブわらびな	27	
44			糸満市立西崎幼稚園	34											
45			玉の子保育園	32	74		22	神森どんぐり学童クラブ	32	104		29	児童デイサービスピ ュア	10	

県外 小学校

のべ5校 273名

No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数
1	10	23	母間小学校(鹿児島県)	25	3	11	13	常葉大学教育学部附属 橘小学校(静岡県)	64	5	11	25	横浜雙葉小学校 (神奈川県)	92
2	11	1	和光鶴川小学校 (東京都)	76	4		20	大勝小学校(鹿児島県)	16					

県外 中学校

のべ9校 868名

No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数
1	4	12	岡輝中学校(岡山県)	128	4	4	18	塩江中学校(香川県)	30	7	7	14	順天中学校(東京都)	113
2		18	鳥居本中学校(滋賀県)	5	5	5	12	和歌山大学教育学部附 属中学校(和歌山県)	120	8	10	31	中央大学附属中学校 (東京都)	191
3			大島中学校(山口県)	28	6		28	青山学院中等部 (東京都)	87	9	11	1	致遠館中学校(佐賀県)	166

県外 高校

のべ39校 4,928名

No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数	No	月	日	学校名	人数
1	4	26	国際基督教大学高校 (東京都)	264	11	10	17	富岡高校(群馬県)	4	21	11	12	屋代高校(長野県)	79
2	6	16	明法高等学校(東京都)	149	12		18	掛川東高校(静岡県)	194	22		14	甲府昭和高校(山梨県)	289
3	10	8	土岐紅陵高校(岐阜県)	124	13			長浜高校(愛媛県)	40	23		16	山梨高校(山梨県)	33
4		9	石川県立工業高校デザ イン科(石川県)	41	14		30	横浜清風高校(神奈川 県)	24	24		21	市川高校(山梨県)	10
5		10	吉田高校(山梨県)	212	15	11	3	越谷東高校(埼玉県)	318	25		22	野沢南高校(長野県)	209
6			メリノール女子学院高 校(三重県)	79	16		4	多治見工業高校(岐阜 県)	84	26	12	3	宇都宮短期大学附属高 校(栃木県)	555
7		11	君津商業高校(千葉県)	13	17		6	谷村工業高校(山梨県)	33	27		4	宇都宮短期大学附属高 校(栃木県)	286
8		16	工業高校工芸科 (石川県)	42	18		7	多治見工業高校(岐阜 県)	120	28			敦賀高校(福井県)	14
9			ノートルダム清心高校 (広島県)	194	19		10	小見川高校(千葉県)	173	29		6	穂高商業高校(長野県)	4
10		17	足利女子高校(栃木県)	4	20		12	柏陽高校(神奈川県)	287	30			明星高校(東京都)	102

No	月	日	学 校 名	人数	No	月	日	学 校 名	人数	No	月	日	学 校 名	人数
31	12	10	塩山高校 (山梨県)	29	34	1	9	武蔵野北高校(東京都)	251	37	3	4	豊橋中央高校 (愛知県)	42
32			巨摩高校 (山梨県)	248	35	2	4	袋井高校 (静岡県)	84	38		6	駿台学園高校 (東京都)	144
33		13	身延高校 (山梨県)	7	36		14	鵬学園高校 (石川県)	102	39		16	同志社国際高校 (京都府)	41

県外 専門学校・大学

のべ9校 342名

No	月	日	学 校 名	人数	No	月	日	学 校 名	人数	No	月	日	学 校 名	人数
1	4	2	大阪府高齢大学校考古学研究所(大阪府)	18	4	9	6	日本大学産業工学部建築学科 (千葉県)	25	7	2	28	DWCLAスプリングキャンプ同志社女子大学	24
2		26	福島看護学校(福島県)	39	5		10	近畿大学文化会美術部二十世紀会 (大阪府)	29	8	3	5	自衛隊東京地方協力本部(大学生研修) (東京都)	59
3	8	29	福山福祉専門学校 (広島県)	31	6	1	28	山梨学院大学YBS,T&L (山梨県)	33	9	3	15	あいち造形デザイン専門学校高等課程 (愛知県)	84

県外 特別支援学校

のべ1団体 21名

No	月	日	学 校 名	人数
1	12	12	浜松特別支援学校城北分校 (愛知県)	21

国外 その他 (基地内含む)

のべ4団体 239名

No	月	日	学 校 名	人数	No	月	日	学 校 名	人数
1	4	16	Okinawa Homeschool Group	22	3	7	19	ステイリーハイソ小学校	28
2	5	17	レスターミドルスクール	122	4	1	30	嘉手納ハイスクール	67

# 施設利用者統計

## 1. 月別施設利用集計

単位：件

		博物館				美術館							共有		その他			合計	貸出可能日
		特別展示室	企画展示室	博物館講座室	実習室	1企画ギャラリー	2企画ギャラリー	美術館講座室	県民アトリエ	子供アトリエ	スタジオ	県民ギャラリー	講堂	エントランス	3階回廊	屋外展示場	中庭		
2013	4月	0	0	16	7	0	0	29	6	2	10	6	17	0	0	0	0	93	27
	5月	0	0	22	11	0	0	32	8	3	14	5	10	0	0	0	0	105	27
	6月	0	0	20	11	0	0	26	5	3	13	5	10	0	0	0	0	93	20
	7月	0	0	24	7	0	0	28	8	7	11	5	24	0	0	0	0	114	25
	8月	0	0	27	9	0	0	31	8	6	15	6	15	0	0	0	0	117	27
	9月	0	0	22	12	0	0	26	5	6	20	9	19	0	0	0	0	119	25
	10月	0	4	29	16	0	0	41	12	6	15	5	9	2	2	1	0	142	26
	11月	26	26	28	18	0	0	39	21	12	23	7	24	0	0	1	0	225	26
	12月	25	25	22	9	3	3	33	14	10	13	8	19	14	0	6	8	212	25
2014	1月	27	27	18	12	8	8	28	10	7	10	2	20	0	7	0	0	184	27
	2月	4	4	29	11	0	0	31	10	9	18	7	17	0	1	0	0	141	23
	3月	0	0	26	13	0	0	25	12	5	19	10	16	7	0	1	0	134	26
合計		82	86	283	136	11	11	369	119	76	181	75	200	23	10	9	8	1,679	304

## 2. 施設貸出内訳

【2013年4月】

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
1	4	木	博物館講座室	おきなわ証券(株)/新年度 株式セミナー	19	12	金	美術館講座室	(株)ラウダ/資産保護の勉強会
2	4	木	美術館講座室	(株)オムファム/第19期経営計画発表会	20	13	土	博物館実習室	イプラスジム那覇/子育てママのメンタルトレーニング
3	5	金	博物館講座室	(株)エイシーエム/水と健康・ACM ウォーターセミナー	21	13	土	博物館実習室	重野裕美/基礎研究(A)の進捗状況報告・LexiquePro 講習会
4	5	金	美術館講座室	辻・本郷 税理士法人沖縄支部/平成25年度 税制改正セミナー	22	13	土	博物館講座室	公文式古蔵教室/公文式英語ストーリーコンテスト
5	6	土	美術館講座室	沖縄語普及協会/幼児教育育成講座	23	13	土	美術館講座室	沖縄語普及協会/幼児教育育成講座
6	6	土	美術館講座室	沖縄広告(株)/社内会議(キャンセル)	24	13	土	共有講堂	沖縄県文化協会/九州芸術祭(文学カフェ)対談又吉栄喜×角田光代
7	6	土	美術館講座室	JAICA 沖縄国際センター/JAICA ボランティア体験談&説明会	25	14	日	博物館講座室	一般社団法人IT検証産業協会・一般社団法人コンピュータ教育振興協会/IT 検証技術者認定試験
8	6	土	共有講堂	アステラス製薬(株)/泌尿器科医による市民公開講座「おしっこのお悩みありませんか?」	26	14	日	美術館講座室	龍賞書源書道会/「表現者としての感性を磨く」(キャンセル)
9	6	土	共有講堂	家庭倫理の会那覇市/役職者テキスト研修	27	14	日	美術館講座室	(有)海気コーポレーション/加藤明博士による健康講座
10	7	日	美術館講座室	(株)ロスコバランス/竹原妙子セミナー-居場所がない人生から心安らぐ人生へ	28	14	日	共有講堂	ナルドの会/洋楽コンサート
11	7	日	共有講堂	(社)那覇市身体障害者福祉協会/憲法と私達の暮らし	29	16	火	博物館講座室	全国賃貸管理ビジネス協会/原状回復ガイドライン解説と沖縄ルールの考え方
12	9	火	博物館実習室	ジュネスグローバル/研修会	30	16	火	美術館講座室	盛和塾沖縄/キックオフ会
13	9	火	スタジオ	(株)ヴィーダ/ラポール倶楽部新規事業説明会	31	17	水	美術館講座室	(株)アイエヌジー/アットマーク沖縄/「儲かる名刺」から考える個人ブランディングセミナー
14	10	水	共有講堂	日本公文教育研究会/英語新D~G 教材スタートダッシュ講座	32	17	水	美術館講座室	かりゆし長寿大学地域文化学科22期/平成25年度実施計画作成のためイベント実施事前打合せ
15	11	木	美術館講座室	(株)ラウダ/資産保護の勉強会	33	17	水	美術館講座室	日本秘書クラブ沖縄支部/秘書技能検定2級・準1級筆記試験対策講座
16	12	金	県民アトリエ	ブルーローズリミテッド/女性企業家形成セミナー	34	18	木	博物館実習室	泰成(株)・悠々健美クラブ/事業説明会(キャンセル)
17	12	金	子供アトリエ	(株)シャイン総研/ホレボレ事業計画研修	35	18	木	博物館講座室	圓和館/ファミリーヒストリー-幸福を呼ぶ祈願書講演会
18	12	金	美術館講座室	ル・レモンインターナショナル(株)/事業説明会	36	18	木	美術館講座室	タマホーム沖縄/タマホーム沖縄協力会工程会議

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
37	19	金	博物館講座室	医療法人ミラソルのほら元氣クリニック/第16回サイモントン療法・講演会	61	24	水	共有講堂	(株)沖縄ダイケン/会社安全大会
38	19	金	博物館講座室	ヒートポンプ蓄熱センター/電力負荷平準化・省エネ社会実現に向けたヒートポンプ・蓄熱システム普及セミナー	62	24	水	共有講堂	日本公文教育研究会/留意事項改訂講座
39	19	金	県民アトリエ	琉球 Belly Dance Priscilla/ダンス練習	63	24	水	スタジオ	琉球BellyDancePriscilla/ダンス練習
40	19	金	美術館講座室	(株)沖縄銀行/ノムラ日米 REIT ファンド運用報告会	64	25	木	県民アトリエ	
41	19	金	美術館講座室	(株)アイパエナジー/CHAORISOLAR (チャオリソーラー) (株)施工研修	65	25	木	博物館講座室	沖縄県総務部税務課/平成25年度地方税徴収担当職員研修(基礎編)
42	19	金	共有講堂	(株)アドスタッフ博報堂平成25年度 泡盛イノベーションプロジェクト公募説明会	66	25	木	スタジオ	ピオ倶楽部(株)/アミノ酸についての勉強会
43	19	金	共有講堂	(有)ユニバーサルコンパス/催事リハーサル	67	25	木	美術館講座室	(株)カードワン/事業説明会
44	20	土	博物館講座室	ワンストップ支援センター設立を強く望む会/沖縄に「ワンストップ支援センター」をつくるために-関係機関にできることは-	68	25	木	美術館講座室	NPO 法人沖縄県美術館支援会 happ/理事会
45	20	土	博物館講座室	ロスコバランス/「この世のシステムを知れば-瞬であなたの世界は変わる!!いじめは消える!」	69	25	木	美術館講座室	(有)ユニバーサルコンパス/講演会
46	20	土	スタジオ	ピオ倶楽部(株)/医学博士講演会	70	26	金	博物館講座室	盛和塾沖縄/定例会
47	20	土	子供アトリエ	版の会/版画教室	71	26	金	スタジオ	AIU 沖縄代理店会/総会
48	20	土	美術館講座室	沖縄の教育を良くする会/テレビ「生命の光」を見る会	72	26	金	共有講堂	沖縄県総合事務局総務部総務課/「東日本大震災から大規模地震・津波災害を考える」講演会
49	20	土	美術館講座室	沖縄語普及協会/幼児教育育成講座	73	27	土	博物館講座室	万国津梁機構/「夢と希望とロマンに満ちた講演会」
50	20	土	美術館講座室	日本航空学園/日本航空高校 入学式	74	27	土	美術館講座室	沖縄語普及協会/幼児教育育成講座
51	21	日	共有講堂	大浜第一病院/南淵明宏医師に聞く、人体の不思議記念講演会「心臓はなぜ止まらない!?!」	75	27	土	美術館講座室	沖縄県海外子女教育国際理解教育研究会/沖縄県国際理解教育研究会総会帰国教育会
52	23	火	博物館実習室	イスラン/講習会	76	27	土	スタジオ	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外留学・言語研修等の説明会(キャンセル)
53	23	火	博物館講座室	(株)ラジカル沖縄/求人誌ルーキー主催ビジネスセミナー	77	27	土	共有講堂	ラコルド・川村健一/御縁(ぐいん)〜ラコルド CD 発売記念コンサート
54	23	火	県民アトリエ	L.E.J(ライフ・アース・ジャパン) 管理本部/L.E.J(ライフ・アース・ジャパン) 説明会	78	28	日	博物館実習室	家庭倫理の会那覇市/子ども倫理塾「こいのぼりを作ろう」
55	23	火	美術館講座室	ライフバンテージ/講習会	79	28	日	博物館実習室	ステージワン/面接
56	23	火	共有講堂	ユニバーサルコンパス/balance3/パワーアップオープン特別イベント	80	28	日	共有講堂	上原明美/第7回 ピアノ発表会
57	24	水	博物館講座室	(株)JTB 沖縄/2013年度社員総会	81	28	日	共有講堂	文教楽器(株)/幼児科親子オリエンテーション入会おめでとうコンサート 準備
58	24	水	博物館講座室	りゅうせき商事(株)/会社説明会	82	29	月	共有講堂	文教楽器(株)/幼児科親子オリエンテーション入会おめでとうコンサート
59	24	水	県民アトリエ	L.E.J(ライフ・アース・ジャパン) 管理本部/L.E.J(ライフ・アース・ジャパン) 説明会	83	30	火	県民アトリエ	ブルーローズリミテッド/女性企業家人生形成セミナー
60	24	水	美術館講座室	(有)ユニバーサルコンパス/ユニバーサルコンパス講演会	84	11~14		スタジオ	日本音環境学会/気圧: Ki - atsu - 成田空港に接して生きる農民の日常生活 -

【2013年5月】

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
1	1	水	美術館講座室	(株)国際旅行社/南洋群島慰霊と交流の旅説明会	10	10	金	博物館講座室	サンワコムシステムエンジニアリング(株)/安全大会
2	1	水	美術館講座室	(株)公文エルアイエル/教室開設説明会	11	11	土	博物館実習室	NPO 法人沖縄県美術館支援会 happ/第2回理事会
3	2	木	美術館講座室	(株)シャイン総研/ホレボレ経営計画研修会	12	11	土	博物館講座室	沖縄県高等学校教頭・副校長会/平成25年度第1回研究協議会
4	5	日	美術館講座室	ミキ・ワールド沖縄/食の勉強会	13	11	土	スタジオ	沖縄タヒボ会事務局/沖縄タヒボ会認定講座
5	8	水	スタジオ	(株)ヴィーダ/ラポール倶楽部事業説明会	14	11	土	県民アトリエ	リカルド・フラメンコ&タンゴスタジオ/Pasion y Emocion Flamenco Live
6	8	水	共有講堂	万国津梁会/講演	15	11	土	美術館講座室	沖縄語普及協会/幼児教育育成講座
7	8	水	博物館講座室		16	11	土	美術館講座室	(有)エムティ企画/電解水素水と健康の証明(仮称)
8	9	木	博物館講座室	第50回九州沖縄地区国立高等専門学校体育大会連絡協議会	17	12	日	博物館実習室	池間方言研究会/池間方言研究
9	9	木	博物館実習室	ソニー生命(株)/金陽塾	18	12	日	博物館講座室	日本公文教育研究会/公文試験会場



No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)
19	12	日	県民アトリエ	ブルーローズリミテッド/女性企業家人生形成セミナー	51	19	日	県民アトリエ	(株)バイオリサーチ/加藤医学博士による講演会
20	12	日	美術館講座室	ル・レモンターナショナル(株)/事業説明会	52	19	日	美術館講座室	海気コーポレーション/加藤医学博士による講演会
21	14	火	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング(株)/安全大会	53	21	火	博物館実習室	イスラン/勉強会
22	14	火	博物館講座室	なはプロッコリー/やんばるの盛の危機～世界自然遺産登録をめざして～	54	21	火	スタジオ	全国運転代行共済協同組合 沖縄県支部/総会
23	14	火	美術館講座室	(株)リリアン/リ・コエンザイム (還元性ミネラル岩塩) の働き	55	21	火	美術館講座室	(株)ヴィーダ/ラポール倶楽部山本弘人講演会
24	15	水	美術館講座室	生活協同組合 コープおきなわ/地域別総代会議 那覇Bブロック (キャンセル)	56	22	水	博物館実習室	琉球三線楽器保存育成会/三線鑑定会
	15	水	県民アトリエ		57	22	水	博物館講座室	りゅうせき商事(株)/会社説明会
25	15	水	博物館実習室	アップリンクジャパン/スマイル説明会	58	22	水	スタジオ	イスラン/勉強会
26	15	水	博物館講座室	サンワコムシスエンジニアリング(株)/安全大会	59	22	水	県民アトリエ	L.E.J (ライフ・アース・ジャパン) 管理本部/L.E.J (ライフ・アース・ジャパン) 説明会
27	15	水	スタジオ	アクサ生命保険(株)/社員研修	60	22	水	美術館講座室	タマホーム沖縄(株)/タマホーム沖縄協会工国会議 (キャンセル)
28	15	水	美術館講座室	(株)ホームリサーチ東京/HR三ツ星工務店説明会	61	22	水	共有講	日本公文教育研究会/Baby Kumonフォローアップセミナー
29	15	水	美術館講座室	盛和塾 沖縄/定例会	62	22	水	共有講	在沖米国総領事館/シンポジウム「南シナ海の安全保障と日米同盟の役割」
30	15	水	共有講	平和をつくる琉球弧活動センター/アジアの平和を考える講演とシンポジウム (仮称)	63	23	木	博物館講座室	(公財) 沖縄県産業振興公社/「沖縄文化等コンテンツ産業創出支援事業」事業説明会
31	16	木	博物館実習室	ライフバンテージ/アンチエイジングの勉強会	64	23	木	スタジオ	(株)公文エルアイエル/公文書写教室
32	16	木	スタジオ	沖縄県損害保険代理業協会/ハウスデポ「フラット35」セミナー	65	23	木	県民アトリエ	L.E.J (ライフ・アース・ジャパン) 管理本部/L.E.J (ライフ・アース・ジャパン) 説明会
33	17	金	スタジオ		66	23	木	美術館講座室	アクサ生命保険(株)/主任リーダー会議
34	17	金	博物館講座室	グローバルハイシティ/勉強会	67	24	金	博物館講座室	沖縄県文化協会/平成25年度 沖縄県文化協会 定期総会
35	17	金	県民アトリエ	ピオ倶楽部(株)/アミノ酸についての勉強会	68	24	金	博物館講座室	全管協/新新ビジネスセミナー
36	17	金	子供アトリエ	ユニチャームメリック(株)/会議	69	24	金	美術館講座室	(株)ハウ/コーヒーエナメゴ愛用者フォローアップ講習会
37	17	金	美術館講座室	日本賃貸住宅管理協会沖縄支部/相続支援講習「基礎コース」試験会場	70	24	金	美術館講座室	(株)阪急交通社 沖縄支店/阪急トラビックス 国内旅行説明会
38	17	金	美術館講座室	梅沢しげお後援会・日本航空学園/梅沢しげお講演会	71	25	土	博物館実習室	美術館支援会 happ/総会
39	17	金	共有講	堀下社会保険労務士事務所/「問題社員対応48手」出版記念講演会	72	25	土	博物館講座室	万国津梁機構/「夢と希望とロマンに満ちた講演会」
40	18	土	子供アトリエ	版の会/版画教室	73	25	土	博物館講座室	家庭倫理の会那覇市/倫理セミナー
41	18	土	スタジオ	(株)ヒューマンキャピタル/海外留学・言語研修等の説明会 (キャンセル)	74	25	土	スタジオ	(株)ミロス研究所/ロスコによるオーディション講座上映会
42	18	土	美術館講座室	沖縄の教育を良くする会/テレビ「生命の光」を見る会	75	25	土	美術館講座室	ライフバンテージ/アンチエイジングの勉強会
43	18	土	美術館講座室	沖縄語普及協会/幼児教育育成講座	76	25	土	共有講	干瀬の会/第20回 記念講演会～源氏物語を読む～
44	18	土	美術館講座室	琉球 Software(株)/琉球 Software(株) 採用試験	77	26	日	博物館実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室
45	18	土	共有講	玉城いずみ会 おもろまち支部道場/第4回学習発表会リハーサル	78	26	日	スタジオ	SARA エンタープライズ/SARA ハピッツ トレーニング
46	18	土	博物館講座室	一般社団法人 IT 検証産業協会・一般社団法人コンピュータ教育振興協会/IT 検証技術者認定試験準備	79	26	日	県民アトリエ	家庭倫理の会 那覇市/こども倫理塾
					80	26	日	美術館講座室	(株)ロスコバランス/ロスコアカデミー
47	19	日	共有講	玉城いずみ会 おもろまち支部道場/第4回学習発表会	81	26	日	共有講	沖縄生物学会/50周年特別講演会「生物学徒が見た沖縄」
48	19	日	美術館講座室	玉城いずみ会 おもろまち支部道場/第4回学習発表会 控室	82	28	火	博物館講座室	(株)ラジカル沖縄/第8回ビジネスルーキーセミナー
49	19	日	博物館講座室	一般社団法人 IT 検証産業協会・一般社団法人コンピュータ教育振興協会/IT 検証技術者認定試験	83	28	火	美術館講座室	盛和塾 沖縄/キックオフ会
					84	28	火	美術館講座室	ル・レモンターナショナル/事業説明会
50	19	日	スタジオ	地域文化支援ネットワーク・沖縄ある記/沖縄ある記報告会及び勉強会	85	28	火	博物館実習室	(公社) インテリア産業協/事業報告会

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
86	28	火	共講有堂	(公社)インテリア産業協会/インテリアトレンドビジョン2013~ヨーロッパ最新展示会レポート~	91	30	木	博物館実習室	(株)オーバースカイ/通信(iPad・iPhone等)勉強会
					92	30	木	スタジオ	伊集設計・サンクスアイ/植物性ミネラルによる食育、農育
87	29	水	博物館講座室	沖縄博物館友の会/総会	93	30	木	美術館講座室	(株)シャイン総研/ホレボレ事業計画研修・キャッシュフロー経営講座
88	29	水	博物館講座室	徐葆光が見た琉球・映画製作委員会・シネマ沖縄/映画「徐葆光が見た琉球」完成試写会	94	30	木	博物館講座室	病院事務局県立病院課病院事務局/新採用職員研修
					95	31	金	博物館講座室	
89	29	水	スタジオ	ピオ倶楽部(株)/アミノ酸の説明会	96	31	金	美術館講座室	IEユニオン/インテンションエネジーセミナー
90	29	水	美術館講座室	日本秘書クラブ沖縄支部/ビジネス文章筆記試験対策講座	97	31	金	美術館講座室	沖縄県囲碁連盟/平成25年度 定期総会

【2013年6月】

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
1	1	土	博物館講座室	沖縄工業高等専門学校/学校説明会	24	8	土	県民アトリエ	うちなーモニトランポ・尾尻義彦/モニトランポリン運動研修会
2	1	土	美術館講座室	沖縄語普及協会/幼児教育育成講座	25	9	日	県民アトリエ	
3	1	土	美術館講座室	クラブビスジャパン(株)/クラブビス水の説明会	26	9	日	博物館実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室
4	2	日	博物館講座室	(株)トリム・(株)トリムフーズ/社員総会、飲食事業部 繁盛会議	27	9	日	スタジオ	伊集設計・サンクスアイ/植物性ミネラルによる食育、農育
5	2	日	県民アトリエ	ハピネス新都心 管理組合/ハピネス新都心 管理組合総会	28	9	日	美術館講座室	日本秘書クラブ沖縄支部/ビジネス電話検定試験
6	2	日	美術館講座室	ミキ・ワールド沖縄/食の勉強会	29	9	日	共講有堂	文教楽器(株)/ヤマハ大人の教室発表会
7	2	日	共講有堂	在日本大韓民国沖縄地方本部/第7回韓国語弁論大会	30	11	火	博物館実習室	ピオ倶楽部(株)/呉崎医学博士講演会
8	4	火	スタジオ	アクセス/勉強会	31	11	火	博物館講座室	沖縄県国民健康保険団体連合会/平成25年度 国保担当新任職員研修会
9	5	水	博物館講座室	沖縄税務経理学院/OA 経理事務科 選考試験	32	11	火	美術館講座室	(株)ラジカル沖縄/第9回 Rookie ビジネスセミナー
10	6	水	美術館講座室	日本賃貸管理住宅管理協会沖縄県支部/相続支援講習会・試験会場	33	12	水	博物館講座室	沖縄メットライフアリオ会/AED 講演メイクアライブジャパン講演
11	6	木	博物館実習室	(有)ユニバーサルコンパス/研修会	34	12	水	美術館講座室	ル・レモインターナショナル(株)/事業説明会(キャンセル)
12	6	木	博物館講座室	戦略塾/エイティエス(株)/「中小企業になぜ戦略が必要か」戦略塾開講1周年記念戦略塾オープンセミナー	35	12	水	美術館講座室	伊集設計・サンクスアイ/植物性ミネラルによる食育、農育
					36	13	木	博物館実習室	アクサ生命/社員研修
13	6	木	スタジオ	(株)地域科学研究所/採用試験	37	13	木	博物館講座室	沖縄県総務部税務課/平成25年度地方税徴収担当職員研修
14	6	木	美術館講座室	(株)ファイナンシャルリンク/海外口座を活用した資産保全講座	38	13	木	美術館講座室	労働保険事務組合 福働会/事務組合総会
15	6	木	美術館講座室	ユニ倶楽部/資産保護勉強会	39	14	金	博物館実習室	L.E.J(ライフ・アース・ジャパン) 管理本部/L.E.J(ライフ・アース・ジャパン) 説明会
16	7	金	博物館講座室	(株)TKC 沖縄支部/事業再生研修会	40	14	金	博物館講座室	外間経営労務管理事務所/「活用できる助成金の提案」&「職場活性化で経営力アップを」
17	7	金	美術館講座室	ジブラルタ生命(株)/教弘委員会	41	14	金	博物館講座室	りゅうせき商事(株)/H25年採用試験
18	8	土	博物館講座室	飛鳥昭雄ファンクラブ/第二回飛鳥昭雄「失われた邪馬台国の末裔 蘇る琉球民族の謎！」	42	14	金	美術館講座室	(株)ケイオパートナーズ/沖縄型ジョブシャドウ事業6月度全体会議
19	8	土	博物館講座室	尚友会・沖縄尚学高校同窓会/尚友会・定時総会	43	15	土	博物館講座室	グローバルハイシティ/勉強会
20	8	土	スタジオ	琉球大学教育学部生活科/琉大生活科学研究博物館実習	44	15	土	県民アトリエ	L.E.J(ライフ・アース・ジャパン) 管理本部/L.E.J(ライフ・アース・ジャパン) 説明会
21	8	土	子供アトリエ	琉球大学生涯学習教育研究センター/琉球大学公開講座「モニトランポリン運動の健康科学講座」	45	15	土	子供アトリエ	版の会/版画教室
					46	15	土	美術館講座室	沖縄語普及協会/幼児教育育成講座
22	8	土	美術館講座室	沖縄語普及協会/幼児教育育成講座	47	15	土	美術館講座室	クラブロスコ/ミロスセミナー 講師 藤森美江
23	8	土	共講有堂	琉球大学生涯学習教育研究センター/琉球大学公開講座「モニトランポリン運動の健康科学講座」	48	15	土	共講有堂	沖縄単独州議 OB 会/特例型沖縄単独州シンポジウム
					49	16	日	博物館講座室	日本秘書クラブ 沖縄支部/サービス遭遇検定試験

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)
50	16	日	県民 アトリエ	池間方言研究会/池間宮古方言教室	67	20	木	美術館 講座室	(株)大城マネジメント/変形労働時間制と 残業代算出の適正管理
	16	日	子供 アトリエ	池間方言研究会/池間宮古方言教室	68	20	木	美術館 講座室	アクセス/勉強会
51	16	日	美術館 講座室	(有)海気コーポレーション/医学博士に よる健康講座	69	21	金	博物館 講座室	公共建設協会・しまたて協会/「良質な 公共建築の整備を目指して新営予算単価 と設計料算定説明会」
52	16	日	共有 講堂	沖縄県立南部医療センター/第27回日本 小児救急医学会市民公開講座					
53	18	火	博物館 実習室	イスラン/東洋医学の勉強会	70	21	金	スタジオ	(株)公文エルアイエル/公文書写教室 教材持寄り研究講座
54	18	火	博物館 実習室	泰成(株)・悠々健美倶楽部/事業説明会	71	21	金	スタジオ	NPO 法人沖縄県立美術館支援会happ/理 事会
55	18	火	博物館 講座室	「一般社団法人 CRM 協議会/沖縄キック オフフォーラム2013」	72	21	金	美術館 講座室	沖縄県福祉ネットワーク協会福祉・教育・ 医療従事者の臨床美術研修会
56	18	火	美術館 講座室	沖縄環境取引所/第7回 沖縄国産クレ ジット研究会	73	21	金	美術館 講座室	NPO メイド・イン・沖縄プロジェクト/メ イド・イン・沖縄プロジェクト定例会
57	18	火	共有 講堂	明治安田生命/7月チャレンジ研修 (キャン セル)	74	21	金	共有 講堂	沖縄総合事務局消費安全課/食育講演会
58	19	水	博物館 実習室	泰成(株)・悠々健美倶楽部/事業説明会	75	21	金	共有 講堂	(株)アドスタッフ博報堂/平成25年度元気 プロジェクト公募説明会
59	19	水	博物館 実習室	アップリンクジャパン(株)/沖縄営業所ス マイル説明会	76	22	土	博物館 講座室	万国津梁機構/定例講演会
60	19	水	博物館 講座室	建設情報技術センター・(株)コンピュ ータシステム研究所/平成25年度沖縄県総合 評価方式セミナー	77	22	土	スタジオ	"(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外留学・ 言語研修等の説明会 (キャンセル)
					78	22	土	美術館 講座室	沖縄の教育を良くする会/テレビ「生命 の光」を見る会
61	19	水	博物館 講座室	(株)沖縄銀行/おきぎん投資環境セミナー	79	22	土	美術館 講座室	沖縄語普及協議会/幼児教育育成講座 (キャンセル)
62	19	水	美術館 講座室	タマホーム沖縄(株)/協会の工程会議	80	23	日	博物館 実習室	家庭倫理の会那覇市/こども倫理塾
63	19	水	共有 講堂	日本公文教育研究会/指導者特別講座< 国語>	81	23	日	博物館 講座室	沖縄県眼科医会/第114回 沖縄眼科集談 会
64	19	水	共有 講堂	沖陸会・沖縄日立研規(株)/地雷除去に挑 む豊かで平和な大地への復興	82	23	日	美術館 講座室	日本秘書クラブ沖縄支部/ビジネス電話 検定試験
65	20	木	博物館 実習室	家庭倫理の会那覇市/繁多川支部倫理セ ミナー (キャンセル)	83	12~16		スタジオ	(株)ダイアナマーケティングコミュニケーション 本部/ダイアナ3Dスキャナー体験イベント
66	20	木	スタジオ	ライフバンテージ/アンチエイジングの 勉強会					

【2013年7月】

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)
1	3	水	県民 アトリエ	(株)ベルシステム24/ベルシステム24研修 会	15	7	日	子供 アトリエ	光画文化研究会/フラグメンツ4ワークショッ プ講評会
2	3	水	共有 講堂	(株)大川/第45期事業計画発表会	16	7	日	共有 講堂	(有)マリンスポーツAKA/ザ・チョゼ リ ンポチェ 今野 華都子 講演会
3	4	木	博物館 講座室	りゅうぎんビジネスクラブ/りゅうぎん マネジメントスクール	17	7	日	共有 講堂	キャサリンを迎える会/心に海染みり (ちむにうみすみり) 講演会
4	4	木	県民 アトリエ	イタリアントマトカフェ Jr./勉強会	18	9	火	博物館 講座室	沖縄県高等学校地理歴史科公民科教育研究会 /平成25年度第36回沖縄地歴公民研究定期総会
5	5	金	博物館 講座室	家庭倫理の会/普及研修	19	9	火	美術館 講座室	ル・レモインターナショナル(株)/事業説 明会 (キャンセル)
6	5	金	スタジオ	AIU 沖縄代理店会/AIU 沖縄代理店会 (セミナー)	20	9	火	美術館 講座室	伊集設計・サンクスアイ/食育、農育の 勉強会
7	5	金	美術館 講座室	バナホーム(株)支社/介護事業サポートセ ミナー	21	10	水	共有 講堂	日本公文教育研究会/入会初期指導講座
8	5	金	共有 講堂	(株)First Line/眠りから沖縄を変える！眠 りのシンポジウム	22	10	水	共有 講堂	アクサ生命保険(株)/セミナー
9	6	土	博物館 講座室	家庭倫理の会那覇市/「新世」体験記解 説	23	10	水	博物館 講座室	沖縄県税務課/滞納整理研修会
10	6	土	博物館 講座室	(株)ルーツ/若手福祉従事者ネットワーク フォーラム (キャンセル)	24	11	木	博物館 講座室	
11	6	土	共有 講堂	(有)エムティ企画/活性酸素を消す電解還 元水の科学と健康	25	11	木	美術館 講座室	L.E.J (ライフ・アース・ジャパン) 管理本部/L. E.J (ライフ・アース・ジャパン) 説明会
12	7	日	博物館 実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室	26	11	木	共有 講堂	沖縄情報通信懇談会/沖縄デジタル映像 祭コンテンツセミナー
13	7	日	博物館 講座室	日本秘書クラブ沖縄支部/ビジネス文章 検定試験	27	11	木	共有 講堂	アメリカンホーム保険会社・(株)ライツア パートメント/「ガレキとラジオ」上映会
14	7	日	スタジオ	サンクスアイ(株)/健康セミナー	28	12	金	博物館 実習室	パシフィックサプライ(株)/みんなの広場 フェスタ

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
29	12	金	博物館講座室	りゅうぎんビジネスクラブ/りゅうぎんマネジメントスクール	63	21	日	共講 有堂	(株)西山音楽事務所/エコー・ド・ミュージック音楽発表会リトミック・ミュージック少年少女合唱団の部
30	12	金	博物館講座室	NTT 労働組合 沖縄総支部/西本部対話会					
31	12	金	美術館講座室	(株)ケイオーパートナーズ/沖縄型ジョブシャドウウイング事業7月度全体会議	64	21	日	博物館実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室
32	12	金	美術館講座室	ジブラルタ生命保険(株)沖縄エリア/教弘委員会	65	21	日	博物館講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外短期インターシップ事前研修
33	12	金	共講 有堂	パシフィックサプライ(株)/みんなの広場フェスタ	66	21	日	県民アトリエ	うちなーミニトランポ・尾尻義彦/ミニトランポリン・ワークショップ
34	13	土	博物館実習室	(株)ビジネス・ブレイクスルー/ビジネス・ブレイクスルー大学説明会					
35	13	土	博物館講座室	ラジオ NIKKEI/IR セミナー & 櫻井英明の投資知識研究所 in 沖縄	67	21	日	子供アトリエ	版の会/版画教室
36	13	土	博物館講座室	(株)ビジネス・ブレイクスルー/無料セミナー 億万長者を生み出すプラットフォーム戦略	68	21	日	美術館講座室	海気コーポレーション/医学博士の健康講演会
37	13	土	スタジオ	(株)ヒューマンキャピタル/海外留学・言語研修等の説明会(キャンセル)	69	23	火	博物館実習室	イスラン/勉強会
38	13	土	県民アトリエ	フロム沖縄推進機構/WRD Japan 沖縄口ポット大会試走会	70	23	火	博物館講座室	(株)ラジカル沖縄/第10回ルーキービジネスセミナー
	13	土	子供アトリエ		71	23	火	美術館講座室	盛和塾 沖縄/キックオフ会
39	13	土	美術館講座室	(株)ミロス研究所/ミロスリスト養成講座2013特別講義	72	23	火	美術館講座室	アクサ生命保険(株)/先進医療セミナー
40	13	土	共講 有堂	琉球大学企画評価戦略室/地域から頼られる琉球大学へ	73	24	水	美術館講座室	(株)ロスコバランス/いま明らかされる親と子の関係に潜む人生のトリック
41	14	日	博物館講座室	(株)ミロス研究所/ミロスリスト養成講座2013特別講義	74	24	水	共講 有堂	ひめゆり平和祈念資料館/「アニメひめゆり」完成上映イベント ひめゆりから伝言 次世代へ
42	14	日	美術館講座室	ミキ・ワールド沖縄/食の勉強会					
43	14	日	共講 有堂	ピアノハウスジスト/HAPPY CONCERT 15	75	25	木	博物館講座室	一般社団法人沖縄損害保険代協業協会/日本代協認定試験・資格更新研修試験
44	15	月	博物館講座室	メイド・イン・沖縄・プロジェクト/木の文化 沖縄と日本の木工	76	25	木	博物館講座室	社会保険労務士法人パソナル・マネジメント/助成金勉強会
45	15	月	美術館講座室	L.E.J(ライフ・アース・ジャパン) 管理本部/L.E.J(ライフ・アース・ジャパン) 説明会	77	25	木	県民アトリエ	ブルーローズリミテッド/女性企業家人生形成セミナー
46	15	月	共講 有堂	喜屋武音楽教室/発表会	78	25	木	美術館講座室	(株)ロスコバランス/ミロスセミナー
47	17	水	スタジオ	ライフバンテージ/アンチエイジングの勉強会	79	25	木	共講 有堂	沖縄県商業教育研究会/第55回 沖縄商業教育研究発表大会 準備&リハーサル
48	17	水	県民アトリエ	ビュアクリスタル(株)/実体験セミナー	80	26	金	博物館講座室	沖縄県商業教育研究会/第55回 沖縄商業教育研究発表大会
49	17	水	美術館講座室	タマホーム沖縄(株)/協会会工程会議	81	26	金	共講 有堂	
50	17	水	美術館講座室	日本秘書クラブ沖縄支部/秘書検定準1級面接対策講座	82	25	木	スタジオ	沖縄県商業教育研究会/第55回 沖縄商業教育研究発表大会(キャンセル)
51	18	木	博物館実習室	(株)マルコサポート/サンク取次店連絡会	83	26	金	博物館実習室	沖縄県商業教育研究会/第55回 沖縄商業教育研究発表大会(キャンセル)
52	18	木	美術館講座室	ル・レモインターナショナル(株)/事業説明会(キャンセル30%)	84	26	金	美術館講座室	一般社団法人沖縄損害保険代理業協会/損害保険大学課程 第1回コンサルティングセミナー
53	18	木	スタジオ	公文エルアイエル/開設前研修	85	26	金	スタジオ	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happp/第4回 happ 理事会
54	18	木	美術館講座室	りゅうせき商事(株)/「建物診断・既存瑕疵保険の概要」「中古住宅とMSJフラット35」	86	27	土	博物館講座室	伊集設計・サンクスアイ/食育、農育の勉強会
55	18	木	県民アトリエ	(株)沖縄銀行/介護事業者向け 経営戦略セミナー	87	27	土	美術館講座室	ミロスリスト/養成講座2013 Mの講義
56	18	木	共講 有堂	(株)公文エルアイエル/公文書写教室 講座会場	89	27	土	共講 有堂	沖縄食糧(株)/新発見 金芽米に免疫活性化成分金芽米の「亜糊粉層」に生活習慣病予防の期待
58	20	土	博物館講座室	万国津梁機構/定例講演会「夢と希望とロマンに満ちた講演会」					
59	20	土	博物館講座室	沖縄工業高等専門学校/学校説明会	90	27	土	共講 有堂	東アジア共同体創設機構/東アジア時代における沖縄の自立経済
60	20	土	スタジオ	石川部品店・沖縄ツーリスト/石川・横浜会総会	91	27	土	スタジオ	フロム沖縄推進機構/WRO Japan 沖縄口ポット大会 試走会
61	20	土	美術館講座室	沖縄の教育を良くする会/テレビ「生命の光」を見る会	92	28	日	スタジオ	
62	20	土	共講 有堂	(株)西山音楽事務所/エコー・ド・ミュージック音楽発表会 準備	93	28	日	美術館講座室	(株)ハウ/コーヒーエネマご愛用者フォローアップ講習会

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
94	28	日	美術館講座室	クラヴィスジャパン(株)/クラヴィス水の勉強会	101	31	水	スタジオ	ピオ倶楽部(株)/呉崎医学博士講演会
95	28	日	共有講堂	日本肝臓学会・琉球大学病院第一内科医局/肝臓の病気を正しく理解するために	102	31	水	県民アトリエ	ハウオ リズモーラナ/フラダンスの練習
96	30	火	博物館講座室	盛和塾沖縄/定例会	103	31	水	美術館講座室	公文エルアイエル/開設前研修
97	30	火	美術館講座室	公文エルアイエル/公文書写教室開設説明会	104	31	水	共有講堂	沖縄県下水道協会/平成25年度 下水道排水設備工事責任技術者更新講習会
98	30	火	美術館講座室	(株)アイエナジー/太陽光に関する研修会	105	17~19		子供アトリエ	日本整形淋巴医学研究所/リンパに対する勉強会
99	30	火	共有講堂	徐葆光が見た映画製作委員会/映画「徐葆光が見た琉球」					
100	31	水	博物館講座室	沖縄県商工労働部労政能力開発課/平成25年度労働大学講座および勤労青少年の日記念講演会					

【2013年8月】

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
1	1	木	博物館講座室	総合福祉研究会/社会福祉会計簿記入門講座	26	7	水	共有講堂	沖縄県総合精神保健福祉センター/ゲートキーパー養成研修
2	1	木	スタジオ	(株)公文エルアイエル/公文書写教室 教材持寄り研究講座	27	8	木	博物館講座室	(株)琉球銀行総合企画部/第11回りゅうぎんキッズスクール
3	1	木	美術館講座室	(株)ダイワサービス沖縄営業所/ダイワサービス ハートブリーザー研修	28	8	木	スタジオ	ピオ倶楽部(株)/呉医学博士講演会
4	2	金	博物館講座室	一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会/日本代協認定保険代理士認定試験	29	8	木	美術館講座室	(株)大城マネジメント研究所/管理監督者のための変形労働時間制・残業代算出の適正管理
5	2	金	博物館講座室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構/WRO Japan 沖縄ロボット大会準備	30	8	木	美術館講座室	ソニー生命保険(株)/金陽塾
6	2	金	スタジオ	フロム沖縄推進機構/小中学生向けロボット教室	31	9	金	博物館講座室	沖縄県金融広報委員会・日本証券業協会/平成25年度 授業に役立つ金融経済セミナー
7	2	金	県民アトリエ	琉球芸能大使館/「琉球芸能」体育館に行く！南部地区作品上映+ワークショップ	32	9	金	県民アトリエ	エステサロンしらせ/ビーワン商品説明会
8	2	金	子供アトリエ		33	9	金	美術館講座室	(株)ロスコバランス/ミロスセミナー
9	2	金	美術館講座室	IEユニオン/インテンションエナジーセミナー	34	9	金	美術館講座室	沖縄県高等学校家庭科教育研究会/平成25年度 沖縄県高等学校家庭科教育研究会 夏季研修会
10	2	金	共有講堂	ワンストップ支援センター/大藪順子講演会STAND・性暴力をゆるさない社会をめざして-	35	9	金	美術館講座室	ジブラルタル生命(株)沖縄エリア/ジブラルタル生命 教弘委員会
11	2	金	共有講堂	ピオ倶楽部(株)/平良一彦医学博士・メーカー講演会	36	10	土	博物館講座室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構/ET ロボコン 2013 沖縄地区試走会
12	3	土	博物館講座室	特定非営利活動法人フロム沖縄推進機構/WRO Japan 沖縄ロボット大会	37	10	土	スタジオ	SARA エンタープライズ/アトラクティブセミナー
13	3	土	美術館講座室	ジョイ・インターナショナル(株)/健康講座(珪素について)	38	10	土	県民アトリエ	エイシア/勉強会
14	3	土	美術館講座室	(有)ユニバーサルコンパス/研修会	39	10	土	美術館講座室	元気が一番/若手教師パワーアップセミナー「元気が一番」塾 夏季セミナー
15	3	土	スタジオ	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外留学・言語研修等の説明会(キャンセル)	40	10	土	共有講堂	沖縄県立博物館友の会/文化講演会「沖縄人はどこから来たのか どこへ行くのか？」
16	3	土	共有講堂	公益社団法人 沖縄県建築士会/第13回建築セミナー	41	11	日	博物館実習室	(株)LEJ 管理本部/植物ミネラル勉強会
17	4	日	博物館講座室	琉球大学熱帯生物圏研究センター/市民公開シンポジウム	42	11	日	博物館講座室	日本耳鼻咽喉科学会/市民公開講座 鼻の日講演会~補聴器相談/みみ・はな・のどなんでも相談
18	4	日	美術館講座室	ミキ・ワールド沖縄/食の勉強会	43	11	日	共有講堂	日本耳鼻咽喉科学会/市民公開講座 鼻の日講演会
19	4	日	美術館講座室	(有)海気コーポレーション/医学博士による健康講座	44	12	月	共有講堂	沖縄県特別支援学校中学部文化連盟/第19回特別支援学校総合文化祭オープニングセレモニー
20	6	火	博物館講座室	りゅうぎんビジネスクラブ/りゅうぎんマネジメントスクール	45	13	火	共有講堂	
21	6	火	スタジオ	公文エルアイエル/公文書写教室 開設後研修	46	13	火	博物館実習室	(株)ヴィゴライフ/セミナー
22	7	水	博物館講座室	(株)求人おきなわ/2014年(株)求人おきなわ新卒採用試験	47	13	火	スタジオ	南城市立中学校社会科教諭/夏季研修会
23	7	水	博物館講座室	日本公文教育研究会/公文認定テスト	48	13	火	美術館講座室	(株)LEJ 管理本部/植物ミネラル勉強会
24	7	水	県民アトリエ	(株)琉球銀行総合企画部/第11回りゅうぎんキッズスクール					
25	7	水	子供アトリエ						

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)
49	14	水	博物館 講座室	(株)国際旅行社/ハワイ親善交流の旅	80	25	日	スタジオ	(株)ケイショウカイ/MD化粧品販売店セミナー (キャンセル)
50	14	水	スタジオ	あいおいニッセイ同和労組 沖縄区会/第8回 沖縄区会総会	81	25	日	スタジオ	サンクスアイ/健康セミナー
51	14	水	美術館 講座室	金日成・金正日主義研究沖縄連絡会/第5回研究会	82	25	日	県民 アトリエ	うちなーミニトランポ・尾尻義彦/ミニトランポリン・ワークショップ
52	15	木	博物館 実習室	沖縄フードビジネス会/定例会	83	25	日	子供 アトリエ	版の会/版画教室
53	15	木	美術館 講座室	タマホーム沖縄(株)/タマホーム沖縄協働会工程会議	84	25	日	子供 アトリエ	版の会/版画教室
54	16	金	博物館 実習室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部/支部定例会	85	25	日	美術館 講座室	(株)ミロス研究所/ミロスリスト養成講座2013特別講義
55	16	金	共有 講堂	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部/全管協新新ビジネスセミナー	86	27	火	博物館 講座室	(株)琉球銀行/りゅうぎん医療セミナー
56	16	金	博物館 講座室	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合/第55回「教育運動交流集会」・第29回「カリキュラム編成講座」	87	27	火	スタジオ	サンクスアイ/健康セミナー
57	17	土	博物館 講座室	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合/第55回「教育運動交流集会」・第29回「カリキュラム編成講座」	88	27	火	美術館 講座室	盛和塾沖縄/キックオフ会
58	16	金	美術館 講座室	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合/第55回「教育運動交流集会」・第29回「カリキュラム編成講座」	89	27	火	美術館 講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外ジョブトレーニング事前研修3
59	17	土	美術館 講座室	沖縄県高等学校障害児学校教職員組合/第55回「教育運動交流集会」・第29回「カリキュラム編成講座」	90	27	火	共有 講堂	ピオ倶楽部(株)/宮原先生講演会
60	16	金	博物館 講座室	一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー/平成25年度 修学旅行推進強化事業説明会	91	27	火	スタジオ	日本整形淋巴医学研究所・(株)ビジュアルネットワーク/NDTメンタルセミナー準備
61	16	金	県民 アトリエ	(株)コープ沖縄サービス/第5回株主総会	92	28	水	スタジオ	日本整形淋巴医学研究所/NDTメンタルセミナー
62	17	土	博物館 実習室	アクセス/事業説明会	93	28	水	博物館 講座室	沖縄県税務課/平成25年度 賦課徴収事務研修会
63	17	土	美術館 講座室	沖縄の教育を良くする会/テレビ「生命の光」を見る会	94	28	水	美術館 講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外ジョブトレーニング事前研修4
64	22	木	博物館 講座室	ロスコバランス/会員限定勉強会	95	28	水	共有 講堂	沖縄県健康増進課/第62回保健師業務研究発表会 準備
65	22	木	スタジオ	ライフバンテージ/アンチエイジングの勉強会	96	29	木	共有 講堂	沖縄県健康増進課/第62回保健師業務研究発表会
66	22	木	美術館 講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外ジョブトレーニング事前研修1	97	30	金	共有 講堂	沖縄県健康増進課/平成25年度保健師研修会
67	22	木	共有 講堂	沖縄総合事務局/沖縄県産業振興公社/商談スキル向上セミナー	98	30	金	美術館 講座室	沖縄県健康増進課/平成25年度保健師研修会意見交換会
68	23	金	博物館 講座室	(株)ラジカル沖縄/第11回ルーキービジネスセミナー	99	30	金	博物館 実習室	
69	23	金	美術館 講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外ジョブトレーニング事前研修2	100	30	金	県民 アトリエ	
70	24	土	博物館 講座室	NPO法人統合医療と健康を考える会/第22回 がん治療の鍵セミナー	101	30	金	子供 アトリエ	アップリンクジャパン(株)沖縄営業所/スマイル説明会
71	24	土	博物館 講座室	トラムで未来をつくる会/第5回LRTワークショップ	102	29	木	博物館 実習室	沖縄県税務課/平成25年度 賦課徴収事務研修会
72	24	土	スタジオ	NPO法人沖縄人材クラスタ研究会/中小企業魅力発見事業「Gut's」事前研修	103	29	木	博物館 講座室	(株)ケイオパートナーズ/就活パワフルサポートBグループコーディネイト研修会
73	24	土	共有 講堂	NPO法人沖縄人材クラスタ研究会/平成25年度 人材育成推進者養成講座	104	29	木	美術館 講座室	沖縄県税務課/平成25年度 賦課徴収事務研修会
74	24	土	県民 アトリエ	生活協同組合沖縄県高齢者協同組合/生活協・沖縄高齢協8月度定例理事会	105	29	木	美術館 講座室	沖縄県税務課/平成25年度 賦課徴収事務研修会
75	24	土	子供 アトリエ	光画文化研究会/フラグメンツ4ワークショップ講評会	106	30	金	博物館 講座室	盛和塾沖縄/定例会
76	24	土	美術館 講座室	(株)ミロス研究所/ミロスリスト養成講座2013特別講義	107	30	金	美術館 講座室	沖縄県立美術館支援会 happ/第5回 happ理事会
77	25	日	博物館 実習室	(有)元気塾/Happy33club 勉強会	108	30	金	美術館 講座室	万国津梁機構/定例講演会
78	25	日	博物館 実習室	ピースボート・(株)ジャパングレイス/第83回 ピースボート地球一周の船旅オプションツアー相談会	109	31	土	博物館 講座室	クラビスジャパン/クラビス水の勉強会
79	25	日	博物館 講座室	フリーベル天久新都心第2管理組合・松山ハウジング/マンション管理組合総会	110	31	土	美術館 講座室	(株)海洋平和/セミナー
					111	31	土	美術館 講座室	

【2013年9月】

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
1	1	日	博物館講座室	(株)建築資料研究社日建学院/設計製図講習	35	12	木	博物館講座室	沖縄事業再生研究会/9月理事会、勉強会(事業の長期継続をサポートするオフアミリーオフィス)
2	1	日	スタジオ	サンクスアイ/健康セミナー	36	12	木	美術館講座室	ソニー生命保険/金陽塾
3	1	日	共有講堂	一般社団法人日本沖縄華僑華人総会/第10回沖縄日中友好カラオケ大会	37	12	木	美術館講座室	(株)東京リーガルマインド/ジョブ・カード研修 1日目
4	3	火	博物館実習室	イスラン/勉強会	38	13	金	博物館講座室	(株)東京リーガルマインド/ジョブ・カード研修 2日目
5	3	火	博物館講座室	沖縄タイムス/第27回沖縄県トータルリビングショー説明会	39	13	金	美術館講座室	(株)ケイオーパートナーズグッジョブおきなわ推進事務局/7月度全体会議
6	4	水	博物館講座室	沖縄県税務課/平成25年度地方税徴収担当職員研修会(滞納整理編)	40	13	金	美術館講座室	(株)ケイオーパートナーズグッジョブおきなわ推進事務局/沖縄型ジョブシャドウイング事業研修会
7	4	水	美術館講座室	玉木流琉装からじ結い研究会/くしの日 美ら姿 結い遊び	41	13	金	美術館講座室	サンクスアイ/健康セミナー
8	5	木	博物館講座室	沖縄県税務課/平成25年度地方税徴収担当職員研修会(滞納整理編)	42	13	金	共有講堂	リジョイス/結成20周年記念コンサートリハーサル
9	5	木	県民アトリエ	琉球 BellyDancePriscilla/ダンス練習	43	14	土	博物館実習室	(株)ノエビア/ノエビアVIPカフェ
10	5	木	子供アトリエ	琉球 BellyDancePriscilla/ダンス練習	44	14	土	博物館講座室	連合沖縄/連合沖縄2013中小労組基礎セミナー
11	5	木	美術館講座室	JTB 協定旅館ホテル連盟沖縄支部/2013年度 JTB 旅水連促進委員会	45	14	土	スタジオ	エイシア/勉強会
12	6	金	博物館実習室	ピオ倶楽部(株)/呉崎医学博士講演会	46	14	土	美術館講座室	(株)LEJ管理本部/植物ミネラル勉強会
13	6	金	博物館講座室	NPO 法人グリーンアース/沖縄建設マネジメントフォーラム	47	14	土	美術館講座室	イプラスジム那覇/「スーパー記憶術」実践講座
14	6	金	共有講堂	情報労連沖縄県協議会/9・7平和学習	48	15	日	共有講堂	琉球大学教育学部/「海を考えるシンポジウム」～海の安全と海を活かした教育について考える～
15	7	土	博物館実習室	沖縄県沖縄語普及協議会/沖縄語普及講師養成講座 1回目	49	16	月	スタジオ	アクセス/勉強会
16	7	土	県民アトリエ	(株)ケイショウカイ/アーユルヴェーダスクール	50	16	月	県民アトリエ	うちなーミニトランポ/ミニトランポリン・ワークショップ
17	7	土	子供アトリエ	光画文化研究所/写真作家入門	51	16	月	子供アトリエ	(株)LEJ管理本部/植物ミネラル勉強会
18	7	土	美術館講座室	沖縄学生美術展2013実行委員会/沖縄学生美術展2013 トークイベント	52	16	月	美術館講座室	(株)LEJ管理本部/植物ミネラル勉強会
19	8	日	博物館実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室	53	18	水	博物館実習室	アクサ生命保険(株)/社員研修
20	8	日	博物館講座室	(株)ロスコパランス/ロスコアカデミー-SC	54	18	水	博物館講座室	(株)ミロク情報サービス沖縄支社/平成26年4月改正消費税セミナー
21	8	日	美術館講座室	フォトネシア沖縄実行委員会/沖縄写真史講座(2回)	55	18	水	スタジオ	ライフバンテージ/アンチエイジングの勉強会
22	8	日	美術館講座室	(有)海気コーポレーション/医学博士による健康講座	56	18	水	美術館講座室	タマホーム沖縄(株)/タマホーム沖縄協会工程会議
23	8	日	共有講堂	琉球大学法文学部/地域貢献フォーラム	57	19	木	博物館講座室	(株)ケイオーパートナーズ/「メンター養成講座」「若手社員がイキイキと働ける職場づくりセミナー」
24	10	火	博物館講座室	シーガル(株)/会員の健康講演	58	19	木	美術館講座室	(株)大城マネジメント研究所/事業主、経営幹部、管理監督者対象変形労働時間制・残業代算出の適正管理
25	10	火	スタジオ	(株)プログレス/ロゴス事業説明会	59	19	木	共有講堂	沖縄県工業技術センター/技術が拓く、あすの沖縄!工業技術センター研究成果発表会
26	10	火	美術館講座室	(株)アイバエナジー/太陽光販売促進に関する勉強会	60	19	木	共有講堂	(株)JTB 西日本京都支店/L&LA御一行様
27	10	火	美術館講座室	メットライフアリコ/代理店手数料研修	61	20	金	県民アトリエ	(株)ベルシステム24/面接会場
28	11	水	博物館講座室	全国賃貸管理ビジネス協会沖縄支部/サブリース契約書読解勉強会	62	20	金	子供アトリエ	ユニ・チャームメンリッケ(株)/社内会議
29	11	水	博物館講座室	盛和塾沖縄/定例会	63	20	金	美術館講座室	沖縄県パイプ・ヒューム管協同組合/既製杭の設計施工についての勉強会
30	11	水	スタジオ	沖縄県立美術館支援会happ/happ会員向け講座					
31	11	水	美術館講座室	合同会社トロッコ/プロジェクションマッピングワークショップ					
32	11	水	共有講堂	那覇市役所子育て応援課/こども医療費助成支給申請方法「自動償還払い方式」に係る事務取扱い説明会					
33	12	木	共有講堂						
34	12	木	博物館講座室	第十一管区海上保安本部/第142回水路記念日講演会～海洋調査・研究を支える水路技術～					

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
64	20	金	美術館講座室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ/第6回 happ 理事会	82	26	木	美術館講座室	(株)ハウ/コーヒーエネマご愛用者フォローアップ講習会
65	20	金	共有講堂	(株)デジタルビジョン/沖縄県におけるBI M推進・普及のための講演会	83	26	木	美術館講座室	一般社団法人文化研究所/琉装の文化に関する(芸能や琉装について)勉強会
66	21	土	博物館実習室	沖縄県沖縄語普及協議会/沖縄語普及講師養成講座 2回目	84	26	木	共有講堂	沖縄総合事務局農林水産部経営課/沖縄地域農業における障害者の就労・雇用促進セミナー
67	21	土	子供アトリエ	版の会/版画教室	85	27	金	博物館講座室	(株)ラジカル沖縄/第12回 ルーキービジネスセミナー
68	21	土	美術館講座室	沖縄の教育を良くする会/テレビ「生命の光」を観る	86	27	金	スタジオ	沖縄県工芸産業協働センター/工芸産地組合高度化促進事業(次世代経営者育成講座)
69	22	日	博物館実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室(キャンセル)	87	27	金	美術館講座室	新日本有限責任監査法人沖縄事務所/ホテル会計セミナー
70	22	日	博物館講座室	国立歴史民俗博物館/国立歴史民俗博物館総合展示第5・6室リニューアル委員会研修会	88	27	金	共有講堂	(公社) 沖縄県精神保健福祉会連合会/沖縄連家族大会2013
71	22	日	スタジオ	弘学館沖縄父母会/弘学館沖縄父母会地域別懇談会	89	28	土	博物館講座室	万国津梁機構/定例講演会
72	22	日	スタジオ	(株)リリアン/還元性ミネラル塩説明会	90	28	土	スタジオ	沖縄県沖縄語普及協議会/沖縄語養成講座3回目
73	22	日	共有講堂	リジョイス/ピアノ調律	91	28	土	美術館講座室	フォトネシア沖縄実行員会/沖縄写真史講演会
74	23	月	共有講堂	リジョイス/結成20周年記念コンサート	92	28	土	子供アトリエ	光画文化研究所/写真作家入門
75	25	水	博物館講座室	公正取引委員会/公正取引委員会における消費税転化対策特別措置法に関する説明会	93	28	土	共有講堂	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外短期インターシップ発表会
76	25	水	博物館講座室	中小企業基盤整備機構・(株)TKC/消費税転嫁対策事業講師養成研修会	94	29	日	博物館講座室	沖縄県眼科医会/第115回沖縄眼科集談会
77	25	水	美術館講座室	盛和塾 沖縄/キックオフ会	95	29	日	スタジオ	サンクスアイ(株)/サンクスアイ健康セミナー
78	25	水	共有講堂	沖縄県高齢者福祉介護課・沖縄広告(株)/ちゃーがんじゅう 地域大賞表彰式&シンポジウム	96	3~8	スタジオ	沖縄学生美術展2013実行委員会/沖縄学生美術展2013~美術を学んでいる学生たちの今~	
79	26	木	博物館実習室	沖縄サロネーゼ実行委員会/沖縄サロネーゼ1周年記念フェア概要&会場説明会	97	3・7・8	共有講堂	NPO 沖縄語普及協議会/リハーサル	
80	26	木	博物館講座室	(株)地域科学研究所 沖縄事務所/第30回 MIA 固定資産土地評価全国実務研修会	98	11~13	スタジオ	(株)JTB 沖縄/平成25年度地域観光資源創出支援事業研修・ワークショップ	
81	26	木	県民アトリエ	琉球 BellyDancePriscilla/ダンス練習	99	27~29	博物館実習室	(株)ノエビア/スキンケアアドバイザー研修	

【2013年10月】

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
1	1	火	スタジオ	(株)ノイズ・バリュース社/社内会議	15	6	日	博物館講座室	(株)ミロス研究所/養成講座 2013 (キャンセル)
2	1	火	美術館講座室	(株)ヴィーダ/ラポール倶楽部事業説明会	16	6	日	博物館講座室	(株)七田チャイルドアカデミー/子どもが英語を話します
3	2	水	博物館講座室	沖縄税務経理学院/OA 経理事務科選考試験	17	6	日	博物館講座室	(株)ユニヴェール/新商品発表会
4	2	水	美術館講座室	沖縄文化活性化・創造発信支援事業/プロジェクトマッピングワークショップ	18	6	日	美術館講座室	ミキワールド沖縄/食の勉強会
5	2	水	県民アトリエ		19	6	日	美術館講座室	(有)海気コーポレーション/医学博士による健康講座
6	2	水	博物館実習室	(有)ジョイント/IBUKI 研修	20	6	日	共有講堂	琉球大学医学部整形外科・エーザイ(株)/骨と関節の日 市民セミナー 『ロコモティブシンドローム』
7	3	木	博物館実習室		21	7	月	3階廊	
8	3	木	美術館講座室	IEエネジー/IE セミナー電磁波に対する対策	22	8	火	博物館講座室	(株)沖縄コングレ/沖縄 MICE コンテンツトレードショー-2013事前研修会
9	4	金	博物館講座室	acesse/アクセスミーティング	23	8	火	スタジオ	(株)地域科学研究所 沖縄事務所/2014会社説明会
10	4	金	県民アトリエ	ユニ・チャームメンリッケ(株)/Dist ミーティング	24	8	火	美術館講座室	沖縄工業高等専門学校/塾関係者対象学校説明会
11	4	金	美術館講座室	クラフィソフトジャパン(株)/ArchiCAD Roadshow in沖縄	25	8	火	美術館講座室	(株)大城マネジメント研究所/助成金セミナー
12	4	金	美術館講座室	ジブラルタ生命保険(株)沖縄エリア/教弘委員会	26	9	水	博物館講座室	盛和塾沖縄/定例会
13	5	土	美術館講座室	(株)ミロス研究所/養成講座2013(キャンセル)	27	9	水	博物館講座室	シーガル(株)/会員の健康についての講演会
14	6	日	博物館実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室					



No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)
28	9	水	スタジオ	バイオクイーン(株)/水素水セミナー	62	18	金	博物館講座室	(株)阪急交通社 沖縄支店/阪急交通社トラピックス海外旅行説明会
29	10	木	博物館実習室	ラウダ(株)/資産保護勉強会	63	18	金	美術館講座室	
30	10	木	博物館講座室	公益社団法人沖縄県建築士会/住宅省エネルギー施工技術講習会	64	18	金	県民アトリエ	サンクスアイ/食育と農育の勉強会
31	10	木	スタジオ	NPO 法人沖縄県立美術館支援会happ/第2回 happ 講座	65	18	金	子供アトリエ	アップリンクジャパン(株)/事業説明会
32	10	木	スタジオ	日本トレクス(株)/二次面接会	66	18	金	美術館講座室	沖縄県精神科作業療法研究会/「オープンダイアログ」上映会
33	10	木	美術館講座室	公文エルアイエル/開設後研修	67	19	土	博物館実習室	沖縄県沖縄語普及協議会/沖縄語講師養成講座 6 回目
34	11	金	美術館講座室		68	19	土	博物館講座室	日本麻酔科学会九州支部/公益社団法人日本麻酔科学会九州支部市民公開講座
35	11	金	博物館講座室	公益社団法人沖縄県建築士会/住宅省エネルギー施工技術講習会	69	19	土	屋外展示場	
36	11	金	博物館講座室	のはら元氣クリニック/サイモントン療法 講演会	70	19	土	子供アトリエ	光画文化研究所/写真作家入門
37	11	金	美術館講座室	ライフバンテージ/事業説明会	71	19	土	美術館講座室	バイオクイーン(株)/水素水セミナー
38	12	土	博物館実習室	沖縄県沖縄語普及協議会/沖縄語講師養成講座 5 回目	72	19	土	美術館講座室	サンクスアイ/食育と農育の勉強会
39	12	土	美術館講座室	JICA 沖縄国際センター/JICA ボランティア体験談 & 説明会	73	19	土	美術館講座室	生活協同組合・沖縄県高齢者協同組合/定例理事会
40	12	土	美術館講座室	NPO 法人沖縄の教育を考える会/親学交流会	74	20	日	博物館実習室	池間宮古方言教室
41	12	土	共有講堂	喜友名ピアノ教室/小さなコンサート	75	20	日	博物館講座室	堀口ひろし先生講演会
42	13	日	博物館講座室	琉球環境文化史研究会/琉球環境文化史研究会	76	20	日	県民アトリエ	うちなーミニトランポ/ミニトランポリン・ワークショップ
43	13	日	美術館講座室	サンクスアイ(株)/サンクスアイ健康セミナー	77	20	日	子供アトリエ	
44	13	日	共有講堂	ソナーレピアノ教室/ピアノ発表会	78	20	日	子供アトリエ	版の会/版画教室
45	13	日	県民アトリエ	(株)LEJ管理本部/植物ミネラル勉強会	79	20	日	美術館講座室	合同会社シエル/トークフュージョン事業説明会
46	14	月	博物館実習室		80	20	日	共有講堂	「手島郁郎の記録」上映実行委員会/ドキュメンタリー映画「手島郁郎の記録」
47	14	月	博物館講座室	グローバルハイシティ/電子マネーに関する勉強会	81	22	火	博物館講座室	(株)ラジカル沖縄/第13回ルーキービジネスセミナー
48	14	月	美術館講座室	HIV人権ネットワーク沖縄/人権フォーラム 2013 in 那覇 控室	82	22	火	県民アトリエ	K2アカデミー/マスタークラス
49	14	月	共有講堂	HIV 人権ネットワーク沖縄/人権フォーラム 2013 in 那覇	83	22	火	美術館講座室	盛和塾沖縄/キックオフ会
50	16	水	博物館実習室	アップリンクジャパン(株)/沖縄営業所スマイル説明会	84	22	火	美術館講座室	全管協/相続支援フォローアップセミナー
51	16	水	博物館講座室	日本公文教育研究会/入会初期指導講座	85	22	火	美術館講座室	メットライフアリコ/相続研修会
52	16	水	博物館講座室	沖縄県社会保険労務士会/中小企業支援セミナー	86	23	水	美術館講座室	(株)沖縄コングレ/沖縄 MICE コンテンツトレードショー-2013事前研修会
53	16	水	スタジオ	アクサ生命保険(株)/社員研修会	87	24	木	博物館講座室	(株)ケイオーパートナーズグッジョブおきなわ推進事業局/合同企業メンター説明会 (キャンセル)
54	17	木	博物館実習室	沖縄県工芸産業協働センター/工芸産地組合高度化促進事業 (次世代経営者育成講座)	88	24	木	県民アトリエ	琉球 BellyDance Priscilla/ダンス練習
55	17	木	博物館講座室	(株)ケイオーパートナーズ/若手社員がイキイキと働ける職場づくりセミナー	89	24	木	子供アトリエ	
56	17	木	県民アトリエ	琉球 BellyDance Priscilla/ダンス練習	90	24	木	美術館講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外ジョブトレーニング 事前研修
57	17	木	子供アトリエ		91	24	木	共有講堂	明治安田生命/11月チャレンジ月進発研修会 (キャンセル)
58	17	木	美術館講座室	システム・インテグレーション(株)/ビジネスプロデューサー養成講座 1 回目	92	24	木	県民アトリエ	
59	17	木	美術館講座室	タマホーム沖縄(株)/タマホーム沖縄協力業者会	93	25	金	博物館実習室	一般社団法人沖縄県損害保険代理業協会/沖縄県代協 住宅ローンセミナー
60	17	木	美術館講座室	ソニー生命保険(株)/金陽塾	94	25	金	博物館講座室	一般社団法人 沖縄しまたて協会/公開座談会「グスクから見た琉球の土木技術」
61	18	金	博物館実習室	Ray Colors/スーパー Coloration Study meeting vol.1	95	25	金	博物館講座室	(株)沖縄銀行/ノムラ日米 REIT ファンド運用報告会

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)
96	25	金	美術館講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外ジョブトレーニング 事前研修	114	30	水	スタジオ	バイオクイーン(株)水素水セミナー
97	25	金	美術館講座室	商工労働部ものづくり振興課(株)エムズ/第36回沖縄県工芸公募展表彰式	115	30	水	美術館講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外ジョブトレーニング事前研修
98	26	土	博物館実習室	沖縄県沖縄語普及協議会/沖縄語講師養成講座 7回目	116	30	水	県民アトリエ	リカルドフラメンコスタジオ/発表会の練習
99	26	土	博物館講座室	万国津梁機構/万国津梁機構定例講演会	117	31	木	県民アトリエ	
100	26	土	美術館講座室	沖縄サロネーゼ1周年記念フェア/「私style in KITANAKA」 出展社説明会	118	31	木	博物館実習室	イスラン/勉強会
101	26	土	美術館講座室	沖縄コンテンポラリーアートセンター/公開討論「アートシーンについて」	119	31	木	美術館講座室	外間経営労務管理事務所/事業承継の話セミナー
102	26	土	共有講堂	(株)BowL/セミナー 2013 『ストレスと“うつ”を知る』	120	17~20		スタジオ	専修学校インターナショナルデザインアカデミー/インターナショナルデザインアカデミーデザイン展
103	26	土	美術館講座室	(株)ミロス研究所/養成講座 2013 (キャンセル)					
104	27	日	博物館講座室	(株)ミロス研究所/養成講座 2013 (キャンセル)	121	18	金	共有講堂	専修学校インターナショナルデザインアカデミー/デザイン展オープニング・卒業制作選抜プレゼンテーション
105	27	日	博物館実習室	フリーベル天久新都心管理組合・侑松山ハウジング/フリーベル天久新都心管理組合定期総会					
106	27	日	美術館講座室	(株)ローズヒップ/飯田正己講演会	122	20	日	県民アトリエ	専修学校インターナショナルデザインアカデミー/インターナショナルデザインアカデミーデザイン展ファッションショー控室
107	27	日	共有講堂	文教楽器(株)/幼児科親子オリエンテーション入会おめでとうコンサート	123	20	日	美術館講座室	
108	29	火	博物館講座室	沖縄県行政書士会平成25年度 沖縄県行政書士会文化講演会	124	20	日	3階廊	専修学校インターナショナルデザインアカデミー/インターナショナルデザインアカデミーデザイン展ファッションショー
109	29	火	博物館講座室	一般社団法人沖縄県建築士事務所協会/繋げるための経営講演会					
110	29	火	美術館講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外ジョブトレーニング 事前研修	125	11~14		博物館特別展示室	沖縄テレビ放送(株)/めざめない部屋からの脱出そのベルをならせ！準備
111	30	水	博物館実習室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会happ/第7回理事会及び臨時総会	126	11~14		スタジオ	TSUNAGARI/NEOP presents Power Of Life
112	30	水	博物館講座室	沖縄総合事務局農林水産部食品・環境課/6次産業化推進全国キャラバン in 沖縄	127	13・14		エントランスホール	ライブイベント TSUNAGARI/NEO Presents Power of life
113	30	水	博物館講座室	命の森やんばる訴訟原告団/命の森やんばる訴訟報告会					

【2013年11月】

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)
1	1	金	博物館講座室	(株)琉球ファクトリー 若年者地域連携事務局/第2回職場定着支援セミナー	15	4	月	共有講堂	沖縄平和運動センター/第50回護憲大会第4分科会
2	1	金	スタジオ	特別支援学校教頭会/特別支援学校教頭連絡協議会	16	4	月	共有講堂	公益社団法人久米国鼎会/シンポジウム 近世琉球の外国語事情
3	1	金	美術館講座室	(有)シナリーフラッシュ/健康と環境と日用品	17	6	水	博物館講座室	沖縄県キャリアセンター・(株)フラッシュエッジ/Job チャンネル
4	1	金	共有講堂	沖縄県県民生活課/平成25年度「安心・安全まちづくり講習会	18	6	水	美術館講座室	システム・インテグレーション(株)/ビジネスプロデューサー養成講座 2回目
5	2	土	博物館実習室	沖縄県沖縄語普及協議会/沖縄語講師養成講座 8回目	19	6	水	美術館講座室	(株)おきぎん経済研究所/平成25年度医工連携等新産業創出ネットワーク形成事業第1回再生医療研究会
6	2	土	子供アトリエ	光画文化研究所/写真作家入門					
7	2	土	スタジオ	SARA エンタープライズ/心理カウンセラー養成コース	20	6	水	共有講堂	東進衛星予備校 ワールド那覇校/「ワールドアカデミー沖縄」 大学受験に向けての講演会
8	3	日	スタジオ		21	6	水	県民アトリエ	(有)ジョイント/IBUKI 研修
9	3	日	博物館実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室	22	7	木	県民アトリエ	
10	3	日	博物館講座室	(株)海洋平和/海洋平和セミナー	23	7	木	博物館講座室	(株)沖縄銀行/CS リーダー研修
11	3	日	県民アトリエ	ミキワールド沖縄/食の勉強会	24	7	木	美術館講座室	(株)アイエヌジーアットマーク沖縄/講演会 (キャンセル)
12	4	月	スタジオ	(株)いつみ/ピーワン5%プロジェクト	25	7	木	スタジオ	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ/第3回 happ 講座
13	4	月	県民アトリエ	リカルドフラメンコスタジオ/発表会の練習	26	7	木	スタジオ	(株)ヴィーダ/ラポール倶楽部事業説明会
14	4	月	子供アトリエ	SARA エンタープライズ/心理カウンセラー専門講座					

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
27	7	木	スタジオ	サンクスアイ(株)/サンクスアイ健康セミナー	58	12	火	博物館講座室	沖縄県キャリアセンター・(株)フラッシュエッジ/Jobチャンネル
28	7	木	県民アトリエ	リカルド・フラメンコ・スタジオ/発表会の練習	59	12	火	スタジオ	アクサ生命保険(株)/社員研修
29	7	木	美術館講座室	(株)アイバエナジー/太陽光販売促進に関する勉強会	60	12	火	県民アトリエ	りゅうせき商事(株)/社内会議
30	7	木	美術館講座室	ロスコバランス/名倉PM講師勉強会	61	12	火	共講有堂	明治安田生命/沖縄支社 子育てセミナー
31	7	木	共講有堂	サンワコムシスエンジニアリング(株)/サンコム安全大会	62	13	水	共講有堂	沖縄税理士会/『税を考える週間』税に関する講演会
32	8	金	博物館実習室	(株)ノエビア/スキンケアアドバイザー試験	63	13	水	博物館講座室	沖縄税理士会/『税を考える週間』税に関する無料相談会
33	8	金	博物館講座室	沖縄県信用保証協会/おきなわ中小企業経営支援連携会議 H25年度研修会	64	13	水	博物館講座室	日本公文教育研究会/指導者特別講座(幼児)
34	8	金	博物館講座室	ジラルタ生命保険(株)沖縄エリア/教弘委員会	65	13	水	県民アトリエ	リカルド・フラメンコ・スタジオ/発表会の練習
35	8	金	スタジオ	(株)ラウダ/資産保護の勉強会	66	14	木	博物館講座室	金城達也税理士事務所/TKC 経営支援セミナー2013
36	8	金	県民アトリエ	(有)ユニバーサルコンパス/IBUKI 研修	67	14	木	博物館講座室	沖縄県平和大使協議会/沖縄平和大使セミナー
37	8	金	子供アトリエ	(株)シャイン総研/個別相談会	68	14	木	スタジオ	サンクスアイ(株)/サンクスアイ健康セミナー
38	8	金	美術館講座室	バナホーム(株)沖縄支社/介護事業サポートセミナー	69	14	木	県民アトリエ	リカルド・フラメンコ・スタジオ/発表会の練習
39	8	金	共講有堂	沖縄県施設建築課/公共建築協会/沖縄の原風景・島との共存・ゆるるリゾート「星のや竹富島」をもとに考える	70	14	木	美術館講座室	タマホーム沖縄協力業者会
40	9	土	美術館講座室	(株)ミロス研究所/養成講座2013 (キャンセル)	71	14	木	共講有堂	(株)りゅうせきビジネスサービス/地域中小企業の人材確保定着支援「ハイサイプロジェクト」沖縄就活考
41	9	土	博物館実習室	沖縄県沖縄語普及協議会/沖縄語講師養成講座 9回目	72	15	金	博物館講座室	(株)JTB (アイトットジェイティービー)・(株)ジェイティービー/るぶトラベル増売セミナー
42	9	土	県民アトリエ	(株)ノエビア/ノエビア大人きれい講座(メイクレッスンフェイシャルサービス)	73	15	金	美術館講座室	日本アルコン(株)/社内会議
43	9	土	子供アトリエ		74	15	金	共講有堂	NPO 法人沖縄県工芸産業センター/ビームスバイヤーの頭の中 - 視点を変える・盛り上がる・流れを作る
44	9	土	美術館講座室	バイオクイーン(株)/水素水セミナー	75	16	土	博物館実習室	沖縄県沖縄語普及協議会/沖縄語講師養成講座 10回目
45	9	土	美術館講座室	(有)ユニバーサルコンパス/IBUKI カラー研修	76	16	土	博物館講座室	干瀬の会/第21回講演～源氏物語を読む～
46	9	土	共講有堂	公益社団法人 日本水環境学会/第16回日本水環境学会シンポジウム 特別講演会	77	16	土	博物館講座室	沖縄地学会/講演会・総会
47	10	日	美術館講座室	(株)ロスコバランス/ROSSCO アカデミー(キャンセル)	78	16	土	美術館講座室	沖縄の教育を良くする会/テレビ「生命の光」を見る会
48	10	日	博物館実習室	八重農沖縄みずほ会/デンサー節大会控室	79	16	土	子供アトリエ	光画文化研究所/写真作家入門
49	10	日	屋外展示場	八重農沖縄みずほ会/デンサー節大会	80	16	土	共講有堂	園ピアノ教室/第24回 ピアノ発表会
50	10	日	博物館講座室	(株)沖縄銀行/おきぎん投資環境セミナー	81	16	土	共講有堂	イルチブレインヨガ/CHANGE 特別上映会&講演会
51	10	日	博物館講座室	那覇新都心通り会/沖縄県内市町村の東アジア文化都市の立候補に向けた可能性検討勉強会	82	17	日	博物館実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室
52	10	日	県民アトリエ	うちなーミニトランポ/ミニトランポリン・ワークショップ	83	17	日	県民アトリエ	(株)LEJ 管理本部/植物ミネラル勉強会
53	10	日	子供アトリエ		84	17	日	子供アトリエ	版の会/版画教室
54	10	日	美術館講座室	沖縄コンテンポラリーアートセンター/公開討論「アートの力」	85	17	日	美術館講座室	沖縄県無形文化財工芸技術保持団体協議会/役員会・総会
55	10	日	美術館講座室	サンクスアイ/健康センナ	86	17	日	美術館講座室	TBS テレビ/さんま・玉緒のあなたの夢かなえたらうか SP 打合せ
56	10	日	美術館講座室	家庭倫理の会那覇市 生活倫理相談士面接	87	19	火	博物館実習室	(株)LEJ 管理本部/植物ミネラル勉強会
57	10	日	共講有堂	(株)琉球放送/マチュピチュ「発見」100年インカ帝展関連イベント「開幕記念講演会「インカの謎を解く」	88	19	火	博物館講座室	(株)ラジカル沖縄/第14回 ルーキービジネスセミナー
					89	19	火	博物館講座室	ゆいまーる沖縄/モノづくりの伝統の敬称と革新

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
90	19	火	美術館 講座室	システム・インテグレーション(株)/ビジネスプロデューサー養成講座 3回目	121	26	火	共 講 有 堂	花王プロフェッショナルサービス(株)/花王ソリューションフェアー 2013 in 沖縄講演会場
91	19	火	共 講 有 堂	(株)アカネクリエイション/沖縄らしい景観・まちなみづくりシンポジウム～目指す姿と残すべき姿～	122	26	火	美 術 館 講 座 室	(株)ハウ/コーヒーエネマご愛用者フォローアップ講習会
92	20	水	博 物 館 実 習 室	acesse/勉強会	123	26	火	美 術 館 講 座 室	盛和塾沖縄/定例会
93	20	水	博 物 館 講 座 室	(株)ケイオーパートナーズ/メンター養成講座「若手社員がイキイキと働ける職場づくりセミナー」	124	27	水	博 物 館 実 習 室	宮本 武/ラジウムの勉強会とガン専門病院について
94	20	水	博 物 館 講 座 室	JTB 沖縄労働組合/決起大会	125	27	水	博 物 館 講 座 室	盛和塾沖縄/定例会
95	20	水	子 供 ア ト リ エ	一般財団法人 世界保健機関日本財団民間職業指導校 東京整体施術事業協同組合指定日本整体専門学院	126	27	水	ス タ ジ オ	那覇伝統織物事業協同組合/平成25年度首里織伝統工芸士研修会
96	20	水	美 術 館 講 座 室	(株)レキオス/レキオス倶楽部ビジネスネットワークセミナー	127	27	水	県 民 ア ト リ エ	リカルド・フラメンコ・スタジオ/発表会の練習
97	21	木	博 物 館 実 習 室	ライフバンテージ/アンチエイジングの勉強会	128	27	水	子 供 ア ト リ エ	(株)イスラン/東洋医学の勉強会
98	21	木	博 物 館 実 習 室	EM GOLDEX/事業説明会	129	27	水	美 術 館 講 座 室	労働保険事務組合福働会/労務管理セミナー「助成金の活用」
99	21	木	博 物 館 講 座 室	全国地域 VAN 事業者協議会/定例の会合 1日目	130	27	水	共 講 有 堂	沖縄県税理士会北那覇支部/年末調整研修会
100	21	木	子 供 ア ト リ エ	りゅうせき商事(株)/社内研修(キャンセル)	131	28	木	博 物 館 実 習 室	沖縄県工芸産業協同センター/工芸産地組合高度化促進事業(次世代経営者育成講座)
101	21	木	美 術 館 講 座 室	バイオクイーン(株)/水素水セミナー	132	28	木	博 物 館 講 座 室	沖縄県キャリアセンター・(株)フラッシュエッジ/Job チャンネル
102	21	木	美 術 館 講 座 室	日本秘書クラブ沖縄支部/秘書検定準1級対策講座	133	28	木	ス タ ジ オ	サンクスアイ(株)/サンクスアイ健康セミナー(キャンセル)
103	21	木	美 術 館 講 座 室	サンクスアイ(株)/サンクスアイ健康セミナー	134	28	木	県 民 ア ト リ エ	リカルド・フラメンコ・スタジオ/発表会の練習
104	21	木	共 講 有 堂	沖縄県人財クラスター研究会/沖縄県人材育成企業認証制度キックオフシンポジウム	135	28	木	美 術 館 講 座 室	(株)ケイオーパートナーズ/グッジョブおきなわ推進事務局/合同企業メンター説明会
105	22	金	博 物 館 実 習 室	全国地域 VAN 事業者協議会/定例の会合 2日目	136	28	木	美 術 館 講 座 室	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 沖縄障害者職業センター/障害者就労支援セミナー
106	22	金	博 物 館 講 座 室	(株)阪急交通社 沖縄支店/阪急交通社トラビックス海外旅行説明会 第一会場	137	28	木	共 講 有 堂	福井コンピュータアーキテクト(株)沖縄オフィス/Japan-BIM 事例フォーラム BIMの理想と現実
107	22	金	美 術 館 講 座 室	(株)阪急交通社 沖縄支店/阪急交通社トラビックス海外旅行説明会 第二会場	138	29	金	博 物 館 実 習 室	沖縄シンクタンク協議会/運営会議
108	22	金	共 講 有 堂	劇艶おとな団/第5回公演 準備&リハーサル	139	29	金	博 物 館 講 座 室	公益財団法人沖縄県産業振興公社/タブレット・スマートフォン対策セミナー
109	23	土	共 講 有 堂	劇艶おとな団/第5回公演	140	29	金	美 術 館 講 座 室	那覇青年会議所明るい未来夢委員会/待機児童ゼロ実現フォーラム 第2会場
110	23	土	博 物 館 実 習 室	日本トランスオーシャン航空労働組合/JTA 労組 執行委員会	141	29	金	共 講 有 堂	那覇青年会議所明るい未来夢委員会/待機児童ゼロ実現フォーラム
111	23	土	博 物 館 講 座 室	万国津梁機構/「夢と希望とロマンに満ちた講演会」万国津梁機構定例講演会	142	30	土	博 物 館 実 習 室	イプラスジム那覇・七田チャイルドアカデミー/右脳と左脳が仲良くなるワンデーセミナー
112	23	土	美 術 館 講 座 室	人生悠々クラブ/国際情勢と聖書預言	143	30	土	子 供 ア ト リ エ	光画文化研究所/写真作家入門
113	23	土	美 術 館 講 座 室	人格教育推進協議会/宇宙科学と「はやぶさの夢」	144	30	土	美 術 館 講 座 室	バイオクイーン(株)/水素水セミナー
114	24	日	博 物 館 講 座 室	THE POSTURE/ポスチャアウォーキング講話とレッスン	145	30	土	美 術 館 講 座 室	沖縄国公労女性部/第42回 沖縄国公労女性部定期大会
115	24	日	子 供 ア ト リ エ	家庭倫理の会那覇市/こども倫理塾	146	30	土	共 講 有 堂	真宗ネットワーク・琉球/琉球仏教史講座 近代琉球の宗教的偉人「仲尾次政隆がのこしたもの」
116	24	日	美 術 館 講 座 室	沖縄県写真協会/徳光ゆかりが我が町にくるくる! フォトレッスン in 那覇	147	2~3		美 術 館 講 座 室	日本認知神経リハビリテーション学会沖縄勉強会/認知神経リハビリテーション学会主催ベーシックコース
117	24	日	共 講 有 堂	ムジカリオン/ピアノ発表会	148	14~17		ス タ ジ オ	My piece Art project/「小さな絵本展vol 4」
118	26	火	博 物 館 実 習 室	花王プロフェッショナルサービス(株)/花王ソリューションフェアー 2013 in 沖縄 控室	149	19~24		県 民 ア ト リ エ	沖縄県精神保健福祉会連合会/第9回こころの芸術・文化フェスティバル ワークショップ
119	26	火	博 物 館 講 座 室	花王プロフェッショナルサービス(株)/花王ソリューションフェアー 2013 in 沖縄 内覧会会場	150	19~25		ス タ ジ オ	沖縄県精神保健福祉会連合会/第9回こころの芸術・文化フェスティバル ワークショップ
120	26	火	県 民 ア ト リ エ	花王プロフェッショナルサービス(株)/花王ソリューションフェアー 2013 in 沖縄 控室					

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
151	1~30		博物館 企画 展示室	琉球放送(株)/マチュピチュ「発見」100年 インカ帝国展	152	1~30		博物館 特別 展示室	琉球放送(株)/マチュピチュ「発見」100年 インカ帝国展

【2013年12月】

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
1	1	日	共 有 講 堂	琉球大学 国際沖縄研究所/公開シンポジ ウム「琉球列島の自然・文化・環境 人文 学と自然学の対話」	29	7	土	共 有 講 堂	沖縄ツーリスト(株)/2014ばしふいっくび いなすで行く 屋久島チャータークルー ズ3日 旅行募集説明会
2	2	月	博 物 館 講 座 室	沖縄県中小企業家同友会/eおきなわ IT 学習会	30	8	日	スタジオ	(有)ユニバーサルコンパス/IBUKI研修
3	3	火	博 物 館 講 座 室	日本司法支援センター沖縄地方事務所/ 法テラス沖縄第8回地方協議会	31	8	日	共 有 講 堂	(有)竜胆(ゆり薬局)/小児クリニックたま なは開院20周年記念講演会『よくわかる 食物アレルギー』 託児所
4	3	火	博 物 館 講 座 室	(株)おきぎん経済研究所/第2回 医工連携 研究会	32	8	日	県 民 ア ト リ エ	(有)竜胆(ゆり薬局)/小児クリニックたま なは開院20周年記念講演会『よくわかる 食物アレルギー』
5	3	火	美 術 館 講 座 室	システム・インテグレーション(株)/ビジネ スプロデューサー養成講座 4回目	33	8	日	美 術 館 講 座 室	楽天生命保険(株)「那覇・浦添・宜野湾地 区」グループ会
6	3	火	美 術 館 講 座 室	盛和塾沖縄/キックオフ会	34	8	日	美 術 館 講 座 室	(株)七田チャイルドアカデミー/七田式 わ くわく子育て術
7	3	火	共 有 講 堂	一般社団法人沖縄県産業廃棄物協会/産 業廃棄物適正処理・優良化研修会	35	8	日	美 術 館 講 座 室	(有)海気コーポレーション/医学博士によ る健康講座
8	3	火	共 有 講 堂	沖縄に「ワンストップ支援センター設立 を強く望む会/ワンストップ支援センター 設立もに向けて性虐待という視点から考 えるシンポジウム	36	8	日	共 有 講 堂	沖縄ソントクラブ/家庭支援政策とワー クラライフバランス
9	4	水	博 物 館 講 座 室	日本公文教育研究会/英語D~G 教材 フォローアップ講座	37	10	火	博 物 館 講 座 室	尚学院国際ビジネスアカデミー/卒業研 究発表会
10	4	水	博 物 館 講 座 室	沖縄県博物館協会/特別講演会「未来をつ くるこどもと博物館の関係」	38	10	火	美 術 館 講 座 室	パイオクイーン(株)/水素水セミナー
11	4	水	県 民 ア ト リ エ	琉球BellyDance Priscilla/ダンス練習	40	11	水	博 物 館 講 座 室	公益社団法人農林水産・食品産業技術振 興協会・沖縄農業研究会/アグリ技術シー ズセミナー-in沖縄
12	4	水	美 術 館 講 座 室	公正取引委員会/業種別講習会(物流事 業者と取引のある荷主向け)	41	11	水	美 術 館 講 座 室	沖縄県文化振興課・沖縄県文化振興会/ 沖縄県芸術文化祭 記者会見
13	5	木	博 物 館 実 習 室	ノボノルディスクファーマ(株)/社内勉強 会	42	12	木	博 物 館 講 座 室	公益社団法人沖縄県建築士会/住宅省エ ネルギー施工技術講習会 1日目
14	5	木	博 物 館 講 座 室	公文エルアイエル/教材持寄り研修講座	43	12	木	スタジオ	サンクスアイ(株)/健康セミナー
15	5	木	スタジオ	サンクスアイ(株)/健康セミナー	44	12	木	県 民 ア ト リ エ	ISI 国際学院/上海体験留学ツアー説明会
16	5	木	県 民 ア ト リ エ	りゅうせき商事(株)/新入社員研修	45	12	木	美 術 館 講 座 室	ソニー生命(株)/金陽塾
17	5	木	美 術 館 講 座 室	DEPAVL UNIVERSITY/デポール大学レ クチャー	46	12	木	美 術 館 講 座 室	メットライフアリコ/代理店講習会
18	5	木	美 術 館 講 座 室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ/第 8回 happ 理事会	47	12	木	共 有 講 堂	金融庁・沖縄総合事務局/平成25年度 金 融リテラシー(知識・判断力)を身に着 けるためのシンポジウム
19	5	木	共 有 講 堂	沖縄人財クラスタ研究会/学生の雇用に 関する調査、研究の取組シンポジウム	48	13	金	博 物 館 講 座 室	公益社団法人沖縄県建築士会/住宅省エ ネルギー施工技術講習会 2日目
20	6	金	博 物 館 講 座 室	(株)ラジカル沖縄/第15回 ルーキービジネ スセミナー	49	13	金	エン ト ラ ン ス ホ ー ル	沖縄三育中学校/ハンドベルクワイアに よる演奏会(広島三育学院高等学校)
21	6	金	美 術 館 講 座 室	OkinawaArtist InterviewProject/シンポ ジウム「アーティストのこぼれ」	50	13	金	スタジオ	沖縄県産業廃棄物協会・(有)沖縄クリーン工 業/産業廃棄物処理業者による CSR 環境 教育についての勉強会
22	6	金	美 術 館 講 座 室	エキスパートアライアンス(株)/エキスパー トアライアンス(株)食育セミナー	51	13	金	美 術 館 講 座 室	金城一也税理士事務所/TKC 経営支援セ ミナー 2013
23	7	土	博 物 館 実 習 室	琉球大学教育学部生活科生活科教育研究 /博物館実習	52	13	金	美 術 館 講 座 室	ジブラルタ生命保険(株)沖縄エリア/教弘 委員会
24	7	土	博 物 館 講 座 室	ジョイ・インターナショナル(株)/深刻なミ ネラル不足砒素の力!!					
25	7	土	県 民 ア ト リ エ	ライオンズマンション新都心管理組合/ 通常総会					
26	7	土	子 供 ア ト リ エ	光画文化研究所/写真作家入門					
27	7	土	美 術 館 講 座 室	琉球大学 国際沖縄研究所/米軍基地によ る環境変化が与える自然および社会への 影響に関する複合的研究シンポジウム					
28	7	土	共 有 講 堂	一般社団法人那覇市観光協会/那覇まちま い13周年記念「ブラタモリ」で再発見!ナル ホドまち歩き術					

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
53	13	金	共有講堂	地域中小企業の人材確保定着支援事業「ハイサイプロジェクト」	85	18	水	美術館講座室	システム・インテグレーション(株)/ビジネスプロデューサー養成講座 5目
54	13	金	県民アトリエ		86	18	水	美術館講座室	システム・インテグレーション(株)/ビジネスプロデューサー養成講座 6回目
55	14	金	県民アトリエ	ファッションデザイナーズクラブ オフィスリズム/第42回 沖縄県芸術文化祭関連イベント ディスカバリー琉球ファッション控室	87	18	水	美術館講座室	ゆいまーる沖縄(株)/ゆいまーる沖縄 仕入先様向け説明会
56	13	土	子供アトリエ		88	19	木	博物館実習室	沖縄県工芸産業協働センター/工芸産地組合 高度化促進事業(次世代経営者育成講座)
57	14	土	子供アトリエ		89	19	木	県民アトリエ	沖縄県施設建築課/ナングスクコンペ2013設計競技 公開プレゼンテーション審査委員会
58	14	土	博物館実習室	クラフト館(KG商事)/青雁皮の手すき和紙ワークショップ	90	19	木	共有講堂	沖縄県施設建築課/ナングスクコンペ2013設計競技 公開プレゼンテーション
59	14	土	博物館講座室	MSD(株)・トップツアー(株)/うつ病の市民公開講座 ホンネを語れば	91	19	木	美術館講座室	㈱ケイオーパートナーズグッツジョブ推進事業局/12月度全体会議
60	14	土	共有講堂		92	19	木	美術館講座室	サンワコムシスエンジニアリング(株)/安全大会
61	14	土	スタジオ	NPO法人沖縄県立美術館支援会happ/happまつりin県芸術文化祭 控室	93	19	木	博物館講座室	アメリカンホーム保険会社/タイムマネジメントセミナー
62	14	土	美術館講座室	NPO法人沖縄県立美術館支援会 happ/鑑賞ツアーガイド育成講座	94	20	金	博物館講座室	
63	14	土	屋外展示場	NPO法人沖縄県立美術館支援会 happ/happまつりin県芸術文化祭	95	20	金	博物館実習室	沖縄県工芸産業協働センター/工芸産地組合 高度化促進事業(次世代経営者育成講座)
64	14	土	美術館講座室	IE エネジー/電磁波に対する対策セミナー	96	20	金	美術館講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外長期ジョブトレーニング事後研修
65	14	土	エントランスホール	沖縄コンテンツポラリーアートセンター/県芸術祭関連イベント コンテンポラリーアートショー	97	20	金	美術館講座室	アクセス/インタネットマーケティング勉強会
66	15	日	博物館実習室	(株)LEJ 管理本部/植物ミネラル勉強会	98	20	金	屋外展示場	沖縄コンテンツポラリーアートセンター/県芸術祭関連イベント コンテンポラリーアートショー「凧作り」
67	15	日	博物館講座室	琉球大学国際沖縄研究所/公開シンポジウム性暴力~これ以上きずつけないために~	99	20	金	共有講堂	イルチブルレインヨガ/ファンファンファン生命電子フェスティバル発表会
68	15	日	県民アトリエ	(株)ピュアルネッサンス/リンパの勉強会	100	20	金	県民アトリエ	バイオクイーン(株)/水素水セミナー(キャンセル100%)
69	15	日	子供アトリエ	版の会/版画教室	101	21	土	博物館講座室	万国津梁機構/「夢と希望とロマンに満ちた講演会」万国津梁機構定例講演会
70	15	日	美術館講座室	JDCS/経済勉強会	102	21	土	県民アトリエ	うちなーミニトランポ/ミニトランポリン・ワークショップ
71	15	日	共有講堂	文楽楽器/文教ミュージックサロンクリスマスコンサート	103	21	土	子供アトリエ	
72	17	火	共有講堂	沖縄県・沖縄 CAPセンター/平成25年度沖縄県児童虐待防止推進事業	104	21	土	美術館講座室	沖縄の教育を良くする会/テレビ「生命の光」を見る会
73	17	火	博物館講座室		105	21	土	屋外展示場	合同会社トロッコ/沖縄県芸術文化祭関連イベント「プロジェクトマッピング投射実験」
74	17	火	スタジオ	(株)LEJ 管理本部/植物ミネラル勉強会	106	21	土	共有講堂	那覇新都心通り会/『沖縄県内市町村の東アジア文化都市の立候補に向けた可能性検討』シンポジウム
75	17	火	子供アトリエ	(株)ケイオーパートナーズ/全体会議	107	21	土	屋外展示場	琉球放送(株)/マチュピチュ「発見」100年インカ帝展関連イベント『インカペルーフェスタ』
76	17	火	美術館講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外長期ジョブトレーニング事後研修	108	22	日	屋外展示場	
77	17	火	美術館講座室	タマホーム沖縄(株)/協会会工程会議	109	22	日	博物館実習室	クラヴィスジャパン(株)/マグネクラヴィス水の勉強会
78	17	火	屋外展示場	沖縄コンテンツポラリーアートセンター/県芸術祭関連イベント コンテンポラリーアートショー「凧作り」	110	22	日	博物館講座室	一般社団法人沖縄県発明協会/第30回 未来の科学の夢絵画展(県内展)表彰式
79	17	火	博物館実習室	アメリカンホーム保険会社/問題解決力向上セミナー	111	22	日	美術館講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外長期ジョブトレーニング事後研修
80	18	水	博物館実習室		112	22	日	美術館講座室	OCAC/キューバの美術についてのレクチャー「アベル・パロツォ アーティストトーク」
81	18	水	博物館講座室	グローバルハイシティ/電子マネーの勉強会	113	22	日	共有講堂	ライリッシュ・オカリナ連盟 沖縄県那覇支部/第4回 おとだまコンサート
82	18	水	スタジオ	ライフバンテージ/アンチエイジングの勉強会	114	23	月	共有講堂	嘉陽笑子ピアノ教室/「クリスマスコンサート」
83	18	水	スタジオ	(株)ケイショウカイ・(株)アライブ/「MEDIC 再生美容事業説明会」	115	25	水	共有講堂	那覇新都心通り会・(有)ダイヤモンド・ビジネス/キジムナーフェスタ存続のための緊急シンポジウム
84	18	水	子供アトリエ	リッチウェイ&ライフジャパン(株)・一般財団法人 世界保健機関日本財団/知って徳する健康講座					

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
116	26	木	スタジオ	サンクスアイ(株)/サンクスアイ健康セミナー	124	14~21	中庭	県芸術祭関連イベント/コンテンポラリーアートショー	
117	26	木	エントランスホール	沖縄しまたて協会/第3回ふるさと図画コンクール表彰式	125	1~28	博物館 企画展示室	琉球放送(株)/マチュピチュ「発見」100年インカ帝国展	
118	27	金	博物館 講座室	(株)国建/中城御殿跡地整備検討委員会	126	1~28	博物館 特別展示室		
119	20~22		スタジオ	一般社団法人沖縄県発明協会/第30回 未来の科学の夢絵画展(県内展)	127	26~28	企画ギャラリー 1	第5回かりゆし美術展	
120	21~23		県民アトリエ	創元会沖縄支部/創元会沖縄支部研究会 実技研修会	128	26~28	企画ギャラリー 2		
121	21~23		子供アトリエ						
122	1~8		エントランスホール	沖縄県自然保護課/写真で実感! 沖縄の生物多様性パネル展					
123	10~12		エントランスホール	琉球放送(株)/「インカ帝国展」体験学習コーナー					

【2013年1月】

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
1	5	日	美術館 講座室	(株)海洋平和セミナー/ 海洋に関する勉強会	21	12	日	美術館 講座室	国立沖縄青少年交流の家/マスコットキャラクター愛称募集表彰式
2	7	火	共有 有堂	第5回 かりゆし美術展表彰式準備	22	12	日	美術館 講座室	A-GOYA/ヒロ前田の2014年こそ TOEIC にチャレンジ・リベンジしたい人のためのセミナー
3	8	水	共有 有堂		第5回かりゆし美術展表彰式	23	13	月	博物館 実習室
4	9	木	美術館 講座室	システム・インテグレーション(株)/ビジネスプロデューサー養成講座 7回目	24	13	月	県民アトリエ	ミキ・ワールド沖縄/食の勉強会
5	9	木	共有 有堂	(株)Mac エンターテイメント/ピアノ調律	25	13	月	共有 有堂	琉球大学/公開シンポジウム イリムティヌ ヤママヤ〜水あふるる森のヤマネコ〜
6	10	金	美術館 講座室	(株)ケイオーパートナーズ/合同企業メンター説明会(キャンセル)	26	13	月	共有 有堂	チームグクル合同会社/2014年 新春スペシャル「RODEOX 茂木健一郎」トークライブ
7	10	金	博物館 実習室	アクサ生命保険(株)/社員研修	27	15	水	美術館 講座室	比嘉孝明税理士事務所/新春 経営支援セミナー「消費税軽減対策のポイント」
8	10	金	博物館 講座室	NPO法人沖縄平和協力センター/日米同盟マネジメント:在日米軍との自然災害対処協力	28	15	水	美術館 講座室	日本秘書クラブ沖縄支部/秘書検定準1級面接試験対策講座
9	10	金	博物館 講座室	ジブラルタ生命保険/教弘委員会	29	15	水	共有 有堂	沖縄観光コンベンションビューロー/第5回沖縄映像コンペティション支援作品短編「うんじゅぬ花道」関係者試写会
10	10	金	スタジオ	(株)JTB 沖縄/医療ツーリズム事業人材組織化検討委員会	30	16	木	博物館 講座室	
11	10	金	美術館 講座室	財団法人 沖縄県建設技術センター/第5回「沖縄県におけるコンクリート耐久性」に関する研修会	31	16	木	県民アトリエ	(株)広済/テラヘルツ有効波の可能性
12	10	金	共有 有堂	(株)Mac エンターテイメント/琉球ヴィルトゥオーゾ「0歳からの親子コンサート」	32	16	木	美術館 講座室	(株)りゅうせきビジネスサービス/内定者・新入社員のための合同研修
13	10	金	共有 有堂	JA 共済連沖縄/平成25年度 JA 共済全国小・中学生書道・交通安全ポスター沖縄県コンクール表彰式	33	16	木	美術館 講座室	一般社団法人沖縄文化研究所/琉装普及プロジェクト 第3回琉装教養講座~琉装をもっと楽しく身近に~
14	11	土	共有 有堂		34	17	金	博物館 実習室	
15	11	土	スタジオ	NPO 法人フロム沖縄推進機構/IT 津梁まつり2014 WRO プレ競技会:LEGO ロボット試走会	35	17	金	博物館 講座室	(株)阪急交通社 沖縄支店/阪急交通社トラピックス 海外旅行説明会 第一会場
16	11	土	美術館 講座室	沖縄県 県立学校教育課/沖縄県高校生海外雄飛プロジェクト 第3回オリエンテーション	36	17	金	美術館 講座室	(株)阪急交通社 沖縄支店/阪急交通社トラピックス 海外旅行説明会 第二会場
17	11	土	美術館 講座室	(有)ユニバーサルコンパス/IBUKI 研修	37	18	土	博物館 実習室	元気かい! /玄米の大切さと体の中の遺伝子の関係
18	11	土	共有 有堂	シルバーリボン沖縄/『むかし Matto の町があった』上映会	38	18	土	博物館 講座室	首里城公園友の会/首里城文化講演会「鎌倉芳太郎が出会った沖縄の人たち」
19	12	日	博物館 実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室	39	18	土	博物館 講座室	プリリアント上田/メイクアップフォーラム
20	12	日	博物館 講座室	沖縄日朝友好の会/未来を拓くチュチェ思想全国セミナー					

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
40	18	土	県民 アトリエ	(株)ECC/講師研修	70	24	金	博物館 実習室	AIU 沖縄代理店会/講習会
41	18	土	子供 アトリエ	版の会/版画教室	71	24	金	博物館 講座室	公文エルアイエル/実技講座
42	18	土	美術館 講座室	沖縄の教育を良くする会/テレビ「生命の光」を観る会	72	24	金	スタジオ	JTB 東北奥州支店/岩手日日新聞社 ユネスコ世界遺産企画 琉球王国の歴史を辿る4日間
43	18	土	美術館 講座室	(株)日経フォーラム/平成26年度 四谷大塚NET 開講説明会	73	24	金	県民 アトリエ	一般社団法人沖縄県損害保険代理店業協会/平成25年度 第2回コンサルティングコースセミナー
44	18	土	共有 講堂	八重山台湾親善交流協会沖縄支部/台湾生活体験を語る会					
45	18	土	共有 講堂	明治安田生命 沖縄支社/ライフ・エンディングセミナー ~終活のおすすめ~	74	24	金	子供 アトリエ	(株)ジェイコスメ・ジャパン/ 会社事業説明会
46	19	日	博物館 実習室	バイオクイーン(株)/バイオクイーン水素水セミナー	75	25	金	美術館 講座室	システム・インテグレーション(株)/ビジネスプロデューサー養成講座 8回目
47	19	日	博物館 実習室	宮本 武/ラジウムの勉強会とガン専門病院について	76	25	金	美術館 講座室	イオン琉球(株)/取締役会
48	19	日	博物館 講座室	(株)トリム・(株)トリムフーズ/社員総会、飲食事業部繁盛会議	77	24	金	共有 講堂	イオン琉球(株)/2014年度 イオン琉球(株)方針発表
49	19	日	県民 アトリエ	琉球大学/健康保養産業論セミナー	78	25	土	博物館 講座室	万国津梁機構/「夢と希望とロマンに満ちた講演会」万国津梁機構定例講演会
50	19	日	子供 アトリエ	琉球大学/健康保養産業論セミナー	79	25	土	博物館 講座室	沖縄県高等学校教頭・副校長会/第3回研究協議会
51	19	日	美術館 講座室	一般財団法人出版文化産業振興財団/声と文学	80	25	土	博物館 講座室	(株)ビジネス・ブレイクスルー/問題解決の実学 成果をあげる思考と行動
52	19	日	美術館 講座室	(有)海気コーポレーション/医学博士による健康講座	81	25	土	スタジオ	SARA エンタープライズ/アトラクティブ セミナー
53	19	日	共有 講堂	イルチブレインヨガ/CHANGE上映、講演会	82	25	土	県民 アトリエ	喜納/余興練習
54	21	火	博物館 実習室	スプリューム(株)/スプリューム社長フォーラム	83	26	日	博物館 実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室
55	21	火	博物館 講座室	(株)おきぎん経済研究所/沖縄医工連携等新産業創出ネットワーク形成事業「第2回再生医療研修会」	84	26	日	スタジオ	SARA エンタープライズ/SARA ハビッツ トレーニング
					85	26	日	美術館 講座室	(株)アイエスエイ/海外サイエンス体験短期研修 オリエンテーション
56	21	火	県民 アトリエ	(株)ケイオーパートナーズ/那覇市天久小学校5学年 沖縄県立博物館・美術館鑑賞・紙芝居鑑賞ツアー	86	26	日	共有 講堂	詩舞親翠流緑翠会/詩舞親翠流緑翠会おさらい会
					87	26	日	共有 講堂	琉球放送(株)/インカ帝国展関連イベント「インカの謎を解く」
57	21	火	子供 アトリエ	(株)ケイオーパートナーズ/那覇市天久小学校6学年 沖縄県立博物館・美術館鑑賞・紙芝居鑑賞ツアー	88	28	火	博物館 実習室	イスラン/東医学の勉強会
					89	28	火	博物館 講座室	(株)ラジカル沖縄/第16回 ルーキービジネスセミナー
58	21	火	美術館 講座室	タマホーム沖縄(株)/タマホーム沖縄協働会工程会議	90	28	火	スタジオ	(株)Mフェイス/勉強会
59	21	火	美術館 講座室	アクセス/勉強会	91	28	火	子供 アトリエ	マージン7合同会社/事業説明会
60	21	火	美術館 講座室	NPO法人沖縄県立美術館支援会 happ/第9回 happ 理事会	92	28	火	美術館 講座室	(株)ハウ/コーヒーエネマご愛用者フォローアップ講習会
61	21	火	共有 講堂	(株)近代美術/沖縄感動産業戦略構築事業シンポジウム	93	29	水	博物館 実習室	イスラン/東洋医学の勉強会
62	21	火	共有 講堂	みはら保育園/おゆうぎ会 リハーサル	94	29	水	博物館 講座室	盛和塾沖縄/定例会
63	22	水	博物館 講座室	(株)ジェイティービー沖縄国内商品事業部/るぶトラベル増売セミナー	95	29	水	県民 アトリエ	沖縄県地域活動連絡協議会/会長研修会
64	22	水	スタジオ	ライフバンテージ/アンチエイジングの勉強鶏飼	96	29	水	共有 講堂	一般社団法人 市民介護相談員なは/シンポジウム「高齢者虐待防止を今改めて考える」
65	22	水	美術館 講座室	公文エルアイエル/併設前研修	97	30	木	博物館 講座室	南部地区個人住民税徴収対策協議会/平成25年度 徴収担当職員研修会(徴収強化策研修)
66	22	水	美術館 講座室	メイド・イン沖縄プロジェクト/小谷(ウクク)とまぼろしの竹細工~知念政敏さんのお話と実演~					
67	23	木	博物館 講座室	グローバルハイシティ/電子マネーの勉強会	98	30	木	美術館 講座室	一般社団法人沖縄文化研究所/第4回 琉装教養講座~琉装をもっと楽しく身近に~
68	23	木	スタジオ	(株)ラウダ/資産保護の勉強会	99	31	金	共有 講堂	沖縄県環境科学センター/無料特別セミナー これからの環境と地域振興・ビジネス
69	23	木	美術館 講座室	(株)ケイオーパートナーズグッジョブ推進事業局/沖縄型ジョブシャドウイング事業 1月度度全体会議	101	30~31	県民 アトリエ	子供 アトリエ	(学) KBC 学園 IDA 高等課程/ IDA 高等課程展
					102	30~31	子供 アトリエ		



No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
103	1	~31	博物館企画展示室	琉球放送(株)/マチュピチュ「発見」100年 インカ帝国展	106	7	~14	企画ギャラリー2	第5回 かりゆし美術展 準備
104	1	~31	博物館特別展示室		第5回 かりゆし美術展 準備	107	7	~13	3階廊
105	7	~14	企画ギャラリー1						

【2013年2月】

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
1	1	土	博物館講座室	(株)学友館/第4回 田中博史先生の授業実践講座	26	8	土	県民アトリエ	ウィメンズセンター大阪・なは女性センター/「もっと知りたい!女のカラダ in 沖縄」セミナー 控室
2	1	土	美術館講座室	OID研修会					
3	1	土	共有講堂	みはら保育園/第7回おゆうぎかい	27	8	土	子供アトリエ	ウィメンズセンター大阪・なは女性センター/「もっと知りたい!女のカラダ in 沖縄」セミナー 控室
4	1	土	共有講堂	沖縄県立学校教育課/英語小中大連携教育講演会並びにシンポジウム					
5	2	日	博物館講座室	沖縄県・NPO法人おきなわCAPセンター/平成25年度 沖縄県児童虐待防止推進事業 第二会場	28	8	土	美術館講座室	沖縄の教育を良くする会/テレビ「生命の光」を観る会
					29	8	土	美術館講座室	沖縄県立美術館 happi理事会
6	2	日	共有講堂	沖縄県 NPO 法人おきなわ CAP センター/平成25年度 沖縄県児童虐待防止推進事業 第一会場	30	9	日	博物館実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室
					31	9	日	博物館講座室	第11代 齋藤用之助顕彰会/鳥島移住110周年記念「記念講演会」
7	2	日	美術館講座室	ミキ・ワールド沖縄/食の勉強会	32	9	日	博物館講座室	日本公文教育研究会/公文認定テスト
8	4	火	美術館講座室	アクサ生命保険(株)/社員研修	33	9	日	スタジオ	(株)ケイショウカイ/(株)MEDIC 事業説明会
9	4	火	共有講堂	明治安田生命沖縄支社/第4回 子育て支援セミナー~後悔しない 失敗しない子育て~	34	9	日	県民アトリエ	喜納/余興の練習
					35	9	日	美術館講座室	日本秘書クラブ沖縄支部/秘書技能検定試験
10	5	水	博物館講座室	(株)ドリーム・アーツ沖縄/ICT活用による地域振興事例展示会	36	9	日	共有講堂	九州矯正歯科学会沖縄支部/第9回九州矯正歯科学会学術大会 市民公開講座
11	5	水	共有講堂	(株)ドリーム・アーツ沖縄/第1回 沖縄離島 ICT シンポジウム ICTが叶える離島の未来	37	9	日	共有講堂	音楽教室/ピアノ発表会
					38	12	水	スタジオ	アクサ生命保険(株)/社員研修
12	5	水	スタジオ	マリープラチナス(株)/美容に関する勉強会	39	12	水	子供アトリエ	マージン7/事業説明会
13	5	水	美術館講座室	(株)国建/平成25年度 沖縄県型県産材活用システム構築事業	40	12	水	美術館講座室	公文エルアイエル/教材持寄り研究講座・公文書写教室開設説明会
14	6	木	美術館講座室	楽天生命保険(株)/登録後研修	41	12	水	美術館講座室	SG 沖縄/勉強会
15	6	木	美術館講座室	NPO 法人沖縄平和協力センター/平和をつくるチカラ~沖縄の平和教育を考える~	42	13	木	博物館講座室	盛和塾沖縄/定例会
16	7	金	博物館講座室	システム・インテグレーション(株)/支援成果報告会	43	13	木	スタジオ	(株)広済/テラヘルツ有効波の可能性
17	7	金	博物館講座室	ジブラルタ生命保険(株)沖縄エリア/教弘委員会	44	13	木	美術館講座室	タマホーム沖縄(株)/協力会工程会議
18	7	金	スタジオ	ケイオーパートナーズ(株)/全体会議	45	13	木	美術館講座室	沖縄県総合事務局運輸部/沖縄総合事務局地域公共交通に関する第三者評価委員会
19	7	金	県民アトリエ	(株)ベルシステム24/面接会場	46	13	木	共有講堂	栄光学園高等学校・(株)TB コーポレートセールス/栄光学園修学旅行 安里要江さん講演会
20	7	金	美術館講座室	琉球大学 国際沖縄研究所/ワークショップ「二つのシナ海」をめぐる安全保障」	47	14	金	博物館講座室	(株)ケイオーパートナーズグッジョブ推進事業局/2月度度全体会議
21	7	金	美術館講座室	一般社団法人沖縄文化研究所/琉装普及プロジェクト	48	14	金	子供アトリエ	アクサ生命保険(株)/セミナー
22	7	金	共有講堂	沖縄県建築士会/H25年度技術者育成事業	49	15	土	博物館講座室	万国津梁機構/「夢と希望とロマンに満ちた講演会」万国津梁機構定例講演会
23	8	土	博物館実習室	(有)ユニバーサルコンパス/IBUKI (カラー講習会)	50	15	土	博物館講座室	沖縄県高等学校教頭・副校長会/第4回研究協議会
24	8	土	博物館講座室	楽天生命保険(株)/代理店研修	51	15	土	美術館講座室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happi鑑賞ツアーガイド育成講座
25	8	土	共有講堂	ウィメンズセンター大阪・なは女性センター/「もっと知りたい!女のカラダ in 沖縄」セミナー	52	15	土	スタジオ	(株)アイエスアイ/海外サイエンス体験短期研修 事前研修会
					53	15	土	子供アトリエ	光画文化研究所/写真作家入門

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)
54	15	土	博物館講座室	新都心通り会/第4回勉強会	84	21	金	博物館講座室	阪急交通社 トラビックス/海外旅行説明会 第1会場
55	15	土	共有講堂	消防庁・那覇市消防本部・(株)プロセスユニーク/住宅防火・防災推進シンポジウム	85	21	金	美術館講座室	阪急交通社 トラビックス/海外旅行説明会 第2会場
56	15	土	3階廊	消防庁・那覇市消防本部・(株)プロセスユニーク/住宅防火・防災推進シンポジウム	86	21	金	博物館実習室	Theater TEN Company/演出家育成ワークショップ
57	15	土	博物館実習室	消防庁・那覇市消防本部・(株)プロセスユニーク/住宅防火・防災推進シンポジウム控室	87	21	金	県民アトリエ	伊東久美子/経済セミナー
58	15	土	美術館講座室	消防庁・那覇市消防本部・(株)プロセスユニーク/住宅防火・防災推進シンポジウム控室	88	21	金	子供アトリエ	(株)レジェンド/事業説明会
59	16	日	博物館実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室	89	21	金	美術館講座室	あいおいニッセイ同和生命労働組合/総会
60	16	日	博物館講座室	(株)七田チャイルドアカデミー/わが子の算数・数学がupする!さんすうセミナー	90	21	金	共有講堂	一般社団法人沖縄県芸能関連協議会/アートキャンパス 2014 in Okinawa 最終プレゼン
61	16	日	スタジオ	第2回沖縄マシーネンクリーガ作品展示会実行委員会/第2回沖縄マシーネンクリーガ作品展示会	91	22	土	博物館講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外ジョブトレーニング成果発表会
					92	23	日	博物館講座室	琉球大学国際沖縄研究所/危機的な状況にある方言の実感に関する調査研究の報告会
62	16	日	県民アトリエ	(株)LEJ管理本部/植物ミネラル勉強会	93	23	日	博物館講座室	日本バイオインフォマティクス学会/沖縄地域部会セミナー
63	16	日	子供アトリエ	版の会/版画教室	94	23	日	美術館講座室	サンクスアイ/健康セミナー
64	16	日	美術館講座室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ/ミュージアムミーティング 地域にひらくミュージアム活動とは	95	23	日	共有講堂	沖縄県建築設計サポートセンター/第20回 住まいクリニックセミナー in 沖縄「地震に自信を。」
65	16	日	共有講堂	琉球大学 産学官連携推進機構/第6回沖縄学生ビジネスプランコンテスト 最終発表会	96	25	火	博物館実習室	ミリオンクラブMフェイス/ミリオンクラブMフェイス勉強会
					97	25	火	博物館実習室	沖縄シンクタンク協議会/2月例会
66	18	火	博物館実習室	(株)LEJ管理本部/植物ミネラル勉強会	98	25	火	博物館講座室	沖縄県エステティック・スパ協同組合/平成25年度沖縄エステティックスパ市場拡大支援事業 事業報告会
67	18	火	博物館講座室	グローバルハイシティ/電子マネーの勉強会					
68	18	火	県民アトリエ	日本社会文学会/インタビュー会場	99	25	火	スタジオ	(株)オベラ/事業説明会
69	18	火	美術館講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外長期ジョブトレーニング 事後研修1	100	25	火	美術館講座室	盛和塾沖縄/キックオフ会
70	18	火	共有講堂	沖縄現代演劇協会/リーディング公演 我の村から戦争がはじまる	101	25	火	美術館講座室	(株)ラジカル沖縄/第17回 ルーキービジネスセミナー
71	18	火	美術館講座室	(株)レキオス/レキオス倶楽部ビジネスネットワークセミナー (キャンセル)	102	25	火	美術館講座室	NPO 法人沖縄人材クラスタ研究会/中小企業魅力発見事業「Gut■s」事前研修
72	19	水	博物館実習室	MBI/インターネット広告権の勉強会	103	25	火	共有講堂	NPO 法人沖縄人材クラスタ研究会/「企業が求める人材×学生が感じる企業」について考えるシンポジウム
73	19	水	博物館講座室	日本公文教育研究会/指導者特別講座(英語)					
74	19	水	博物館講座室	外間経営労務管理事務所/「知らないと損!年金のしくみ」&「適正人件費と人事賞金制度」	104	26	水	博物館講座室	(株)琉球新報開発/労働局委託 生涯設計セミナー 講演会+相談会
					105	26	水	博物館講座室	満喜(株)/会社説明会及び採用試験
75	19	水	博物館講座室	那覇新都心通り会/沖縄県内市町村の東アジア文化都市の立候補に向けた可能性検討第5回勉強会	106	26	水	スタジオ	ライフバンテージ/アンチエイジングの勉強会
76	19	水	県民アトリエ	リップル/会議	107	26	水	美術館講座室	(株)りゅうせき・(株)レクス/異業種交流研修
					108	27	木	博物館実習室	イスラン/東洋医学の勉強会
77	19	水	子供アトリエ		109	27	木	博物館講座室	公益財団法人 沖縄県産業振興公社/沖縄県ビジネスインキュベーションセミナー
78	19	水	美術館講座室	グラフィソフトジャパン(株)/Archi CAD 17 全国ロードショー	110	27	木	スタジオ	プライム・アソシエイツ(株)/パーソナルミッション作成講座
79	19	水	美術館講座室	一般社団法人沖縄文化研究所/第6回 琉装教養講座~琉装をもっと楽しく身近に~	111	27	木	県民アトリエ	(株)ベルシステム24/面接会
80	20	木	共有講堂	平成音楽大学/平成26年度一般入学試験(キャンセル)	112	27	木	美術館講座室	(株)ダイワサービス/ハートブリーザー研修
81	20	木	美術館講座室	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外長期ジョブトレーニング 事後研修2	113	28	金	博物館講座室	一般財団法人ヤマハ音楽振興会・文教楽器(株)/ヤマハ音楽教室システム講師全体研修会/文教楽器講師会議
82	20	木	博物館実習室	阪急交通社 トラビックス/海外旅行説明会 第2会場					
83	20	木	博物館講座室	阪急交通社 トラビックス/海外旅行説明会 第1会場	114	28	金	博物館講座室	沖縄県三線製作事業協同組合/フランス視察報告会

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
115	18~23		スタジオ	第6回総合学園ヒューマンアカデミー那覇校/卒業修了展示会	118	1~2	スタジオ	(学) KBC 学園 IDA 高等課程/IDA 高等課程展	
116	1~4		博物館企画展示室	琉球放送(株)/マチュピチュ「発見」100年インカ帝国展	119	1~2	県民アトリエ		
117	1~4		博物館特別展示室		120	1~2	子供アトリエ		

【2013年3月】

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報(申込者名)
1	1	土	博物館実習室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ/陶器絵付け体験	29	8	土	県民アトリエ	(有)ユニバーサルコンパス/IBUKI (カラー講習会)
2	1	土	美術館講座室	日本環境法律家連盟 (JELF)/JELF 総会シンポジウム「沖縄の自然環境と公共事業」	30	8	土	博物館実習室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会 happ/第10回理事会
3	1	土	共有講堂	金城哲夫研究委員会/金城哲夫・生誕75周年記念 金城哲夫の世界	31	8	土	博物館講座室	沖縄の文化表象に見るジュリ(遊女)の諸相プロジェクト/沖縄の文化表象に見るジュリ(遊女)の諸相
4	1	土	共有講堂	沖縄農業技術企業化協同組合/講演会「植物工場の現状と課題」					
5	1	土	スタジオ	日本メナード化粧品(株)/メナードご紹介フェア	32	8	土	美術館講座室	沖縄・朝鮮友好の会/学習会
6	2	日	スタジオ		33	8	土	共有講堂	日本芸能実演家団体協議会/シンポジウム「豊かな文化芸術を生かす人材育成を考える」
7	1	土	子供アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/サンゴ礁がもっと知りたくなる週末~研究者に会いに行こう!~	34	9	日	博物館実習室	池間方言研究会/池間宮古方言教室
8	2	日	子供アトリエ		35	9	日	県民アトリエ	家庭倫理の会那覇市/生活倫理相談士面接
9	2	日	県民アトリエ	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/あーまんしあたー、Coral study	36	9	日	博物館講座室	社会法人 那覇市身体障害者福祉協会/第12回 那覇市障がい者美術展 表彰式・閉会式
10	2	日	博物館講座室	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/サンゴ礁保全から進める地域興し	37	11	火	スタジオ	(株)ヴィーダ/ラポール倶楽部勉強会
11	2	日	博物館実習室	NPO 法人沖縄県立美術館支援会happ/日本画制作体験	38	11	火	博物館講座室	(株)日本広告/マーケティングセミナー
12	2	日	美術館講座室	国際統合医療協会/(株)ジェイコスメ・HK/統合医療の新たな挑戦!~黒酵母でガン患者を救え~	39	11	火	美術館講座室	タマホーム沖縄(株)/タマホーム沖縄協力会工程会議
13	2	日	共有講堂	沖縄対策本部/自虐被害者史観から脱却し誇りある沖縄に	40	11	火	共有講堂	沖縄県中小企業診断士協会/沖縄ものづくり事業化支援プロジェクト ものづくりフォーラムin沖縄
14	4	火	博物館実習室	マリープラチーヌ(株)/美容に関する勉強会	41	12	水	博物館講座室	グローバルハイシティ/電子マネーの勉強会
15	4	火	博物館講座室	ジブラルタ生命保険(株)沖縄エリア/ジブラルタ生命 退職予定者セミナー	42	12	水	共有講堂	(株)エイカーフィルム/『ハイサイゾンビ』関係者試写会
16	4	火	美術館講座室	沖縄県高等学校長協会/第7回総務研究協議会(キャンセル)	43	12	水	美術館講座室	(株)ケイオーパートナーズグッドジョブ推進事業局/沖縄型ジョブシャドウイング事業 3月度 全体会議
17	5	水	博物館実習室	沖縄県立学校事務職員協会/役員会・理事會					
18	5	水	博物館講座室	沖縄県環境科学センター/おきなわサンゴ礁ウィーク2014 サンゴ礁保全とオニヒトデ研究 シンポジウム	44	13	木	博物館講座室	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー/平成25年度 万国医療津梁協議会 報告会
					45	13	木	博物館講座室	盛和塾沖縄/定例会
19	5	水	県民アトリエ	沖縄県地域活動連絡協議会/会長研修会	46	13	木	スタジオ	アクセス/事業説明会
20	5	水	美術館講座室	日本公文教育研究会/数学B~D教材フォローアップ講座	47	13	木	美術館講座室	琉球大学/消滅危機言語ワークショップ
21	5	水	美術館講座室	辻・本郷税理士法人 沖縄支部/平成26年度 税制改正セミナー	48	13	木	共有講堂	沖縄県総合事務局財務部金融監督課/地域密着型金融に関するシンポジウムinおきなわ
22	6	木	博物館講座室	(株)国建/第2回中城御殿跡地整備検討委員会	49	14	金	博物館実習室	沖縄県工芸産業協働センター/工芸産地組合高度化促進事業(次世代経営者育成講座)
23	6	木	美術館講座室	(株)広済/テラヘルツ有効波の可能性	50	14	金	博物館講座室	NPO 法人沖縄県工芸産業協働センター/工芸産業連携活性化促進事業 特別講演会およびマッチング交流会
24	6	木	共有講堂	沖縄防衛局/第21回防衛セミナー					
25	7	金	博物館実習室	一般社団法人沖縄県発明協会/知的財産活用セミナー	51	14	金	スタジオ	(株)ケイオーパートナーズ/就活パワフルサポートBグループ コーディネーター報告会
26	7	金	共有講堂	(株)沖縄銀行営業統括部/病院向け経営セミナー	52	14	金	美術館講座室	琉球大学/消滅危機言語ワークショップ
27	7	金	子供アトリエ	(株)ラウダ/資産保護勉強会(キャンセル)	53	14	金	美術館講座室	公益財団法人 沖縄県産業振興公社/第3回ビジネスインキュベーション連絡会議
28	7	金	県民アトリエ	(有)ユニバーサルコンパス/IBUKI (カラー講習会)	54	14	金	共有講堂	スモールサン・ゼミOKINAWA・人材共有(株)/「2014年日本経済の統括と2014年の展望」

No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)	No	日	曜日	施設名	イベント情報または施設貸出情報 (申込者名)
55	15	土	博物館講座室	NPO 法人TOSS 沖縄/第3回 全国縦断教材のコースウェアセミナー in 沖縄	85	23	日	スタジオ	池間方言研究会/池間宮古方言教室
56	15	土	博物館講座室	NPO 法人TOSS 沖縄/第2回 教え方セミナー in 沖縄	86	23	日	県民アトリエ	日本リンパ美容学院/美容と健康、リンパについての勉強会
57	15	土	県民アトリエ	久目晴美/日本リンパ美容学院、事業説明会・製品体験セミナー	87	25	火	博物館講座室	(株)ミロク情報サービス沖縄支社/消費税率引き上げ直前対策セミナー
58	15	土	子供アトリエ	版の会/版画教室	88	25	火	博物館講座室	(株)いつみ/ビーワンA講習会
59	15	土	美術館講座室	沖縄県工芸振興センター/出張工芸振興センター	89	25	火	美術館講座室	ゆいまーる沖縄(株)/沖縄県工芸製品新ニーズモデル創出事業
60	16	日	美術館講座室		90	25	火	美術館講座室	盛和塾沖縄/キックオフ会
61	15	土	スタジオ	(株)LEJ 管理本部/植物ミネラル勉強会	91	26	水	博物館講座室	冒険王(株)/県外合同企業説明会
62	16	日	スタジオ		92	26	水	美術館講座室	ライフバンテージ/アンチエイジング勉強会
63	15	土	博物館実習室	ブライム・アソシエイツ(株)/パーソナルミッション作成講座	93	26	水	県民アトリエ	イスラン/東洋医学の勉強会
64	16	日	博物館実習室		94	26	水	美術館講座室	NPO 法人沖縄人材クラスタ研究会/学生の成長実感と企業の成長予感
65	18	火	美術館講座室	(株)レキオス/レキオス倶楽部ビジネスネットワークセミナー (キャンセル)	95	26	水	共有講堂	NPO 法人沖縄人材クラスタ研究会/学生の成長実感と企業の成長予感
66	18	火	博物館実習室	ニナファーム・ジャポン/サプリメントの健康セミナー	96	27	木	博物館講座室	沖縄税理士会北那覇支部/資産税研修会
67	18	火	博物館講座室	(株)ラジカル沖縄/第18回 ルーキービジネスセミナー	97	27	木	スタジオ	(株)ケイショウカイ/(株)MEDIC 事業説明会
68	18	火	博物館講座室	(公財)日本賃貸住宅管理協会沖縄県支部/支部定例会	98	27	木	美術館講座室	(株)ARLUCK/金子欽致出版講演会
69	18	火	博物館講座室	圓和館/ファミリー・ヒストリー講演会	99	27	木	美術館講座室	圓和館/ファミリー・ヒストリー講演会
70	18	火	スタジオ	(株)マネジメントアシスタント/キャッシュフロー全国会フォロー研修	100	27	木	県民アトリエ	圓和館/面談・相談会
71	18	火	県民アトリエ	圓和館/スタッフ会議	101	27	木	共有講堂	沖縄県那覇新都心倫理法人会/平成26年度 倫理経営講演会
72	18	火	美術館講座室	社会保険労務士法人パソナルマネジメント/メンタルヘルス勉強会	102	29	土	博物館講座室	沖縄県平和大使協議会/平和ビジョンセミナー
73	19	水	博物館実習室	ニナファーム・ジャポン/サプリメントの健康セミナー	103	29	土	子供アトリエ	光画文化研究所/写真作家入門
74	19	水	博物館講座室	公益社団法人沖縄県建築士会/一級建築士免許交付式・応急判定士講習会	104	29	土	スタジオ	(有)ソーシャル・アライアンス琉球/統計心理学 初級コース (キャンセル)
75	20	木	博物館実習室	(株)アイドゥー/面接	105	29	土	共有講堂	上原明美/第8回 ピアノ発表会
76	20	木	博物館講座室	(株)沖縄ファミリーマート/リウボウグループ2社 合同企業説明会	106	30	日	博物館講座室	沖縄県眼科医会・琉球大学眼科/第117回 沖縄眼科集談会
77	20	木	県民アトリエ	(株)ベルシステム24/面接会	107	30	日	県民アトリエ	ミキワールド沖縄/食の勉強会
78	20	木	美術館講座室	沖縄メットライフアリコ会/研修会	108	30	日	美術館講座室	(株)ハウ/コーヒーエネマご愛用者フォローアップ講習会
79	21	金	スタジオ	(株)ケイショウカイ/(株)MEDIC 事業説明会	109	30	日	屋外展示場	沖縄ジャズギルドオーケストラ/沖縄ジャズギルドオーケストラプレゼンツ春の祭典
80	21	金	共有講堂	ピアノ教室「わ」/ハッピーコンサート(仮称)	110	30	日	共有講堂	ピティナ那覇ミュージアムステーション/那覇春季地区ピティナ・ピアノステップ
81	22	土	博物館講座室	万国津梁機構/定例講演会 (キャンセル)	111	4~10		スタジオ	社会法人 那覇市身体障害者福祉協会/第12回 那覇市障がい者美術展
82	22	土	美術館講座室	沖縄の教育を良くする会/テレビ「生命の光」を観る会	112	1~8	エントランスホール	沖縄県サンゴ礁保全推進協議会/サンゴ礁パネル展	
83	22	土	共有講堂	(株)沖縄ヒューマンキャピタル/海外ジョブチャレンジ事業第3期インターシップ成果発表会					
84	23	日	博物館講座室	一般社団法人日本認知ケア学会/事例検討会					

### 3. 県民ギャラリー貸出件数

No	開催期間	日数	使用ギャラリー	イベント名	主催者
1	4月9日～4月14日	6日間	2	しゃかりき My Tube	中川誠一郎
2	4月13日～4月14日	2日間	1	寺井広樹「世界タメシガキ博覧会」	寺井広樹
3	4月16日～4月21日	6日間	1・2・3	龍賓曹源書道展	龍賓曹源書道会
4	4月23日～4月29日	7日間	1	国吉安子、クレイトン兩宮、ポール・ロリマー 三人展	国吉安子
5	4月23日～4月29日	7日間	2	紀世子の絵本の絵展	淡路紀世子
6	4月26日～4月28日	3日間	3	心の花びら展 IN 沖縄	心の花びら展事務局
7	5月3日～5月6日	4日間	1・2	スターリィマンからの贈りもの展	一般社団法人スターリィマンからの贈りもの
8	5月8日～5月12日	6日間	1	鈴木芭蕉布工房のしごと展	鈴木芭蕉布工房
9	5月14日～5月19日	6日間	1・2・3	「沖縄～現代日本画家展 2013～」	喜屋武千恵
10	5月28日～6月2日	4日間	1・2	第46回書遊会沖縄書道会展	書遊会沖縄書道会
11	5月28日～6月2日	4日間	3	震災で消えた小さな命展	田中麻紀
12	6月4日～6月9日	6日間	1・2・3	波平栄宏 絵画展	波平栄宏
13	6月11日～6月15日	6日間	1	第31回 沖縄広告賞	沖縄広告協会
14	6月11日～6月15日	6日間	2	美術の先生が撮った写真展	上原秀樹
15	6月18日～6月23日	6日間	1	筆文字あーと	田場珠翠
16	6月20日～6月23日	4日間	2・3	自死遺族の想いを伝えるパネル展	働く者のメンタルヘルス相談室
17	7月4日～7月14日	9日間	1	佐川毅彦	佐川毅彦
18	7月12日～7月21日	9日間	2・3	彫刻の五七五 - かたちで読む奥の細道	2013彫刻の五七五実行委員会
19	7月23日～7月28日	6日間	1・2	第30回 日本現代美術協会沖縄支部展	日本現代美術協会沖縄支部
20	7月26日～7月28日	3日間	3	建築模型展	サイテクカレッジ那覇
21	7月30日～8月4日	6日間	1・2・3	第22回 りゅうぎん紅型デザインコンテスト作品展	琉球銀行
22	8月6日～8月11日	6日間	1・2	沖縄地区公文書写教室合同成果発表会	公文エルアイエル
23	8月13日～8月18日	6日間	1・2・3	平成25年度第19回沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭	特別支援学校中学部
24	8月20日～8月25日	6日間	1	禅画展	沖縄県禅画協会
25	8月24日	1日間	2・3	琉球大学熱帯生物圏研究センター市民公開講座展示会	琉球大学熱帯生物圏研究センター
26	8月27日～9月1日	6日間	1	沖縄旺玄会小品展	沖縄旺玄会
27	9月3日～9月8日	6日間	1	伊禮あおかつ展～石獅子より12年の軌跡～	伊禮あおかつ
28	9月3日～9月8日	6日間	2・3	沖縄学生美術展2013～美術を学んでいる学生たちの今～	沖縄学生美術展2013実行委員会
29	9月10日～9月16日	7日間	1・2・3	希望のかたち展 もとぶ記念病院利用者の造形美術展	もとぶ記念病院
30	9月18日～9月22日	5日間	1	桃原須賀子 個展	桃原須賀子
31	9月18日～9月23日	6日間	3	國吉清尚・國吉清雲 兄弟展	國吉清雲
32	9月21日～9月23日	3日間	2	「夢のかけら」～時の絆～	美術工房 feel
33	9月25日～9月29日	5日間	1・2	たのしいデザイン	日本グラフィックデザイナー協会
34	9月25日～9月29日	5日間	3	第9回 沖縄の水デジタルフォトコンテスト作品展	沖縄県企業局

No	開催期間	日数	使用ギャラリー	イベント名	主催者
35	10月1日～10月14日	12日間	1・2・3	アジアの写真家は今～東松照明追悼展～	フォトネシア沖縄実行委員会
36	10月17日～10月20日	4日間	1・2・3	インターナショナルデザインアカデミーデザイン展	インターナショナルデザインアカデミー
37	10月22日～10月27日	6日間	1・2・3	第36回沖縄県工芸公募展	ものづくり振興課
38	10月29日～11月3日	6日間	1・2	第4回 日仏造形美術フェスティバル	日仏造形美術フェスティバル実行委員会
39	10月29日～11月4日	6日間	3	東京画～高安イクミ個展～	高安イクミ
40	11月7日～11月10日	4日間	1・2・3	デジタルデザイン展	国際電子ビジネス専門学校
41	11月12日～11月17日	6日間	1・2	大城勝 遺作展	大城勝遺作展実行委員会
42	11月12日～11月17日	6日間	3	写真集団カエルサークル定期写真展	写真集団カエル
43	11月19日～11月24日	6日間	1・2・3	第9回 こころの美術文化フェスティバル	沖縄県精神保健福祉連合会
44	11月26日～12月1日	6日間	1・2・3	第6回 Photo is art. Art is heart.	チームPA
45	12月3日～12月8日	6日間	1・2	大倫書道展	大倫書道会
46	12月5日～12月8日	4日間	3	ハートワークス臨床美術作品展	沖縄県福祉ネットワーク協会
47	12月10日～12月15日	6日間	1	ちいさなくりすます展	KG 商事クラフト館
48	12月11日～12月15日	5日間	2・3	第31回沖縄ガイア押花会 押し花&ガラスアート合同作品展	沖縄ガイア押花会
49	12月17日～12月22日	6日間	1・2	高退教作品展	沖縄県高等学校障害児学校退職者会
50	12月17日～12月22日	6日間	3	バードカービング/木彫りの野鳥	琉球バードカービング
51	12月25日～12月28日	4日間	1	第3回 沖縄ふるさとづくり図画コンクール入賞作品展	沖縄しまたて協会
52	1月10日～1月12日	3日間	1・2・3	平成26年度 JA 共済全国小中学生第4回書道・第31回交通安全ポスター沖縄県コンクール展示会	全国共済農業協同組合沖縄県本部
53	1月21日～1月26日	6日間	1・2・3	「森山大道展」関連催事ポートフォリオレビュー展	沖縄県立博物館・美術館 ( )
54	1月28日～2月2日	6日間	1・2・3	第2回 いずみの森美術館2014	医療法人和泉会
55	2月4日～2月9日	6日間	1・2・3	グループP展	グループP
56	2月12日～2月16日	5日間	1	賀園飾り花結び展	賀園飾り花結び会
57	2月18日～2月23日	6日間	1・2・3	第6回総合学園ヒューマンアカデミー那覇校卒業修了展	総合学園ヒューマンアカデミー那覇校
58	2月25日～3月2日	6日間	1	火・水・土の会	金城幸也カルチャースクール
59	2月25日～3月2日	6日間	2	柳光親 親子三代展～ときの輝き～	沖縄県立美術館支援会 happ
60	2月27日～3月2日	4日間	3	絵本「ぐるぐる」原画展	絵本「ぐるぐる」原画展実行委員会
61	3月4日～3月9日	6日間	1・2・3	那覇市障がい者美術展	那覇市身体障害者福祉協議会
62	3月12日～3月16日	5日間	1・2・3	第40回 沖縄県工芸振興センター展/工芸縫製・金細工技術研修成果展	沖縄県工芸技術センター
63	3月18日～3月23日	6日間	1	Misaki Kodama solo exhibition	児玉美咲
64	3月18日～3月23日	6日間	2	元色展	かじマヤー
65	3月21日～3月23日	3日間	3	子どもから大人まで楽しめる切り絵の世界	玉那覇里美
66	3月25日～3月30日	6日間	1・2	岩橋格のフォトファンタジー展「ヒトの万華鏡」	岩橋格
67	3月25日～3月30日	6日間	3	美術館教育普及活動ワークショップ修了作品展	文化の杜共同企業体 ( )

( ) 県および指定管理者主催事業は「1. 月別施設利用集計」の貸館件数に含まず。

# 博物館

調査研究等の活動  
展示活動  
教育普及活動  
資料収集・保存管理

## ． 調査研究等の活動

### 1． 調査研究の概要

博物館の機能は、調査研究、資料収集・保管、資料の展示、教育普及活動という4つの大きな柱によって構成されている。これらは互いに関連しているが、調査研究は他の機能の基礎となる重要な部分である。

当館における調査研究活動は、全学芸員が一地域を対象に実施する総合調査、他機関との共同研究、学芸員それぞれによる個別の調査研究がある。

総合調査では、各島において自然、歴史、民俗、考古、美術工芸、建築の基礎資料の掘り起こしと収集を行ってきた。久米島（1993・1994年度）を皮切りに、波照間島（1996・1997年度）、西表島（1998～2000年度）、小浜島（2001～2003年度）、与那国島（2004～2008年度）、竹富島（2009～2011年度）で調査を行った。2012～2015年度は鳩間島・新城島・黒島での調査を予定しており、今年度は新城島を中心に調査を実施している。

共同研究事業としては、国立科学博物館、東京大学と共同で、南城市玉城のハナダガマ遺跡（2006・2007年度）、南城市玉城おきなワールド内の武芸洞（2007～2010年度）、2011年度は武芸洞に加えて同敷地内のサキタリ洞を調査対象とした。2012年度から沖縄振興特別推進交付金対象事業「沖縄遺産のブランド開発・発信事業」と称してサキタリ洞遺跡の本調査を2カ年計画で実施している。昨年度に引き続き、今年度も先史時代の人骨や貝器、土器等が多数出土し、全国的に注目される貴重な成果が得られた。

学芸員個別の調査研究事業は、学芸員自身がテーマを設定し自主的に実施しているものや外部から依頼を受けて行うもの等様々である。その成果は論文の形で発表されるとともに、講演等の形で生かされている。

以下、2013年度における調査研究等の活動状況を報告する。

(久場 政彦)

### 2． 博物館総合調査 鳩間島・黒島・新城島総合調査

#### 【趣旨】

総合調査事業は県内離島の自然・歴史・文化について、博物館各分野の学芸員が総合的に調査を実施し、その成果を記録・報告するとともに、当館の展示会等をとおして、島々の自然や文化を多くの県民に伝えることを目的としている。これまで、久米島、波照間島、西表島、小浜島、与那国島、竹富島についておもに現地調査をおこない、それらの成果とともに、1996年に久米島展、2010年に八重山展を実施した。2012年度から、鳩間島・黒島・新城島総合調査を4年計画で実施しており、2013年度は新城島（上地島・下地島）を中心に調査を行った。鳩間島・黒島・新城島総合調査の報告書は2015年度に刊行予定である。

#### 【予算額】

1,123,000円

#### 【組織】

本調査組織は博物館班の学芸員（自然史・考古・歴史・美術工芸・民俗）によって構成されるが、調査の精度を高めるため、予算の範囲内で館外の専門家を調査員として委嘱することがある。各調査員でテーマを設定し、適切な時期に調査を実施する。調査の際、テーマにそったデータの収集だけでなく、展示会を想定し、資料の収集（借用の可能性）や撮影にも努める。

#### 【平成25年度調査実績】

山崎 仁也	主任学芸員	2013年6月25～28日（新城島）、2014年2月12～14日（新城島）
横田 昌嗣	琉球大学教授	2013年6月25～26日（新城島）
仲宗根 忠樹	TsudoiCompany	2013年6月25～28日（新城島）
知念 美香	名護商工教諭	2013年6月25～28日（新城島）
松村 雅史	昆虫愛好家	2014年2月12～14日（新城島）
吉田 和久	昆虫愛好家	2014年2月12～14日（新城島）
仲里 健	主任学芸員	2013年6月25～27日（新城島）
山崎 真治	主任	2013年6月26～28日（新城島）
片桐 千亜紀	主任	2013年6月25～28日（新城島）
岸本 弘人	主任学芸員	2013年6月25～27日（新城島）



崎原 恭子	主任	2013年 6月25～28日 (新城島・鳩間島・黒島)
園原 謙	主幹	2013年 6月25～28日 (鳩間島)
與那嶺 一子	主任学芸員	2014年 2月25～27日 (黒島)
大 湾 ゆかり	主任学芸員	2014年 2月25～27日 (黒島)

(山崎 仁也)

### 3. 博物館共同研究事業

#### (1) 沖縄遺産のブランド開発・発信事業

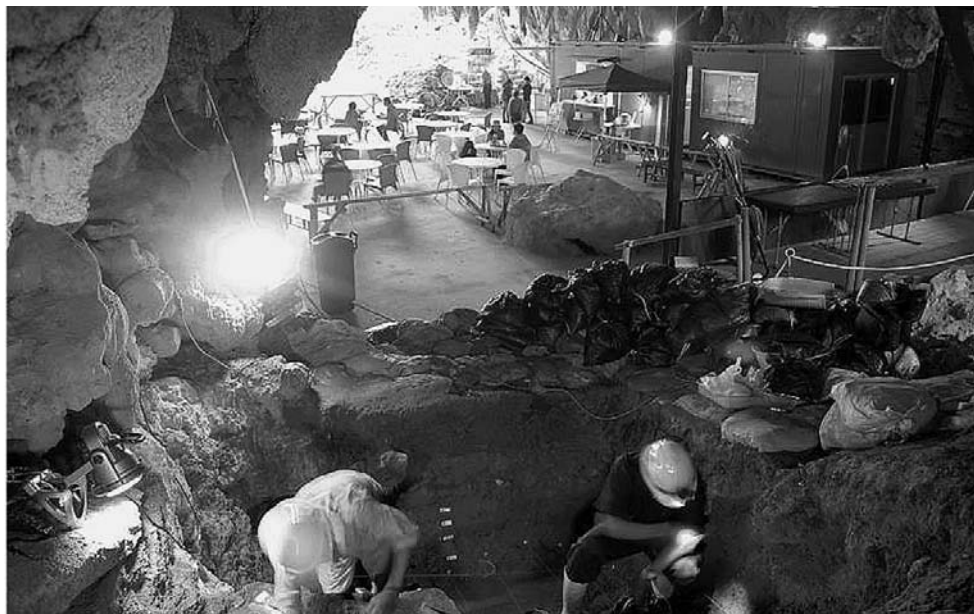
##### 【趣旨】

歴史的・地理的要因により日本本土と異なる発達をとげた本県は、固有の文化・歴史的資源を有しながらも、本県独自の歴史や文化（沖縄遺産）は県外にまだ十分に認知されていない。特に沖縄遺産の目玉となる旧石器人骨は、日本人のルーツを解明する重要な鍵となる資料であり、日本本土では1ヶ所（静岡；浜北人）のみどころ、本県からは港川人をはじめ数多く発見されている。本県が旧石器人骨の調査場所として圧倒的に有利な立場にあることは明らかである。そこで、本事業では沖縄県立博物館・美術館のこれまでの試掘調査結果に基づいて、沖縄県南城市のサキタリ洞遺跡の発掘調査を行い、同遺跡の調査成果を利用した新たな観光資源の創出及び県立博物館の価値増大を図ることを目的とする。

##### 【事業概要】

沖縄県南城市のサキタリ洞遺跡にて、二か所の調査区において発掘を進めた（Ⅰ区、Ⅱ区）。Ⅰ区では、約3万年前ごろまでさかのぼる良好な堆積層が確認されており、これまでの調査で1万4千年前の石器と人骨を発見した。2013年度には、Ⅰ層から出土した海産貝類が人為的に加工された道具であることを確認し、国内初となる旧石器時代（約2万年前）の貝器として学術雑誌に発表した。同層準から小動物骨やマイマイ、カニ爪、炭化材など豊かな自然遺物の整理作業を進め、また、Ⅱ層の調査を実施した。Ⅱ区からは、沖縄県内最古となる約9千年前（縄文時代早期）の土器をイノシシ骨などとともに発見した。

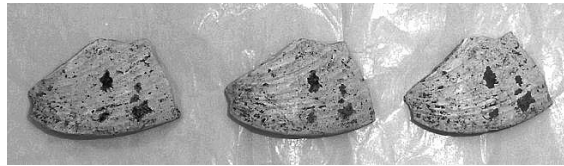
旧石器時代の貝器と9千年前の土器の発見は、それぞれ新聞やテレビなどのメディアに大きく取り上げられたほか、調査終盤に開催した現地見学会でも480名を超える参加者があった。これらの成果を紹介する企画展を開催し、関連催事として現地での特別講演会や出前授業など、情報発信を推進した。また、情報発信として展示等にて活用する目的で、サキタリ洞出土遺物のレプリカやレーザー測量と三次元プリンター技術を活用したサキタリ洞模型を製作した。



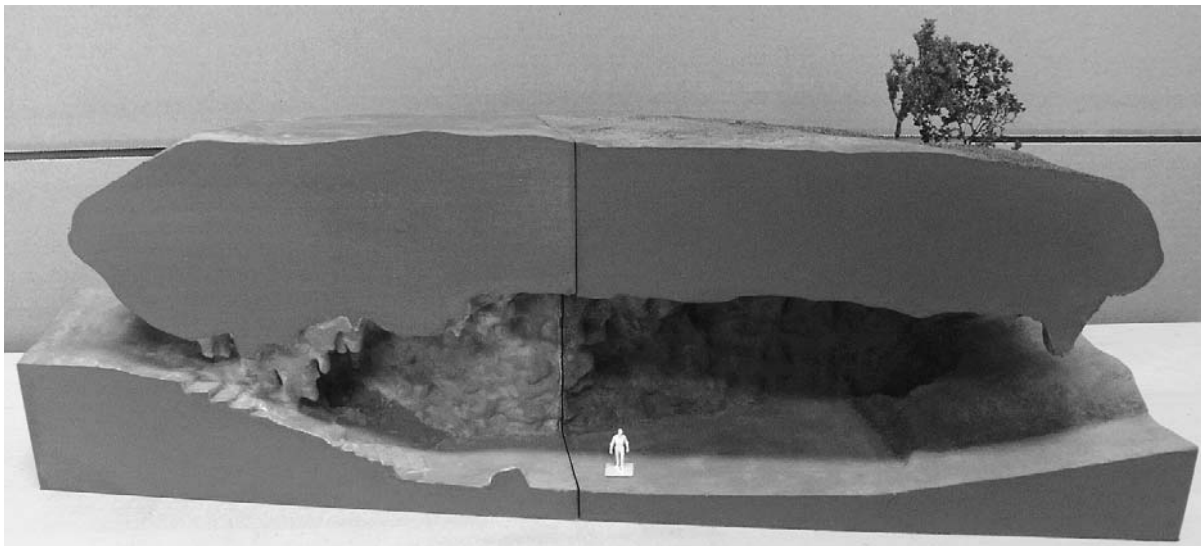
調査区Ⅰの発掘の様子



II層から出土した人骨（左上2点）と貝器（中2段、左下2点）、貝製ビーズ（右下2点）



I層出土石英製石器（上）とII層出土貝器（下）。いずれも左2点がレプリカで右端が実物。



三次元プリンターで制作したサキタリ洞模型。四分分割して内部を観察することができる。写真は南北に二分割した北側のみの写真。左奥に調査区I、右奥に調査区IIがそれぞれ観察できる。レプリカで右端が実物。

（山崎 真治・藤田 祐樹）

## (2) JICA 草の根技術協力事業「沖縄・カンボジア平和文化創造の博物館づくり協力」

### 【経緯と目的】

平和祈念資料館との第1フェーズ（2009-2011）を踏まえカンボジア側からTSGMのアクションプランの実績が評価され、前プロジェクトの成果を踏まえ、なお一層の平和文化創造に係る支援要望が求められたため、「平和文化」の創造、発信の拠点としての博物館の社会的役割を基底にしたプロジェクトを実施することとなった。また、実施体制として、従来の沖縄県平和祈念資料館（OPPM）とTSGMの平和博物館の協力関係に加え、沖縄県立博物館・美術館（OPMAM）とカンボジア国立博物館（NMC）を加えた2プラス2の博物館間で事業を実施し、沖縄側のプロジェクト担当事務局をOPPMからOPMAMに移行し、2012年～2014年の3年間の事業を実施することとした。

## 【事業内容】

カンボジア国立博物館（NMC）、トゥール・スレン虐殺博物館（TSGM）との協議および視察を行い、本プロジェクトの概要について以下のとおり合意した。

### <プロジェクト概要>

- a) 上位目標：歴史的教訓や自文化の優位性を次代に継承し、恒久平和をめざすための「平和文化」を創造する拠点として、国民に親しまれる博物館をめざす。
- b) プロジェクト目標：国民から愛される「平和文化」創造拠点としての博物館管理運営能力が強化される。
- c) 対象施設：カンボジア国立博物館（NMC）、トゥール・スレン虐殺博物館（TSGM）
- d) 事業期間：2012年7月～2015年3月（3年間）
- e) 期待される成果
  - ・「平和文化」創造拠点としての博物館の理念及び管理運営方法が理解され、市民、国民に愛される博物館づくりが実践される。
  - ・「平和文化」を醸成するために歴史的教訓を次代に発信するための活動が展開される。
  - ・「平和文化」の推進啓発のための施設・展示づくりが理解され、来館者満足度に留意した展示活動をはじめとする博物館活動が工夫される。
  - ・学校教育・社会教育における「平和文化」の創造推進拠点としての博物館活動が実践される。
- f) 活動内容：
  - ・毎年3～4名のカンボジアの両博物館のスタッフが、来沖して沖縄県立博物館・美術館を中心に約1ヶ月間（10月～11月）の研修を行う。
  - ・沖縄での研修においては、研修員は課題研究を持ち、研修を通じた学びを基に自国での活動（アクションプラン；AP）を計画し、実践する。
    - APの確実な履行のため、沖縄側から専門家4-5名を毎年約2週間（2月）、カンボジに派遣し、現地での活動を支援する。

## 【実施内容】

### プロジェクト実施の調印式（カンボジア）

本プロジェクトのカンボジア側との覚書確認のために、次の日程で職員をカンボジアに派遣した。なお、JICA職員が同席した。

沖縄県立博物館・美術館千木良芳範（参事兼博物館副館長）、園原謙（主幹）が2012年6月22日～30日。JICA沖縄センター小幡俊弘（所長）・鳥居香代（企画役）が2012年6月24日～30日。

### 沖縄研修

沖縄で研修は2013年9月30日～10月9日まで、NMC 2名（Ms. Horl Sopheap、Mr. Tit Sokha）、TSGM（Mr. Keo Moniroth、Mr. Chhem Sokchamroeum）が参加した。沖縄側は、1日の講義を午前、午後の各2時間の講義延べ36コマを準備し、講義ごと講義内容のレジュメや資料をクメール語に翻訳し、内容の理解に努めた。約4週間の研修内容の構成は次の内容に留意して作成した。

- a) 日本の博物館の概要や法規や規則を学ぶ。
- b) 博物館施設（沖縄県立博物館・美術館、沖縄県平和祈念資料館等）の機能と展示構成を学ぶ。
- c) 個々の課題研究に合わせた講義設定
- d) 国内博物館で最新鋭の非破壊分析装置や保存修復技術を有する九州国立博物館で研修する。
- e) カンボジアの歴史・文化の理解のために中学校・高校で出前講義を行う。
- f) カンボジアの歴史・文化の理解のために最終週に写真企画展「カンボジア王国の光と影」展を開催する。
- g) 研修員のアクションプランの発表会を研修前半と後半で各1回開催する。

### 専門家派遣

研修員4名のAPの進捗状況並び指導及び2014年研修員予定者の確認、研修課題のためにカンボジアに職員を派遣した。派遣職員と期間は次のとおり。期間は前半と後半で設定した。

- ・2014年1月11日（土）～1月19日  
沖縄県立博物館・美術館 高原安伸参事兼博物館副館長、園原 謙主幹、園原は23日（木）まで  
沖縄県平和祈念資料館真栄平房佳主査
- ・2014年1月19日（日）～1月26日（日）  
沖縄県立博物館・美術館 安里進館長、片桐千亜紀主任学芸員

また、来年度研修予定者のヒアリングと研修課題を確認し、最終年度にあたり、の事業成果展などの調整を行った。また、研修員には、沖縄の中高生徒に対して、カンボジアの歴史と文化に関する出前講義と写真企画展「カンボジアの光と影」展のデータ持参、企画製作を課すことを確認。研修予定者は次のとおり。

NMC : Ms.Chap Sopheara (ソフィアラ 修復課主任)

企画展「プロジェクト展」、伝統芸能としての舞踊楽の交流を通して芸術大学同士の交流を促進、修理修復を学ぶ。

Mr.Kim Sanpiseth (サンピセ総務企画課課員)

2020年開館100周年を迎えるにあたり、中長期計画の策定

TSGM : Mr.Hang Nisay (ニサイ ガイド課課員)

TSGM の新館構想づくり、企画展「TSGM ビジョン」展、移動博物館の実施

Ms.Hor Chan Leaksmy (リヤクスミー ガイド担当課員)

常設展示理解のためのワークノートづくり



開講式（当館講堂にて）



九州国立博物館での紙修理実習



研修員による寄宮中学校での出前授業



当館館長及びカンボジア国立博物館長による  
2013年度ミニッツ調印式

(園原 謙)

### (3) 教育普及プログラム「人間国宝と語る 琉球のうるし・創造と未来」シンポジウム・特別展示

#### 【目的】

琉球王国時代の至高の文化遺産である琉球漆芸の手わざの過去及び現状を踏まえ、今後どのように手わざを継承すべきかなど将来の展望を高校生や大学生を中心とした若い人々とともに考える契機をつくるためシンポジウム及び関連展示会を開催した。

#### 【開催形態】

主催：「人間国宝と語る 琉球のうるし・創造と未来」シンポジウム実行委員会を設置し、沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立芸術大学、首里城公園（一般財団法人沖縄美ら島財団）で構成した。  
沖縄県無形文化財保持団体協議会

共 催：徳川美術館、浦添市美術館、伊是名村教育委員会、文化の杜共  
同企業体、首里城公園友の会  
後 援：沖縄県教育委員会、沖縄県高等学校文化連盟、沖縄県中学校文  
化連盟、沖縄タイムス、琉球放送、NHK 沖縄放送局、FM 沖縄  
事 務 局：沖縄県立芸術大学、一般財団法人沖縄美ら島財団、沖縄県立博  
物館・美術館の三者で実行委員会を構成し、事務局を沖縄県立  
博物館・美術館に置く。

【内 容】

基調講演・シンポジウム

「人間国宝と語る 琉球のうるし・創造と未来」

日 時：2013年11月17日（日）13：00～18：00

会 場：沖縄県立博物館・美術館 講堂

第1部 基調講演 - 琉球漆芸を展望する -

・「琉球漆芸の歴史からみた未来像」

安里 進（沖縄県立博物館・美術館長）

・「父・徳川義宣の琉球漆器への思い」

徳川 義崇（徳川美術館館長）

・「琉球漆芸の可能性」

室瀬 和美（国指定重要無形文化財「蒔絵」保持者）

第2部 シンポジウム

パネラー：

室瀬 和美（国指定重要無形文化財「蒔絵」保持者）

系数 政次（沖縄県立芸術大学教授）

土井菜々子（琉球漆工藝舎代表）

兼島 風希（沖縄県立芸術大学生）

島袋 香子（沖縄県立開邦高校生）

山城 優香（沖縄県立浦添工業高校生）

コーディネイター：

安里 進（沖縄県立博物館・美術館長）

展示会

修理・復元の漆芸資料の内容について2会場巡回で、それぞれ機関の学芸員が共同作業で展示紹介した。

展示資料は、沖縄県立博物館・美術館、沖縄美ら島財団（首里城公園）、浦添市美術館及び伊是名村教育委員会の収蔵資料約10数点で構成する。

《浦添市美術館会場》

期 間：平成25年10月29日（火）～11月10日（日）

会 場：浦添市美術館 常設展

《沖縄県立博物館・美術館会場》

期 間：平成25年11月12日（火）～12月8日（日）

会 場：沖縄県立博物館・美術館 博物館常設展示美術工芸室

【展示資料】

黒漆松竹梅螺鈿硯屏

堆朱松下唐人花台

朱漆七宝繫牡丹唐草沈金飯椀

朱漆松竹梅に鶴亀模様箔絵捌箱

朱漆樹下群仙人螺鈿堆錦六角筥

堆錦煙草入

朱漆牡丹唐草沈金合子（浦添市美術館蔵）



朱漆寒山拾得螺鈿四方盆（浦添市美術館蔵）  
 黒漆花鳥螺鈿漆絵文庫（浦添市美術館蔵）  
 黒漆司馬温公家訓螺鈿掛板（浦添市美術館蔵）  
 朱漆松梅堆錦名刺受箱（浦添市美術館蔵）  
 黒漆楼閣山水螺鈿印籠（浦添市美術館蔵）  
 朱漆花鳥文密陀絵沈金御供飯（復元）  
 （一般財団法人沖縄美ら島財団蔵）  
 龍蠟燭（復元）（一般財団法人沖縄美ら島財団蔵）  
 朱漆箔巴紋食籠（伊是名村教育委員会蔵）  
 朱漆箔巴紋足付盆（伊是名村教育委員会蔵）  
 特別出品：三浦雄一郎が用いたエベレストに登った漆椀（室瀬和美蔵）



（園原 謙）

#### 4. 調査・研究・講演・著作論文等

久場 政彦（博物館班班長）

調査・研究等

・金細工の調査研究（2013年9月～2014年3月）

講演等

・名 称：立教大学学芸員課程現地研修

期 間：2013年9月6日・13日

依頼機関：立教大学

・名 称：琉球大学教育学部生活科教育研究 博物館実習（後期）

期 間：2013年12月7日

依頼機関：琉球大学教育学部

・名 称：社会教育主事講習

期 間：2014年2月20日

依頼機関：県教育庁生涯学習推進課生涯学習センター

著作論文

・「資料紹介：尾崎清次（『琉球玩具図譜』著者）宛て書簡について」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第7号 2014年3月

園原 謙（主幹）

調査・研究等

・企画展「三線のチカラ」展のためのハワイ所在資料の借用及び返却（ハワイ州オアフ島）（2013年12月2日～8日、2014年3月18日～21日）

・鳩間島・新城島・黒島「総合調査」のための三線所在調査（鳩間島、石垣島）（2013年6月25日～27日）

講演等

・名 称：草の根技術協力事業（地域提案型）「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」に係る現地研修の同行について

期 日：2013年10月17日～19日

依頼機関：独立行政法人国際協力機構沖縄国際センター

・名 称：明治時代の三線職人と三味線会 - 当時の新聞記事からみえてくるもの -

期 日：2013年11月2日

会 場：てんぷす那覇

依頼機関：沖縄県三線製作事業協同組合

・名 称：名桜大学「国際学入門」沖縄から発信する「平和文化」草の根技術協力事業（地域提案型）「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」事業の意義について

期 日：2013年12月19日

会 場：名桜大学

依頼機関：独立行政法人国際協力機構沖縄国際センター

・名 称：学芸員講座「ウチナーンチュが好いた名器三線の音色 2012年度名器三線の音聴取実験の結果を踏まえて」

期 日：2014年3月1日

- ・ 名称：草の根技術協力事業（地域提案型）「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」に係る専門家派遣について
- 期 日：2014年 1月11日～23日
- 会 場：カンボジア王国
- 依頼機関：独立行政法人国際協力機構沖縄国際センター

著作論文等

- ・ 琉球王国時代の名器三線の音への探求 沖縄県立博物館・美術館 企画展「三線のチカラ」展に寄せて（上・中・下）沖縄タイムス 2013年 5月
- ・ 「琉球・沖縄における三線受容の文化史」『平成25年度企画展 三線のチカラ』沖縄県立博物館・美術館 2014年2月
- ・ 「近現代沖縄の三線を取り巻く状況について」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第7号 2014年 3月

與那嶺一子（主任学芸員 美術工芸）

調査・研究等

- ・ 紅型幕の調査（2013年 4月11日・10月23日・10月29日・10月30日）
- ・ 御拝領上布紅型幕の調査（久米島博物館）（2013年 5月16日・12月25日）
- ・ 北中城の神女調査（2013年10月25日）
- ・ 奄美の花織（しゅば）調査（国立劇場おきなわ）（2013年12月21日）
- ・ 総合調査（黒島）（2014年 2月25日～27日）

講演等

- ・ 名称：展示解説会「琉球文化の継承と近代化」
- 期 日：2013年 6月13日
- ・ 名称：夏休み 博物館学芸員教室「糸をつくってみよう！～「着るもの」にどれだけの生物を利用してきたのか～」
- 期 日：2013年 8月 1日
- ・ 名称：学芸員講座「イロイロな色のはなし 琉球人の美意識を探る」
- 期 日：2013年 9月 7日
- ・ 名称：シルクサミット in 久米島「琉球紅型 のいろとかたち」
- 期 日：2013年10月10日
- 依頼機関：シルクサミット 2013 in 久米島実行委員会
- ・ 名称：紅型をめぐるいくつかの Question から - 紅型の初期・展開・普及期についての試論
- 期 日：2014年 1月17日
- 依頼機関：沖縄染織研究会
- ・ 名称：久米島紬の色と柄 - 本当に、大和で流行ったのだろうか？ -
- 期 日：2014年 2月 6日
- 依頼機関：久米島紬町ミュージアム活性化協議会

著作論文等

- ・ 「御拝領上布銘入紅型幕の製作時期についての考察」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第7号 2014年 3月（平田美奈子と共著）

大湾ゆかり（主任学芸員 民俗）

調査・研究等

- ・ 銘苅家文書の保存状態調査（伊是名村）（2013年 5月 1日～ 2日）
- ・ 比地・与那のウンジャミ調査（国頭村）（2013年 8月25日）
- ・ 北中城の神女調査（2013年10月25日）
- ・ 沖縄地域史協議会第2回研修会（伊是名村）（2013年11月28日～29日）
- ・ 小笠原種サトウキビ調査（糸満市）（2014年 1月21日）
- ・ 総合調査（竹富町黒島）（2014年 2月25～27日）
- ・ 国立民族学博物館「沖縄のくらし」展（大阪府）（2015年 3月19日～20日）

講演等

- ・ 名称：文化財保護行政担当者研修会「紙の修復（洋紙を中心に）について」
- 期 日：2013年 9月13日

依頼機関：沖縄県教育庁文化財課

- ・名称：学芸員講座「藍壺から琉球藍の製藍業をさぐる」  
期日：2013年11月23日
- ・名称：夏休み 博物館学芸員教室「民具手帳つくろう」  
期日：2013年8月2日

著作論文等

- ・「クバ 沖縄のピロウ (蒲葵)」『ピオストーリー第20号』生き物文化誌学会 2013年11月
- ・「民俗資料のわかりやすい展示にむけて - 旧盆における仏壇のお供え物から - 」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第7号 2014年3月

山崎 仁也 (主任学芸員 生物)

調査・研究等

- ・新城島のフロラ・ファウナ (総合調査6月、2月)

講演等

- ・名称：学芸員講座「生物多様性ホットスポット JAPAN 生物よもやま話」  
期日：2013年5月4日
- ・名称：体験学習教室「オオヒキガエルの解剖」  
期日：2013年7月20日
- ・名称：FM レキオ「生物多様性の話」  
期日：2013年8月2日
- ・名称：大度海岸サンゴ岩礁観察会「夏だ！海だ！生き物だ！」  
期日：2013年8月7日
- ・名称：常設展・特別展展示解説会「生物分野展示のトピックと生物多様性」  
期日：2013年8月8日
- ・名称：出前授業渡名喜小・中学校「生物多様性と渡名喜島の生き物たち」  
期日：2013年11月26、27、28日
- ・名称：解説ガイド養成講座「沖縄のイノーとサンゴ礁の特徴」  
期日：2014年12月4日
- ・名称：常設展示解説会「沖縄の生物多様性」  
期日：2014年1月9日
- ・名称：FM レキオ「サンゴとサンゴ礁の話」  
期日：2014年1月24日
- ・名称：出前授業北大東小・中学校「生物多様性とアホウドリの話」  
期日：2014年2月25、26日
- ・名称：おきなわサンゴ礁ウィーク 2014「サンゴでクイズ！博物館へサンサン GOGO！」  
期日：2014年3月2日

著作論文等

- ・博物館企画展『海・山・川のおくりもの 目からウロコの大生き物展 - 生物多様性ホットスポット JAPAN - 』  
沖縄県立博物館・美術館 2013年7月 (編著)
- ・「目からウロコが落ちたかな?! ~ 県立博物館・美術館で「生物多様性展」行いました!」『植物園と市民で  
進める植物多様性保全ニュース』No.12 公益財団法人日本植物園協会 2013年11月
- ・「西表島の鳥類について」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第7号 2014年3月 (嵩原健二、岡  
村麻生、比嘉邦昭と共著)

岸本 弘人 (主任学芸員 歴史：近現代)

調査・研究等

- ・新城島総合調査 (竹富町) (2013年6月25日~27日)
- ・當山喜代子氏聞き取り (浦添市) (2013年11月3日)

講演等

- ・名称：夏休み 博物館学芸員教室「印じゃな~い?」  
期日：2013年7月31日
- ・名称：学芸員講座「先生のための展示解説会~プチ解説をしてみたい先生のために~」  
期日：2014年2月21日



著作論文等

- ・「当館が収蔵するアメリカ統治時代の各種証明書（パスポート）について」『沖縄県立博物館・美術館博物館紀要』第7号 2014年3月
- ・「R. C. アンドリュースが1910年に撮影した那覇の写真」『沖縄史料編集紀要』第37号 沖縄県教育庁文化財課史料編集班 2014年3月（宇仁義和、当山昌直と共著）

仲里 健（主任学芸員 地学）

調査・研究等

- ・博物館総合調査（新城島）（2013年6月25日～27日）
- ・移動展の講演会における事前調査（渡名喜島）（2013年10月17日～19日）
- ・石灰岩調査（粟国島）（2014年1月29日～30日）
- ・石灰岩調査（北大東島）（2014年2月24日～26日）

講演等

- ・名称：沖縄県立博物館・美術館 県職員研修（IPM）  
期 日：2013年4月2日
- ・名称：「名護やんばるの地質・地形」  
期 日：2013年4月27日  
依頼機関：名護博物館
- ・名称：文化の杜 職員研修（IPM）  
期 日：2013年5月26日～27日  
依頼機関：文化の杜共同企業体（当館指定管理者）
- ・名称：石の会（仮名）同好会 博物館バックヤードツアー  
期 日：2013年7月6日  
依頼機関：石の会（仮名）
- ・名称：夏休み 博物館学芸員教室「砂の中から宝を探せ」  
期 日：2013年8月2日
- ・名称：沖縄県立南風原高校理科職員 博物館バックヤードツアー  
期 日：2013年8月31日  
依頼機関：沖縄県立南風原高校
- ・名称：移動展in渡名喜島における講演会「鉱物の宝庫 - 渡名喜島の起源 ~ 古生代からの物語 ~」  
期 日：2013年11月29日
- ・名称：粟国村ジオツーリズム推進計画策定委員会  
期 日：2013年12月9日、2014年2月28日  
依頼機関：粟国村
- ・名称：新名護博物館建設検討委員会  
期 日：2014年2月4日  
依頼機関：名護博物館

著作論文等

- ・「粟国島の琉球石灰岩 - リッジ状地形をつくる石灰岩の露頭観察 -」『沖縄県立博物館・美術館博物館紀要』第7号 2014年3月

藤田 祐樹（主任 人類）

調査・研究等

- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に伴うサキタリ洞出土貝類の分析（九州大学）（2013年7月2日～3日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に伴う現地調査（青森県）（2013年8月3日～5日）
- ・ナガラ原第三貝塚出土人骨調査（伊江村）（2013年8月14日～15日）  
依頼機関：伊江村教育委員会
- ・宜野湾市喜友名東原ヌバタキ遺跡現地調査（2013年8月20日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に伴う発掘調査（南城市）（2013年9月3日～2014年2月28日）
- ・白保竿根田原洞穴遺跡調査（石垣市）（2013年10月22日～23日）  
依頼機関：沖縄県立埋蔵文化財センター
- ・白保竿根田原洞穴遺跡調査（石垣市）（2013年11月29日～2014年12月2日）  
依頼機関：沖縄県立埋蔵文化財センター

- ・白保竿根田原洞穴遺跡出土頭骨復元プロジェクト（東京）（2014年3月5日～6日）

依頼機関：琉球大学医学部

#### 講演・学会等

- ・名称：Recent excavations of the Late Pleistocene cave sites in Okinawa Prefecture, Japan.  
(山崎真治, 片桐千亜紀と連名)  
期 日：2013年3月28日～4月1日  
会 場：台湾 (National Museum of Prehistory in Taitung, Taiwan.)  
学 会 名：The International Symposium on the Palaeolithic Cultures in Taiwan and Its Surrounding Areas.  
依頼機関：中央研究院 (台北市, 台湾)
- ・名称：学芸員講座「南の島の化石調査～ゆるゆる洞窟探検記～」  
期 日：2013年4月13日  
会 場：沖縄県立博物館・美術館 講座室
- ・名称：北中城村立あやかりの杜図書館特別講演「港川人の発見者、大山盛保氏の活躍」  
期 日：2013年6月15日  
会 場：北中城村立あやかりの杜図書館
- ・名称：自然史学会連合講演会「沖縄の化石動物とヒト」  
期 日：2013年7月27日  
会 場：沖縄県立博物館・美術館 講堂  
依頼機関：自然史学会連合
- ・名称：夏休み 博物館学芸員教室「動物の歯と食べものを調査せよ！」  
期 日：2013年7月31日
- ・名称：沖縄県南城市サキタリ洞遺跡における2012年度発掘成果（山崎真治, 片桐千亜紀, 大城逸郎と連名）  
期 日：2013年11月1日～4日  
会 場：国立科学博物館つくば研究施設  
学 会 名：第67回日本人類学会大会
- ・名称：沖縄の更新世末～完新世初頭のイノシシ利用の新発見（波木基真, 久貝弥嗣と連名）  
期 日：2013年11月2日～4日  
会 場：AiAi 広場, 奄美市名瀬浦上町  
学 会 名：第4回イノシシサミットin奄美
- ・名称：白保竿根田原洞穴遺跡講演会「沖縄県の更新世遺跡」  
期 日：2013年12月1日  
会 場：石垣市民会館中ホール
- ・名称：Pleistocene life in the Okinawa-jima Island: use of stone tools and animal resources. (片岡千亜紀, 山崎真治と連名)  
期 日：2014年1月12日～17日  
学 会 名：20th IPPA Congress. Apsara Ankor Hotel, Siem Reap, Cambodia.
- ・名称：白保竿根田原洞穴遺跡講演会「沖縄県の更新世遺跡」  
期 日：2014年1月25日  
会 場：沖縄県立埋蔵文化財センター
- ・名称：八重瀬町ボランティア講座「港川人と沖縄の更新世遺跡」  
期 日：2014年3月9日  
会 場：八重瀬町中央公民館

#### 著作論文等

- ・「更新世の琉球列島とヒトの渡来」『科学』7月号 岩波書店 2013年
- ・「沖縄更新世人骨研究の新段階」『考古学ジャーナル』8月号 北隆館 2013年
- ・「ゴジウカラとキバシリの歩き方」『BIRDER』10月号 文一総合出版 2013年
- ・「標本の世界 港川人とサキタリ洞での新発見」『Milsil』No.6 国立科学博物館 2013年
- ・「連載授業を助ける貸し出し教材第8回 動物とヒトの骨格を学ぶ体験キット「骨スーツ」」『理科教育ニュース』902号 株式会社少年写真新聞社 2014年1月
- ・「更新世の琉球列島における動物とヒトの関わり」『琉球列島先史・原史時代の環境と文化の変遷』高宮広土（編）六一書房 2014年3月

- ・「沖縄本島中南部でのモクズガニの分布と生態に関する予備調査」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第7号 2014年3月（小林哲，成瀬貫，濱口寿夫との共著）
- ・Masaki FUJITA, Shinji YAMASAKI, Chiaki KATAGIRI. (2013) Recent excavations of the Late Pleistocene cave sites in Okinawa Prefecture, Japan. Proceedings of the International Symposium on the Palaeolithic Cultures in Taiwan and Its Surrounding Areas. pp. 4-3-1-4-3-18
- ・Megu GUNJI, Masaki FUJITA, Hiroyoshi HIGUCHI. (2013) Head-bobbing and non-bobbing diving of little grebes. Journal of Comparative Physiology A 199: 703-709.

片桐千亜紀（主任 考古）

調査研究等

- ・移動展in渡名喜事前調整（渡名喜村）（4月12日～13日）
- ・平成26年度博物館特別展に伴う九州資料調査（長崎県・熊本県）（2013年4月26日～30日）
- ・平成26年度博物館特別展に伴う関西資料調査（京都府・広島県）（2013年5月28日～31日）
- ・沖縄県立博物館・美術館総合調査（新城島）（6月25日～28日）
- ・平成26年度博物館特別展に伴う資料調査（福岡県・長崎県）（7月3日～5日）
- ・喜界島海底調査：マルチビーム測深技術を用いた浅海底地形の開拓と防災・環境科学への応用（喜界町）（7月10日～14日）  
依頼機関：岡山大学
- ・第3回国立科学博物館共同研究会：アジア・オセアニアにおける海域ネットワーク研究会（大阪府：国立民族学博物館）（7月20日～21日）
- ・久米島水中文化遺産見学会調整（久米島町）（8月2日～3日）  
依頼機関：久米島町教育委員会
- ・台湾原住民イカダ調査（台湾）（8月7日～11日）  
依頼機関：国立科学博物館
- ・第4次八重山水中文化遺産調査：東南アジア沿岸域におけるエリアケイパビリティーの向上（八重山諸島）（8月27日～31日）  
依頼機関：総合地球環境学研究所
- ・与那国水中文化遺産調査（与那国町）（9月6日～8日）
- ・久米島水中文化遺産調査（久米島町）（9月26日～29日）  
依頼機関：久米島町教育委員会
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に伴うインドネシア調査（フローレス島）（10月16日～27日）
- ・第5次八重山水中文化遺産調査：東南アジア沿岸域におけるエリアケイパビリティーの向上（八重山諸島）（11月7日～9日）  
依頼機関：総合地球環境学研究所
- ・第4回国立科学博物館共同研究会：アジア・オセアニアにおける海域ネットワーク研究会（石垣市）（11月10日～11日）  
依頼機関：国立民族学博物館
- ・白保竿根田原洞穴遺跡発掘調査協力（石垣市）（11月14日～15日）  
依頼機関：沖縄県立埋蔵文化財センター
- ・与那国研究会（愛知県：南山大学）（11月26日～27日）  
依頼機関：東京国立科学博物館
- ・移動展 in 渡名喜島（渡名喜村）（11月28日～12月1日）
- ・マルチビーム研究会：マルチビーム測深技術を用いた浅海底地形の開拓と防災・環境科学への応用（岡山県：岡山大学）（12月20日～22日）  
依頼機関：岡山大学
- ・「沖縄・カンボジア『平和文化』創造の博物館づくり協力」に伴うカンボジア専門家派遣：JICA 草の根技術協力事業（カンボジア王国）（1月19日～26日）  
依頼機関：独立行政法人国際協力機構沖縄国際センター（JICA）
- ・白保竿根田原洞穴遺跡発掘調査調整（石垣島）（2月4日～5日）  
依頼機関：沖縄県立埋蔵文化財センター
- ・平成26年度博物館特別展に伴う九州資料調査（福岡県・大分県・鹿児島県）（2月12日～16日）
- ・久米島水中文化遺産講演会（久米島町）（2月21日～23日）  
依頼機関：久米島町教育委員会

- ・沈没船エモンズ調査（今帰仁村古宇利島沖）（2月23日）
- ・平成26年度博物館特別展に伴う慶良間資料調査（座間味村）（2月24日～25日）
- ・白保竿根田原洞穴遺跡出土頭骨復元プロジェクト（東京：国立科学博物館）（3月4日～6日）  
依頼機関：琉球大学
- ・平成26年度博物館特別展に伴う関東資料調査（神奈川県）（3月6日～7日）
- ・平成26年度博物館特別展に伴う北海道資料調査（道南地域）（3月13日～15日）
- ・平成26年度移動展事前調整（竹富町西表島）（3月18日～19日）
- ・第1回南城市史編集専門委員会グスク調査（南城市）（3月28日）  
依頼機関：南城市教育委員会

講演・学会発表等

- ・名称：「琉球列島における後期更新世／完新世移行期の人類とその文化」（山崎真治・藤田祐樹、国木田大、海部陽介と連名）  
期日：2013年6月15日～16日  
学会名：日本旧石器学会第11回講演・研究発表
- ・名称：夏休み 博物館学芸員教室「神が宿石・勾玉を削りだそう」  
期日：2013年8月1日
- ・名称：「南西諸島の水中文化遺産の魅力」  
期日：2013年9月11日  
主催：海上保安庁 水路記念日講演会
- ・名称：「海に沈んだ歴史～タイムカプセルを探してみよう～」ギャラリートーク  
期日：2013年11月1日～2日  
主催：八重山博物館 八重山博物館企画展
- ・名称：「沖縄県南城市サキタリ洞遺跡における2012年度発掘成果」（山崎真治、藤田祐樹、大城逸郎と連名）  
期日：2013年11月1日～4日  
学会名：第67回日本人類学会大会，国立科学博物館つくば研究施設
- ・名称：「白保竿根田原洞穴遺跡と先島諸島における海域ネットワーク」アジア・オセアニアにおける海域ネットワーク研究会  
期日：11月10日  
主催：国立民族学博物館 国立民族学博物館共同研究会
- ・名称：移動展in渡名喜島関連催事「渡名喜村歴史民俗資料館考古資料」ギャラリートーク  
期日：2013年11月28日
- ・名称：「八重山海難事故遺跡の実態」マルチビーム研究会  
期日：2013年12月21日  
主催：岡山大学 マルチビーム測深技術を用いた浅海底地形の開拓と防災・環境科学への応用
- ・名称：学芸員講座「国頭村宜名真沖海底に沈没した異国船を追え！」  
期日：2014年1月11日
- ・名称：Pleistocene life in the Okinawa-jima Island: use of stone tools and animal resources.（藤田祐樹、山崎真治と連名）  
期日：2014年1月12日～17日  
学会名：20th IPPA Congress. Apsara Ankgor Hotel, Siem Reap, Cambodia.
- ・名称：高解像度マルチビーム測深による浅海底地形学の開拓と関連諸科学への応用（菅浩伸他との連名）  
期日：2014年3月26日～30日  
学会名：日本地理学会春季学術大会

著作論文等

- ・「固結堆積物から見た化石骨の埋没環境」『洞窟学雑誌』第37号 洞窟学会 2013年5月（吉村和彦、藤田祐樹、山崎真治、土肥直美、鮎沢潤、栗崎弘輔との共著）
- ・「南西諸島の水中文化遺産」『季刊考古学』第123号 2013年5月
- ・「沖縄県南城市サキタリ洞遺跡出土の後期更新世の海産貝類と人類との関わり」『Anthropological Science (Japanese Series)』（早期公開）（藤田祐樹・片桐千亜紀・黒住耐二・海部陽介と共著）
- ・「鍾乳石から復元した沖縄本島の植生変遷」『月刊地球』通巻410号 Vol.35, No.11 海洋出版株式会社 2013年11月（梶山祥太・吉村和彦他との共著）

- ・「与那国島久部良南岸海底で発見された西欧型鉄錨」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第7号  
2014年3月（山本祐司と共著）
- ・「琉球列島における先史時代の崖葬墓」『琉球列島先史・原史時代の環境と文化の変遷』研究論文集第2集  
高宮広土・新里貴之編『琉球列島先史・原史時代における環境と文化の変遷に関する実証的研究 研究論  
文集』2014年3月

山崎 真治（主任 人類）

調査研究等

- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に伴う発掘調査（南城市）（2013年9月3日～2014年2月28日）
- ・博物館総合調査事業に伴う新城島調査（2013年6月25日～28日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に伴う調整（東京大学）（2013年7月9日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に伴う現地調査（大韓民国・済州島）（2013年7月12日～15日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に伴う現地調査・資料調査（伊是名島）（2013年8月8日～9日）
- ・宜野湾市喜友名東原ヌバタキ遺跡現地調査（2013年8月20日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に伴う現地調査・資料調査（伊是名島）（2013年10月16日～26日）
- ・渡名喜島調査（移動展）（2013年11月30日～12月3日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に伴う現地調査・資料調査（伊是名島）（2014年1月27日～28日）
- ・沖縄遺産のブランド開発・発信事業に伴う現地調査・資料調査（東京大学）（2014年2月3日～4日）
- ・九州縄文研究会参加（大分県別府市）（2014年2月22日～23日）
- ・黄土・古土壌露頭調査（国頭村高江）（2014年3月7日）
- ・島尻層群産貝化石に関する調査（与勝高校）（2014年3月26日）

講演等

- ・名 称：博物館学芸員講座「土器の話」  
期 日：2013年6月1日
- ・名 称：「琉球列島における後期更新世／完新世移行期の人類とその文化」  
期 日：2013年6月15日／16日  
学 会 名：日本旧石器学会
- ・名 称：「港川人の時代を掘る」（藤田祐樹・片桐千亜紀・国木田大・海部陽介と連名）  
期 日：2013年10月4日  
依頼機関：向陽高等学校
- ・名 称：「沖縄先史時代における貝仮説の再検討 - 石器代替品としての貝器利用の可能性」  
期 日：2013年11月1～2日  
学 会 名：第67回日本人類学会大会
- ・名 称：「沖縄県における縄文時代早期末～前期前葉の土器様相」  
期 日：2014年2月22～23日  
学 会 名：第24回九州縄文研究会『九州における縄文時代早期末～前期前葉の土器様相』
- ・名 称：ケイブカフェ特別講演会（サキタリ洞展関連企画）「サキタリ洞遺跡の3万年」  
期 日：2014年3月1日

著作論文等

- ・「土器の類似性と搬入品 - 沖縄・先島と台湾」『季刊考古学』125 雄山閣 2013年10月
- ・「沖縄県の動向」『九州旧石器』17 九州旧石器文化研究会 2013年11月
- ・「沖縄先史土器の起源と南下仮説」『九州旧石器』17 九州旧石器文化研究会 2013年11月（横尾昌樹・伊藤圭・国木田大・新里尚美と共著）
- ・「沖縄県における縄文時代早期末～前期前葉の土器様相」『九州における縄文時代早期末～前期前葉の土器様相 第24回九州縄文研究会 2014年2月
- ・『沖縄県南城市サキタリ洞遺跡発掘調査概要報告書』沖縄県立博物館・美術館 2014年2月
- ・『サキタリ洞遺跡発掘調査速報展図録』沖縄県立博物館・美術館 2014年2月
- ・「恩納村宇加地産石英の自然破砕標本と人為破砕標本の計測値（標本資料報告）」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第7号 2014年3月
- ・「旧石器時代から貝塚時代へ - 起源論研究の現状とその行方 - 」『琉球列島の土器・石器・貝製品・骨製品文化』：新里貴之・高宮広土編『琉球列島先史・原史時代における環境と文化の変遷に関する実証的研究 研究論文集』1 六一書房 2014年3月
- ・「沖縄県南城市サキタリ洞遺跡出土の後期更新世の海産貝類と人類との関わり」『Anthropological Science

(Japanese Series)』(早期公開)(藤田祐樹・片桐千亜紀・黒住耐二・海部陽介と共著)

- ・「空白の時代を探る」沖縄タイムス 2013年12月11日～13日
- ・「旧石器時代の貝器文化」沖縄タイムス 2014年2月25日～27日

崎原 恭子(主任 歴史：古琉球・近世)

調査研究等

- ・梵鐘調査(那覇警察署)(2013年4月8日)
- ・博物館総合調査(新城島・鳩間島・黒島)(2013年6月25日～28日)
- ・全国歴史民俗系博物館協議会及び久米村展関係調査(神奈川県)(2013年7月10日～12日)
- ・平安座島関連梵鐘調査(沖縄市)(2013年10月9日)
- ・梵鐘調査(首里アンデレ教会)(2013年10月24日)
- ・沖縄・鹿児島文化交流祭シンポジウムおよび鹿児島関係の地図等調査(2013年11月22日～24日)  
依頼機関：指宿市観光協会
- ・久米村展展示予定資料事前調査(久米島博物館)(2014年2月27日)
- ・地図・絵図資料の歴史GIS研究の打ち合わせ等(東京都)(2014年3月28日～29日)  
依頼機関：徳島大学

講演等

- ・名称：博物館学芸員講座「琉球王国時代の地図～館収蔵の古地図を中心に～」  
期日：2013年11月9日
- ・名称：渡名喜島移動展関連催事・渡名喜島歴史民俗資料館の資料解説会  
期日：2013年11月27日
- ・名称：沖縄博物館友の会県外研修「琉球使節の足跡を訪ねて」(広島県)講師  
期日：2014年3月6日～8日  
依頼機関：沖縄博物館友の会

著作論文等

- ・「[資料紹介]『新参蔡姓家譜』について」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』7 2014年3月
- ・「旧天尊殿鐘の受入経緯の調査報告」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』7 2014年3月
- ・「[琉球の土木石碑]～石に刻まれた琉球土木史～ 龍潭浚渫碑」『建設情報誌 しまたてい』No.65 2013年

金城 久枝(主任学芸員 教育普及)

著作論文等

- ・「学校連携事業の活性化」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第7号 2014年3月

早瀬 千明(嘱託員)

調査・研究等

- ・2013年度企画展「三線のチカラ展」関連資料調査・撮影  
野原氏所蔵三線撮影(うるま市)(2013年7月25日)  
糸満氏所蔵三線撮影(那覇市首里)(2013年8月5日)
- ・梵鐘調査  
那覇警察署所蔵の梵鐘調査(那覇市)(2013年4月8日)  
聖アンデレ教会の梵鐘調査(那覇市首里)(2013年10月24日)

著作論文等

- ・「[短報]写真貸出業務と整理作業の現状と課題」『沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要』第7号 2014年3月

## 5. 職員研修

博物館法第4条の4において「学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる」と規定しており、学芸員に学問的専門性を要求している。また、博物館が独自の展示会や教育普及活動を行うためには、学芸員自身が調査研究を行い新たな知見を得ていく必要がある。そのため、学芸員は適宜研修を受講するとともに、2011年度から毎週「学芸員ゼミ」を開催して互いの研究について情報共有や意見交換を行っている。

【沖縄県博物館協会研修会】

総会・春の研修会・現地研修

日 時：2013年6月5日（水）13：00～17：15（総会・研修会）、6日（木）9：30～12：30（現地研修）

場 所：平良港ターミナルビル研修室（総会・春の研修会）、NEO 歴史ロード（現地研修）

参 加 者：安里進、久場政彦、山崎仁也、崎原恭子、岸本弘人

特別講演会（秋の研修会中止による代替措置）

日 時：2013年12月4日（水）15：00～16：30

場 所：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室

参 加 者：高原安伸、久場政彦、山崎仁也、崎原恭子、岸本弘人

【国立科学博物館主催 学芸員専門研修】

学芸員専門研修アドバンスト・コース

日 時：2013年11月12日（火）～15日（金）

場 所：茨城県つくば市 国立科学博物館・つくば研究所

参加者：山崎仁也

【2013年度 博物館ゼミ】 以下「回、期日、担当者、テーマ名」の順に記す。

第1回	4月15日	藤田 祐樹	「沖縄更新世人骨、地味に新発見」
第2回	4月22日	山崎 真治	「平成24年度沖縄遺産のブランド開発・発信事業に係る南城市サキタリ洞遺跡の発掘調査について」
第3回	4月30日	山崎 仁也	「DNA 解析って何だろう～初歩の遺伝子講座～」
第4回	5月13日	仲里 健	「オーソコーツァイトに謎～幻の黒潮古陸～」
第5回	5月20日	與那嶺一子	「貢納布のゆくえ」
第6回	5月27日	園原 謙	「絵図資料に描かれる三線」
第7回	6月10日	崎原 恭子	「那覇警察署所蔵の梵鐘について（経過報告）」
第8回	7月1日	岸本 弘人	「第11代齋藤用之助について」
第9回	7月8日	早瀬 千明	「伊是名公事清明祭」
第10回	7月16日	片桐千亜紀	「フィリピン Pre-spanish 時代の人類学的調査」
第11回	7月22日	大湾ゆかり	「琉球藍の製藍法と藍壺について」
第12回	7月29日	金城 久枝	「教育普及活動 4月から取り組んでいること」
第13回	8月5日	久田 千春	「三大琉球歌劇 泊阿嘉の紹介」
第14回	8月19日	藤田 祐樹	「サキタリ洞出土遺物に基づく更新世人類の食資源利用について」
第15回	9月9日	山崎 真治	「島の旧石器人とその文化」
第16回	9月30日	與那嶺一子	「久米島に残る御拝領上布幕について」
第17回	10月28日	岸本 弘人	「沖縄の郵便事業と郵便切手」
第18回	11月5日	片桐千亜紀	「沖縄先史時代の崖葬墓」
第19回	11月11日	大湾ゆかり	「アーカイブズの保存と修復」
第20回	11月18日	崎原 恭子	「琉球王国時代の古地図」
第21回	11月25日	金城 久枝	「教育普及事業の実践における課題・問題点」
第22回	12月9日	園原 謙	「明治ウチナンチュの三線観」
第23回	12月16日	藤田 祐樹	「沖縄県北谷町平安山原A遺跡出土の鉄器の刺さった人骨について」
第24回	1月14日	山崎 真治	「サキタリ洞人と象徴的行動」
第25回	1月20日	山崎 仁也	「ヤシガニの話」
第26回	1月27日	仲里 健	「天然の石と人工の石」
第27回	2月3日	與那嶺一子	「博物館と学校教育 ふれあい体験室の設置と運営」
第28回	2月17日	崎原 恭子	「旧天尊殿鐘の受け入れ経緯の調査報告」
第29回	2月24日	岸本 弘人	「R. C. アンドリュースが1910年に撮影した那覇の写真」
第30回	3月3日	園原 謙	「博物館が発する情報・メディアについて」
第31回	3月10日	片桐千亜紀	「八重山海難事故遺跡の実態」
第32回	3月17日	大湾ゆかり	「藍壺から琉球藍の製藍業をさぐる」

## ． 展示活動

### 1. 展示活動概要

年間の展示活動としては、常設展示を中心に、特別展1本、企画展2本、大嶺薫コレクション展及び新収蔵品展を開催することを基本としている。また、旧博物館において実施してきた「移動博物館」については、「移動展」として2008年度からは美術館と共同で開催している。

海洋性、島嶼性の地理的要因により、沖縄には豊かな自然環境が形成されるとともに、海を介して行われた日本本土や中国をはじめとするアジア諸国との交流により独自の歴史、文化が形成されてきた。常設展示では「海と島に生きる 豊かさ、美しさ、平和を求めて」をテーマとし、沖縄の自然・歴史・文化に係る総合的かつ体系的な展示を行っている。

2013年度は特別展「海・山・川のおくりもの 目からウロコの生き物展！ - 生物多様性ホットスポット JAPAN -」、企画展「サキタリ洞遺跡発掘調査速報展」、企画展「三線のチカラ - 形の美と音の妙 -」を実施した。

### 2. 常設展

#### 【総合展示】

常設展は、総合展示と部門展示からなり、沖縄の自然・歴史・文化を「海洋性」と「島嶼性」という二つの側面から読み解いている。古来より、沖縄の島々は海によって互いに隔てられると同時に、海によってアジア、太平洋地域と深く結びつけられてきた。島には固有の自然があり、人々の営みがあり、その一つひとつが沖縄県の特徴ある自然・歴史・文化を形成している。島に息づく豊かな自然と、島をとりまく海を媒介とした人々の営みを紹介するとともに、トー（唐：中国）とヤマト（日本）との間で花開いた琉球王朝文化、そして目まぐるしい世替わりを体験してきた沖縄の近代史と戦中・戦後史を射程に入れ、常設展のメインテーマを「海と島に生きる - 豊かさ、美しさ、平和を求めて -」とした。

常設展へのアプローチでは、イノー（ラグーン）に広がる珊瑚礁を足元に見ながら、あたかも島に上陸するような感覚を体験することができる。また、展示室中央に設けられた「シマの自然とくらし」のコーナーには、鹿児島から台湾まで東西1,000キロ、南北400キロの海域に散在する琉球列島の大小の島々を壮観できる大型ジオラマを配置し、島々の特徴ある自然・歴史・文化を情報端末機を用いて紹介している。また、人工衛星によって撮影された画像を用いて、島々を観察することができる。

#### 海で結ばれた人々～サークルホールの展示～

「化石の宝庫」沖縄から発見された様々な化石を展示している。クジラやアンモナイトなど、原始の海にくらした生き物をはじめ、日本人のルーツとされる1万8,000年前の「港川人」や、その頃に生きていたリュウキュウジカ、ヤンバルクイナなどの化石がステージ上に展開している。また、正面のスクリーンでは、古生代から現在に至るまでの琉球列島の地史を映像で概観し、沖縄の自然・歴史・文化の旅へと誘う。

#### 貝塚のムラから琉球王国へ

グスク時代、それぞれの地域に有力者が登場すると、防御などを目的とした様々なグスクが造られるようになる。また、有力者たちは中国への朝貢を通して文化の移入や交易に努め、富を築いた。各地の勢力は、やがて北山・中山・南山の3つに収斂し、激しい抗争を繰り返した。しかし、15世紀はじめころに、これらの3つの勢力は尚巴志によって統一され、琉球王国が築かれた。ここからおよそ500年の長きにわたり、首里を拠点とする王国の歴史が始まる。

#### 王国の繁栄（古琉球）

尚巴志によって統一された琉球王国は国家として成立したが、国内の権力基盤は不安定な状態であった。そのため、第一尚氏から第二尚氏へ王統の交代が起きた。一方で、中国との冊封・進貢貿易によって富を蓄えた琉球王国は、中国・日本・東南アジアをつなぐ中継貿易を盛んに行った。東アジアの大海原の架け橋として船を操り、国際色豊かな産物が国中にあふれるさまを謳った旧首里城正殿鐘の銘文は、往時を偲ぶ貴重な資料である。この時代、琉球は東アジア有数の貿易国家として繁栄し、より強固な国家体制を造りあげていった。

#### 薩摩の琉球支配と王国（近世琉球期）

1609年薩摩島津氏による琉球侵攻後、琉球王国は江戸幕府の影響下に置かれるようになる。しかし、中国との冊封・進貢関係は維持され、他方で江戸への謝恩・慶賀使の派遣が義務づけられた。

近世琉球期は、王国の危機を向かえて、羽地朝秀・蔡温などの強力な政治家による王国の経営が行われ、琉球独自の文化が花開く時代でもある。江戸文化の影響を受け、組踊などの芸能が確立し、『中山世鑑』『琉



陽』等の歴史書が編纂され、首里王府内に多くの役職が確立した。さらに貝摺奉行所を中心に琉球漆器・紅型などの様々な工芸品が数多く製作された。

#### 王国の衰亡

19世紀頃には、欧米諸国の船舶がアジア進出を目指して琉球近海に頻繁に来航し、首里王府にも開国をせまってきた。一方で、中国・日本との関係を保ちながら体制を維持してきた琉球王国だが、農村の疲弊や災害などが原因で、王府の財政難は顕著となっていた。

#### 沖縄の近代

江戸幕府が崩壊し、明治政府が発足すると日本と琉球との関係性も変化した。1879年に明治政府は琉球藩を廃し、沖縄県を設置した。(琉球処分) 琉球王国は消滅し、近代日本国家の一部としての沖縄県が誕生した。

政府は旧慣温存政策を実施したが、その結果沖縄県の土地所有権の確立や国政参加は大きく遅れ、教育制度の確立も大正期になってようやく整った。しかし、日本は次第に領土拡大と戦争へと突入していき、沖縄も戦争体制に組み込まれていった。1945年、沖縄では住民を巻き込んだ日米両軍による地上戦が展開され、24万人余りの尊い命が失われた。焦土と化した沖縄では、多くの貴重な文化財も焼失し、破壊された。

#### 戦後の沖縄

沖縄戦によって大きな戦禍をこうむった沖縄。住民たちの生活はゼロからの出発であった。沖縄の施政権は日本からアメリカに移譲され、27年間のアメリカ統治下に置かれた。アメリカは東アジアの戦略基地として沖縄を重要視し、基地の機能強化を進めた。軍事優先の政策は、住民の生活を侵害し、米軍関係の事件・事故が多発したため、日本への復帰を望む運動が高まっていった。その結果、1972年に沖縄の施政権は日本に返還されたが、多くの基地が残されるなど未解決の問題が山積したままである。

#### 沖縄の今、そして未来へ

復帰後、沖縄では大規模な公共事業のほか、沖縄国際海洋博覧会の開催を契機にリゾート開発が各地で始まった。豊かな社会の実現を目指して開発が進められたが、同時に環境の悪化も問題化した。2000年には九州・沖縄サミットが名護市で開催され注目を集めた。同年には「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録されるなど、沖縄文化の優位性が広く認知されてきている。今日では観光客や移住者の大幅増加とともに沖縄は新たな時代を迎えている。

エピローグの「沖縄の現代生活」は、開館時に募集した写真作品で構成され、まさに「現代生活」のドキュメント資料である。

#### 【部門展示】

総合展示室の周囲には、自然史、考古、美術工芸、歴史、民俗の5つの部門展示室を設け、沖縄の自然・文化・歴史・民俗の特徴をより深く理解していただくために、それぞれのテーマをより特化した形での展示している。部門展示で扱うテーマは可変性を持ち、頻繁に展示替えを行っている。

##### 自然史部門展示 「生物が語る沖縄2億年」

琉球列島の成り立ちや、島の環境に適応して独自の進化をとげた生き物の世界を展示するとともに、沖縄が世界に誇る化石人類である港川人の最新の研究成果を紹介している。またジオラマ展示では、ヤンバル(沖縄島北部)、宮古島、西表島、マングローブについて自然の成り立ちを重視した展示を行っている。

##### 考古部門展示 「沖縄考古学の世界」

発掘調査によって出土した実物資料を用いて、人々の暮らしぶりや地域的な特徴、時代の変化などをわかりやすく紹介している。

##### 美術工芸部門展示 「琉球の美」

島々に生きた先人たちは、自分たちの生活・文化に海外との交流によってもたらされた「モノ」や「文化」を取り入れることによって、琉球の美術工芸品を生み出した。ここでは王国時代の人々の美意識を伝えながら、現代に生きる私たちにとって、より親しみやすい形で、1年に数回テーマを決めて展示替えを行いながら、琉球の美を紹介する。

##### 歴史部門展示 「モノから読む歴史」

沖縄は、独立した国家であった琉球王国の歴史に加え、近代以降、日本やアメリカなど国際社会の動向の中で、何度も世替わりを経験した。ここでは年に数回のテーマ展示を通して、沖縄をはじめ各地の様々なモノから歴史をひもとき、歴史の醍醐味や楽しさを紹介する。

##### 民俗部門展示 「沖縄の伝統と暮らし」

沖縄の島々に伝わる生活文化について紹介している。村落の成り立ち、信仰と祭り、人の一生、農耕と漁労、衣食住、職人の技、変容する民俗などのテーマを設けて、「観る」、「聴く」、「触る」、「調べる」といった体験的な要素を加えた展示を行っている。

### 3. 常設展 展示替え

#### 【総合展示室】

特別展示「初展示！那覇署保管の古琉球梵鐘」

主 旨：仏教寺院で時を知らせるために打つ鐘を「梵鐘」という。梵鐘に刻まれた年代によって、琉球王国時代に仏教を熱心に普及した第一尚氏王統の尚泰久王や尚徳王、第二尚氏王統の菩提寺である円覚寺を創建した尚真王の時代に琉球の梵鐘が多く鑄造されたことが知られている。そのなかで、1458年に鑄造された万国津梁の鐘（旧首里城正殿鐘）を含めた12口が当館に収蔵されている。

那覇警察署では、1988年から「ふれあい之鐘」として1つの梵鐘が市民に紹介されてきた。しかし、この鐘には文字が刻まれていなかったため、これまでほとんど注目されてこなかった。当館では2013年4月に、金属工芸史専門研究者である久保智康氏と共同で那覇警察署保管の梵鐘の調査を行い、この梵鐘が15世紀中ごろに鑄造された琉球王国時代（古琉球）の梵鐘であることが確認された。

当企画では那覇警察署から特別な協力を得て、那覇警察署保管の梵鐘及び当館が所蔵している梵鐘を合わせて展示し、梵鐘からわかる琉球の工芸史・交流史・宗教史上の意義を浮かび上がらせることを目的に開催した。

特別協力：那覇警察署

展示期間：2014年2月25日（火）～3月9日（日）

展示場所：博物館常設展示室入口

（ふれあい体験室側ライトパネル前）

展示資料：那覇警察署保管の鐘、旧霊応寺鐘、旧天尊殿鐘  
3口

\* そのほかに総合展示室内には、旧首里城正殿鐘（万国津梁の鐘）、旧天妃宮鐘、旧大安禅寺鐘（旧護国寺鐘）、旧天竜精舎鐘（旧天王寺鐘）、旧一品権現鐘（旧臨海寺鐘）、旧円覚寺殿前鐘、旧円覚寺楼鐘の7口を展示している。



（崎原 恭子）

#### 【美術工芸展示室】

沖縄は、湿潤亜熱帯の気候風土にあり、中国、朝鮮半島、日本、東南アジアの中継地点に位置し、独立した王国を営んできました。美術工芸部門展示室では、沖縄で生まれた琉球の美を紹介しています。展示は下記のテーマで展示替えを行いました。

「いきもの 語る！」

主 旨：自然の中の生きもの（動物や植物、架空のいきもの）の姿は、美術工芸において、表現する題材としてよく用いられてきました。これら作品を生活の中に取り入れることで、琉球・沖縄の人々は、生活の中の豊かさや潤い、そして生きる力や勇気、希望を抱きました。本展では、動物や植物などの「いきもの」にスポットをあてました。

展示資料：51件54点

孫億「花鳥図」・殷元良「枯柳水禽之図」・伝田名宗経「龍下図」・毛長禧「馬の図」他 / 黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付椀・朱漆鳥椿密陀絵丸盆・三線志多伯開鐘 他 / 色象嵌粟絵菊花皿・線彫染付魚文皿・線彫魚文蓋付碗（金城次郎作）・彫絵三彩香炉（小橋川源慶作）他 / 牡丹浮彫木彫羽目板・唐獅子彫刻仏間羽目 他 / 尚慎「梅花」・曾曆「松」・翁維垣の書「四言対句」他 / 苧麻白地鳳凰牡丹模様裂・木綿花染ティサジ 他

展示期間：2013年7月23日（火）～9月23日（月）



「甦る文化 ～復興への情熱～」

主 旨：戦後、沖縄における博物館活動のスタートは、焦土の中から文化財の残欠を集めることでした。また、戦前に収集されたコレクションは、文化財収集キャラバン活動などにより国内外から沖縄

に戻ってきました。戦禍をくぐった文化財を通して、沖縄の人々の琉球文化の復興への情熱を紹介しました。

なお、シンポジウム・人間国宝と語る 琉球のうし・創造と未来 (2013年11月17日 (日)) に合わせて、特別展示「琉球うし 修理と復元」(11月12日 (火) ~ 12月8日 (日)) を展示室の一部で開催しました。

展示資料 : 42件47点 (10月1日 (火) ~ 11月10日 (日))  
47件52点 (11月12日 (火) ~ 12月8日 (日))  
伝自了「寿老人」・呉著仁「雪景山水図」・鎌倉芳太郎模写「円覚寺大雄殿壁画」他 / 朱漆巴紋牡丹沈金大供飯・黒漆薔薇堆錦軸盆 他 / 江戸与那 / 伝仲村渠到元「色象嵌粟絵菊花皿」・赤絵竹梅文茶家・黒釉嘉瓶・円覚寺竜淵殿隅棟鬼瓦他 / 白像座・文殊菩薩坐像・感应使者像他 / 林鴻年「游南苑題壁」・鄭孝徳「聯：五言对句」・琉球官生詩集 (写本) 他 / 城間榮喜「木綿・芋麻花色地笠に田舎屋模様衣装」・大城志津子「絹紺地手縞袴衣装」他



\* 「琉球うし 修理と復元」で展示した資料黒漆松竹梅螺鈿硯屏・朱漆七宝繫牡丹唐草沈金飯椀・朱漆牡丹唐草沈金合子 (浦添市美術館蔵)・朱漆寒山拾得螺鈿四方盆 (浦添市美術館蔵)・黒漆花鳥螺鈿漆絵文庫 (浦添市美術館蔵)・黒漆司馬温公家訓螺鈿掛板 (浦添市美術館蔵)・朱漆松梅堆錦名刺受箱 (浦添市美術館蔵)・朱漆貝堆錦皿 (浦添市美術館蔵)・朱漆花鳥文密陀絵沈金御供飯 (復元) (沖縄美ら島財団蔵)・龍蠟燭 (沖縄美ら島財団蔵)・朱漆箔巴紋食籠 (伊是名村教育委員会蔵)・朱漆箔巴紋足付盆 (伊是名村教育委員会蔵) 他 / 健堅与那

展示期間 : 2013年10月1日 (火) ~ 12月8日 (日) 11月12日 (火) ~ 12月8日 (日) まで一部展示替え

#### 「天駆ける馬、福来たる」

主 旨 : 本年が午年であること、また初春であることにちなみ、「馬」と「招福」に因んだ作品を選びました。琉球の競馬は、馬の動きや美しさを競うものであり、良馬を選ぶことも土族の嗜みの一つでした。馬を表現した絵画、招福を願って揮毫された書跡、めでたい場に登場する衣装や陶器や漆器の器などを紹介しました。

展示資料 : 42件42点

孫億「松鶴図」・屋慶名政賀「関帝王」・義村朝義「松竹梅図」・北尾重政「賛慶使浮世絵版画」他 / 黒漆鳳凰文螺鈿馬上盃・朱漆山水樓閣文堆錦丸型東道盆・朱漆馬上貴人文沈金八角食籠・朱漆三巴紋堆錦鞍他 / 又吉真栄「三線久場春殿」/ 赤絵枝梅竹文碗・線彫染付魚文皿 (伝仲村渠到元)・線彫魚海老文嘉瓶 (金城次郎)・屋根獅子 (島常賀) 他 / 青銅製馬鐙 / チンチンウマグッワー (琉球玩具 / 崎山嗣昌) / 尚温「壽」/ 周煌「福」/ 渡嘉敷兼副「寿」・義村朝義「寿」・謝花雲石「壽」/ 琉球慶賀使来朝色彩絵巻・森島中良著『琉球談』・『沖縄風俗図絵』/ 木綿白地雲霞に鶴松竹梅模様衣装・金茶地緞子袴衣装



展示期間 : 2013年12月17日 (火) ~ 2014年3月30日 (日)

(與那嶺 一子・園原 謙)

#### 【歴史部門展示室】

歴史部門展示室では、様々な資料から歴史をひも解いていく展示を志し、「モノから読む歴史」という大テーマを設定している。ここでは、様々なテーマに沿った年に数回の展示替えやトピック的な展示を行うなど、柔軟な展示を行う機能を備えている。

2013年度の歴史部門展示室では、「那覇港 ~ 往来する人とモノ ~」というテーマの展示をほぼ通年で展示し、10月から1月までは「琉球王国時代の古地図」のテーマを歴史部門展示室全体で行い、「統治下の記憶 - 琉球切手 -」、「琉球使節がやってくる！ ~ 行列図いろいろ ~」、「近代沖縄の地域振興に尽力した佐賀県人 第11代 齋藤用之助」のテーマを部分的に展示した。

以下に、それぞれの概要を紹介する。

### 「那覇港～往来する人とモノ～」

主 旨：琉球王国から国内外への玄関口として機能し、様々な人やモノが行き交った那覇港の歴史のなかでも、17～19世紀を中心に取り上げ、3つのテーマに分けて紹介する。「1 王国の港・那覇港」では、琉球王国の王都であり政治の中心地であった「首里」と、海上交通の要所であった「那覇」の強い結びつきを示し、「2 往来する人・モノ」では、王国の玄関口である那覇港から行き来した様々な人やモノを紹介する。「3 那覇のマチ」では、歴史読史地図を手がかりとして、「那覇四町」とよばれる地域に隣接する久米村や辻・渡地・仲島という遊郭地区、女性によるマチ（市場）のようすなど、港をとりまく人々の姿を示す。

展示資料：首里那覇港図屏風、琉球国惣絵図（間切集成図）（真和志間切他）（複製）、「琉球国全図」（琉球列島並三十六島之図） 他

展示期間：通年展示（10月19日～1月13日以外）

### 「統治下の記憶 - 琉球切手 - 」

主 旨：琉球切手とは、戦後の米軍統治下の沖縄で発行された郵便切手。1948（昭和23）年7月1日に7種が発行されてから、復帰（1972）までに257種が発行された。発行目的別に分けると、普通切手72種、航空切手30種、記念特殊切手138種、年賀切手16種、速達切手1種。美しい図柄が多く、収集家に人気があった。発行初日の消印が押された封筒（初日カバー）を中心に展示した。

展示資料：久米島切手、第1次普通切手、通貨確認証紙、琉球切手原画5点（オリンピック東京大会聖火リレー記念、ノグチゲラ、リュウキュウヤマガメ、セグロチョウチョウウオ、チナヒチ）、初日カバー（約120点）

展示期間：2013年4月16日（火）～7月21日（日）

### 「琉球使節がやってくる！～行列図いろいろ～」

主 旨：近世琉球期、薩摩藩を通じて江戸幕府の影響下におかれた琉球は、徳川將軍の代替わりを祝うためや琉球国王の代替わりを報告するための使節団（琉球使節）を派遣していた。使節たちは徳川將軍への拜謁や東照宮への参詣など多くの行事、芸能や文学など多くの文化交流を行った。その一方、琉球使節は各地の民衆から「異国」の存在として強い関心が寄せられていた。

江戸城に登城する際などの「琉球人行列」にはたくさんの人々が訪れ、琉球使節をナビゲートした冊子（ガイドブック）や瓦版（リーフレット）を手に持ちながら見物したり、行列の様子を描いたりした。

ここでは、民衆の注目を浴びた琉球使節行列の存在感をさまざまな行列図からひも解く展示を行った。

展示資料：行進中の琉球の楽隊、琉球人大行列記 大全（1790年）、琉球人行列記（1832年）、琉人行列之図（1832年）、大新版りうくう人行列飛廻双六 他

展示期間：2013年7月23日（火）～10月14日（月・祝）

### 「琉球王国時代の古地図」

主 旨：琉球王国時代（約15～19世紀）、琉球やその周辺を描いた地図が国内外の各地で様々な目的をもって製作された。琉球ではいつから作成されたかははっきりしないが、18世紀に最先端の測量



天然記念物シリーズ  
「ノグチゲラ」の原画と初日カバー



「琉球使節がやってくる！」の展示風景



「琉球王国時代の古地図」の展示風景

術を取り入れると測量や製図の技術はめざましい発展を遂げ、現在の地図と比べても遜色のない地図が作り上げられた。

製作技術や年代などの差はあるが、地図（古地図）には「製作者のまなざし」と「当時の人々が知りえた情報」が含まれており、製作された時代を知る重要な手がかりが隠されている。ここでは、最新の研究成果を盛り込みながら、首里王府の地図製作のヒミツや地図（古地図）に込められた当時の沖縄をひも解くポイントを紹介した。

展示資料：琉球国図、首里古地図（原寸大パネル）、琉球国惣絵図（間切集成図）、薩摩藩調製（琉球）図、首里那覇港図屏風、琉球明細総図 他

展示期間：2013年10月19日（土）～2014年1月13日（月・祝）

#### 「近代沖縄の地域振興に尽力した佐賀県人 第十一代 齋藤用之助」

主 旨：第11代齋藤用之助（1859 - 1933：安政6 - 昭和8佐賀県生）は、1879（明治12）年の廃藩置県の時に警察官として佐賀から赴任した。その後、行政職に転じ、首里区長兼中頭郡長、那覇区長兼島尻郡長を歴任。行政トップとして地域振興に尽力した。在任中は管内をあししげく回り、訪問先では喜んでヤギ汁を食べたことからヒージャー郡長と呼ばれた。転勤の話が出ると阻止運動が起こるなど住民から広く慕われた。

1903（明治36）年に硫黄島が爆発した時には一人の犠牲者も出さずに全島民を久米島へ移住させたことで、現地では今でも「命の恩人」、「神様」と呼ばれている。当館には第14代齋藤用之助氏から多くの文書資料が寄贈されている。「鳥島移住110周年」にあたる今回、第11代齋藤用之助の業績を収蔵資料を通して紹介した。

展示資料：辞令書、履歴書、感謝状、あいさつ原稿、与那原街道新旧道路図 他

展示期間：2014年1月18日（土）～4月13日（月）



第11代 齋藤用之助の展示風景

（岸本 弘人・崎原 恭子）

#### 【民俗展示室】

沖縄の気候風土の中で培われた伝統的な手仕事を紹介するため、民俗部門展示室の「諸職のワザ」コーナーでは、半年から1年に一度展示替えを行っている。また、「沖縄のすまい」コーナーの仏壇前には、季節や行事にあわせてお供え物を展示している。

#### 「諸職のワザ 織りしごと」

主 旨：一昔前まで、沖縄の人びとの日常衣は家庭内で生産しており、織りしごとの技術も庶民が培っていた。また、人びとが使った織機等の道具にも工夫がこらされていた。現代では、芭蕉布、宮古上布、八重山上布、久米島紬等、沖縄の織物は伝統産業として保護を受けながら地域で技を受け継いでいるのが現状で、庶民の生活からはかけ離れた存在になっている。

本展示では、庶民が培い現在まで伝えられてきた織りの技を、道具等を通して紹介した。

展示期間：2013年10月15日～2014年9月29日

展示資料：11点

地機（ジバタ）、座繰り（ザグリ）、綿繰り機（ハナシ）、糸紡ぎ車（ヤーマ）、苧入れ籠（ウーバーラ）、苧麻入れ籠（ブーイリマゲ）、竹ばさみ（イエーピ）、かせ繰り（カジマヤー）、真綿かけ（チーシー）、整経機（クイマー）、枠（ワク）



ミニ展示「くらべてみよう！ 庶民の日常衣 木綿と芭蕉と絹の着物」

主 旨：企画展開催中、三線の展示の代わりにミニ展示を行った。「諸職のワザ 織りしごと」と関連して芭蕉や木綿、絹から作り出された庶民の着物を比較展示。各々の生地拡大写真等を使って繊維の特徴などを紹介した。

展示期間：2013年3月11日～5月18日

展示資料：着物9点、筵1点、竹行李1点、籐製マネキン4点1セット、木綿紺地絁着物、木綿白地絁着衣、子ども用木綿絁着物（冬用）、花織ウツチャキ、絹経縞着物、久米島紬、黄地芭蕉着物、芭蕉経縞着物、芭蕉無地着物



仏壇のお供え物の展示

主 旨：沖縄では旧暦の1日・15日に仏壇にお供え物をするほか、季節の節目の行事ごとにいろいろなお供え物をする。民俗常設展示室の民家模型にある仏壇にも行事にあわせてお供え物や説明パネルを展示した。また、旧盆展示ではアンケート調査を実施し、次年度に向け食品サンプルの補充を行った。

展示期間：正月（新・旧）、清明祭、5月4日（ユッカヌヒー）と5月5日（グングラチグニチ）、旧盆、十五夜、冬至、ムーチー等



旧盆



ムーチー（左）



正月（右）

（大湾 ゆかり）

【自然史 地学部門】

科学技術週間

展示期間：2013年4月15日（月）～20日（日）

展示内容：パネル及び鉱物の展示

岩石洗浄活動（野外展示）

2013年7月16日（月）

屋外展示の岩石に付着している、コケなどの洗浄作業。

（仲里 健）

#### 4. 特別展「海・山・川のおくりもの 目からウロコの大生き物展！ ～生物多様性ホットスポット JAPAN～」

会 期：平成25年7月12日（金）～9月1日（日）  
会 場：沖縄県立博物館・美術館 特別展示室1・2、  
企画展示室（約810㎡）  
観 覧 料：一般 800（640）円、高校・大学生 500（400）円  
小・中学生 300（240）円  
（ ）内は、前売り及び20名以上の団体料金  
観覧者数：32,000人  
予 算 額：1,761,000円



展示会入口

##### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館  
共 催：環境省那覇自然環境事務所、GODAC (JAMSTEC)、沖縄市教育委員会、うるま市海の文化資料館  
後 援：自然史学会連合、沖縄生物学会、沖縄生物教育研究会、沖縄県教育委員会、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会、沖縄タイムス、琉球新報、NHK 沖縄放送局、琉球放送、沖縄テレビ放送、琉球朝日放送、沖縄ケーブルネットワーク、ラジオ沖縄、FM 沖縄、FMレキオ、タイフーン fm

協 力：沖縄県環境生活部自然保護課、国立科学博物館、環境省生物多様性センター、群馬県立自然史博物館、ミュージアムパーク茨城県自然史博物館、神奈川県立生命の星・地球博物館、滋賀県立琵琶湖博物館、姫路科学館、我孫子市鳥の博物館、沖縄美ら島財団、名護市立名護博物館、本部町立博物館、沖縄科学技術大学院大学 (OIST)

##### 【開催趣旨】

生物多様性は地球上に存在するすべての生命そのものであり、人間が創り出した文明、そして今後も創り出す豊かな文明や文化の根源である。また、それは、今日および将来の人類にとって未知のものをふくめた有用資源の宝庫である。本展示会では、日本が地球上の生物多様性ホットスポットの一つであり、そのなかでも琉球列島の生物多様性が高いことを県民に伝える。さらに、生物と人との関わりなども併せて紹介し、自然からの恩恵を再認識する機会を提供し、生物多様性を維持することの大切さを周知することによって、沖縄県にとって大きな資産である在来の自然がより良い形で残されることを目指す。未来永劫、私たちが生物多様性からさまざまな恵みを持続的に享受していくための方向性を示すこと、そして、特に未来ある子供たちに生物多様性の重要性を認識してもらうことが、本展示会の目的である。

##### 【展示内容】

###### (1) 概要

本展示会は以下の4つの大きな柱より成る。

プロローグ：生命の誕生～40億年生命史

第1章：日本の生物多様性

第2章：生物多様性と人との関わり

第3章：琉球列島の生物多様性

###### (2) 構成

<プロローグ：生命は深海で誕生した!?!>



プロローグ 生命史の回廊

深海チムニーのジオラマ、または写真パネルを示し、生命誕生が海で起こったことを紹介する。  
第1章へと続く回廊では、40億年の生命史を紹介し、生物多様性の生まれた経緯を考える。

深海のチムニーに群がる生物（ハイケース・映像コンテンツ）

オオコシオリエビ、ユノハナガニ（JAMSTEC・GODAC）

40億年生命史！（造作壁・回廊）

アンモナイト、三葉虫（風樹館・佐々木健志氏所蔵）、タルボサウルス頭骨（本館所蔵の化石）

< 第1章：日本は世界でも有数の、生物多様性に富んだ国である！ >

日本（北海道、本州、四国、九州）が世界でも有数の高い生物多様性を有していることを剥製・複製等の多くの資料や生物多様性を理解するための基礎的事項を含めた多彩なグラフィックパネルで示す。その際、日本の多様性を最もよく表している海洋の生物相について大きく取り上げ、日本の海の特異性とその要因を紹介する。また、世界自然遺産となった知床、屋久島、小笠原にスポットを当て、陸と海の関わりの重要性を示す。

日本の海（ガラス展示ケース）

海流、海図と生物多様性＝環境の多様性

タカアシガニ、イセエビ（神奈川県博、茨城県博所蔵）

サケガシラ（神奈川県博所蔵）

アオザメ、アカシュモクザメ、エイ（茨城県博所蔵）

海藻封入標本（茨城県博所蔵）

20mの日本地図（床造作、のぞきケース×5～7）

ヒグマ（本部博物館所蔵）、ヒグマトランク

（日本クマネットワークより借用）

ツキノワグマ（国立科博所蔵）

ライチョウ（国立科博所蔵）

シカ（国立科博所蔵）、ニホンカモシカ（本館収蔵）

のぞきケース

琵琶湖オオナマズ（琵琶湖博所蔵）

日本海キュウリエソ（神奈川県博所蔵）

ウミホタル拡大模型（収集）

分類群ごとの生物多様性（ガラス展示ケース）

哺乳類：ツシマヤマネコ（生物多様性センター所蔵）、タヌキ、ニホンザル、モモンガ、テン、ハクビシン、ノウサギなど（国立科博所蔵）イタチ（収集）

人類の多様性：本館所蔵レプリカ・資料（藤田・山崎真治担当）

鳥類：オオハクチョウ、タンチョウ、エトピリカ、ヤマショウビン、ヤイロチョウ、クマガラ、アオゲラ、カササギ、カケス、ルリカケス、ニューナイスズメ、ミソサザイ、キクイタダキ、ナベヅル、マナヅル（我孫子鳥博、国立科博所蔵）

は虫類：アオダイショウ、マムシ、ヤマカガシ、イシガメ（神奈川県博所蔵）

両生類：トノサマガエル、アズマヒキガエル（神奈川県博所蔵）

昆虫類：各種ドイツ箱10箱（生物多様性センター所蔵、松村雅史氏コレクション）

軟体類：仲嶺コレクション（本館所蔵）、マダコ（茨城県博所蔵）

棘皮類：ウニ・ヒトデ・ナマコの生き方（群馬県博所蔵模型）

絶滅（絶滅危惧）生物の話：マンモス広場

マンモス骨格、（本館収蔵）、トキ、アホウドリ（生物多様性センター所蔵）

東日本の生物多様性（造作壁・ハイケース）

ブナの森のパノラマ写真をバックに、植物（含コケ、シダ類）レプリカ・封入標本20点（神奈川県博、茨城県博所蔵）

西日本の生物多様性（造作壁・ハイケース）

スダジイの森のパノラマ写真をバックに、植物レプリカ・封入標本20点（神奈川県博、茨城県博より借用）

小笠原諸島（ハイケース・）小笠原ビジターセンターより模型借用



日本の海のコーナー



ヒグマの毛皮

< 第2章：人はいかに生物の恩恵を受けてきたか >

そもそも生物多様性とは何か。なぜ重要なのかを、子どもでも解るように説明する。また、有史以来、人類が恩恵を受けてきた生態系サービスや、今後受けるであろうバイオミミクリー（生物模倣）の新たな展開について解説する。トピックとして、里山の自然環境を取り上げ、川や田んぼなどの水環境が、いかに多くの生物多様性をを育てて来たか、そして今後も重要な位置を占めるであろうことを紹介する。

生物多様性概論

パネル（DNAの話）



## 衣食住と生物多様性

人はいかに生物多様性の恩恵を受けているか。

里山の自然（造作壁・ハイケース）

里山のスター、カエル、トンボ、メダカ（模型購入）

人と里山の関わり パネル、イネなどの里山の植物レプリカ・封入標本（茨城県博収蔵）

パオミミクリー（生物模倣）の現状（造作壁・のぞきケース）ヤモリの足、フクロウ類の羽、ハコフグなど（パネル資料東北大石田秀輝氏より借用）

小さな生物の世界（造作迷路・迷路外壁）

内側迷路：段ボールアート大型昆虫（茨城県博より借用）

外側壁：菌類（標本は茨城県博・国立科博所蔵）

顕微鏡観察コーナー（テーブル3～4台）

ゾウリムシ、クマムシ（採集・標本）

原生物の話（パネル）



巨大段ボール生物・ムカデ

### <第3章：琉球列島は、ホットスポット中のホットスポット！>

高い生物多様性が見られる日本の中でも特に琉球列島の生物多様性は高く、その貴重な自然環境が急速に失われている「ホットスポット中のホットスポット」であることを解説し、今後の県民生活のあり方を模索してゆく。沖縄県は島嶼県であり、海との関わりの中で人びとは生きてきた。中でもサンゴ礁の生物多様性は突出しており、沖縄県の宝であることを強調する。また、サンゴ礁の維持には豊かで自然なヤンバルの森が欠かせないこと、山と森をつなぐのが多くの水系であること、陸と海の境界である干潟やマングローブ林がいかに重要であるかなど、生物多様性の維持には環境の多様性維持が基本となることを実感できるように展示にしたい。

#### 沖縄の昆虫大集合！（造作壁）

協力：豊見城南・知念・本部・開邦の各高校生物部、

関連ブレ事業沖縄の昆虫大集合に参加の小中学生）

沖縄の植物の多様性と絶滅危惧植物（造作壁）

生物多様性立体地形図（国立科博所蔵）

奄美大島の生物（ガラス展示ケース）アマミノクロウサギ

（本館所蔵）、アマミイシカワガエル、ハブ（写真）

奇跡の森！やんばる（ガラス展示ケース・映像コンテンツ）

ヤンバルクイナ、ノグチゲラほか鳥類多数（本館所蔵）

ヤンバルテナガコガネ、ケナガネズミ（本館所蔵）

両生・は虫・甲殻類、各種剥製、液浸標本（本館所蔵）

オオウナギ（本剥製委託製作）

映像コンテンツは久高将和氏に依頼

⑳ 沖縄の海は世界一！（ガラス展示ケース）

サンゴ骨格標本（本館所蔵）、

生きたサンゴの水槽（沖電開発株式会社）

硬骨魚類剥製・液浸標本（群馬県立博所蔵）

㉑ 宮古島の不思議

ミヤコムカシネズミ、ミヤコノロジカ（本館所蔵 仲里担当）

㉒ 八重山諸島のおかしなやつら（ガラス展示ケース）

イリオモテヤマネコ（本館所蔵）カンムリワシ、キンバトほか鳥類（本館所蔵）サキシマハブ、サキシマ

マダラ、コガタハナサキガエル、（本館新収蔵）ヤシガニ（本館所蔵）与那国島のヨナグニサンとヨナグ

ニシュウダ（本館所蔵）ウミヘビ類の上陸（本館新収蔵）

㉓ 情報コーナー

那覇自然環境事務所 取り組み紹介

㉔ やんばるの森の仲間たちアニメーション上映（デザイナー大城愛香氏）

<その他>

・エントランスから企画展示室に上がる階段に巨大サメの看板（群馬県博所蔵）

・エントランスに実物大ザトウクジラをモチーフにした巨大タペストリー（子どもたちが描く）



沖縄の昆虫展示



沖縄の島々

・ホワイエ南側ペランダに、沖縄の絶滅危惧植物を生体展示 協力：美ら島財団・都市緑化植物園



エントランスのクジラタベストリー

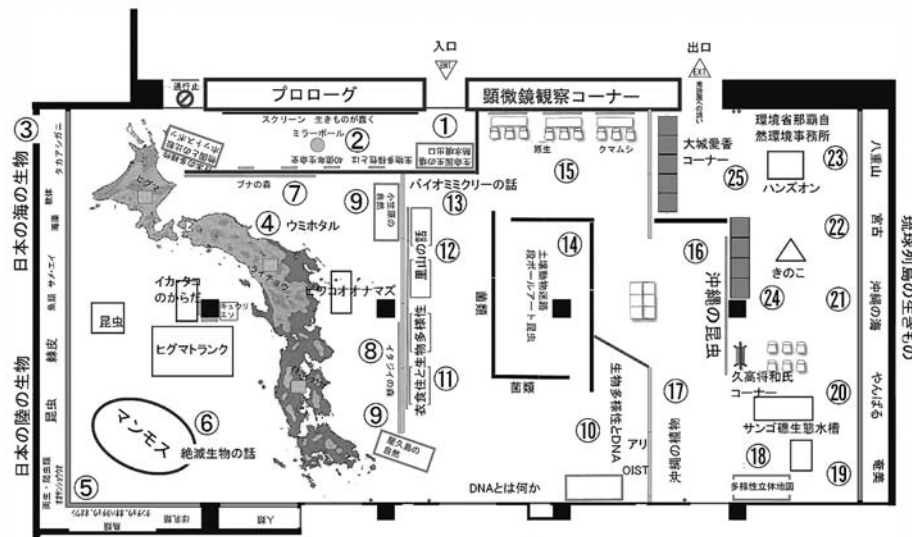
【関連催事】

- ・沖縄生物学会50周年記念生物写真展・シンポジウム（5月26日（日））
- ・沖縄の生き物写真コンテスト（6月1日～14日・表彰式7月6日（土））
- ・自然保護課との連携・生物多様性まつり（新都心公園 7月13～14日（土・日））
- ・体験学習教室・オオヒキガエルの解剖と骨格標本づくり 佐藤寛之氏（7月20日（土）、24日（水））
- ・GODAC（国際海洋環境情報センター）との連携・海洋プランクトンの調査・分類（7月22日・子ども30名）
- ・平成25年度自然史学会連合講演会「みる！・きく！・さわる！博物館」（7月28日（日））
- ・サンゴ岩礁の生き物観察会（8月7日（水）・子ども40名）
- ・やんばる野生生物保護センターウフギー自然館との連携・比地部落観察会（8月12日・子ども40名）
- ・文化講座「ネイチャーテクノロジーがつくる、新しい暮らしとものつくりの世界」東北大学 石田秀輝氏（8月17日（土））
- ・名護博物館との連携・「田んぼであそぼ！」（8月19日・子ども30名）
- ・うるま市海の文化資料館との連携「イモリとその生態系を訪ねて」（2月9日（日）・子ども40名）
- ・県内移動展（9月～H26.2月）＝美ら島財団亜熱帯植物園、沖縄市立郷土博物館（10/25～11/24）、うるま市立海の文化資料館（H26.1/25～2/20）
- ・県外移動展＝兵庫県姫路市・姫路科学館「ハイサイ！琉球の生きものたち」（H26年3/14～5/19）

【図録出版】

展示会内容と生物多様性に関する図録（192ページ、オールカラー）を刊行

【展示平面図】



(山崎 仁也)

## 5. 企画展「大嶺薫コレクション - 探求する心とその世界 - 」

会 期：2013（平成25）年5月1日（水）～2013（平成25）年6月16日（日） 展示日数：42日

会 場：博物館特別展示室

観 覧 料： 博物館常設展料金に同じ

### 【開催主旨】

大嶺薫コレクションは、故大嶺薫（1905～1970）が戦前・戦後をとおして収集したものです。氏の没後、その意志をひきついだ遺族によって、1971（昭和46）年、大嶺薫美術館が設立され、沖縄の美術工芸や文化の振興に貢献してきました。1985（昭和60）年3月、同美術館の閉館にともない、収蔵資料3,550点の美術工芸のコレクションが当時の沖縄県立博物館へ寄贈されました。

同コレクションは美術工芸、歴史、考古、民俗（民族）の各分野にわたり、その収集範囲も沖縄を中心に、日本や中国、南方諸国はもとより、ヨーロッパやアメリカまで及んでいます。

戦後、沖縄の多くの文化遺産が消失あるいは海外へ散逸しましたが、大嶺薫氏はこれら文化財の流出を憂慮し、収集の努めたことは高く評価されるものです。

本展は、大嶺の業績を顕彰するとともに、毎年1回開催するもので、本年度のテーマは、大嶺の多様な興味関心に基づき、サブテーマを「探求する心とその世界」と設け、美術工芸（絵画、書跡、陶磁器、漆器、彫刻）、歴史（古文書、古銭、装身具など）、考古、民俗（民族）（仏具、仮面、装身具）の各分野の資料を紹介しました。

### 【展示資料】約260点

絵 画：七難七福図、山水図、鯉の図、文武朝服頂帯図、三国志高傑図、虎の図、蓮池之図他

書 跡：扁額「慎簡乃儉」、尚育の書、陳観西の書、鄭其昌の書（聯句）、徳富蘇峰の書

陶磁器：からから3点、嘉瓶2点、香炉3点、皿3点、茶家3点、人形像2点、壺1点

漆 器：黒漆山水楼閣人物螺鈿机（県指定）、朱漆菊唐草堆錦手箱、堆黒唐人童子鶴文硯屏、他

彫 刻：天部形神像、明王形神像：2点、天尊子像

古文書：「地頭御方二難渋有之候」1冊

勾 玉：伝聞得大君勾玉、緑玉勾玉、緑玉勾玉、青磁色勾玉、青色勾玉、緑玉勾玉、薄緑玉勾玉、紫玉子色持勾玉、薄青玉勾玉、薄緑玉勾玉、緑玉勾玉、水晶勾玉

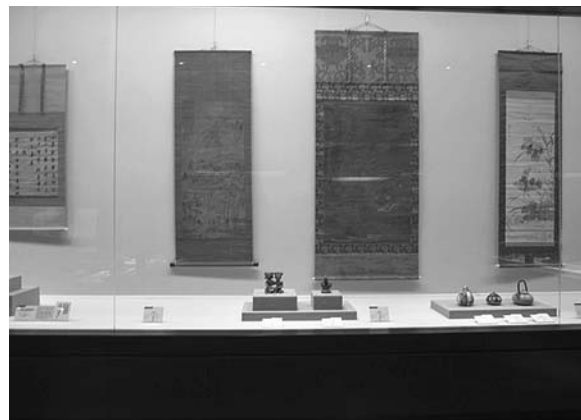
貨 幣：古銭：125点 元豊通宝、鳩目銭、琉球無文銭：3点、琉球通宝

装身具：「高砂」字蓬莱山柄鏡、蓬莱山柄鏡、「寿」字松文柄鏡、「丹頂」字瑞雲双鶴文柄鏡他

民 俗：仏具（龍飾り）5点、宝蔵：12点、仮面5点、高砂族装身具10点

考 古：石器：3点、大刀：1点、大刀鐔1点、鈴輪1点、石釧1点

（與那嶺 一子）



## 6. 企画展「新収蔵品展 平成24年度収蔵資料」

会 期：2013年 5月15日（水）～ 6月16日（日）

会 場：博物館企画展示室

### 【開催趣旨】

「新収蔵品展」は、博物館が過年度に寄贈・購入・移管等で受け入れた資料を一堂に展示・公開するとともに、今後の博物館活動の充実と発展をめざして開催するものである。また、併せて2012年度に行った収蔵品の修理事業について、完了した姿をお披露目する。

### 【事業内容】

2012年度に寄贈・購入・収集された諸資料を自然、歴史、美工、民俗、考古、地学の各分野に分類し、さらに修理・修復した資料もあわせ、博物館3階企画展示室で展示・公開した。

初日の開会式では、安里進館長より寄贈者の皆様 8名へ感謝状の贈呈式が行われた。その後のテープカットには寄贈者 4名と安里館長が参加した。式典終了後、参観者は会場内を観覧し、約100点の展示品を興味深く鑑賞する姿が見られた。

### 【展示内容】

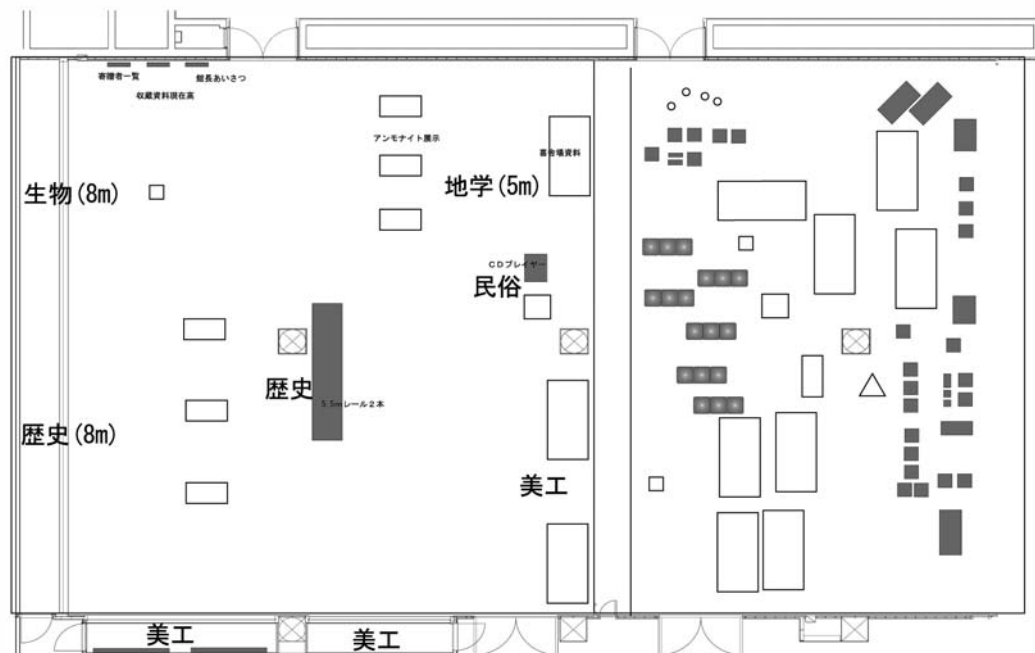
2012年度は、国内の個人や機関等から多数の貴重な資料が寄贈され、収集、購入したものも合わせて114点の資料を収蔵した。

主だったものとして、自然史分野では喜舎場朝敬氏収集化石資料等一式。また、ながみねどうぶつクリニックより寄贈されたミサゴなどを用い、生態を表した剥製を新たに製作いたしました。

歴史分野では、沖縄師範学校附属国民学校終了証書を中重喜代子氏より、『新参蔡姓家譜』を渡具知清氏よりご寄贈いただきました。美術工芸分野では、西美知子氏よりご寄贈いただいた後藤敬臣書の「七言絶句」、高山和子・朝守氏よりご寄贈いただいた「黒漆家紋入箔絵櫃」などがあります。

民俗分野では、中本鉄治氏から工工四を大城喜信氏より「野村流古典音楽」の録音されたカセットテープ等の寄贈がありました。

### 【展示平面図】



博物館企画展「新収蔵品展—平成24年度収蔵資料—」展示配置図(案)

(大湾 ゆかり)

## 7. 企画展「サキタリ洞遺跡発掘調査速報展 - 島に生きた旧石器人とその文化を探る -」

会 期：2014年2月18日（火）～3月16日（日）

会 場：博物館特別展示室

観 覧 料：一般：200（160）円 高校・大学生：150（120）円 小・中学生：100（80）円

（ ）内は、20名以上の団体料金

観覧者数：2,912人

予 算 額：12,267,000円

### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

共 催：南城市

特別協力：株式会社南都（おきなわワールド ガンガラーの谷）

後 援：南城市教育委員会 / 八重瀬町教育委員会

協 力：国立科学博物館 / 東京大学総合研究博物館 / 沖縄県立埋蔵文化財センター / 糸満市教育委員会 / 伊是名村教育委員会 / 伊仙町教育委員会 / 北谷町教育委員会 / おきなわ石の会

### 【開催主旨】

沖縄県立博物館・美術館では、約2万年前の港川人をはじめとする、旧石器時代人骨化石が数多く発見されている沖縄県の地質的特性を踏まえて、人骨化石と旧石器の発見を目的とした南城市サキタリ洞遺跡の発掘調査を実施しており、2012年度からは沖縄振興特別推進交付金を活用して、大規模な発掘調査を実施してきた。

従来、沖縄では旧石器時代の人類が使用した石器などの道具は発見されておらず、また、旧石器時代と縄文時代との間には約1万年にもおよぶ人類史上の空白の時代が存在していた。このため、沖縄の旧石器人がどのような暮らしをしていたのか、その後の縄文時代の人々とどのような関連があるのかといった問題は未解明のままであった。

一方、近年のサキタリ洞遺跡における発掘調査では、旧石器時代から縄文時代にかけての「空白の時代」に相当する人骨や石器などの遺物がまとまって発見されており、従来の沖縄史を書き換える成果が得られている。

この展覧会では、近年のサキタリ洞遺跡における調査研究成果をわかりやすく紹介するとともに、遺跡出土品を通して、新たに解明されつつある沖縄の旧石器時代から縄文時代にかけての人類とその文化について展示する。本展覧会を通して、広く県民に、沖縄の人類文化の起源をめぐる調査研究の現状を普及・紹介することを目的とする。

### 【展示内容】

#### 1) 人類の進化と拡散 - 猿人から旧人まで

1-1 人類の誕生：猿人（サヘラントロプス・アウストラロピテクス）の紹介

1-2 第1次出アフリカ - 世界に広がった原人

ドマニシ（グルジア）、ジャワ（インドネシア）、北京（中国）の原人の紹介

1-3 島に生きた原人 - フローレス島

ホモ・フロレシエンシスの時代

ソア盆地の発掘調査の様子を紹介

リアン・ブア洞穴とフロレシエンシスの発見

1-4 謎の人類 - デニソワ人

#### 2) 新人たちのグレートジャーニー（第2次出アフリカ）

2-1 アフリカを出た新人の足跡

カルメル山遺跡群（イスラエル）のホモ・サピエンシス遺跡

ヨーロッパに進出したクロマニヨン人とネアンデルタール人

2-2 ホモ・サピエンシス、アジアへ

アジア最古の人骨（ニアール洞穴）、中国の新人化石（山頂洞・柳江）の紹介

2-3 海と島に生きたホモ・サピエンシス

#### 3) 沖縄の旧石器人とその文化

3-1 沖縄の島々

- 沖繩の島々の固有生物相などの紹介
- 3-2 旧石器時代の沖繩  
港川人・叉状骨器の研究史の紹介
- 3-3 サキタリ洞遺跡と旧石器人  
サキタリ洞の旧石器時代の発掘調査・研究最新成果の紹介

4) そして縄文時代へ

環境の変化、土器の出現とそれに伴う文化の変化等について紹介

【関連事業】

ガンガラーの谷・ケイブカフェ特別展「サキタリ洞遺跡の3万年」

サキタリ洞出土の土器、獣骨、貝類、カニ爪等を発掘調査のようすを伝えるパネルとともに、ケイブカフェ内に特別展示した。

日 時：2014年2月18日（火）～3月16日（日）

場 所：サキタリ洞（ガンガラーの谷ケイブカフェ）

入 場 料：無料

展示解説会

速報展展示会場内にて解説会を開催した。

日 時：2014年2月20日（木）・22日（土）

13：00～ 15：00～ の2回開催

場 所：沖縄県立博物館・美術館 博物館特別展示室

ケイブカフェ特別講演会「サキタリ洞遺跡の3万年」

日 時：2014年3月1日（土）18：00～20：00

場 所：サキタリ洞（ガンガラーの谷ケイブカフェ）

講 師：山崎 真治（沖縄県立博物館・美術館 主任）

参 加 費：無料

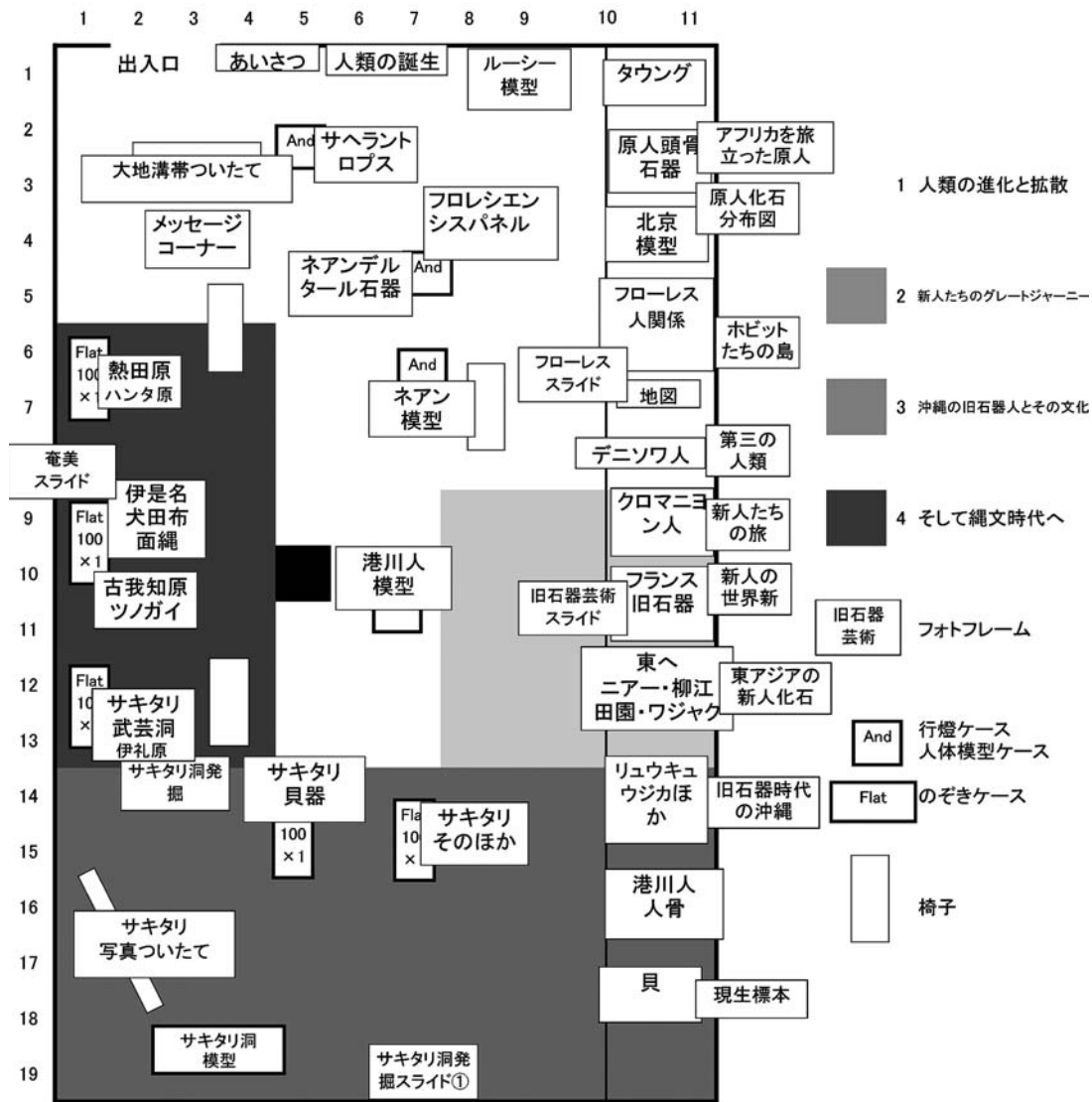


展示解説会の様子



ケイブカフェ特別講演会の様子

【展示室平面図】



(山崎 真治)

8. 企画展「三線のチカラ 形の美と音の妙」

The Power of Sanshin : Its Beautiful Shape and Inspiring Sound

会 期：2013年2月18日～5月11日

会 場：博物館企画展示室、特別展示室1 3月30日から特別展示室2

観 覧 料：一般500円(400円)、高大生300円(240円)、小中生200円(160円)

( )内の金額は前売りおよび団体料金です。

観覧者数：8,806人(1日平均120人)

予 算 額：5,545,000円

【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

共 催：沖縄県教育委員会 / 琉球三線楽器保存育成 / 沖縄三線製作事業協同組合 / ハワイ沖縄連合会

協 力：琉球大学工学部 / 九州国立博物館 / 沖縄県立芸術大学 / 沖縄県対米請求権事業協会 / 在沖縄米国総領事館 / 琉球放送 / 御座楽復元演奏研究会 / 玉城流いづみ会又吉静枝・聖子琉舞道場 / うきしまころん

後 援：沖縄タイムス／琉球新報／琉球放送／琉球朝日放送／沖縄テレビ／NHK沖縄放送局／ラジオ沖縄／  
FM 沖縄／タイフーンFM

【展示内容】

- 1) 三線の道 三線が中国から伝わってきた歴史的背景、三線が描かれる当館所蔵の絵画資料や典籍資料、また現存する最古の三線が含まれる徳川美術館所蔵「琉球楽器」（沖縄美ら島財団所蔵の復元品）で構成。
- 2) 三線の美 1955（昭和30）年から1958（昭和33）年にかけて琉球政府時代に指定された11挺の三線及び平成元年～4年にかけて実施した文化庁補助事業「県内所在琉球三味線調査」に基づき、県指定文化財に指定した9挺及び未指定だが名器として名高い三線を公開した。
- 3) 三線の心 ウチナーンチュの三線に寄せる強い思いを昭和33年に再建された守礼門落慶式時の古典音楽の大家による三線演奏の写真（仲座久雄）をエンラージして、三線を愛する沖縄のこころを示した。また、今回初めて、ハワイ所在の三線を8挺借用することができた。これら三線は米国から移出上の問題から棹のみを借用した。
- 4) 三線の音 今回の目玉のひとつで、王国時代の三線の復元音（チーガの蛇皮張りを弱く、絹糸を張る）を再現し、観覧者に実際に5つの開鐘と江戸与那の音色を聴いてもらう体験型のコーナーを設置した。
- 5) 三線の伝 戦前（明治33年）の三味線会など、現代に息づく三線製作技術の県伝統工芸製品（7名の伝統工芸士の三線、製作工程（ビデオ））を展示して現代に息づく手わざを紹介した。
- 6) 三線打ティーワジャコンテスト このコーナーは従来、形のみ問われてきた三線に一石と投ずるため、形のみと音の妙を備えた三線製作技術を競うコンテストを開催した。平成25年10月初旬に募集案内の告示し、平成26年3月26、27日両日で受付した三線を3月28日に審査し、3月30日に表彰式を開催し、新たに特別展示室1を展示会場として加え、5月11日まで展示公開した。

【関連催事】

1 三線鑑定会

日 時：2月22日（土）、23日（日）  
午後2時～4時（3時受付終了）  
場 所：沖縄県立博物館・美術館 1階博物館実習室  
主 管：琉球三線楽器保存育成会  
参 加 者：80名（30挺の新旧の三線鑑定を行う。）



伝統の息吹と極めの競演 伝統の息吹

2 三線楽 伝統の息吹と極めの競演

伝統の息吹

日 時：2月22日（土）午後2時～3時半  
場 所：沖縄県立博物館・美術館 3階講堂  
出 演：沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻 OB 会  
参 加 者：？



伝統の息吹と極めの競演 極めの競演

極めの競演

日 時：3月9日（日）午後2時～3時半  
場 所：沖縄県立博物館・美術館 3階講堂  
出 演：沖縄伝統音楽野村流保存会、沖縄伝統音楽  
安富祖流保存会、沖縄伝統音楽湛水流保存  
会協議会60名  
参 加 者：150名

3 シンポジウム「三線のチカラ 未来への展望」

日 時：3月2日（日）午後2時～5時  
場 所：沖縄県立博物館・美術館 3階講堂  
コーディネイター：園原 謙（博物館主幹）  
基調講演：海外からみた三線の魅力  
講 師：ロビン・トンプソン（英国在住琉球古典音楽  
実演家）  
シンポジウム「三線のチカラ 未来への展望」



シンポジウム「三線のチカラ 未来への展望」



パネリスト：渡慶次道政、仲嶺幹（沖縄県三線製作事業協同組合）  
 照喜名朝一（琉球三線楽器保存育成会）  
 金城陽一（県ものづくり振興課）  
 ロビン・トンプソン（英国在住琉球古典音楽実演家）  
 コーディネーター：園原謙（沖縄県立博物館・美術館 主幹）  
 参加者：200名

#### 4 三線名器・開鐘の競演

日 時：3月16日（日）午後2時～3時30分  
 場 所：沖縄県立博物館・美術館 3階講堂  
 出演者：監修比嘉康春（県立芸術大学教授）  
 参加者：340人（第1会場 200名、第2会場は博物館  
 講座室演奏風景のモニター 140名）



三線名器・開鐘の競演

#### 5 高級マイ三線づくり

期 間：3月21日（金）～23日（日）  
 午前9時～午後5時（定員10組/要事前予約）  
 三線製作事業協同組合の会員により、親子で本格的な三線を製作する。棹は黒檀「カマゴン」（真壁型）、胴は蛇皮張り。棹は仕上げた後、塗りを行う。三線製作事業協同組合のプロの三線製作者による指導で、荒取りをした材から製作する。  
 場 所：沖縄県立博物館・美術館 1階博物館実習室  
 参加費：製作経費（実費負担8万円程度）  
 主 管：沖縄県三線製作事業協同組合  
 参加者：11名

#### 6 琉球絵巻 献上舞踊、江戸上りの演奏と舞踊

日 時：3月23日（日）午前の部 10：30～12：00  
 午後の部 13：30～15：00  
 場 所：沖縄県立博物館・美術館 3階講堂  
 出演者：御座楽復元演奏研究会、玉城流いずみ会又吉静枝・聖子琉舞道場  
 参加者：200名



琉球絵巻—献上舞踊、江戸上りの演奏と舞踊—

#### 7 沖縄県立博物館・美術館プレゼンツ「三線打ティーワジャコンテスト」

主 管：沖縄県立博物館・美術館  
 共 催：沖縄県教育委員会、琉球三線楽器保存育成会、沖縄県三線製作事業協同組合  
 審査員：宜保栄次郎（委員長）、岸本吉雄、照喜名朝一、外間善盛、仲嶺盛文、銘苅春政、新垣万善  
 応募受付：2014年3月26日（水）～27日（木）午前9時～午後5時で、32人、56挺の三線の出品があった。  
 受付会場：沖縄県立博物館・美術館 博物館特別展示室2  
 参加資格：沖縄県内居住者に限る。

- 三線製作を生業として、棹とチーガの蛇皮張りをを行っている三線職人
- 審査基準： 沖縄の伝統的な主要な七つの三線型に加え、斬新な型も含む。  
三線の形の美に加え、音の妙（余韻、艶、音の大きさ、三絃の音のバランス）を総合的に判断する。  
演奏することができることを前提とする。
- 審査会：2014年3月28日（金）
- 審査手順：書面審査（三線と申請書の確認）、本審査では午前中に形の審査を行い、56挺から32挺に絞り、さらに15挺に絞った中から、午後から三線の音の審査を行った。音の審査に関しては、三線が見えないよう、講堂において幕をおろして聴取した。その2つの総合評定で、最高点と最低点を除いた人数の総点で上位から入賞者を選定した。
- 受賞者：上原正男（上沖縄県知事賞）、照屋勝武（沖縄県議会議長賞）、又吉真也（沖縄県教育委員会教育長賞）、枝川勝（沖縄県立博物館・美術館館長賞）、譜久山勝（琉球新報社社長賞）、兼元盛徳（沖縄タイムス社社長賞）、宜野座幸勇（琉球三線楽器保存育成会会長賞）、金城武一（沖縄県三線製作事業協同組合理事長賞）



ティーワジャコンテスト表彰式



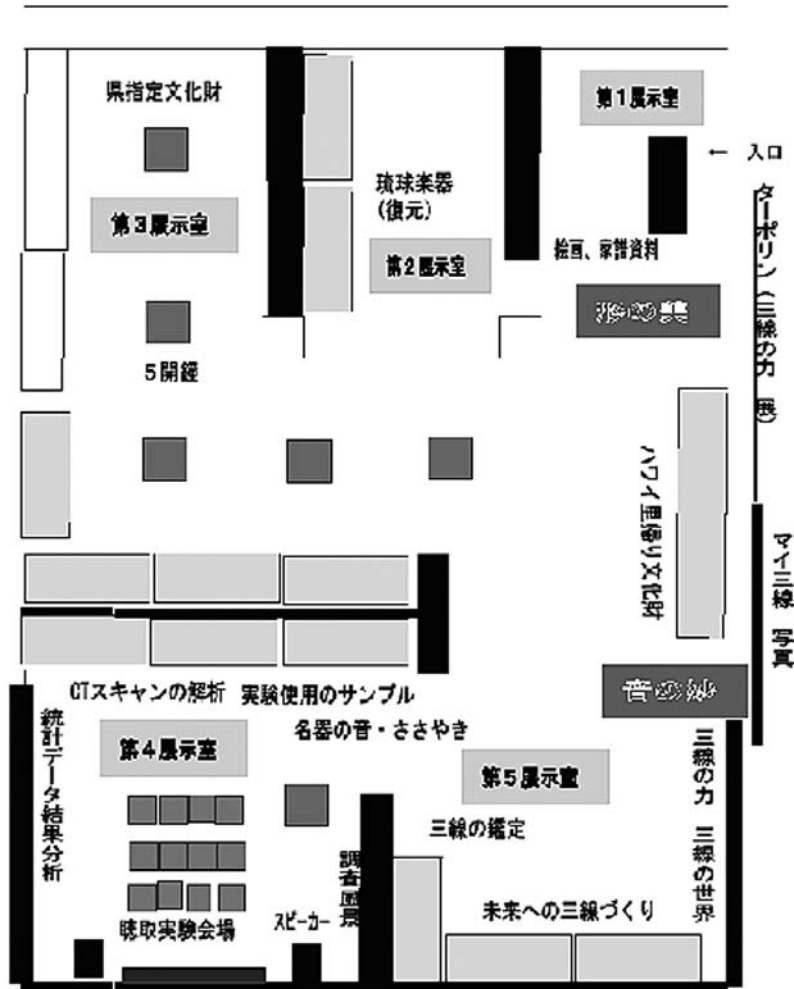
開会式



展示風景

【展示平面図】

博物館企画展 三線のチカラ形之美と音の妙



(園原 謙)

・ 教育普及活動

1. 博物館教育普及活動の概要

博物館は資料をわかりやすく展示し、多くの人々に観覧していただくことを大きな使命としている。同時に、来館者の知的文化的な好奇心を充実させる地域の中軸施設であることも求められている。近年博物館を訪れる来館者のニーズは多様化し、利用者はそれぞれが様々な目的をもって来館する。このような来館者の要求により多くこたえていくため、当館では今年度も多くの教育普及活動を実施してきた。

博物館の教育普及活動では、学校の計画する授業・行事等で博物館を利用する際に支援する学校連携事業、博物館が企画運営する文化講座、体験学習教室、ボランティア養成等、大きく2つの事業に分け推進してきた。学校連携事業では、学校団体受入の充実した態勢を図るため、ボランティア員を活用した学校団体に対する支援体制の強化を推進し、サービスの向上を図ってきた。また、今年度「出前授業等」実施要項を作成し、学芸員と教師が連携した授業を実施することができた。文化講座及び展示会関連講座は「アメリカ軍基地と沖縄経済 - 歴史のなかで考える -」を皮切りに総数12回実施し、県民の皆様にも多くの参加をいただき好評を得ることができた。その他にも、体験学習教室では「カエルの解剖と骨格標本作り」をはじめとする2種の体験学習教室の開催や学芸員講座と常設展示解説会12回、バックヤードツアー12回、夏休み企画として「博物館学芸員教室」全9教室開催した。

運営面では、指定管理者制度のもと、事業の計画を県職員が立案し事業の実施を指定管理者が行っている。博

博物館が行う各種事業の中でも、県と指定管理者双方の連携が求められる分野の一つである。博物館教育普及事業の実施に際しては、指定管理者と定例の連絡会議を持ち、運営の方法を協議し事業を推進してきた。

予 算：2013年度の教育普及事業予算総額 2,500,000円

参加者：2013年度における教育普及事業への参加総数：8,855名（自由見学の学校団体は含まない）

（金城 久枝）

県内学校団体の博物館来館目的（教科内容・自由学習など） 重複あり

項 目	小学校	中学校	高等学校	特別支援	大 学	合 計	
下見（学習プログラム作成打合せ）	34	0	0	0	0	34	
ボランティア等による学習支援含む	民具体験（小学校3年社会科）	34	0	0	0	0	34
	教科（社会科、理科など）	0	0	0	0	0	0
	領域（道徳、特活、総学の時間）	0	0	0	0	0	0
ボランティアによる展示ガイド	民俗ガイド（小規模校対応）	11	0	1	2	0	14
ボランティア等支援無し	修学旅行など	32	1	0	1	1	35
	博物館活用学習（自由見学）	91	9	20	9	16	145
そ の 他	0	0	1	0	0	1	
合 計	168	10	22	12	17	229	

## 2. 学校連携事業

学校連携事業は、大きく二つの事業を実施した。一つは、教育課程の一環として博物館を学習の場として利用する学校団体への学習支援で、館から提供できる支援内容の調整を行った。学校の規模や授業の進度、生徒の実態等を含めた学校からの要望と博物館の施設・職員・ボランティアの支援体制を考慮し、学校と博物館が連携していく学習プログラムを実施した。また、『教育普及報告書』『博物館学校団体利用マニュアル』及び『出前授業等』実施要項を作成し、沖縄県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援校に配布した。

### 【学校団体受入れ】

毎年9月頃より2月にかけて、県内の小学校から民具体験学習のために3年生が数多く来館する。この民具体験学習では、教師が生徒の実態に合わせて体験メニューを選択し、学習プログラムを組み立てることが出来る。学校側との打合せとして、約2時間の下見を実施している。また、支援に入るボランティアの在り方について、スキルアップ研修を行い、学校と博物館が互いに協力した学習支援体制がスムーズに行えるよう取り組んだ。

教師が主体性を持ち、博物館を活用した授業展開の在り方が構築されたと考える。

（金城 久枝）

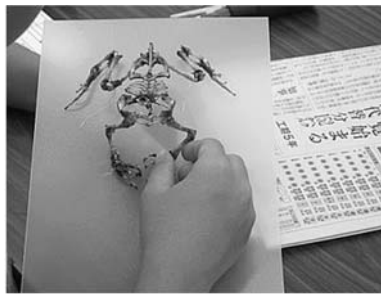
## 3. 博物館体験学習教室

沖縄の自然や歴史、文化と結びつけた体験的な活動を通して、郷土について関心を持ち、先人の知恵等を学ぶ機会としている。博物館の各分野（自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗）の展示と関連する内容の体験学習を実施し、総合博物館としての豊かな学びの場を提供している。今年度の総参加者数は、35名であった。

（金城 久枝）



オオヒキガエルの解剖の様子



骨格標本の作製



完成したカエルの骨格標本を展示



下絵を描いた後に簡描き



色差しの様子



簡描き紅型に挑戦！

#### 4. 博物館文化講座

博物館文化講座は、博物館の展示内容と関連する自然史、人類、考古、歴史、美術工芸、民俗の各分野について分かりやすい内容で楽しく学習が出来ることを目的に1974年から始まった事業である。講演、展示解説、実技指導、現地研修などを通して、県民各層が楽しく有意義に学べる講座を実施している。今年度の総受講者数は、1,389名であった。

(金城 久枝)

##### 【文化講座一覧】

回	期 日	演 題 講 師 名	場 所	参加者
431	2013.4.20 (土) 14:00~16:00	「アメリカ軍基地と沖縄経済－歴史のなかで考える－」 【講師】 来間 泰男 (沖縄国際大学名誉教授)	講堂	135
戦前から現在までの沖縄経済の状況を歴史事象の中で詳細なデータを示し解説がなされた。戦前、占領下、復帰後と経済における沖縄の不利な状況が今も克服されていないことが指摘された。また、返還跡地の経済発展を根拠とした基地撤去に異をとらえ、経済問題を絡めない基地撤去の重要性が主張された。				
432	2013.5.18 (土) 14:00~16:00	「首里王府の史料編纂事業『中山世鑑』から『球陽』まで」 【講師】 田名 真之 (沖縄国際大学教授)	講堂	175
史料編纂事業は、首里王府が王国の誇りを守るため取り組んだ。羽地朝秀が正史「中山世鑑」を編纂、後に蔡鐸・蔡温が再編した「中山世譜」、王国の森羅万象を網羅した、鄭秉哲の「球陽」が紹介された。琉球史を知る資料の解説と内容の深い講座であった。				
433	2013.6.8 (土) 14:00~16:00	「沖縄の冠婚葬祭」 【講師】 崎原 恒新 (沖縄県民族学会委員)	講堂	182
沖縄における昭和初期ごろまでの庶民の伝統的な結婚・葬儀の概要 (聞きたいが聞きにくいこと) について解説された。核家族化が進み祖父母から昔の話を聞く機会も無くなってきている現在、沖縄の冠婚葬祭について、次世代へ継承することの大切さを感じた貴重な講話であった。				

434	2013.7.20 (土) 14:00~16:00	「地質屋から見た沖縄の自然－化石と地史－」 【講師】大城 逸朗 (理学博士)	講堂	128
化石と地史についてアンモナイトや三葉虫などの写真を用いて解説が行われた。沖縄トラフについての説明を踏まえ、宮古島は、化石種や現生種の存在からきわめて特異な地域で、今後の地史解明のキーとなるとのこと。その重要性を若い世代に伝えたいという講師の熱い思いが伝わった。				
435	2013.8.17 (土) 14:00~16:00	「ネイチャー・テクノロジーがつくる、 あたらしい暮らしとものつくりの世界」 【講師】石田 秀輝 (東北大学教授)	講堂	52
限られた資源を活用した暮らしとものつくりとして、ネイチャー・テクノロジーが紹介された。ネイチャー・テクノロジーとは、必要なテクノロジーを自然の中に探し、自然の力を賢く使うこと。このシステムとして、水の要らない風呂、家庭農場、トンボの風力発電機などが紹介された。				
436	2013.9.21 (土) 14:00~16:00	「九州国立博物館におけるボランティア活動の実際」 【講師】上野 知彦 (元九州国立博物館主任研究員)	講堂	70
体験活動サポートや展示物説明、他館ではあまり例のない環境保全活動 (IPM)、ボランティア卒業イベント企画などボランティアの主体的な活動が紹介された。年間来観者数100万人を越す九博の多様化するニーズへの対応、地域への開放など、学ぶことが多い講座であった。				
437	2013.10.19 (土) 14:00~16:00	「世界の緋・沖縄の緋」 【講師】柳 悦州 (沖縄県立芸術大学教授)	講堂	120
世界の緋として、アジア諸国の緋模様の特徴と製作方法の違いなどが解説された。沖縄の緋技法は、糸をずらしながら模様を作る方法が独特で、世界の中でも特異な技法との説明があった。端正な美しい織物である世界各地の様々な緋の魅力と沖縄の緋織物への関心が高まる講座であった。				
438	2013.11.16 (土) 14:00~16:00	「沖縄で学ぶジオ～島々が語る地球の営み～」 【講師】尾方 隆幸 (琉球大学 教育学部 生涯教育課程 准教授)	講堂	66
ジオ構想は、自然の多様性を保全すべきという考えが背景にある。県内でも石灰岩地域特有の資源や景観を持続的に保全しようという動きがあり、準備を進めている地域がある。地球の成り立ちや沖縄特有の自然景観を知り、それを保存継承していくことの大切さを考える講座であった。				
439	2013.12.21 (土) 14:00~16:00	「きからじ」と「ジーファー」 【講師】小波 則夫 (小波琉きからじ結家元) 又吉健次郎 (金細工師・七代目金細工またよし)	講堂	197
「きからじ」と「ジーファー」と題し、結髪の第一人者である小波氏と、七代目金細工師又吉氏による実演を交えた講演が行われた。「首里結い」「敬髻 (カタカシラ)」の解説、結髪の実演、金細工の歴史、角ウチの解説、琉舞の演舞と見応えのある充実した講座であった。				
440	2014.1.18 (土) 14:00~16:00	「遺跡出土銭貨が解き明かす琉球貨幣史 ～古琉球・銭の物語～」 【講師】宮城 弘樹 (名護市教育委員会)	講堂	107
貝塚時代の出土銭貨、グスク時代遺跡からの出土銭貨など、遺跡から出土する銭から琉球貨幣史についての解説がなされた。今後の出土銭貨研究から、琉球史における政治、経済、文化、社会構造等新たな側面が見えてくるのではないかと研究が待たれる。				
441	2014.2.23 (日) 14:00~16:00	「三線を科学するパート1～音の物理と心理的アプローチ～」 【講師】高良 富夫 (琉球大学工学部長)	講堂	93
三線を科学する？三線の名器5挺を用いて行われた実験について、絹絃とナイロン絃を比較した実験と開鐘胴内部の凹凸と扁平を比較した実験結果が報告された。音を聞いたときに感じる物理的な側面と心理的な側面など音色を科学的に考える興味深い講演であった。				
442	2014.3.15 (土) 14:00~16:00	「三線を科学するパート2－X線による健康診断－」 【講師】鳥越 俊行 (九州国立博物館 主任研究員)	講堂	64
盛嶋、志多伯、富盛、江戸与那、健堅与那、源河ウエーキのCTスキャナ調査から、胴の切り込みや棹部分の材質が場所によって違うこと、ほぞの角度など内部構造を知ることができた。参観者は、3D作成された胴を手に取り内部構造に見入っていた。				



会場いっぱいの参観者  
『沖縄の冠婚葬祭』



貴重な資料を用いての解説  
『世界の絁・沖縄の絁』



実演を行う小波氏  
『きからじ』と『ジーファー』

## 5. 学芸員講座

学芸員講座は、本館の学芸員が研究成果や収蔵品の調査成果等を報告すると共に、館を訪れる人々に博物館内部の紹介をする良い機会となっている。各分野の充実した講話は博物館をより身近に捉え、参観者の層を拡大する大切な役割を果たしている。総受講者数は、777名だった。

(金城 久枝)

### 【学芸員講座一覧】

	日程	分野	講師名	演題内容	定員	参加者
1	2013.4.13 (土) 14:00~16:00	人類	藤田 祐樹	「南の島の化石調査～ゆるゆる洞窟探検記～」 人類の進化の過程を知る手がかりとなる発掘調査。国内でも、化石人骨発掘の宝庫である沖縄の最新発掘状況と洞窟調査の苦労話を交えた興味を引く、楽しい講座であった。	80	42
2	2013.5.4 (土) 14:00~16:00	生物	山崎 仁也	「目からウロコの大生き物展～生き物よもやま話」 特別展に関連しての講座に多くの親子連れが参加した。生物の進化や生物多様性スポットの解説がなされた。また、沖縄北部ヤンバルに珍しい生き物が多く生息している説明に参加者は聞き入っていた。	80	71
3	2013.6.1 (土) 14:00~16:00	人類	山崎 真治	「土器の話ーかけらが語る島と人の6000年ー」 日本の土器と西アジアの土器を例に、時代変化、地域的変化、社会の変化を解明する手がかりが土器にあることが解説された。講座後半は、展示室で実際の土器を見ながらの解説に参加者は聞き入っていた。	80	70
4	2013.7.31 (水) 2013.8.1 (木) 2013.8.2 (金)	歴史、人類、美術 工芸、考古、民俗、 地学	各分野担当 学芸員	「夏休み！博物館学芸員教室」 学芸員が、夏季休暇中の児童生徒を対象に、沖縄の自然、歴史、文化に関する自由研究や調査研究等について、可能な限り博物館の情報を提供し、郷土への興味・関心を高める。	各分野20 名程度	147
5	2013.8.3 (土) 10:00~12:00	教育 普及	金城 久枝	「博物館バックヤード探検隊」 夏休みの特別企画として、通常関係者以外の入室を制限しているバックヤードを見てもらう体験講座。ミニカメラとメモ用紙を持ち、子どもたちは興味津々で施設を巡った。探検後はポスターでの報告書作成を行い、各自工夫を凝らしまとめることができた。	15	15
6	2013.9.7 (土) 14:00~16:00	美術 工芸	與那嶺一子	「イロイロな「色」のはなし」 ウチナーンチュの色認識として、焼物、織物の五色、暮らしの中の色が紹介された。琉球の人達は、強い光に負けない色を好んだのではないか。また、紅型で使われる色の名称も日本とのやり取りの中で変化していった様子が示された。	80	121

7	2013.11.9 (土) 14:00~16:00	歴史	崎原 恭子	「琉球王国時代の地図～館収蔵の古地図を中心に～」 首里王府の地図制作から当時の沖縄をひも解く手がかりが紹介された。展示室では、「首里古地図」「琉球国惣絵図(間切集成図)」から、製作者のまなざしや当時の人々が知り得た情報などが紹介された。地図変遷から、琉球の歴史を考えることができた講座であった。	80	116
8	2013.11.23 (土) 14:00~16:00	民俗	大湾ゆかり	「藍壺から琉球藍の製藍業をさぐる」 沖縄の北部山間地を中心に活況を極めた製藍業について、藍壺の遺構をたどりながら紹介が行われた。明治後半から昭和初期にかけての藍の盛衰や、旧土族が開墾に関わった事などが解説された。詳細な調査内容が参観者の興味を引く講座であった。	80	86
9	2013.12.7 (土) 10:00~13:00	地学	仲里 健	「嘉津宇岳ジオツアー」 登頂過程で岩石観察のポイントや石灰岩が作り出すカルスト地形の解説が行われた。山頂では、本部半島では、日本でも珍しい円錐カルスト地形が見られること、鍾乳洞の形成で水不足が無いことなどが紹介された。自然保全の重要性を考えた講座であった。	80	15
10	2014.1.11 (土) 14:00~16:00	考古	片桐千亜紀	「国頭村宜名真沖で沈没した謎の異国船を追い！」 考古班が海底調査を行い、歴史担当班が文献調査を進めていく。国頭村宜名真沖で沈没した船を解明していく過程を基に陸上と違い様々な困難を極めながら、研究者の地道な調査から研究がまとめられていくことが伝わる講座であった。	80	85
11	2014.2.1 (土) 14:00~16:00	歴史	岸本 弘人	「先生のための展示説明会～プチ解説をしてみたい先生のために～」 授業で博物館を活用する時に、教師が解説を行うことで児童生徒の興味関心が引き出せるのではないかと。教師が博物館にある「もの」を活用し、授業へ還元できる非常に有意義な講座であった。	80	55
12	2014.3.1 (土) 14:00~16:00	美術芸	園原 謙	「ウチナーンチュが好いた名器三線の音色～2012年度名器三線の音聴取実験の結果を踏まえて～」 昨年行われた三線の聴取実験結果報告と実験継続の必要性が提示された。講座後半は、企画展「三線のチカラ～形美と音の妙～」、展示解説が行われ、多くの参観者が解説に聞き入っていた。ウチナーンチュの三線観について時代を超え考える講座となった。	80	101



色について解説  
『イロイロな「色」のはなし』



博物館の収蔵庫へ  
『博物館バックヤード探検隊』



常設展示室での解説  
『先生のための展示説明会～プチ解説をしてみたい先生のために』



## 6. 展示解説会

常設展の展示解説会は、展示資料を前に学芸員がパネル文だけでは補いきれない「博物館ならではの最新の調査報告や情報」を踏まえた内容を紹介している。参加者の内訳は、博物館ボランティアが全体の約50%を占め、その他年間パスポートや友の会会員、個人のリピーターの参加が定着している。常設展の展示解説会は、各学芸員が1回ずつ担当し、全12回210名（定員なし、平均参加人数18名）の参加を集めた。

企画展・特別展における展示解説会では、全7回208名（定員なし、平均参加人数30名）の参加者があった。企画展「海・山・川のおくりもの目からウロコの生き物展～生物多様性ホットスポット JAPAN」では7名が参加し、展示資料に基づき生物多様性について詳しく解説した。また、企画展「サキタリ洞遺跡発掘調査速報展」では、1日2回・全4回141名（定員なし、平均参加人数35名）が参加。サキタリ洞での発掘調査状況について説明すると同時に人類の誕生を考える解説会となった。最後に、企画展「三線のチカラ 形の美と音の妙」では、学芸員講座後に開催したこともあり、60名（定員なし）が参加。三線の歴史や聴取実験の結果などを解説した。

(宣保 はるな)

	日 程	分 野	講 師 名	参加者
1	4月27日(木)	考 古	片 桐 千亜紀	23
2	5月9日(木)	人 類	藤 田 祐 樹	16
3	6月13日(木)	美 術 工 芸	與那嶺 一 子	17
4	7月11日(木)	歴 史	岸 本 弘 人	14
5	8月8日(木)	生 物	山 崎 仁 也	10
6	9月12日(木)	民 俗	大 湾 ゆかり	28
7	10月10日(木)	人 類	山 崎 真 治	6
8	11月14日(木)	地 学	仲 里 健	16
9	12月12日(木)	民 俗	久 場 政 彦	17
10	1月9日(木)	生 物	山 崎 仁 也	13
11	2月13日(木)	歴 史	崎 原 恭 子	25
12	3月13日(木)	美 術 工 芸	園 原 謙	25
合 計 人 数				210

## 7. バックヤードツアー

バックヤードツアーは、より専門性を生かした内容とリピーターづくりを目指し、学芸員が月ごとに講師を務めた。安全性を考慮し、常に学芸員と文化の杜スタッフの2名体制で臨んだ。

学芸員研究室～研究資料室（書庫）～自然史実験室～トラックヤード～写真撮影室～冷凍室～工作室を基本コースとしたが、収蔵庫は専門分野を中心に案内することにより、資料に関する質問にも的確に対応することができた。また、建物の構造やIPM（Integrated Pest Management：総合的病害虫管理）の取り組み、資料の修復について解説するなど、来館者に博物館の役割や使命を理解してもらうための工夫が担当毎に見られた。参加者層は、県外からの旅行者を含む一般来館者が大多数を占め、夏休み期間中は、親子連れが目立った。全12回104名（定員12名、平均参加人数8名）の参加があった。

(大瀧 萌子)

## 8. 夏休み！博物館学芸員教室

夏休み！博物館学芸員教室は、学芸員が夏休みの課題に取り組む子供たちに向けて、沖縄の自然・歴史・文化に関する自由研究のテーマを提供する場である。6名の学芸員がそれぞれ90分の教室を開講。1日3教室、全9回で147名の参加があった。



	日 程	タ イ ト ル	担当学芸員	定 員	参加者数
1	7/31 (水)	印じゃな-い?	岸 本 弘 人	10	10人
2		動物の歯と食べ物の関係を研究せよ	藤 田 祐 樹	20	21人
3		動物の歯と食べ物の関係を研究せよ	藤 田 祐 樹	20	20人
4	8/1 (木)	糸を作ってみよう! ～着るものにどれだけの生き物を利用してきたのか～	與那嶺 一 子	10	10人
5		神が宿る石「勾玉」を削りだそう!	片 桐 千 亜 紀	20	20人
6		神が宿る石「勾玉」を削りだそう!	片 桐 千 亜 紀	20	17人
7	8/2 (金)	民具手帳をつくろう!	大 湾 ゆかり	20	19人
8		砂の中から宝を探せ	仲 里 健	9	15人
9		砂の中から宝を探せ	仲 里 健	9	15人

## 9. 博物館ボランティア活動

当館では、県民の自己啓発や学習を発表する場の提供、また、博物館支援活動を目的として「博物館ボランティア」を導入している。この活動は、多様化する来館者のニーズに対し、よりきめ細かなサービスへの寄与と自己学習の場となることを目指している。

平成25年度は、多様化する来館者のニーズに対応し、よりきめ細かなサービスの寄与を目的として、土・日・祝日のみ活動できる、ふれあい体験室専属ボランティアを募集し、養成講座をおこない15名のボランティア員の登録ができた。また、ボランティアスキルアップ研修を実施し、内部研修の充実を図ることができた。本年度の博物館ボランティアの総活動人数は約2,067人だった。

(金城 久枝)

## 10. ふれあい体験室

「ふれあい体験室」は、ハンズ・オン展示の資料を通して来館者同士、来館者とスタッフ、また、ここで展示されている"おきなわ"との「ふれあい空間」創りをめざしている部屋である。この部屋は、常設展示として、総合展示、部門展示と補充しあい、また、実習室や野外体験プログラムと連携し、効果的に運用できる機能を併せもっている。

さらに、この部屋は館内における教育普及活動の拠点施設となり、来館者に発見や感動の喜びを提供する場として、教育のさらなる向上に寄与する展示・プログラムの開発を行う場ともなる。

### 【利用者状況】

今年度のふれあい体験室の来場者は、53,140人（1日平均174人）。県内外より展覧会に訪れる来館者をはじめ、幼児から小学生の家族連れや友達同士で訪れるリピーターが定着している。常設している27件の体験キットは種類が豊富なため、リピーターの子どもたちは成長に合わせ、楽しめる幅を広げて利用している。開設から6年が経過したふれあい体験室は、来館者とスタッフが顔なじみになるなど、博物館の交流の場となっている。

毎週土曜日に開催している「ふれあい体験室ワークショップ」は、4年目になりプログラムの充実を図ったことで参加者が増加している。ワークショップ開催は来館者を促すきっかけとなり、飽きさせない環境づくりになっている。

(渡部 貴子)

## 11. 企画展関連事業

- (1) 「海・山・川のおくりもの 目からウロコの大自然物展 ～生物多様性ホットスポット JAPAN」関連催事として、写真公募展や講演会をはじめ、文化講座1回、学芸員講座1回、体験学習教室1回、展示解説会1回を開催した。

#### 写真公募「沖縄の生き物写真コンテスト」

「沖縄の生き物写真コンテスト」と題し、一般県民より写真を公募した。教育普及は、その写真募集に係る、チラシポスターの作成から6月までの応募受付までの業務を、文化の杜教育普及班と共同で請け負った。締切までに応募のあった118点は、博物館3階の講堂側通路に設置のパネルに掲示した。また、写真審査会を6月中旬に教育普及の運営で執り行うとともに、表彰式を開催した。

#### 【業務概要と取組み期間】

募集要項作成、ちらし・ポスター制作：2013年4月

告知：2013年5月～

写真受付：2013年6月1日～14日

写真作品審査会：2013年6月19日（水）13：00～16：00 博物館会議室にて

表彰式：2013年7月6日（土）11：00～12：00

講演会「みる！きく！さわる！博物館～五感で感じる生物多様性～」

#### 【午前の部】

日時：7月28日（日）9：30～12：15

場所：実習室

講師：西海功（国立科学博物館）、盛口満（沖縄大学）、保坂健太郎（国立科学博物館）、北里洋（海洋研究開発機構）、佐々木健志（琉球大学）

参加者：111人（定員50人）

#### 【午後の部】

実施日：7月28日（日）13：00～16：00

場所：博物館講座室

講師：藤田喜久（琉球大学）、海老原淳（国立科学博物館）、太田英利（兵庫県立大学）、藤倉克則（海洋研究開発機構）、佐藤矩行（沖縄科学技術大学院大学）、藤田祐樹（人類担当学芸員）

参加者：45人（定員80人）

午前の部では実際に見て・触って体験する実習コーナーではく製や虫などを観察し、午後は、他分野の研究者による講演会を開催した。

#### 野外観察会「夏だ！海だ！生き物だ！サンゴ岩礁の生き物観察」

日時：8月7日（水）11：00～15：00

場所：糸満市大渡海岸

講師：濱口寿夫（教育庁文化財課 班長）、山崎仁也（生物担当学芸員）

参加者：39人（定員40人）

参加費：100円（保険代/当日徴収）

「サンゴ礁」は沖縄をささえる最も大切な生態系であることを伝えるために、本島南部で最大級といわれる糸満大度海岸のイノーを探検した。当日は、天気にも恵まれ、多くの海の生物を観察することができた。参加者は、講師の話聞きながら目の前にいる生物の置かれている状況やその生態を学んだ。

#### 配布資料 スタンプラリー

配布期間：会期中随時 配布場所：展示室入口 配布枚数：20,000枚

制作者：山崎仁也（生物担当学芸員）、町田恵美（文化の杜）、大城愛香（デザイナー）

子どもたちに展示をじっくり見てほしいという思いから、展示室内にスタンプを設置しスタンプラリーを楽しむ仕掛けを作った。全てのスタンプを集めた参加者には、ヤンバルクイナのファイルをはじめとする自然保護グッズをプレゼントした。

#### (2) 「三線のチカラ展」

関連催事として、文化講座2回、学芸員講座1回、展示解説会1回を開催した。

配布資料「三線クイズ」

配布期間：会期中随時 配布場所：展示室入口 配布枚数：5,000枚

監修・作成：園原謙（美術工芸担当学芸員）

本展覧会では、三線の楽器としての魅力に迫るためワークシートとして「三線の音色聞き比べ体験クイズ！」を作成した。シートは、スクラッチ形式で、質問には、絹糸とナイロン糸の違いや文化財の音色を当てるクイズの他、文化財として指定されている6種類の三線の音から参加者が好きな音色を見つける内容とした。子どもから大人まで楽しめるシートとして活用した。

(大瀨 萌子)

## 12. 常設展に関する取り組み

博物館常設展の見学の手助けとして、博物館常設展の見学の手助けとして、平成23年度に作成した見どころマップ「ここだけは見逃すな！」を引き続き常設展入口のラックに設置し、今年度は、13,300枚を配布した。また、英語版「ここだけは見逃すな！」についても、1,000枚を配布した。また、正月には昨年の「へび展」に引き続き「うま展」を開催した。博物館常設展示室内の全14箇所から新年の干支である「ウマ」を見つけ出し、新年ならではの、いつもと違った視点で展示を楽しんでもらうことを目的とした。

そして、沖縄県サンゴ礁保全推進協議会ならびに環境省、沖縄県環境生活部自然保護課が呼びかける「おきなわサンゴ礁ウィーク2014」に呼応して、当館もサンゴにまつわるクイズ大会を開催した。

日 時：3月2日(日) 14:00～15:30 \*開始15分前までに集合

参加者数：28組77人(定員50組/3人1チーム)

(渡部 貴子)

## 13. 沖縄県立博物館・美術館のフリーパス

沖縄県立博物館・美術館では、県内の小中学生が博物館・美術館を知る機会とし、また、同館を身近に感じてもらい、何度も足を運んで欲しいとする目的で「沖縄県立博物館・美術館フリーパス」を作成し、HPに掲載して、小・中学校へダウンロードと印刷・作成を呼びかけている。「沖縄県立博物館・美術館フリーパス」は、学校で印刷・作成し、裏面に校長印を押印する(サンプル：博物館・美術館作成)。表紙は、沖縄の自然、歴史、文化に関する図案を基本とするが、自らデザインした図柄でもよく、裏面にはマス目があり、来館の際にスタンプが押印出来る形になっている。利用の対象は、県内の小・中学生で、学校の授業の一環、または個人での来館の際に持参して利用する。スタンプの押印数については、遠隔地や離島などの学校の生徒にはスタンプの数を調整するなどとして、配慮を行っている。ゴールした児童生徒には、情報センターにおいて名前入りの「フリーパス終了証」と記念品(オリジナルクリアファイルと消しゴムなど)をプレゼントする。今年度対象者は、0名。

(大瀨 萌子)

## 14. 職場研修受入

学校の校内研修をはじめとする、博物館の教育普及と関連のある団体の職場研修依頼を受け入れ、学芸員のミニ講座やバックヤードツアー、学校受け入れの概要説明などを行った。学校連携事業の中での学校団体観覧については、博物館を利用した学び、学習プログラムを組み立てるといった学習プログラムの流れを説明した。また、フリーパスやIPMなどの博物館が取り組んでいる内容の周知を図った。

### 【実施団体】

	学 校 名	日 程	時 間	人 数
1	西原小学校	7月31日(火)	14:00～16:00	30名
2	西原中学校	8月1日(水)	9:30～11:30	30名
3	那覇地区小学校 社会科研究会	8月7日(火)	13:30～15:30	30名
4	近畿日本ツーリスト沖縄	2月20日(水)	13:00～15:00	15名

上記の教育普及担当の対応以外にも、県から直接依頼のあった研修（県民カレッジなど）に、班長をはじめ、各分野の専門学芸員が研修等に当たっている。

## 15. 職場体験受入

今年度も文化の杜が職場体験およびインターンシップ、ジョブシャドーイング等の窓口となり、6校12名を受け入れた。基本的な体験内容はもぎりやミュージアムショップ、ふれあい体験室での接客業務である。今年度はそれに加え、アンケート集計やリーフレット在庫管理などの事務作業も取り入れ、多様な業務を体験できるように、業務内容の幅を広げた。

(鳥袋 百恵)

体験内容：もぎり（入場券の確認）、ふれあい体験室（ワークショップの準備）  
ミュージアムショップ（接客、商品の管理）、アンケート集計（アンケートの打込み、データ作成）

受け入れ校：9校25名（小学校2校、中学校3校、高等学校4校）

	学 校 名	日 程	人 数
1	那覇市立安岡中学校	8月28日～30日	2名
2	那覇市立寄宮中学校	9月4日～6日	2名
3	沖縄県立那覇工業高等学校	9月18日～20日	2名
4	沖縄県立真和志高等学校	10月2日～4日	2名
5	沖縄県立豊見城南高等学校	10月23日～25日	1名
6	グッジョブおきなわ推進事業局実施（ケイオーパートナーズ：沖縄県委託事業）「ジョブシャドーイング」伊江村立西小学校	11月14日	3名
7	専修学校インターナショナルデザインアカデミー	2014年3月11日～12日	2名

1「ジョブシャドウイング」は米国で定着している職業教育の一つであり、中学生や高校生が半日程度、企業に赴いて従業員に密着し、職場での仕事ぶりを観察する、というものである。今回は、5名の児童が、それぞれ博物館、美術館、文化の杜の職員に割り振られ、来館者対応や会議の場に同席した。

## 16. 普及資料の貸出

博物館の教育普及関係資料等を貸出している。貸出可能な資料は、黒糖づくり、豆腐づくり、民具等である。事前（1ヶ月前）に申請等の手続きが必要となり、貸出期間は一週間である。2013年度の貸出団体数は7件であった。

2013年度 貸出一覧

	利 用 者	資 料 名	利 用 目 的	貸 出 期 間
1	琉球大学教育学部付属小学校	骨スーツ	骨のつくりの理解を図るため	7月11日～7月19日
2	鳥取県立氷ノ山自然ふれあい館	骨スーツ	骨スーツを着て色々な動物の骨格標本の真似をしたり、記念写真を撮ったりして骨への理解を深めてもらう。	7月22日～9月10日
3	城北幼稚園	ちむドンドン・むかしむん	親子で沖縄の歴史・文化を民具体験をとおして親しむ。	8月7日～8月8日
4	浦添市立前田小学校	むかしむん	古い道具と今の道具の違いと、暮らしの変化から、よりよい暮らしを願う人々の努力と工夫を知る。	2月7日～2月14日
5	那覇市立大道小学校	むかしむん	社会科授業のための体験活動	2月19日～2月26日
6	那覇市立松川小学校	むかしむん	社会科授業のための体験活動	3月4日～3月11日
7	那覇市立松川小学校	洗濯ゴシゴシ	社会科授業のための体験活動	3月11日～3月18日

## 資料の収集・保存管理

### 1. 収蔵資料現在高

2014年3月31日 現在

分類	購入	寄贈	収集	移管	小計	総計	
自然史	地質	612	26,497	3,048	1	30,158	55,960
	動物	1,518	18,688	534	141	20,881	
	植物	202	4,716	0	0	4,918	
	菌類	3	0	0	0	3	
人類資料	93	19	6	0	118	118	
美術工芸	絵画	97	573	2	4	676	10,326
	書跡	180	494	49	6	729	
	彫刻	6	115	136	7	264	
	陶磁器	431	3,398	465	538	4,832	
	漆器	231	266	195	19	711	
	染織	1,289	1,729	51	27	3,096	
その他	13	5	0	0	18		
歴史資料	2,877	8,219	524	455	12,075	12,075	
考古資料	301	3,549	2,821	0	6,671	6,671	
民俗資料	629	4,355	1,107	137	6,228	6,228	
総計	8,482	72,623	8,938	1,335	91,378	91,378	

### 2. 2013 (平成25) 年度新収蔵資料高

2013年4月1日～2014年3月31日

分類	購入	寄贈	収集	移管	小計	総計	
自然史	地質	0	13	0	0	13	50
	動物	12	19	6	0	37	
	植物	0	0	0	0	0	
	菌類	0	0	0	0	0	
人類資料	39	0	0	0	39	39	
美術工芸	絵画	0	24	0	0	24	115
	書跡	0	41	0	0	41	
	彫刻	0	0	0	0	0	
	陶磁器	0	22	0	0	22	
	漆器	0	14	0	0	14	
	染織	0	11	0	0	11	
その他	0	3	0	0	3		
歴史資料	9	265	6	0	280	280	
考古資料	0	0	0	0	0	0	
民俗資料	6	16	35	0	57	57	
総計	66	428	47	0	541	541	

### 3. 2013 (平成25) 年度新収蔵資料目録

#### 【購入】

分類	資料名	数量	提供者・所在地
生物	ナミエガエル (レプリカ)	1	桶本製作所・カエル工房 鳥取県
	イボイモリ (レプリカ)	1	〃 〃
	ハナサキガエル (レプリカ)	1	〃 〃
	リュウキュウアカガエル (レプリカ)	1	〃 〃
	リュウキュウカジガエル (雌雄・レプリカ)	2	〃 〃
	イシカワガエル (レプリカ)	1	〃 〃
	ホルストガエル (レプリカ)	1	〃 〃
	メダカ (雌雄・拡大模型)	2	〃 〃
	ウミホタル (拡大模型)	1	〃 〃
	カプトミジンコ (拡大模型)	1	〃 〃
人類	サキタリ洞出土石器 (レプリカ)	22	株式会社パスコ 東京都
	サキタリ洞出土石器 (レプリカ)	6	〃 〃
	サキタリ洞出土人骨・乳犬歯 (レプリカ)	2	〃 〃
	サキタリ洞出土人骨・臼歯 (レプリカ)	2	〃 〃
	サキタリ洞出土人骨・環椎 (レプリカ)	2	〃 〃
	ティーラガマ出土土器 (レプリカ)	2	〃 〃
	港川フィッシャー出土土器 (レプリカ)	2	〃 〃
港川人復元模型一式	1	株式会社サンクアール 神奈川県	

分類	資料名	数量	提供者・所在地	
歴史	西洋製作のアジア地図	9	(有)榕樹書林	宜野湾市
民俗	くがに(小) 14個セット	1	食品サンプル 山月	那覇市
	だんご14個セット	1	"	"
	ウージ 6本セット	1	"	"
	ゲーサンウージ 2本セット	1	"	"
	スイカ 2個セット	1	"	"
	酢の物 2皿セット	1	"	"

【寄贈】

分類	資料名	数量	提供者・所在地		
地学	海獣化石	9	仲里昌五郎	宜野湾市	
	耳石	1	"	"	
	仲里氏収集サメの歯一式(150個)	1	"	"	
	仲里氏収集化石資料等一式(174個)	1	"	"	
	シカ化石	1	"	"	
生物	オキナワトゲネズミ(本剥製)	1	山川 雄二	国頭村	
	オキナワトゲネズミ(骨格)	1	"	"	
	ノグチゲラ(本剥製)	1	"	"	
	ホントウアカヒゲ(本剥製)	1	"	"	
	ケナガネズミ(本剥製)	1	久高 将和	"	
	ヤンバルテナガコガネ(乾燥標本)	3	"	"	
	ワタセジネズミ(液浸標本)	1	"	"	
	タイマイ幼体(液浸標本)	2	"	"	
	オリイオオコウモリ(本剥製)	1	平良 正哉		
	オリイオオコウモリ(仮剥製)	1	賀数(名不明)	那覇市	
	コアホウドリ(本剥製)	1	山本 以智人	愛知県	
	イソヒヨドリ(本剥製)	1	波川 智亮		
	ハブ(幼蛇・本剥製)	1	池原 盛浩	浦添市	
	オオウナギ(本剥製)	1	知花 史尚		
ニホンイタチ(本剥製)	1	不明			
	フイリマングース(仮剥製)	1	不明		
歴史	オリンピック東京大会聖火リレーのトーチ	1	玉那覇タツ子	那覇市	
	身分証明書	1	山本 正孝	茨城県	
	入域許可証	1	"	"	
	旧日本軍の水筒	1	仲田 朝進	那覇市	
美術	工芸品	仲宗根ハリー盛松愛用三線与那城型	1	仲宗根光子 Mitsuko T Nakasone	ハワイ
		新里勝美愛蔵三線知念大工型 附 黒漆松竹梅螺鈿漆絵三線箱	2	新里勝美 Katsumi Shinsato	"
工芸	染織	崎山喜俊作三線与那城型	1	崎山喜久雄	金武町
		木綿紺地花織胴服	1	座覇 悦子	今帰仁村
		木綿紺地花織胴服	1	"	"
		絹茶地紋付羽織	1	当真 武	豊見城市
		絹黒地紋付羽織	1	"	"
		黒地マントコート	1	"	"
		絹紺地緯縞着物	1	弘瀬 信子	東京都
民俗	楽器	箏曲家伊佐ツル氏愛用琉球箏	2	新崎 照子	那覇市
		豊楽譜附 工工四 上巻	1	座間味宗徳	"
	調理用具	ジュラルミン製羽釜	1	玉城 弘子	"

## 【収 集】

分 類	資 料 名	数 量	提 供 者 ・ 所 在 地		
生 物	ホルストガエル(本剥製)	1	千木良芳範	沖縄市	
	サキシマハブ(本剥製)	1	山崎 仁也	那覇市	
	サキシママダラ (本剥製)	1	〃	〃	
	オキナワアオガエル (本剥製)	1	〃	〃	
	クロベンケイガニ (本剥製)	1	不明		
	ツノメガニ (本剥製)	1	不明		
歴 史	琉球政府立博物館入場チケット	1			
	旧沖縄県立博物館入場チケット	1			
	ハワイ沖縄新聞	1			
	旧沖縄県立博物館館長印	1			
	守礼門復元に係る資料	3			
	県民の森資料	6	沖縄県県民の森公園管理事務所	恩納村	
民 俗	飲食用具	高膳	1	〃	〃
		高膳	1	〃	〃
	運搬用具	鯉節乾榨	1	〃	〃
		馬車の模型	1	〃	〃
	加工用具	桶 (蓋付)	1	〃	〃
	耕耘用具	ヘラ	1	〃	〃
		ヘラ	1	〃	〃
		ゴール	1	〃	〃
		ゴール	1	〃	〃
		スルイタ	1	〃	〃
		中耕除草機	1	〃	〃
		牛馬用犁 (イザイ)	1	〃	〃
	交易用具	マス 4個セット	1	〃	〃
		マス 3個セット	1	〃	〃
	山樵具	木挽鋸	1	〃	〃
		手斧 (ティーン)	1	〃	〃
		アメリカ鋸	1	〃	〃
		片刃鋸	1	〃	〃
		丸太ヨセ	1	〃	〃
		斧	1	〃	〃
		斧	1	沖縄県県民の森公園管理事務所	恩納村
		草刈り用鎌	1	〃	〃
		鋸	1	〃	〃
		穴堀り棒	1	〃	〃
	住居用具	ちりとり	1	〃	〃
		蓋付き茅籠 (マーグ)	1	〃	〃
	食品貯蔵具	コシダ蓋付き籠 (サギゾーキ)	1	〃	〃
	製糸用具	座繰りと榨	1	〃	〃
		糸籠 (ウーパーラ)	1	〃	〃
		糸籠 (ウーパーラ)	1	〃	〃
	脱穀調整具	円箕 (ミーゾーキ)	1	〃	〃
	畜産用具	石ばさみ	1	〃	〃
	調理用具	ところてん流し器	1	〃	〃
箕 (マドゥヒ)		1	〃	〃	
灯火具	火起こし器	1	〃	〃	



#### 4. 所蔵指定文化財

##### 【国指定文化財（重要文化財）】

2014年3月31日 現在

種別	名称	員数	指定年月日	所有者
典籍	おもろさうし	22冊	昭48. 6. 6	沖縄県
"	混効験集	2冊	"	"
工芸品	銅鐘（旧首里城正殿鐘）	1口	昭53. 6. 15	"
"	梵鐘（旧円覚寺殿前鐘）	"	"	"
"	梵鐘（旧円覚寺殿中鐘）	"	"	"
"	梵鐘（旧円覚寺楼鐘）	"	"	"
歴史資料	明孝宗勅諭 琉球国中山王尚真宛	1巻	平11. 6. 7	"

##### 【県指定文化財（有形文化財）】

2014年3月31日 現在

種別	名称	員数	指定年月日	所有者
絵画	絹本着色花鳥図（殷元良筆）	1幅	昭54. 4. 9	沖縄県
"	紙本着色雪中雉子の図（殷元良筆）	"	"	"
"	紙本墨画竹の図（殷元良筆）	"	昭57. 3. 4	"
"	紙本着色奉使琉球図（朱雀年筆）	1巻	"	"
"	紙本着色冊封使行列図	"	平15. 7. 11	"
彫刻	木彫円覚寺白象並びに趣意書木札	1軀1枚	昭31. 12. 14	"
"	世持橋勾欄羽目	1括	"	"
"	旧円覚寺関係木彫資料	35点	平15. 7. 11	"
工芸品	三線江戸与那	1丁	昭31. 12. 14	"
"	聞得大君御殿雲龍黄金簪	1本	"	"
"	黒塗螺鈿遊雁絵大文庫	1合	"	"
"	黒塗堆錦山水絵大文庫	"	"	"
"	黒塗螺鈿雲龍文内金箔蓋付椀	1口	"	"
"	枝梅竹文赤絵椀	"	昭54. 9. 3	"
"	線彫染付魚文皿	"	"	"
"	色象嵌粟絵菊花皿	"	"	"
"	象嵌色差面取砲瓶	"	"	"
"	梵鐘（旧霊応寺鐘）	"	昭60. 6. 18	"
"	梵鐘（旧普門禅寺鐘）	"	"	"
"	梵鐘（旧天竜精舎鐘）	"	"	"
"	銅鐘（旧天尊殿鐘）	"	"	"
"	銅鐘（旧天妃宮鐘）	"	"	"
"	銅鐘（旧一品権現鐘）	"	"	"
"	梵鐘（旧大安禅寺鐘）	1口	昭63. 1. 12	"
"	黒漆薔薇堆錦軸盆	1枚	平2. 2. 6	"
"	黒漆山水楼閣人物螺鈿机	1基	"	"
"	朱漆山水楼閣人物箔絵丸型東道盆	1具	"	"
"	朱漆巴紋牡丹沈金大御供飯	"	"	"
"	白密陀山水楼閣人物漆絵箔絵角盆	1枚	"	"
"	梵鐘（旧永福寺鐘）	1口	"	"

種別	名称	員数	指定年月日	所有者
工芸品	三線盛嶋開鐘附胴	1丁	平6.3.15	沖縄県
書跡	程順則の書	1巻	昭42.4.11	〃
〃	扁額「徳高」 鄭元偉書	1面	平元 9.29	〃
〃	扁額「凌雲」 林麟焜書	1面	〃	〃
古文書	宮古島下地の首里大屋子への辞令書	1幅	昭31.12.14	〃
〃	伊平屋島仲田の首里大屋子への辞令書	1通	昭53.4.1	〃
〃	羽地間切の屋我のろへの辞令書	1幅	昭56.3.20	〃
典籍	評定所格護定本 中山世鑑	6冊	昭31.12.14	〃
〃	評定所格護定本 中山世譜	19冊	〃	〃
歴史資料	銅鐘残欠(旧波上官朝鮮鐘)	1口	昭60.6.18	〃
〃	安国山樹花木記碑	1基	平元 9.29	〃

## 5. 修理事業

### (1) 美術工芸・歴史

戦後、沖縄戦を経て収集された博物館資料は、戦禍をくぐってき希少な資料である。とりわけ、琉球王国時代の美術工芸資料は少なく、唯一無二の資料が多くある。また、寄贈、収集、購入した資料は、適正な温湿度管理のもと収蔵庫で大切に保存しているが、永年の経年による変化や収蔵時点においてすでに劣化している資料も少なくない。

当館では、展示公開の頻度や効果の高い資料をはじめ、沖縄の歴史・文化史上不可欠な資料などの優先順位をつけて、限られた予算の範囲で展示公開等の必要な資料の修理事業を実施した。博物館活動のひとつである資料の保存活用を推進するための修理事業についての一層の理解を促すために、2013年度新収蔵品展で修理コーナーを設けて、これら修理した資料の展示公開を行う。

【予算執行額】 2,243,000円

#### 【事業内容】

修理件数：7件7点（漆器資料1件1点、絵画資料3件3点、書跡資料2件2点、歴史資料1件1点）

美術工芸（漆器）	朱漆牡丹唐草沈金食籠（1合）
美術工芸（絵画）	美人弾琴の図（1幅）
	進貢船の図（1幅）
	兼城昌興作 三線を弾く琉球美人（1幅）
美術工芸（書跡）	和歌（朝保・知紀・正風）（1幅）
	中山楽童子 毛維恒の書（茶室用）（1幅）
歴史	鉄方鼎形香炉（1基）



兼城昌興作  
「三線を弾く琉球美人」



朱漆牡丹唐草沈金食籠

#### 【修理内容】

漆器資料に関しては、経年の汚れ、乾燥による木地の収縮、内部や外部の漆塗膜の亀裂、剥離、劣化や損傷が多く見られる状況にあった。修理の記録を残すよう心がけ、修理期間を2013年5月から2014年3月までの間で行った。

具体的な作業工程は、修復前写真撮影、調査、クリーニング、漆固め、塗膜調整、塗膜接着、刻苧、防錆、摺漆、修復後写真撮影・報告書を作成した。特に硯屏は、これまでに修理が施された跡があり、腐食した釘を全て取り除き、土台をしっかりと固定し修理を施した。また、煙草入の蓋の一面が欠損したが、鑑賞の妨げにならないよう補材でつや消しの塗りて補足した。また、県指定有形文化財三線盛嶋開鐘附胴の蛇皮張りの修理届を提出し、戦前の蛇皮張りの方法でかつ一定の堅牢度を確保し修理した。

絵画資料・歴史資料も2013年5月～2014年3月まで実施。絵画資料の場合、本紙の素材に和紙が用いられるが、経年による汚れ、横折れ、亀裂、欠損などがあり、その改善を修理方針とした。具体的な修理は、修復前の写真撮影、墨・朱印の剥落止め、表具解体（本紙はがし）、旧肌裏紙の除去、汚れの除去、欠損・亀裂箇所の補緋

(紙)、本紙の肌裏打ち、新調の表装裂、折れ伏せの補紙、中裏打ち作業、宇陀紙総裏打ち、鐙、軸首、上軸、中軸、掛け紐、桐太巻、桐印籠箱の新調を行った。

歴史資料の修理は、拓本資料の和紙で裏打ちを行い中性紙ボードでマウンティング台紙を製作し、展示物として有効に利用可能なようにした。

【修理業者】美術工芸資料（漆器）：琉球漆工藝舎、（絵画）：石川堂、歴史資料：(株)文化財サービス

(園原 謙)

## 6. 資料収集事業

### (1) 資料収集

資料収集事業は、文化財の収集活動によって沖縄の遺産を保存管理し、調査研究を踏まえた展示を通して、本県の教育文化の振興・向上をめざした事業である。常設展示において魅力ある展示を構成する上で、資料収集事業は不可欠である。本事業では、沖縄における文化及び歴史的価値の高い資料を計画的に収集し、展示や研究を深め、教育文化の振興や向上に資する事業を行っている。

2013年度は、歴史資料の西洋製作のアジア地図9枚を購入した。

西洋製作のアジア地図は、18～19世紀にかけて西洋各国で製作されたアジアを主題とする地図群である。当資料群は、『青い目がみた大琉球』の編者の一人であるラブ・オーシュリ氏がアメリカを中心として精力的に収集したアジア地図コレクションの一部であり、琉球が掲載されるなど、そのすべてが琉球と関連している。前年度に引き続き、今回はイタリアやイギリス、フランス等で発行された地図9枚を購入した。



西洋製作のアジア地図

資料名：西洋製作のアジア地図9枚

(崎原 恭子)

### (2) 基金

#### 【事業概要】

沖縄県立博物館・美術館の収蔵資料は、沖縄の歴史・文化史を語るため後世に伝えるべき資料である。特に先の大戦で戦火を免れた琉球王国時代の資料は、文化的には勿論のこと歴史的な意味においても価値の高いものであり、当館ではこのような資料を収集し常設展や企画展を活性化させることにより、県民の資質の向上と先人の知恵を学ぶ場を提供し、豊かな沖縄の創造を目指している。

資料購入活動の一つである、沖縄県美術品等取得基金（以下「基金」という）は、貴重な琉球資料を購入し、流失させないことを目的の一つとしており、当館では、琉球史研究や展示の充実を図るために、沖縄の歴史文化の高さと豊かさをあらゆる琉球資料を、基金により継続的に収集している。なお、収集にあたり外部の有識者による収集委員会を招集し、意見を求め、購入の可否を判断している。

本年度は1月17日収集委員会（3人）を開催し、民芸陶器（濱田庄司、バーナード・リーチ、金城次郎、新垣栄三郎など）201点の購入を基金財源で運用した。

(園原 謙)

## 7. 資料貸出

事業名：危険生物ハブクラゲ被害防止のための普及啓発

主催：沖縄県衛生環境研究所

会場：沖縄県衛生環境研究所

貸出期間：2013年4月1日（月）～2014年3月31日（月）

貸出資料：ハブクラゲ模型

事業名：特別展「化石展～アンモナイトがとまらない～」

主催：名護博物館

会場：名護博物館ギャラリー

貸出期間：2013年4月15日（月）～5月25日（土）

貸出資料：化石 他24点

事業名：おきなわワールド『こどもフェスティバル』

主催：株式会社南都

会場：おきなわワールド内 多目的ホール

貸出期間：2013年5月1日（水）～7日（火）

貸出資料：タルボサウルス（頭骨）、肉食恐竜の爪と歯 他5点

事業名：山口県萩市萩博物館夏期特別展「トレジャーアニマル探検記～山と海に珍獣・希少生物を求めて～」

主催：萩博物館

会場：萩博物館企画展示室

貸出期間：2013年6月5日（水）～2013年9月19日（木）

貸出資料：ヤンバルクイナ（成鳥・幼鳥）ほか4点

事業名：目からウロコの大生き物移動展「ヤンバルの貴重な植物展」

主催：一般財団法人 沖縄美ら島財団

会場：国営沖縄記念公園（海洋博地区）熱帯ドリームセンター

貸出期間：2013年9月7日（土）～2013年10月2日（水）

貸出資料：ハンズオン展示用仮剥製一式 ほか数点

事業名：地域安全政策事業（万国津梁フォーラム）

主催：沖縄県地域安全政策課

会場：ANA クラウンプラザハーバービュー 2F

貸出期間：2013年10月11日～12日

貸出資料：歴史写真パネル10点、万国津梁の鐘レプリカ

事業名：目からウロコの大生き物移動展

主催：沖縄市立郷土博物館

会場：沖縄市立郷土博物館 特別展示室

貸出期間：2013年10月18日（金）～2013年12月1日（日）

貸出資料：アオウミガメ本剥製 ほか数十点

事業名：名護親方程順則生誕350年記念企画展「名護親方程順則展」

主催：名護博物館

会場：名護博物館ギャラリー

貸出期間：2013年10月22日（火）～11月12日（火）

貸出資料：程順則肖像画（琉装）他 当館寄託資料8件2点・聖諭（六諭）1幅

事業名：常設展示「日本の文化（沖縄の暮らし）」

主催：国立民族学博物館

会場：国立民族学博物館 本館展示場

貸出期間：2013年12月10日～2023年3月31日

貸出資料：黒釉嘉瓶、張り子、農具・漁具等計33件35点及び映像「ウミのワザ」

事業名：2013年度展覧会「南への風～沖縄・台湾～近代沖縄の美術・工芸」

主催：浦添市美術館

会場：浦添市美術館

貸出期間：2013年12月18日～2014年2月19日

貸出資料：第5回内国勸業博覧会見物案内図ほか

事業名：平成25年度九州各県鳥獣保護行政担当者会議における展示

主催：沖縄県環境生活部自然保護課

会 場：沖縄県庁舎4階 第1・2会議室  
貸出期間：2014年2月5日（水）～2014年2月7日（金）  
貸出資料：イリオモテヤマネコ本剥製 ほか7点

事 業 名：サキタリ洞遺跡発掘調査速報展コラボレーション企画「ガンガラーの谷・ケイブカフェ特別展  
～サキタリ洞遺跡の3万年～」

主 催：株式会社南都  
会 場：ガンガラーの谷・ケイブカフェ内  
貸出期間：2014年2月18日（火）～3月16日（日）  
貸出資料：サキタリ洞遺跡調査区I（遺物一式） 他4件

事 業 名：兵庫県姫路市 姫路科学館特別展「ハイサイ！琉球の生きものたち」

主 催：姫路科学館  
会 場：姫路科学館 特別展示室  
貸出期間：2014年2月24日（月）～2014年5月31日（土）  
貸出資料：サンゴ礁のジオラマ ほか標本類54点

## 8. 写真貸出

博物館・美術館では、県民の財産である収蔵資料の普及的活用の一環として、写真画像等の貸出も行っている。毎年多くの写真借用・資料撮影関連の依頼があり、2013年度は博物館班に163件の依頼があった。利用目的では、書籍・冊子等の出版物への掲載、次いでテレビ放映が最も多く、今年度は展示会等でのパネル使用などが増えている。

借用希望が多かった資料は、例年通り「港川人模型」「旧首里城正殿鐘」「進貢船図」「首里那覇港図屏風」「琉球国総絵図（間切集成図）」などが多く、2012年頃からは海外からの資料借用の問い合わせが、数件ではあるが発生している。申請書の英語版様式や貸出手続きにかかる費用についてもマニュアル化が求められている。

（早瀬 千明）

# 美術館

調査研究等の活動  
展示活動  
教育普及活動  
資料収集・保存管理

## ． 調査研究等の活動

### 1. 調査研究の概要

調査研究は美術館活動の、重要な柱の一つである。これまで本美術館では、収集作品調査及び、企画展開催に伴う調査研究に重点的に取り組んできた。2013年度は、本美術館活動のさらなる充実を目指し、各学芸員が調査研究に取り組んだ。調査研究の内容は、県内外の作家及び作品に関する調査研究、作品の保存修復に関する調査研究等で、成果についてはコレクション展及び企画展等で公開した他、美術館研究紀要第4号にまとめた。以下、2013年度（平成25年度）に当館及び学芸員が行った調査研究活動の状況を報告する。

#### 【調査研究内容】

- 美術品の収集に関する調査研究
- 美術品の保存科学に関する調査研究
- 美術品の修復に関する調査研究
- 展示技術に関する調査研究
- 教育普及に関する調査研究
- 美術情報提供システムの活用に関する調査研究
- ボランティア育成支援に関する調査研究
- 美術館の振興に関する調査研究

#### 【学芸員個人研究】

各学芸員が研究テーマを設定し、1年をかけて調査研究に取り組み研究紀要にまとめる。

No.	氏名	研究テーマ
1	瑞慶山 昇	宮古の美術同人「二季会」誕生と画家、平野長伴
2	仲里 安広	安次嶺金正の絵画
3	新里 義和	森山大道 終わらない旅 北/南
4	大城 直也	美術鑑賞プログラムについて
5	豊見山 愛	悲しみと歓びのジェンダー - 沖縄女性美術から工芸を考える
6	翁長 直樹	前衛活動に見る沖縄戦後美術 - 70年代まで
7	齋 悠記	H24年度調査報告「宮良信成」

#### 【調査研究体制】

調査研究活動は学芸員及び嘱託員で実施。画像を含む調査によって得られたデータは研究用データベースに保存し、展示企画及び各事業に活用している。

(翁長 直樹)

## 2. 調査・研究・講演・著作論文等

瑞慶山 昇 (美術館副館長)

著作論文等

- ・「宮古島の絵画同人『二季会』の誕生と画家、平野長伴」『沖縄県立博物館・美術館 美術館研究紀要』第4号 2014年3月

仲里 安広 (主任学芸員)

調査研究等

- ・安次嶺金正に関する調査 (那覇、名護市、糸満市、宜野湾市、西原町、本部町) 2013年5月～8月
- ・スタンレー・スタインバーグ氏より聞きとり調査 (アメリカ サンフランシスコ) 2013年7月
- ・デビッド・ダーリン氏より聞き取り調査 (アメリカ イーストモリン) 2013年7月
- ・藤島武二に関する調査 (那覇) 2013年4月30日
- ・沖縄の作家・団体展に関する調査 (東京・国会図書館、東京文化財研究所) 2013年12月4～6日
- ・コレクション展へ向けて丸山映の調査 (那覇市) 2014年1月

講演・授業等

- ・題材「デッサンの基礎について」  
日 時：2013年11月27日  
場 所：渡名喜中学校美術室  
対 象：渡名喜中学校 1～3年生

著作論文

- ・「安次嶺金正の変遷と美術論」『沖縄県立博物館・美術館 沖縄美術シリーズ4 安次嶺金正展 緑の抒情』展覧会図録 2013年9月
- ・「安次嶺金正の絵画」『沖縄県立博物館・美術館 美術館研究紀要』第4号 2014年3月

新里 義和 (主任学芸員)

著作・論文等

- ・「森山 大道 終わらない旅 北/南 Didou Moriyama endless works N/S」『沖縄県立博物館・美術館 美術館研究紀要』第4号 2014年3月

大城 直也 (主任学芸員)

著作・論文等

- ・「美術館鑑賞プログラムについて」『沖縄県立博物館・美術館 美術館研究紀要』第4号 2014年3月

豊見山 愛 (主任学芸員)

調査・研究

- ・企画展関連調査と下記の成果発表を行った (2013年4月9日～2014年3月28日)  
沖縄女流美術家協会会員への聞き取り調査【県内】(久場とよ、山元文子)  
収蔵アーティストの展覧会調査【県外】(石川真生)  
企画会議<ゴー・ビトゥイーンズ>【県外】東京・美術館連絡協議会、森美術館  
アジア女性アーティスト展調査【県外】(当館企画展巡回先調査) 調査先：三重県立美術館  
企画展<ゴー・ビトゥイーンズ>出品予定アーティスト、照屋勇賢に関する調査
- ・第二次世界大戦前に活躍した沖縄出身アーティストの調査  
當原昌松 (久米島博物館) に関する調査【県内】2013年10月31～11月1日

講演依頼等

- ・名 称：VOCA 展2014 出品作家推薦委員  
期 日：2013年5月～2014年3月  
依頼機関：VOCA 展2014事務局
- ・名 称：compass | 談 2013 大カメカメ トークディスカッション パネリスト  
期 日：2013年12月7日 (土)  
依頼機関：compass
- ・名 称：沖縄県立芸術大学 アートマネジメント概論 特別講義  
期 日：2014年1月20日 (月)  
依頼機関：沖縄県立芸術大学

著作論文等

- ・“ We will continue to form silent voices : Okinawan Women Artists ” Inter-Asia Cultural Studies, Volume 14, Issue 4, December 2013, pages 564-576, production with Taylor & Francis.
- ・「本土復帰40年記念事業 アジアをつなぐ - 境界を生きる女たち1984 - 2012」『デ アルテ』九州芸術学会 編
- ・【展評】「visions | for the world to come」沖縄タイムス、2013年7月18日
- ・【展評】「多様さと独自性 結実 伝統的技法にとらわれず 沖縄～現代日本画家展」琉球新報、2013年5月17日掲載
- ・「悲しみと喜びのジェンダー - 沖縄女性美術から工芸を考える」『沖縄県立博物館・美術館 美術館研究紀要 第4号』2014年3月

大城 仁美 (主任学芸員)

調査・研究

- ・収集候補作品調査【県内】(2013年7月1日、うるま市)  
作 品：連鎖劇「護佐丸誠忠録」映像フィルム及び関連資料類



- ・内間安理関係者への聞き取り調査【県外】（2013年11月5日～7日、東京都）  
調 査 先：岡崎乾二郎、養清堂画廊、ストライプハウスギャラリー、ときの忘れもの（画廊）
- ・収集候補作品調査【県外】（2013年11月8日、名古屋画廊（愛知県名古屋市））  
作 品：藤田嗣治作《辻美人》
- ・内間安理作品調査及び出品交渉【海外】（2014年3月9日～14日、米国ニューヨーク州）  
調 査 先：内間安樹（内間安理ご遺族）宅

講演等

- ・名 称：第29回東川町国際写真フェスティバル「東川賞受賞作家フォーラム」  
期 日：2013年8月11日  
依頼機関：東川町 写真の町 実行委員会

翁長 直樹（主任学芸員）

調査・研究等

- ・安次嶺金正年譜、関連文献調査
- ・宮城明作品調査（名護市）（2013年2月25日）
- ・与儀達治作品調査（浦添市）（2013年4月11日）
- ・佐久本嗣康さきとり調査（那覇市）（2013年4月15日）
- ・比嘉景常作品調査（八重瀬町）（2013年5月2日）
- ・安谷屋正義・大嶺政寛・大浜佳津子作品調査（那覇市）（2013年7月4日）
- ・石川文一作品調査（石川市）（2013年7月12日）
- ・大嶺政敏作品調査（那覇市）（2013年7月19日）
- ・親泊英繁作品調査（那覇市）（2013年7月24日）
- ・山田真山作品調査（那覇市）（2013年8月8日）（宜野湾市2013年8月23日）
- ・個我の形象展調査（那覇市）（2013年8月9日）
- ・あけみお展・写真シンポジウム展調査（名護市）（2013年10月30日）
- ・大城勝作品調査（那覇市）（2013年11月15日）
- ・大浜佳津子作品調査（那覇市）（2013年11月21日）
- ・柳光観作品調査（那覇市）（2014年2月28日）

著作論文等

- ・「前衛活動に見る沖縄戦後美術 - 70年代まで」『沖縄県立博物館・美術館 美術館研究紀要 第4号』  
2014年3月

齋 悠記（美術品調査嘱託員）

調査・研究等

- ・安次嶺金正年譜、関連文献調査
- ・与儀達治作品調査（浦添市）（2013年4月11日）
- ・佐久本嗣康さきとり調査（那覇市）（2013年4月15日）
- ・比嘉景常作品調査（八重瀬町）（2013年5月2日）
- ・安谷屋正義・大嶺政寛・大浜佳津子作品調査（那覇市）（2013年7月4日）
- ・石川文一作品調査（石川市）（2013年7月12日）
- ・親泊英繁作品調査（那覇市）（2013年7月24日）
- ・山田真山作品調査（那覇市）（2013年8月8日）（宜野湾市）（2013年8月23日）
- ・あけみお展・写真シンポジウム展調査（名護市）（2013年10月30日）
- ・大城勝作品調査（那覇市）（2013年11月15日）
- ・大浜佳津子作品調査（那覇市）（2013年11月21日）
- ・柳光観作品調査（那覇市）（2014年2月28日）

著作論文等

- ・「H24年度調査報告『宮良信成』」『沖縄県立博物館・美術館 美術館研究紀要 第4号』2014年3月

## II. 展示活動

### 1. 展示活動概要

コレクション展は、世界の美術動向を視野に入れた、沖縄美術のいまを紹介する目的で集めたコレクションで企画する。また、作品保護の観点から、三期に分けて展示替えを行い、テーマ展示の形式で紹介している。当該年度は、コレクションギャラリー1で子どもに向けたテーマ展示や、映像展などの、初の試みがなされた。また、ギャラリー2では前年に亡くなった、日本写真界の巨匠・東松照明の寄贈作品で構成された展示が、反響を呼んだ。ギャラリー3では、沖縄の戦後美術を系統的に展示して紹介した。

企画展では、沖縄の美術シリーズで安次嶺金正展が、沖縄ゆかりの国内外の優れた写真家として、森山大道展が開催されて、そのどちらも、沖縄のアートシーンに大きく寄与する内容となった。

### 2. コレクション展（常設展）

#### 【コレクションギャラリー1】

「子ども美術展 アートであーと」【絵画・他】 コレクションギャラリー1・2を会場に開催

開催期間：2013年5月18日（土）～9月16日（月）

内 容：本展は、線・いろ・かたち・大きさを身近に感じてもらうことをコンセプトとした。幼児画の線、児童画の色、形を現代美術で表すとどうなるのだろうか？展示室が子どもの部屋、あるいは、おもちゃ箱の中のような体験が、本展示空間では楽しむことができるように、また、展示方法も子どもの目線で低く設定し、親子で楽しむことも目的とした。

「コレクションで見る 沖縄の映像」【映像】

開催期間：2013年9月21日（土）～2014年1月26日（日）

内 容：コレクションで見る沖縄の映像

「蔵出し作品、勢揃い！！」と銘打った。開館以来初となる映像作品展である。ウルトラマンの生みの親、金城哲夫の『吉屋チルー物語』（1962）をはじめ、高嶺剛の『パラダイス・ビュー』（1985）や、新収蔵品の、日布映画社制作『執念の毒蛇』（1931）は、大正、昭和期に活躍した俳優であり、映画監督の吉野二郎（1881 - 1964）が、那覇市とハワイを舞台に撮影したものなど、8作品を上映した。

「丸山映彫刻展 かたちの風景」【立体】

開催期間：2014年2月1日（土）～5月18日（日）

内 容：没後10年を迎える丸山映は、玉那覇正吉の後任として琉球大学に赴任した。1992年から発足した「現代彫刻研究会」や「街と彫刻展」の中心の一人として沖縄彫刻界にあらたな風を吹き起こした彫刻家でもあった。1995年に沖縄県立芸術大学の彫刻科へ転勤し、後進の指導に務めた。本コレクション展では、丸山映が制作した石彫等、10点とドローイングを紹介した。

#### 【コレクションギャラリー2】

「東松照明と沖縄の植物」【写真】

開催期間：2013年5月18日（土）～9月16日（月・祝）（7月23日展示替え）

内 容：2010年に那覇に住民票を移し、日々町歩きしながら身体的なリズムで日常の光景を撮影した東松が晩年好んで撮影した対象が植物である。本展示会では植物を切り口に写真を見直すことにより、東松が感じた「見えないもの」に接近し、新たなる発見に出会えることを目的とし、前期35点、後期35点を公開した。

りゅうせきコレクションより「新しいローカルを求めて」【絵画】

開催期間：2012年9月29日（土）～2013年1月26日（日）

内 容：「りゅうせき美術賞」展は1990年から1999年まで10年間、賞金付公募展として沖縄の最初の企業メセナ事業として続けられた。これは「株式会社りゅうせき」創設者の稲嶺一郎の遺志を継ぎ、文化振興事業による地域貢献をめざして創設されたものであった。過去10年で、のべ2,300人3,050点近くの応募があり、大賞作品10人、受賞者は490人近くにのぼった。これまで団体展に属さない新人たちの作品が取り上げられ、沖縄の内部で考えるローカルの概念とは異なる、外の眼から見た「新

しいローカル」を目指した展覧会だったといえる。本展覧会は平成22年度「株式会社りゅうせき」から寄託された絵画70点のうち大賞10点、入賞作品12点を展示し、この展覧会を鑑賞することにより、沖縄の風土と表現について考えることを目的とした。

#### 「沖縄美術から見た手仕事」【工芸】

開催期間：2013年2月1日（土）～5月18日（日）

内 容：沖縄戦後美術の復興期をけん引したニシムイ美術村は、1947年に、首里の儀保町に画家たちが集い、アトリエ兼住居を構えていたものである。そこに、画家・山元恵一の妻で、自身も画家の山元文子による「山元工房」、もうひとつは大城志津子が構えた「大城織物工房」があった。沖縄の美術史における工芸へのアプローチを課題とした展覧会である。

#### 【コレクションギャラリー3】

沖縄の美術の流れ【絵画・他】

開催期間：2013年5月18日（土）～2014年5月18日（日） 通年

内 容：沖縄は日本本土とは異なる歴史と気候風土を持ち、時代の状況や機運が美術表現にも反映されているとし、終戦後から今日までの作家の表現を時代ごとにたどる展示により、沖縄の美術や社会状況の変遷と多様性の表出を目指した。

### 3. 企画展1 「安次嶺金正展 - 緑の抒情 - 」

会 期：平成25年9月10日（火）～平成25年10月27日（日）

会 場：美術館企画展示室1、2

観 覧 料：一般 800 (640) 円 高大生 500 (400) 円 小中生 300 (240) 円 ( ) 内は前売り  
70歳以上の方に限り、当日券20%割引。身分証の提示が必要。

観覧者数：3,308人

予 算 額：10,256,730円

#### 【開催趣旨】

戦後沖縄美術の復興を牽引した画家の一人として安次嶺金正の存在は大きい。ニシムイ美術村の安谷屋正義や玉那覇正吉等と共に活動し、戦後美術の復興に寄与した画家の一人である。安次嶺金正は太平洋戦争が始まる1941年に東京美術学校を繰り上げ卒業後、翌年2月には出兵し兵役に就く。一等兵、伍長、軍曹、曹長と進級、1945年にマレー半島で終戦を迎えた後は2年の捕虜生活の後、帰郷。戦後混乱期の沖縄で画業に取り組む。ニシムイ美術村の画家との活動は基より、沖展（沖縄美術展）創設に加わり、戦後注目された五人展のメンバーとして活動した。1950年代後半から戦後沖縄の前衛的な絵画を牽引した創斗展の創設など、戦後沖縄の美術に新たな領域を開拓した一人でもあった。また、1953年の琉球大学就任後は後進の育成に尽力した。

安次嶺にとって隠喩としての緑の風景は期待と希望であり、文化の源泉であった。また、抒情的であり心象としての新たな沖縄風景を浮かび上がらせた表現活動は、創作の旅でもあった。このような安次嶺絵画の軌跡を辿りながらその人物像や作品を本企画展で公開した。

#### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

後 援：沖縄県美術家連盟、沖縄県文化協会、(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー、沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK 沖縄放送局、沖縄テレビ放送、琉球放送株、琉球朝日放送、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、タイフーン fm

#### 【展示内容】

展示は年代別に、第1章～第4章に分けて構成し、関連する資料を始め、絵画の変遷を公開することによって安次嶺金正の芸術に迫った。

#### (1) 各章の概要

第1章 - 安次嶺金正の周辺 -

この章は安次嶺金正の幼少の頃から、東京美術学校時代の足跡を辿る。日本大学付属第一中学校時代、宮城与徳より絵の才能を認められ、東京美術学校への受験を目指す。東京美術学校入学後は藤島武二に師事。

3ヶ月の繰り上げ卒業後、兵役で召集される。第1章では戦前、金正に影響を与えた師匠や人物、関係資料

を紹介しながら金正像をとらえた。

第2章 - 戦後具象絵画の展開 - 1945年～1950年代

戦後、2年の捕虜生活の後、帰還。1947年に故郷の沖縄へ帰る。ニシムイの画家と活動を行うかたわら、米軍などの依頼に応じ肖像画も手がける。個展も開催した。1949年の沖縄美術展の開催や五人展と精力的に活動し、戦後美術の復興に尽力した。この章は主に復興期の活動や戦後描いた具象絵画を公開した。

第3章 - 緑へのこだわりとその変遷 - 1960年代～1970年代

1950年代後半から抽象絵画の潮流が本県にもあり、若い画家が抽象的な作風へと変貌していった。安次嶺金正は緑を基調にした平面的な作風を手がけ、独自の絵画の深化を目指した。また、1957年から画友とともに前衛絵画の中心となった創斗会を発足させ、1960年の東京芸術大学研修をきっかけに抽象的な表現へと移行していった。その時代の思潮や絵画の変遷を検証した。

第4章 - 心象風景の模索と展開 - 1980年代以降

1980年代以降も安次嶺は、緑を基調に作品の展開を見せた。花や森、道など幻想的な風景の内奥を追求。抒情的な風景を描き続けた。幼少の頃、北部の豊かな自然で育った金正の郷愁の念が緑の作品の根源にあるのか。その世界を探り続けた安次嶺の絵画に触れた。

(2) 主な展示資料

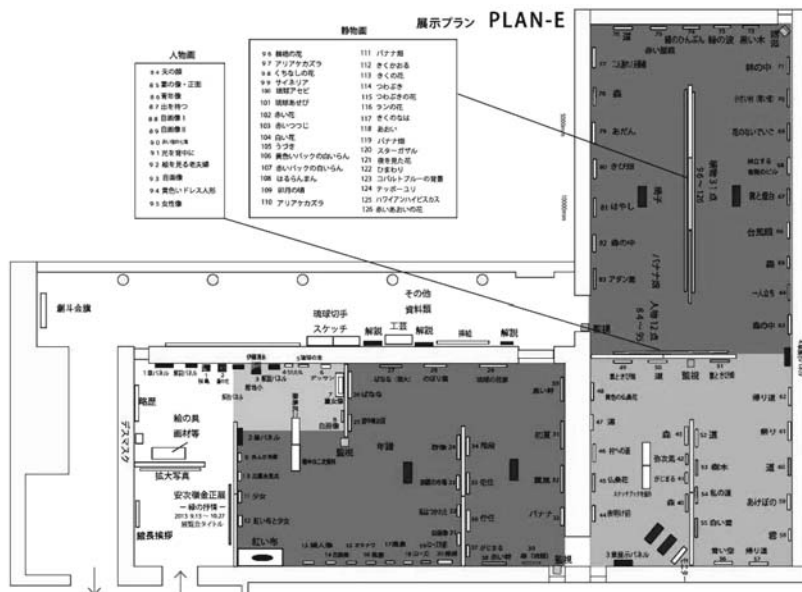
- 絵画作品…………… 126点
- 素描等（スライド上映）…………… 300点程
- 挿絵、二次資料…………… 40点程

【関連催事】講演会、シンポジウム、ワークショップ、アーティストトーク、ギャラリートークは教育普及事業参照

上記以外

安次嶺金正展記念コンサート  
 開催日時：2013年10月20日（日）2時 4時の2回公演  
 場 所：沖縄県立博物館・美術館 エントランスホール  
 演 題：安次嶺金正展 緑の抒情 記念コンサート  
 緑の詩（うた）にのせて  
 来場者数：1回目 70人  
 2回目 40人

【展示平面図】



#### 【会場風景】



#### 【展示会場風景】



(仲里 安広)

### 4. 企画展2 「森山大道 終わらない旅 北/南」 Daido Moriyama endless works N/S

会 期：2013年1月23日(木)～2013年3月23日(日)(51日間)

会 場：美術館企画ギャラリー1・2

観 覧 料：大人800円、高校・大学生500円、小・中学生300円

観覧者数：4,083人

予 算 額：12,254,000円

#### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館

後 援：沖縄県写真協会、沖縄写真連盟、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー、NHK沖縄放送局、琉球放送株式会社、琉球朝日放送株式会社、沖縄テレビ放送株式会社、沖縄ケーブルネットワーク、株式会社エフエム沖縄、株式会社ラジオ沖縄、沖縄タイムス社、琉球新報社、タイフーン fm

特別協力：株式会社沖縄映像センター

協 力：Akio Nagasawa Publishing、株式会社大和プレス キヤノンマーケティングジャパン株式会社、札幌宮の森美術館、一般財団法人森山大道写真財団

#### 【開催趣旨】

戦後日本の写真界に絶大な影響力を發揮し、現在は国際的にも評価が高い写真家、森山大道（もりやまだいどう1938年 - ）の沖縄初の大規模な個展を開催し、60年代の新たなる写真潮流の発生を振り返り、写真表現の理解を促す機会とした。

#### 【展示構成】

章 起 点

『無言劇』 12点

章 犬の記憶

『にっぽん劇場写真帖』『シミズイサム』『ヨコスカ』『狩人』『オンザロード』『何かへの旅』ほか  
130点

章 破壊と創造

『provoke』1968-69年『写真よさようなら』『アクシデント』『COLOR』ほか 123点

章 光を求めて

『光と影』ほか 53点

章 終わらない旅

『新宿』『NORTHERN』『沖縄』ほか 602点

【関連催事】

今回の特別展の関連催事として以下の事業を行った。

□開会式及び内覧会

平成26年1月23日(木) 開会式10:00～ 内覧会10:30～

□シンポジウム

平成26年1月25日(土) 14:00～18:00

第1部 対談:「写真よさようなら」をめぐって

森山大道、石川直樹(写真家) 予定

第2部 スライドレクチャー:大竹昭子(作家)

第3部 パネルディスカッション:終わらない旅 <写真とは何か>

大竹昭子、玉城惇博(沖縄映像センター代表取締役)、仲里効(批評家)、石川直樹  
コーディネーター/新里義和(本展担当学芸員)

□アーティスト・トーク

平成26年3月2日(日) 15:00～16:00 森山大道

□ギャラリー・トーク

平成26年2月8日(土) 14:00～15:00 玉城惇博

平成26年3月9日(日) 14:00～15:00 仲里 効

□キュレーター・トーク

平成26年1月23日(木) 10:30～11:30 新里義和

平成26年2月15日(土) 11:00～12:00 新里義和

□映画上映会

森山大道 新作映像プログラム(5本)

MORIYAMA DAIDO

会 期:平成26年1月28日(火)～2月1日(土)

上演時間:18:00～(47分～76分)

会 場:講堂

プレイベント

□ポートフォリオレビュー

期 間:平成25年9月1日(土)～9月30日(火)(募集)

平成26年1月21日(火)～1月26日(日)(展覧会)

内 容:県内在住で写真作家を目指す方に県民ギャラリーにて写真展を開催していただき、森山大道氏より写真批評を行った。

対 象:県内在住15歳以上で写真作家を目指す方。

選抜された人数:5名

方 法:応募用紙に必要事項を記入し、組写真20枚をA4クリアファイルに入れたポートフォリオを提出。森山大道氏による選考で、選ばれた方に写真展を開催していただいた。

写真制作に掛かる費用は基本的に各自負担。美術館は展覧会開催を支援した。

□ポートフォリオレビュー展覧会

会 期：平成26年1月21日（火）～1月26日（日）1週間

会 場：県民ギャラリー1・2・3

展示作家：中川大祐、石川竜一、永山直樹、池町真夕子、七海愛（5名）

□ポートフォリオレビュー批評会（公開）

日 時：平成26年1月24日（金）15：00～16：00

講 師：森山大道

会 場：県民ギャラリー1・2・3

参加費：無料

□プリント制作支援

キヤノンマーケティングジャパン（株）のご協力により、プリンターと写真用紙を期間中無償提供

期 間：平成26年1月12日（日）～1月20日（月）9：00～17：00

場 所：県民スタジオ

特別イベント

□森山大道プリンティングショー

期 間：平成26年3月1日（土）～3月2日（日）

内 容：Tシャツに森山大道写真の画像をシルク印刷で刷るワークショップ

主 催：NPO 法人 琉・動・体

会 場：space コザの窓

（新里 義和）

### III. 教育普及活動

#### 1. 美術館教育普及活動の概要

美術館の教育普及活動は、「鑑賞活動の支援プログラム」「実技体験の支援プログラム」「発表活動の支援プログラム」という3つの柱に沿って展開している。

鑑賞活動のプログラムでは、ガイドボランティアによる「対話式鑑賞法」を展開し、学校団体へ対応した。また、団体鑑賞プログラムも次年度に向けて改善や変更を行った。

実技体験では、夏休み子どもフェスタで、多彩なプログラムで昨年度より多くの児童生徒が参加することができた。展示作品をより理解を深める機会として、学芸員によるキュレーター・トーク、作品制作者やその関係者によるアーティスト・トークなどを展示室で実施するとともに、美術講座なども実施した。

教育普及活動は、館内だけのプログラムではなく、県立という施設に鑑み、移動展（渡名喜島）やアウトリーチ活動（沖縄県立沖縄ろう学校、沖縄県立浦添工業高等学校）への作家を派遣しての講座を実施した。

#### 2. 鑑賞活動支援

開館記念展より継続で、作品の鑑賞をより深めるために各展示担当によるキュレーター・トークや、作品の制作を行った作家や関係者を招き、アーティスト・トーク、ギャラリー・トークを行った。また来館者に対して鑑賞ボランティアによる「鑑賞ツアー」を、展示室内で作品を観ながら行った。

##### 【キュレーター・トーク】

ボランティアの方々や一般の方に対し、各展示会担当学芸員がその展示作品や作家、また展示内容について解説を行うことで、展示に対し関心や理解を深めるために講義を行う。



キュレーター・トークの様子

回	月 日	曜	展 示 会 名	担 当	参加者
1	5月18日	土	国際博物館の日「コレクション展」	各 担 当	30人
2	6月15日	土	「東松照明と沖縄の植物」	新 里 義 和	10人
3	7月20日	土	子ども美術展「アートであーと」	大 城 直 也	9人
4	8月17日	土	「沖縄美術の流れ」	大 城 仁 美	2人
5	9月10日	土	「安次嶺金正展」	仲 里 安 広	130人
6	10月5日	土	「安次嶺金正展」	仲 里 安 広	11人
7	10月12日	土	「安次嶺金正展」	仲 里 安 広	11人
8	10月19日	土	「コレクションで見る沖縄の映像」	豊見山 愛	6人
9	12月21日	土	りゅうせきコレクションより「新しいローカルを求めて」	翁 長 直 樹	4人
10	1月24日	金	「森山大道 終わらない旅 北/南」	新 里 義 和	20人
11	2月1日	土	「丸山映彫刻展」	仲 里 安 広	3人
12	2月15日	土	「森山大道 終わらない旅 北/南」	新 里 義 和	18人
13	3月15日	土	「沖縄美術からみた手仕事」	豊見山 愛	42人

#### 【アーティスト（ギャラリー）・トーク】

ボランティアの方々及び一般の方に向け、常設展示室（コレクションギャラリー）や企画展示室の展示作家及び作品の理解を深めるための講座。展覧の展示作家やその関係者等を招き実施。



ウエチヒロ氏のトーク風景

回	月 日	曜	展 示 会 名	担 当	参加者
1	5月18日	土	国際博物館の日「コレクション展」	稲 嶺 成 祐	30人
2	6月8日	土	「東松照明と沖縄の植物」	新 城 和 治	42人
3	7月13日	土	子ども美術展「アートであーと」	ウエチ ヒ 口	26人
4	8月10日	土	「沖縄美術の流れ」	城 間 喜 宏 高 良 憲 義	68人
5	9月14日	土	「安次嶺金正展」	安次富 長 昭	23人
6	10月12日	土	「コレクションで見る沖縄の映像」	岡 村 恵 子	28人
7	10月27日	土	「安次嶺金正展」	稲 嶺 成 祐	40人
8	12月14日	土	りゅうせきコレクションより「新しいローカルを求めて」	大 城 久 美 子	25人
9	2月8日		「森山大道 終わらない旅 北/南」	玉 城 惇 博	14人
10	2月15日	土	「丸山映彫刻展」	上 條 文 穂 大 田 和 人	23人
11	3月2日	日	「森山大道終わらない旅 北/南」	森 山 大 道	140人
12	3月8日	土	「沖縄美術からみた手仕事」	上 原 美 智 子	70人
13	3月9日	土	「森山大道終わらない旅 北/南」	仲 里 効	20人

#### 【鑑賞ツアー】

鑑賞ボランティアが来館者に対し行う展示作品の鑑賞活動。案内役を中心に「対話式鑑賞法」による鑑賞の形をとり、作品に対する思いや感想などを伝え合い、共感する中で作品の理解や関心を深めていた。



鑑賞ツアーの様子



回	月日	曜	展示会名	参加者
1	4月27日	土	「沖縄美術の流れ」	4人
2	5月25日	土	「沖縄美術の流れ」	8人
3	6月22日	土	「東松照明と沖縄の植物」	4人
4	7月27日	土	子ども美術展「アートであーと」	7人
5	8月24日	土	「沖縄美術の流れ」	9人
6	9月26日	土	「沖縄美術の流れ」	8人
7	10月26日	土	りゅうせきコレクションより 「新しいローカルを求めて」	3人
8	11月23日	土	「沖縄美術の流れ」	3人
9	12月14日	土	「コレクションで見る沖縄の映像」	18人
10	2月22日	土	「沖縄美術の流れ」	4人
11	3月15日	土	「丸山映彫刻展」	6人
12	3月22日	土	「沖縄美術からみた手仕事」	9人

### 【学校団体対応】

学校団体に対して展示作品の鑑賞を支援するプログラムを行った。鑑賞ボランティア員が案内役となり、コレクション展の中から3作品をグループ別に「対話式鑑賞法」による鑑賞法でお互いに共感し合いながら作品理解を深めていった。



学校団体鑑賞の様子

回	月日	曜	展示会名	参加者
1	8月16日	金	糸満市立糸満中学校	7人
2	10月3日	木	昭和薬科付属中学校	225人
3	11月12日	木	うるま市立城前小学校	75人
4	11月29日	火	南城市立船越小学校	45人
5	12月10日	金	八重瀬町立白川小学校	101人
6	12月14日	火	沖縄県立浦添工業高等学校	81人
7	12月18日	水	豊見城市立伊良波小学校	90人
8	2月18日	金	沖縄県立沖縄ろう学校	13人

### 3. バックヤード・ツアー

収蔵庫や修復室、工作室といった通常一般開放していない美術館のバックヤードを案内する事業。学芸員の仕事や美術作品に対する保存、展示についても学ぶ機会となっている。



バックヤード・ツアーの様子

回	月日	担当	参加者
1	4月27日	大城直也	8人
2	5月18日	大城直也	12人
3	6月22日	仲里安広	12人
4	7月27日	新里義和	5人
5	8月24日	豊見山愛	13人
6	9月28日	大城仁美	3人

回	月日	担当	参加者
7	10月26日	大城直也	4人
8	11月23日	仲里安広	9人
9	12月14日	新里義和	5人
10	1月25日	豊見山愛	4人
11	2月22日	大城仁美	9人
12	3月22日	大城直也	8人

## 4. 美術講座

美術史を学ぶ機会として、世界・日本・沖縄の美術の流れに関する一般向けの講座を開設した。ボランティア対象の講座としても位置づけており、美術史に関する基本的な内容の学ぶ機会となった。



美術講座の様子

回	月日	曜	名称	講師	参加者
1	7月12日	金	「時間・空間と人の相互作用」	真喜志 好一	18人
2	7月26日	金	「建築の伝統美」－近代建築における機能主義と復古主義－	北村 義典	12人
3	11月8日	金	「オキナワンデザイン今昔」(前編)	岸本一夫	21人
4	11月22日	金	「オキナワンデザイン今昔」(後編)	岸本一夫	24人
5	2月14日	金	「近代沖縄の工芸－染織・陶芸・漆器－」	岡本 亜紀	23人

## 5. コレクション・企画展関連シンポジウム

- (1) 「安次嶺金正展」関連シンポジウム .....87人参加  
日 時：平成25年9月29日(日) 14:00~17:00  
内 容：安次嶺金正の絵画の魅力について語る  
講 師：稲嶺成祚、仲井間憲児、岸本一夫、永津禎三  
会 場：沖縄県博物館・美術館講堂
  
- (2) 「森山大道」関連シンポジウム .....153人参加  
日 時：平成26年1月25日(土) 14:00~18:00  
内 容：森山大道の写真について語る  
講 師：森山大道、石川直樹、大竹昭子、玉城惇博、仲里効  
会 場：沖縄県博物館・美術館講堂

## 6. ワークショップ

- (1) 子どもワークショップ 「海から来たおともだち ジュゴン変身計画！」 .....81人参加  
日 時：平成25年6月15日(土) 13:00~14:00 (廃品集め) 15:00~17:00 (制作)  
内 容：海にある廃品でジュゴンを制作する  
講 師：エドアルド・マラジーニ  
場 所：博物館・美術館正面玄関前
  
- (2) 子どもワークショップ 「映像にみる(非)日常」 .....24人参加  
日 時：平成25年10月26日(土) 「ピクシレーション」 13:30~15:00 (低学年)  
「逆再生動画」 15:30~17:00 (高学年)  
平成25年10月27日(日) 「映像体験」 10:30~12:00 (未就学児)  
内 容：身体をつかった動きを通して映像体験をする  
講 師：大城愛香(デザイナー/高専非常勤講師)  
場 所：県民スタジオ、子どもアトリエ
  
- (3) 子どもワークショップ 「からだのかたち」 .....22人参加  
日 時：平成26年2月22日(土) 13:30~15:00 (未就学児) .....7人  
平成26年2月23日(日) 10:30~12:00 (低学年) .....10人  
13:30~15:00 (高学年) .....5人  
内 容：からだの一部を粘土などの素材でつくる  
講 師：吉田俊景(彫刻家)  
場 所：子どもアトリエ

- (4) 一般実技講座 「日本画ワークショップ」 .....10人参加  
 日 時：平成25年5月18・25日(土)、6月1・8日(土) 10:30~12:00  
 内 容：日本画の基礎技能を学ぶ  
 講 師：喜屋武千恵(日本画家)  
 場 所：県民アトリエ
- (5) 一般実技講座 「絵からみえるもの 鉛筆デッサン」 .....10人参加  
 日 時：平成25年10月12日・19日・26日(土) 10:30~12:00  
 内 容：カタチのとらえにくい題材を鉛筆デッサンで表現する  
 講 師：よねだはるひこ(画家)  
 場 所：子どもアトリエ
- (6) 一般実技講座 「工芸ワークショップ 織りの表現」 .....15人参加  
 日 時：平成26年2月8日・15日・22日(土) 10:00~11:30  
 内 容：イメージ図案をもとに織り表現を体験する  
 講 師：久田彩夏(染織家)  
 場 所：子どもアトリエ
- (7) 一般実技講座 「接続の回路-感覚の居場所(ダンスプロジェクト)」 .....10人参加  
 日 時：平成25年7月15日(日) 13:30~16:30  
 内 容：自分の身体に向き合い、自分の動作を見つめ、相手の動作に感応する  
 講 師：零境(DAKEI)(演出家・ダンサー)  
 場 所：子どもアトリエ、エントランスホール
- (8) 美術館夏休み子供ワークショップ 「写生会」 .....27人参加  
 日 時：平成25年8月17日(土) 9:00~13:00  
 内 容：美術館周辺の公園で写生をする  
 講 師：沖縄美術家協会(屋良朝春、大城譲、玉那覇英人、當間よしの)  
 対 象：小学生(親子同伴)  
 会 場：博物館・美術館周辺
- (9) 美術館夏休み子供ワークショップ 「キッズカメラマン」 .....13組参加  
 日 時：平成25年8月17日(土) 14:30~16:30  
 内 容：カメラの使い方と印刷の仕方を学ぶ  
 講 師：仲本賢(県立芸大助教授)  
 対 象：小学生  
 会 場：県民ギャラリースタジオ
- (10) 美術館夏休み子供ワークショップ 「粘土アニメ」 .....23人参加  
 日 時：平成25年8月17日(土) 14:30~16:30  
 内 容：ねん土のキャラクターを作りアニメを制作する  
 講 師：又吉浩(県立芸術大学非常勤講師)  
 対 象：小学生  
 会 場：県民アトリエ
- (11) 美術館夏休み子供ワークショップ 「中庭水族館」 .....262人参加  
 日 時：平成25年8月18日(日) 9:30~12:00  
 内 容：ガラスに魚などを彩色して水族館にする  
 講 師：大城直也(当館学芸員)  
 対 象：小学生  
 会 場：美術館中庭

- (12) 美術館夏休み子供ワークショップ 「ここからはじまるアート」 .....親子12組参加  
 日 時：平成25年8月18日（日） 14：30～16：30  
 内 容：身近なものを利用して作品制作をする  
 講 師：登紀美（元造形教育連盟理事）  
 対 象：未就学児（親子同伴）  
 会 場：子どもアトリエ
- (13) 美術館夏休み子供ワークショップ 「ワイヤーアート」 .....10人参加  
 日 時：平成24年8月18日（日） 14：30～16：30  
 内 容：ワイヤーを使つての造形活動  
 講 師：ゴヤ・フリオ（彫刻家）  
 対 象：中学生  
 会 場：県民ギャラリースタジオ
- (14) 企画展「安次嶺金正展」関連ワークショップ「緑のおくりもの」 .....41人参加  
 日 時：平成25年10月13日（日） 9：30～17：00  
 内 容：「緑のおくりもの」をテーマにグループでイラスト制作、審査、表彰を行う  
 審 査 員：川平恵造（画家）、安里進（県立博物館・美術館長）、仲里安広（美術館学芸員）  
 対 象：高等学校11人（3グループ）、中学校30人（6グループ）  
 会 場：エントランス（高等学校）、博物館実習室（中学校）
- (15) 企画展「森山大道展」関連ワークショップ「ポートフォリオレビュー」 .....68人参加  
 日 時：平成26年1月21日（火）～26日（日） 9：00～17：00  
 内 容：森山氏の審査により選ばれた5名による作品制作及び展示会  
 講 評 会：平成26年1月24日（金） 15：00～16：00 森山大道氏による作品講評会  
 会 場：県民ギャラリー1・2・3

## 7. アウトリーチ（出前講座）

- (1) ダンスプロジェクト in 沖縄県立ろう学校 .....生徒12+教師9人参加  
 日 時：平成25年7月16日（火） 11：00～12：50  
 内 容：アーティストと一緒に表現することで自己の新しい表現を感じる  
 講 師：零境（DAKEI）（演出家・ダンサー）  
 場 所：沖縄県立ろう学校
- (2) デザインプロジェクト in 浦添工業高等学校 .....生徒78+教師6人参加  
 日 時：平成26年2月25日（火） 12：20～14：40  
 内 容：デザインの第一線で活躍する現場の様子とこれからのデザインを学ぶこと考  
 講 師：岸本一夫、内間安彦、吉田コマキ  
 場 所：沖縄県立浦添高等学校 デザイン科

## 8. 美術館招待事業（美術館へ行こう）

- (1) 児童生徒をバスで送迎し、コレクション展示作品を使って鑑賞学習指導を行う .....参加者453人  
 対 象：県内小中学校 学年単位で5～7校程度  
 方 法：公募により学校を決定 10月から公募開始  
 場 所：コレクション展示室  
 内 容：鑑賞ボランティアによる鑑賞学習支援

回	月 日	曜	学 校 名	見学者
1	10月1日	火	宜野湾市立宜野湾小学校（5年）	121人
2	10月31日	木	うるま市立川崎小学校（6年）	64人
3	11月1日	金	沖縄市立室川小学校（5年）	62人

回	月 日	曜	学 校 名	見学者
4	11月14日	木	うるま市立高江洲小学校 (4年)	93人
5	11月21日	木	うるま市立あげな小学校 (6年)	51人
6	11月26日	火	うるま市立あげな小学校 (4年)	62人

## 9. 図工・美術担当教職員等講座

日 時：2013年7月25日(金) 14:00 ~ 17:00 .....参加者38人  
 内 容：美術館活用について  
 講 師：杉浦幸子(武蔵野美術大学 准教授)  
 会 場：沖縄県博物館・美術館講座室、コレクションギャラリー 1

## 10. 鑑賞用ワークシート作成

実 施：年1回 6月中構成、7月配布  
 内 容：コレクションギャラリー3「沖縄の美術の流れ」の代表する10作品の補助質問及び解説。  
 児童生徒に向けたワークシートを作成し作品鑑賞の補助資料とする。  
 部 数：6000部印刷(A4両面カラー印刷)

## 11. 団体鑑賞ツアーのパンフレット(美術館は教室だ)

実 施：1月作成、3月県内小中学校へ配布  
 内 容：コレクションギャラリーの団体鑑賞プログラムの紹介、申込用紙  
 部 数：1000部印刷(A3両面カラー印刷 三つ折り)

## 12. 「移動展 in 渡名喜島」 .....202人入場

会 期：平成25年11月29日(金)・30日(土)(2日間)  
 開 催 地：渡名喜村  
 内 容：絵画・映像作品の展示、実技講座

## 13. 研修対応

### (1) 学芸員実習

期 間：平成25年8月26日(月)~9月6日(金)10日間(土、日を除く)  
 参 加 者：10名(沖縄県立芸術大学)  
 内 容：保存保管環境、展示方法、絵画、彫刻、写真等作品の取り扱いに関する美術館学芸員業務全般

### (2) 職場体験

期 間：平成26年1月28日(火)~30日(木)3日間  
 参 加 者：2名(那覇市立城北中学校 1年生)  
 内 容：職場見学

### (3) ジョブシャドー (職場体験)

期 間：平成25年11月14日(木)午前10:00~12:00  
 参 加 者：1名(本部町立伊江島小学校 6年生)  
 内 容：職場見学

### (4) ジョブシャドー (職場体験)

期 間：平成26年1月28日(火)~30日(木)9:00~15:00  
 参 加 者：2名(城東中学校 1年生)  
 内 容：職場見学

## IV. 資料収集・保存管理

### 1. 収蔵作品現在高

2014年3月31日現在

分類	購入	寄贈	移管	その他	総計
平面	332	1,009	64	2	1,408
立体	28	194	0	8	230
映像	365	1,363	0	0	1,728
その他	14	10	1	3	28
総計	739	2,577	65	13	3,394

映像の中に写真作品を含む  
H25年度年度年報より収蔵作品現在高から寄託作品を除き、分類を見直した。

### 2. 2013 (平成25) 年度 新収蔵作品高

2014年3月31日現在

分類	購入	寄贈	移管	総計
平面	6	51	0	59
立体	0	1	0	1
映像	0	0	0	0
その他	0	7	0	7
総計	6	59	0	65

### 3. 2013 (平成25) 年度 新収蔵作品目録

#### 【購入】

2010年4月1日～2011年3月31日

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量
平面 絵画	藤田 嗣治	辻美人	1938年	油彩、板	1
	川端彌之助	琉球那覇の家	1940年	油彩、板	1
	鳥海 青児	沖縄美人	1958年 (推定)	鉛筆、パステル、紙	1
	小杉 放菴 (未醒)	琉球	1916年 (推定)	紙本墨画 掛け軸	1
	本村 恵清	怒号	1986年	油彩、キャンバス	1
	本村 恵清	魔よけ大いに怒る	1967年	油彩、クレヨン、キャンバス	1

#### 【寄贈】

2013年3月31日～2014年4月1日

分類	作家名	作品名	制作年	素材・技法	点数	寄贈者
平面 絵画	親泊 英繁	末吉宮	1950年	水彩、絹本彩色	1	山田 晶子
	親泊 英繁	ムーラー作り	1950年	水彩、絹本彩色	1	山田 晶子
	親泊 英繁	不明 (仮題 旧那覇市内、 泉崎辺り)	不明	水彩、絹本彩色	1	山田 晶子
	鬼頭 健吾	cosmic dust	2003年	アクリルメディウム、アル ミフレーク、鏡	1	佐藤 辰美
	鬼頭 健吾	cosmic dust	2002年	油彩、アルミフレーク、キャン バス	1	佐藤 辰美
	水田 寛	くさむら	2008年	油彩、キャンバス	1	佐藤 辰美
	小林 健二	Zoe-ゾウエイ	2006年	油彩、紙、木、キャンバス	1	佐藤 辰美
	笹口 数	sphere (4 pieces of constellation)	2006年	アクリル樹脂、キャンバス	1	佐藤 辰美
	笹口 数	sphere(12 constellation s )	2006年	アクリル樹脂、キャンバス	1	佐藤 辰美
	笹口 数	your birthday = my birthday	2006年	白色フレーム、ガラス	1	佐藤 辰美

分類	作家名	作品名	制作年	素材・技法	点数	寄贈者
平面画	本村 恵清	よう樹	1963年	油彩、キャンバス	1	本村 里子
	本村 恵清	あるまわし者	1984年	油彩、キャンバス	1	本村 里子
	安次嶺金正	白い立ち木	1980年	油彩、キャンバス	1	大城 盛夫
平面画	藤田 嗣治	子を抱く母	1959年以降	多版多色刷り、紙 (BFK RIVES)	1	古波蔵保男
	Joan Miro	リトグラフ No1118	1977年	インク、紙	1	古波蔵保男
	Joan Miro	リトグラフ No1119	1977年	多版多色刷り、インク、紙	1	古波蔵保男
	Joan Miro	FEMME-OISEAU	1960年	インク、紙 (BFK RIVES)	1	古波蔵保男
	Joan Miro	UBU EN LAS BALEARES バレアレスのコピュ	1971年	インク、紙 (アルシュ)	1	古波蔵保男
	阿部 浩	Les formes	1972年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙(アルシュ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	UN CERCLE DANS LES FORMES 形の中の円	1973年	石版画 多色刷り、リトインク、リトクレヨン、紙(アルシュ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Composition コンポジション	1973年	石版画 多色刷り、リトインク、リトクレヨン、紙(アルシュ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Untitled	1975年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙(アルシュ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Un Statue bizarre 不思議な立像	1977年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (ラナ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Monument モニュマン	1979年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙(ラナ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Center of my mind 精神の中心	1980年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (アルシュ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Four pillars and Three bars 四本の柱と三つの棒	1982年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (サンダー)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Black and White bar in lonely space 黒と白の棒、私の弧空間	1983年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (ペセソレイユ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Plain des pyramides いっばいのピラミッド	1984年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (ラナ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Transparent pyramid of unknown construction 透明なピラミッドあるいは見知らぬ構築物	1986年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (アルシュ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Les balles 球	1988年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (アルシュ)	1	阿部 浩
阿部 浩	Une balle en grand movement 大きな動きをとまなう球	1988年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (アルシュ)	1	阿部 浩	

分類	作家名	作品名	制作年	素材・技法	点数	寄贈者
平 面 画	阿部 浩	Paysage 風景	1991年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (サマーセット)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Floating form or another sun ただよう形またはもう一つの太陽	1991年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (サマーセット)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Dayez brillet éternellement ダイエス永遠に輝く	1991年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (サマーセット)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Light. Hommage á Dayez 光、ダイエスに捧ぐ	1991年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (サマーセット)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Descending form from the sky 空から降りてくる形	1991年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (サマーセット)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Creation 創造	1991年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (サマーセット)	1	阿部 浩
	阿部 浩	La lumière 光	1991年	石版画 (リトグラフ) リトインク、リトクレヨン、グレーの紙 (サマーセット)	1	阿部 浩
	阿部 浩	La vacillité ゆらめき	1992年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (サマーセット)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Le signe blanc 白いきざし	1993年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (アルシュ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Grand pilier dans la nuit 夜の巨きな柱	1994年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (サマーセット)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Prochain monde 次の世界	1996年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (サマーセット)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Le mouvement en spirale うずまくムーブメント	1997年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (BFK)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Une forme étrange ふしぎな形	1997年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (アルシュ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Une forme blanche volante 白い形がとぶ	1997年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (アルシュ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Double mondes invisibles 見えない二つの世界	1997年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (アルシュ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	Grande flame 巨きな炎	1997年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (アルシュ)	1	阿部 浩
	阿部 浩	La cérémonie secrète dans Univers et le vent 宇宙秘儀と風	2001年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (アルシュ)	1	阿部 浩
阿部 浩	Le système de la creation 創造システム	2001年	石版画 (リトグラフ)、リトインク、リトクレヨン、紙 (サマーセット)	1	阿部 浩	



分類	作家名	作品名	制作年	素材・技法	点数	寄贈者
平面画	阿部 浩	Le noyau de la création 創造核	2001年	石版画（リトグラフ）、リトインク、リトクレヨン、紙（アルシュ）	1	阿部 浩
	儀間比呂志	那覇の市場	1995年頃	木版画、手彩色、紙	1	岩田 重則
立体	小林 健二	y ou are not alone	1991年	木、金属	1	佐藤 辰美
その他	竹川 宣彰	身のまわり品のセイリング チャート 地図のドロイング：アジア沿岸	2007年	ミクストメディア	1	佐藤 辰美
	竹川 宣彰	身のまわり品のセイリング チャート 地図のドロイング：インド	2007年	ミクストメディア、	1	佐藤 辰美
	竹川 宣彰	身のまわり品のセイリング チャート 地図のドロイング：アラビア半島	2007年	ミクストメディア、化学繊維、木毛、綿（七宝毬）	1	佐藤 辰美
	竹川 宣彰	身のまわり品のセイリング チャート地図のドロイング：マレー半島	2007年	ミクストメディア、オルガン、オブジェ1、オブジェ2	1	佐藤 辰美
	竹川 宣彰	身のまわり品のセイリング チャート 地図のドロイング：セイロン島	2007年	ミクストメディア	1	佐藤 辰美
	竹川 宣彰	身のまわり品のセイリング チャート 地図のドロイング：台湾島	2007年	ミクストメディア、脱穀乾燥機、オブジェ（お面）	1	佐藤 辰美
	竹川 宣彰	身のまわり品のセイリング チャート 地図のドロイング：日本	2007年	ミクストメディア	1	佐藤 辰美

#### 【寄託】

2013年3月31日～2014年4月1日

分類	作家名	作品名	制作年	技法・素材	数量	所有者
平面画	中島イソ子	自画像 - ジョルジョ - ネ「老女の肖像」より -	2012年	油彩、キャンパス	1	中島イソ子
	安谷屋正義	不明（二艘の船）	1951年	油彩、メソナイト	1	古堅 整

## 4. 作品収集事業

本美術館は、県民に多様な芸術鑑賞の機会や創造性を高める場を提供し、地域の芸術文化の拠点となると同時に芸術文化活動を通じて、アジア地域や沖縄の発展に貢献する国際化の拠点となることを目的としている。収集事業は、本県独自で個性あるコレクションを形成するために不可欠な事業である。

2013年度は2回の収集委員会を開催し、コレクションの核となる沖縄出身の物故作家の作品をはじめ、沖縄にゆかりのある日本の著名な画家の作品など、合わせて合計67点（購入6点、寄贈59点、寄託2点、）を収集した。いずれも、充実した展示活動を行う上で重要な作品である。また契約終了の為、伊藤コレクション111点の返却があった。

（大城 仁美）

## 5. 保存管理事業

### (1) 保存環境の整備

沖縄県民の財産である収蔵美術作品の適切な保存を目的として、収蔵庫及び展示スペース内の温湿度が年間を通して一定に維持されるよう管理を徹底し、保存環境の整備を行う。具体的には、IPM管理の徹底による虫菌

害予防（ペストコントロールを含む）が、まず挙げられる。収集等の際に、新たな美術作品を館に入れる前の消毒など、対策の強化を重点的に行っている。さらに収蔵美術作品においては、効率的な状態調査を計画し、実施することで、今後の修復計画をよりスムーズかつ安全に行うよう、配慮している。

## (2) 収蔵作品の保存修復

収蔵作品のコンディション調査を行い、生物劣化や物理劣化、化学劣化等に応じた修復計画を立てて、その作業内容に沿った修復家への依頼を、下記収蔵作品3点について行った。また、例年通り、企画及びコレクション展へ出品するための、作品への額装及び金具等整備作業、画面洗浄作業を行った。保存修復内容の詳細は以下の通りである。

### A. 修復委託

	種別	点数	処置内容	備考
1	油彩画	1	<p>～修復前の状態～</p> <p>キャンバス裏面に油彩絵具からの油性分と樹脂分と思われる染みが広範囲に生じていた。特に空の青色絵具部分に細かい亀裂と浮き上がり。絵具層間で地塗り層との剥落。画面全体に経年による汚損の付着。画面下辺でスレやキズにおける絵具層の剥離。</p> <p>～修復処置概要～</p> <p>絵具層の浮き上がり剥落周縁の固着強化。画面洗浄。木枠とキャンバスを分離しキャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。ルースライニングによるキャンバスの固定。ステンレス製タッカーで固定。はく落部分の充填、整形、補彩。ニス吹付による画面保護。</p>	<p>安次嶺金正&lt;侘住&gt; (1958年 油彩・キャンバス F50号)</p> <p>* 依頼先 齋藤 敦 (東京都)</p>
2	油彩画	1	<p>～修復前の状態～</p> <p>絵具層には多くの浮き上がり剥落。厚く塗布された白色絵具層で下層に描かれた画面との層間に剥離が生じてた。画面左下の署名部分に支持体の変形。画面全体と裏面に経年による汚損の付着とカビによる痕跡あり。</p> <p>～修復処置概要～</p> <p>絵具層の浮き上がり剥落周縁の固着強化。木枠とキャンバスを分離しキャンバス裏面の汚損の除去と殺菌洗浄。キャンバス変形部分に湿りを与えた後電気コテで加熱修正。裏面から接着剤の塗布と地塗り層と絵具層の固着強化。ルースライニングによるキャンバスの固定。はく落部分の充填、整形、補彩。</p>	<p>安次嶺金正&lt;がじまる&gt; (1962年、油彩・キャンバス F15号)</p> <p>* 依頼先 齋藤 敦 (東京都)</p>
3	版画/リトグラフ	1	<p>～修復前の状態～</p> <p>本紙全体に黄ばみ、シミ、斑点が見られた。特に、マウントの窓(431×331mm)内の紙やけが著しい。4辺縁中央に粘着テープの跡(黄変)が見られた。</p> <p>～修復処置概要～</p> <p>パウダー状の消しゴムによるドライクリーニングにより、表面に付着している汚れの除去。裏面テープ痕の除去。サクシオンテーブルにより灰汁抜き洗浄。フォクシング(斑点)の洗浄、漂白及び中和。浸水全面洗浄漂白と中和。乾燥後、フラットニング。</p>	<p>藤田嗣治&lt;子を抱く母&gt; (1959年、リトグラフ 540×378mm)</p> <p>* 依頼先 青木絵画修復工房 青木享起 (東京都)</p>

(3) 画面洗淨作業

処置者：仲村美奈子

処置期間：2013年6月～9月

安次嶺金正展 展示作品 96点

修復処置概要：精製水による画面洗淨

## 6. 作品貸出

2013年度は、下記のとおり3件の作品について展示目的とした貸出を館外（主に美術館）へ行った。なお美術館では、借用先のファシリティーズレポートの提出と、温湿度管理に関する情報提供を求めた後に、厳正な審査の下で可否を決定している。また、作品貸出及び返却作業には梱包の段階から立ち合いをしている。

展覧会名：love：アートにみる愛のかたち

展覧会場：森美術館（東京都）

貸出期間：2013年3月15日～9月13日

貸出作品：ジャン・シャオガン＜血縁・大家族＞

展覧会名：ひろしまで観る！「森山大道」

展覧会場：ギャラリーG（広島県）

貸出期間：2013年7月23日～9月30日

貸出作品：森山 大道＜光と影20点＞（寄託作品）

展覧会名：南への風～沖縄・台湾～ 近代沖縄の美術・工芸

展覧会場：浦添市美術館（沖縄県浦添市）

貸出期間：2014年1月17日～2月16日

貸出作品：大野 麦風＜識名園＞

伊藤 清永＜紺地小＞

石川 寅治＜那覇の市場＞

（新里 義和・仲村 美奈子）

# 文化の杜共同企業体 (指定管理者)

文化の杜共同企業体概要

運営方針

組織

文化の杜共同企業体・美術館

企画アドバイザー会議

展示活動

教育・イベント活動

広報・交流事業

調査・研究等の活動

その他

## 文化の杜共同企業体概要

沖縄県立博物館・美術館の管理・運営には、開館した2007年（平成19年）11月1日から指定管理者の文化の杜共同企業体（代表・平良知二、通称「文化の杜」）があたっている。

文化の杜共同企業体は、(株) 沖縄文化の杜（代表取締役・平良知二）、(株) 沖縄タイムス社（代表取締役社長・豊平良孝）、(株) 国際ビル産業（代表取締役社長・上地宏和）の3社で構成。出資比率は代表者の(株) 沖縄文化の杜が8割、(株) 沖縄タイムス社と(株) 国際ビル産業がそれぞれ1割となっている。(株) 沖縄文化の杜は文化事業等を企画・展開し、シンクタンク的な役割も兼ねる会社として2007年1月に(株) 沖縄タイムス社の100%出資で設立した。(株) 沖縄タイムス社は新聞社として1948年7月に創立。常に県民の立場に立って沖縄の言論界をリードしつつ、戦後沖縄の文化振興の一翼を担ってきた。(株) 国際ビル産業は1967年に創設され、県内の文化施設やホテル、病院等の管理を行い、衛生・設備管理や警備などで実績がある。

この3社が連携して立ち上げた文化の杜共同企業体は、それぞれの得意分野を生かし、沖縄県立博物館・美術館の管理・運営にあたっている。指定管理の期間は、第一期が2007年11月1日から2011年3月31日までの3年5か月。第二期が2011年4月1日から2016年3月31日までの5年間。

(上地 兼恵)

## 運営方針

館の管理・運営にあたっては沖縄県立博物館・美術館の設置目的及び基本方針、管理規則等に基づき、博物館・美術館という複合施設としての利点を生かし、県民はもとより国内外からの来館者に満足していただくよう、公正・公平で開かれた館運営に努めている。

日本博物館協会は21世紀にふさわしい博物館の新しい理念として「対話と連携」を提唱し、これを管理・運営の中心に据えることが博物館の機能を向上させ、生涯学習時代の要請に応えていく道であるとしている。文化の杜においてもこのような精神に基づき、「県民主体」をモットーに、いつでも、誰でも気軽に利用できる施設を目指している。さらに県民が愛着の持てる、県民による県民のための博物館・美術館を目指している。

具体的には 沖縄の文化振興の拠点とする 創造力あふれる次世代人材育成の場とする アジアとの交流・連携、国際交流の拠点とする 「沖縄ワールド」を世界に広げる場とする 県民ぐるみの取り組み推進 の管理運営方針を掲げている。

2013年度は沖縄県立博物館・美術館の第二期目の指定管理者として3年目の年だった。過去の実績と蓄積したノウハウを存分に発揮し、県の博物館班や美術館班と緊密に連携し、文化の杜共同企業体が美術館企画ギャラリーで主催する年3つの企画展と、博物館班や美術館班が主催する企画展や特別展、沖縄県主催の沖縄県芸術文化祭等をスムーズに展開・運営する方針で臨み、成功を収めた。この結果、13年度の総入館者は53万1,344人に達し、一年間の入館者の新記録となった。

### 沖縄の文化振興の拠点とする

沖縄県の芸術文化に関する最先端の情報が集積する場であり、その機能を最大限に生かして県内外に発信するとともに、県民が自らの歴史・文化に自信と誇りを持ち、学べる文化振興の拠点とする。

### 創造力あふれる次世代人材育成の場とする

新しい時代に向けた芸術・文化を担う人材育成に努める。IT関連によるCGデザインや音楽、建築、アーバンデザイン等の空間芸術も含め、全国的、世界的にも注目されるアーティストなどを輩出する場とする。2012年度には沖縄県立芸術大学が当館のキャンパス・メンバーズ第1号となり、2013年度からは沖縄国際大学も加わった。今後とも若い世代を博物館・美術館に呼び込んでいく。

### アジアとの交流・連携、国際交流の拠点とする

沖縄は歴史的・文化的にアジア諸国との接点が多く、観光振興の面からもその利点を生かした交流・連携が求められる。2013年度はクルーズ船の乗客の誘致などに力を入れた。さらに新しく完成した那覇空港国際線ターミナルビルに当館の大きな電照看板を設置するなど外国人客の誘致に力を入れた。

### 「沖縄ワールド」を世界に広げる場とする

沖縄の独自性、固有性を大事にしながら、同時に世界の歴史・文化に高い関心を寄せる県民と歩調を合わせ、その期待に応えられる企画やイベントを展開する。「特異性から普遍性へ」「地域性から世界性へ」へと昇華して

いく目と技を磨く場とする。

### 県民ぐるみの取り組み推進

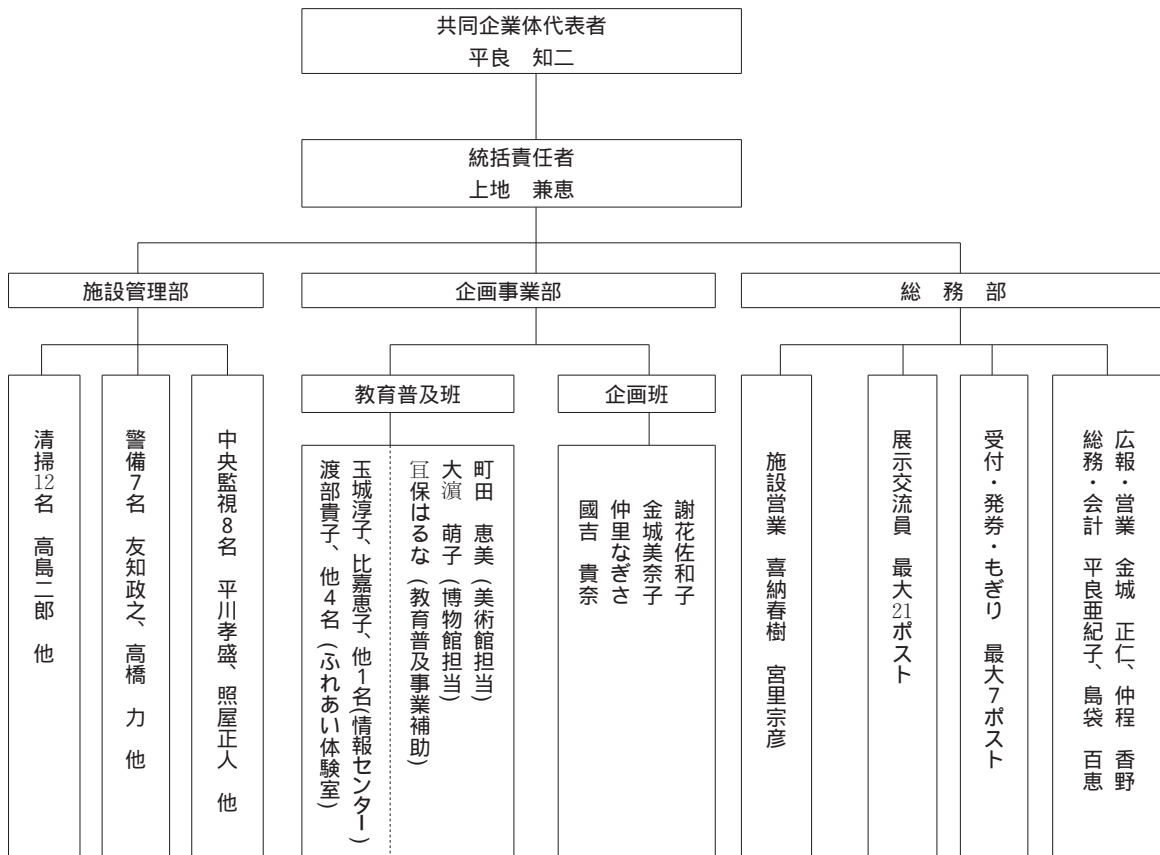
博物館・美術館の「教育普及事業」などを通して、県の学芸員とも協力して各種の講座、講演会、ワークショップなどを数多く開催し、県民のための博物館・美術館とする。また、展示会や出前講座などで積極的に館外にも飛出し、野外学習、フィールドワークなどを通して県民と館との結びつきを強め、次代を担う人材育成にも貢献する。

(上地 兼恵)

## 組 織

文化の杜共同企業体は、平良知二代表、現場責任者を上地兼恵とし、総務部、企画事業部（企画事業班、教育普及班の2班で構成）、施設管理部（警備班、設備班、美装班の3班で構成）の3部制で県立博物館・美術館を管理・運営している。

また、2007年の開館当初より、外部有識者による助言・意見交換の場としてアドバイザー会議を設置し、主に当企業体による美術館企画展などの助言を受ける機会を月1回程度開催している。



ミュージアムショップ「ゆいむい」（沖縄文化の杜運営：池宮城啓子、玉城照美、アルバイト5人）  
ミュージアムカフェ「茶花」（カフェワンオアエイトへ業務委託）

## 【職員構成】

2013年4月1日現在

班	氏名	担当業務
代表	平良知二	共同企業体の統括に関すること
統括	上地兼恵	指定管理業務の統括、総務全般、県や博物館・美術館との現場調整に関する こと
総務班	平良亜紀子	共同企業体予算管理、人事管理（発券、総合案内、展示交流員等）に関する こと
	仲程香野	総務全般、企画・受注業務等に関すること
	島袋百恵	総務補助、クーポン券やその他総務全般に関すること
	金城正仁	営業、広報に関すること
	喜納春樹	企画、施設貸出に関すること
	宮里宗彦	施設管理、県民ギャラリーに関すること
教育普及班	町田恵美	教育普及（美術館業務）に関すること
	大濱萌子	教育普及（博物館業務）に関すること
	亘保はるな	教育普及業務の補助
	玉城淳子	情報センターの管理・運営に関すること
	比嘉恵子	情報センター業務
	渡部貴子	ふれあい体験室、教育普及に関すること
企画事業班	謝花佐和子	企画展、受託業務、自主事業に関すること
	金城美奈子	企画展、受託業務、自主事業に関すること
	仲里なぎさ	企画展、受託業務、自主事業に関すること
	國吉貴奈	企画展、受託業務、自主事業に関すること
施設管理班	平川孝盛	施設管理、設備の統括に関すること
	友知政之	警備の統括に関すること
	高島二郎	清掃の統括に関すること
総合案内・発券・もぎり		来館者に対する諸対応、発券業務、観覧券のもぎりに関すること
展示交流員		展示室における監視業務、誘導、解説等に関すること
ふれあい体験室		ふれあい体験室での来館者諸対応に関すること

## 【人事異動】

2014年3月31日現在

部署	氏名	適用
転入 施設管理班	名渡山 肇	2013年9月2日付（警備班）
転出 施設管理班	平良 繁一	2013年12月1日付（警備班）
施設管理班	高島 二郎	2014年3月31日付（美装班）

## 文化の杜共同企業体・美術館企画アドバイザー会議

指定管理者主催の美術館企画展および自主企画事業などの展覧会運営についての助言や意見交換の場として、県内の有識者で構成された会議を月1回開催した。昨年度に引き続き、4名の研究者にアドバイザーをつとめてもらった。また、オブザーバーとして、館長、及び美術館副館長にも出席を依頼した。文化の杜共同企業体からは、代表、統括、企画班員、教育普及班員（美術館担当）が出席した。2013年度のアドバイザー及び開催状況は、次の通りである。

文化の杜共同企業体 美術館企画アドバイザー名簿 (2013年4月1日～2014年3月31日)

氏名		所属	職名
学識経験者	粟国恭子	沖縄文化工芸研究所 主宰	大学非常勤講師
学識経験者	大城亘武	沖縄キリスト教学院 他	大学非常勤講師
学識経験者	西村貞雄	琉球大学	名誉教授
学識経験者	波照間永吉	沖縄県立芸術大学附属研究所	教授
オブザーバー	安里進	沖縄県立博物館・美術館	館長
オブザーバー	瑞慶山昇	沖縄県立博物館・美術館	副館長兼班長

開催状況

回	月日	時間	出席者
第67回	4月15日	18:00～20:00	粟国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉、瑞慶山昇 (オブザーバー)
第68回	5月20日	18:00～20:00	粟国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉
第69回	6月14日	18:00～20:00	粟国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉
第70回	7月22日	18:00～20:30	粟国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉、瑞慶山昇 (オブザーバー)
第71回	8月28日	18:00～20:00	粟国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉、瑞慶山昇 (オブザーバー)
第72回	9月30日	18:00～20:00	粟国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉、安里進 (オブザーバー)
第73回	10月21日	18:00～19:30	粟国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉、安里進 (オブザーバー)、瑞慶山昇副館長 (オブザーバー)
第74回	11月20日	18:00～19:30	粟国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉、安里進 (オブザーバー)
第75回	12月9日	18:00～20:00	粟国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉、瑞慶山昇 (オブザーバー)
第76回	1月27日	18:00～20:00	粟国恭子、大城亘武、西村貞雄
第77回	2月24日	18:00～19:00	粟国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉、瑞慶山昇 (オブザーバー)
第78回	3月17日	18:00～19:30	粟国恭子、大城亘武、西村貞雄、波照間永吉、安里進 (オブザーバー)

(以上、五十音順、敬称略)



## ． 展示活動

### 1. 展示活動概要（美術館企画展）

指定管理 2 期目 3 年目となる本年度は、様々な観覧者層の誘客を期待して大型企画を実施した。当館では初めてとなるアニメーションと仏教美術を取り上げたほか、日本画を取り上げ、日本美術のさまざまな様相を知る機会とした。3 展示会の観覧者は70,400名、展示会予算は77,497,085円。

#### (1) 「スタジオジブリ・レイアウト展」

会 期：2013年 2月22日（金）～ 5月 6日（月）（開催日数66日）  
場 所：美術館企画ギャラリー 1、2  
観 覧 料：一般1,200（960）円、高大学生800（640）円、小中学生600（480）円  
観 覧 者 数：65,161人（1日平均987人）  
予 算 額：40,979,416円  
担当学芸員：謝花佐和子、仲里なぎさ

#### 【開催形式】

主 催：文化の杜共同企業体、沖縄県立博物館・美術館  
共 催：沖縄テレビ放送  
企画制作協力：スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館  
協 力：EPSON、ウォルト・ディズニー・スタジオ・  
          ジャパン  
後 援：沖縄県、沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK  
          沖縄放送局、ラジオ沖縄、エフエム沖縄



#### 【開催趣旨】

スタジオジブリ・三鷹の森ジブリ美術館全面協力のもと、「風の谷のナウシカ」から「コクリコ坂から」まで、宮崎駿監督直筆のレイアウトを中心に高畑勲・宮崎駿両監督がジブリ以前に手掛けた作品も含め、約1,300点のレイアウトを公開、アニメーションの魅力が詰まった「レイアウト」を読み解きながら、世界に誇るスタジオジブリの創造の秘密に迫る。

#### 【展示内容】

初期作品から劇場公開最新作「コクリコ坂からまで」の「レイアウト」約1300点を時系列に展示した。「レイアウト」についての解説や、それらを基に製作した動画を流すなどし、レイアウトの魅力をわかり易く伝える展示方法に努めた。

#### 【関連催事】

##### 内覧会

日 時：2月21日（木） 14：00～15：30 場 所：企画ギャラリー内  
招 待 者：県内マスコミ各社（テレビ、ラジオ、コミュニティFM、ラジオパーソナリティほか）、プレイ  
          ガイド関係者（TSUTAYA、ジブリ関連商品取り扱い販売店ほか）

##### 開会式

日 時：2月22日（金） 9：15～9：30  
場 所：企画ギャラリー前  
参 加 者：星野康二（株式会社スタジオジブリ 代表取締役社長）、城朋子（日本テレビ放送網株式会社 上  
          席執行役員コンテンツ事業局長）、町田宗浩（沖縄テレビ放送株式会社 代表取締役社長）、千木  
          良芳範（沖縄県立博物館・美術館 博物館副館長）、瑞慶山昇（沖縄県立博物館・美術館 美術館  
          副館長）、平良知二（文化の杜共同企業体 代表）  
招 待 者：協賛各社、県内美術関係者、県内マスコミ各社ほか

「『もののけ姫』はこうして生まれた。」DVD 特別上映会

日 時：3月 2日（土）、3月16日（土） 10：00～18：00 同内容で2回実施

場 所：講堂

内 容：「もののけ姫」の制作過程に迫った約6時間40分（第1章10：00～12：12、第2章13：10～15：27、第3章15：50～18：20）の完全ドキュメンタリーを一挙上映した。両日とも最後まで視聴した参加者が10数名いたこと、またジブリ作品の制作から広報展開の全方向的な取り組みを知る良い機会となった。

参 加 者：3月2日 129人、3月16日 168人、(当日先着200人、入場無料)

#### エントランスコンサート

日 時：3月20日（水・祝）、4月20日（土）  
14：00～、16：00～（1日2回公演）

場 所：エントランス

演 奏 者：ロゼカルテット（第1ヴァイオリン 阿波根由紀、  
第2ヴァイオリン 吉川絵里菜、ヴィオラ 大嵩有紀、  
チェロ 川崎達）

内 容：スタジオジブリ作品の楽曲を各回3～4曲を演奏し、  
作品を思い出しながらレイアウト展を鑑賞できるような雰囲気づくりを促した。

参 加 者：3月20日 計250人（14時：150人、16時：100人）

4月20日 計220人（14時：120人、16時：100人）

同内容を4回実施



#### 特別講演会「『千と千尋の神隠し』制作の舞台裏に迫る」

日 時：4月12日（金）18：00～20：00

場 所：講堂

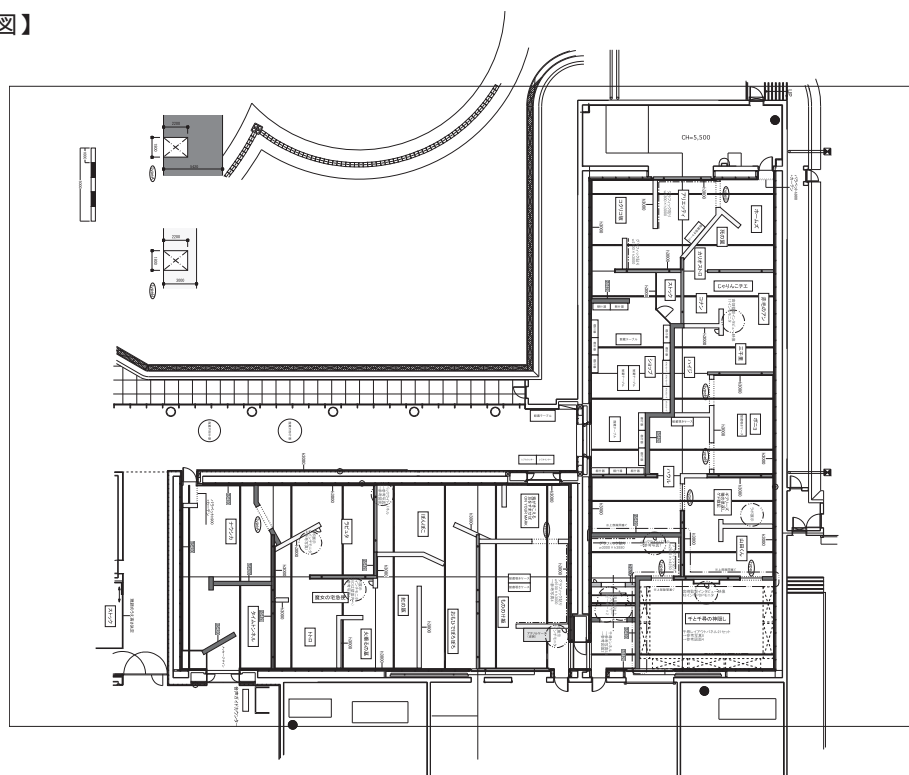
講 演 者：田中千義（スタジオジブリ イベント事業室 プロデューサー）  
西岡純一（三鷹の森ジブリ美術館 事務局長）

司 会：平良いずみ（OTV アナウンサー）

内 容：「千と千尋の神隠し」をテーマにスタジオジブリのアニメーション映画の制作関係者によるトークショーを実施した。普段は聞くことのできない制作過程のエピソードなどを披露し、臨場感のある内容になった。平日にもかかわらず、アニメーション制作に関心のある学生や若年層などが多数来場した。

参 加 者：152人（定員200人、事前申込制で定員に達し申込み締切）

#### 【展示平面図】



## (2) 「平山郁夫展 大唐西域画への道」

会 期：2013年5月15日（水）～6月23日（日）（開催日数：35日）  
場 所：美術館企画ギャラリー1、2  
観 覧 料：一般1000円、高校・大学生600円、小・中学生300円  
観 覧 者 数：7,511人（1日平均214.6人）  
予 算 額：11,402,129円  
担当学芸員：國吉貴奈

### 【開催形式】

主 催：文化の杜共同企業体 / 沖縄県立博物館・美術館  
特 別 協 力：沖縄タイムス社  
企 画 協 力：産経新聞社  
協 賛：株式会社国建、オリオンビール株式会社、沖縄高速印刷株式会社、昭和製紙株式会社  
後 援：NHK 沖縄放送局、琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送、エフエム沖縄、ラジオ沖縄、  
タイフーン fm

### 【開催主旨】

2009年、優れた作品の数々と国際的な文化財保護活動で知られる日本画家・平山郁夫が逝去した。平山は29歳のときに発表した《仏教伝来》で評価を高め、以来仏教は画業を貫く重要なテーマとなった。またシルクロードに多大な関心を寄せ、150回におよぶ取材を敢行したことは、インドから仏教を伝えた玄奘三蔵の苦難の道を追体験することにもなった。こうしたたゆみない取材と思索の積み重ねは、2000年に薬師寺玄奘三蔵院の「大唐西域壁画」に結実した。

本展覧会では、壁画の4分の1の大きさで制作された《大唐西域画》を中心に、佐川美術館が所蔵する作品のなかから本画と素描76点を厳選して展示した。

### 【展示内容】

平山郁夫は、仏教がインドで生まれ、アジア各地に伝播した軌跡をたどってシルクロードを旅し、絵画を生み出してきた。生涯にわたるその旅は、求法の旅を敢行した玄奘三蔵の道のりを追体験することにもなった。本展覧会では、平山の画業の集大成ともいえる玄奘三蔵をテーマにした大作《大唐西域画》を中心に、インドから西アジア、中央アジア、中国、韓国、日本と仏教が伝わった地域を描いた作品が並ぶ構成とした。仏教の道と玄奘三蔵の道、そして平山の取材の道が重なるような内容とした。章構成は「第1章 仏教生誕の地インド・カンボジア」、「第2章 東西交流の道～西アジア・中央アジア・中国～」、「第3章 仏教文化の精華～日本・韓国～」、「第4章 大唐西域画～玄奘三蔵、求道の軌跡～」とした。

展示作品：76点

### 【関連催事】

#### 開会式

日 時：5月15日（水） 9：15～9：30

場 所：企画ギャラリー入口前

出 席 者：50人

内 容：館長あいさつ / 安里進（沖縄県立博物館・美術館館長）

主催者あいさつ / 平良知二（文化の杜共同企業体 代表）

来賓あいさつ / 栗和田榮一（公益財団法人佐川美術館館長）

テープカット：平山美知子（平山郁夫シルクロード美術館館長）、栗和田榮一、安里進、平良知二

#### 内覧会

日 時：5月15日（水） 9：30～10：00

場 所：企画ギャラリー

案 内：國吉貴奈（展覧会担当学芸員）

参 加 者：38人

キュレータートーク 美術館の教育普及事業として実施

日 時：5月25日（土） 11：00～11：30



場 所：企画ギャラリー  
案 内：國吉貴奈（展覧会担当学芸員）  
参 加 費：当日有効の観覧券が必要。  
内 容：おもな展示作品を取り上げ、その背後にある平山郁夫の活動の紹介やテーマ解説を行った。  
参 加 者：約20人

シルクロード演奏会「コウサカワタルの絹道音楽」

日 時：6月8日（土） 13：15～13：45  
場 所：沖縄県立博物館・美術館 エントランス  
出 演：コウサカワタル（音楽家）  
内 容：平山郁夫も描いたインドの楽器サロッドをメインに、沖縄の楽器三線も使い、コウサカワタル氏が自身の楽曲を4曲演奏した。観覧無料。  
参 加 者：約60人

実技講座「日本画ワークショップ」 美術館の教育普及事業として実施

日 時：5月18日、5月25日、6月1日、6月8日（いずれも土曜日） 10：30～12：00  
場 所：博物館実習室  
講 師：喜屋武千恵（日本画家）  
参 加 費：2,500円  
内 容：沖縄ではあまり馴染のない日本画に親しんでもらうため、技法を学ぶことを目的に、4回連続で講座を開いた。  
参 加 者：15人（定員15人）

講演会「平山郁夫とシルクロード」 美術館の教育普及事業として実施

日 時：6月9日（土） 14：00～15：30  
場 所：博物館講座室  
講 師：入澤崇（龍谷ミュージアム館長、龍谷大学文学部教授）  
内 容：作品を見るだけではわからない平山郁夫の文化財保護の活動について、同時期に龍谷ミュージアムで平山郁夫展を開催している同館館長の入澤崇氏に話していただいた。入場無料。  
参 加 者：107人（定員100人）

演奏会「閩琉音楽鑑賞会 音でつづる大唐西域の調べ」

日 時：6月16日（土） 13：30～ / 15：30～ 2回公演  
場 所：エントランス  
演 奏：閩琉音楽研究会  
主 催：沖縄県立美術館支援会happ  
協 力：文化の杜共同企業体  
内 容：展覧会の世界をより深く味わってもらうため、閩琉音楽研究会をお呼びして、中国やシルクロードにまつわる音楽を演奏してもらった。観覧無料。  
参 加 者 13：30～ / 約100人、15：30～ / 約60人

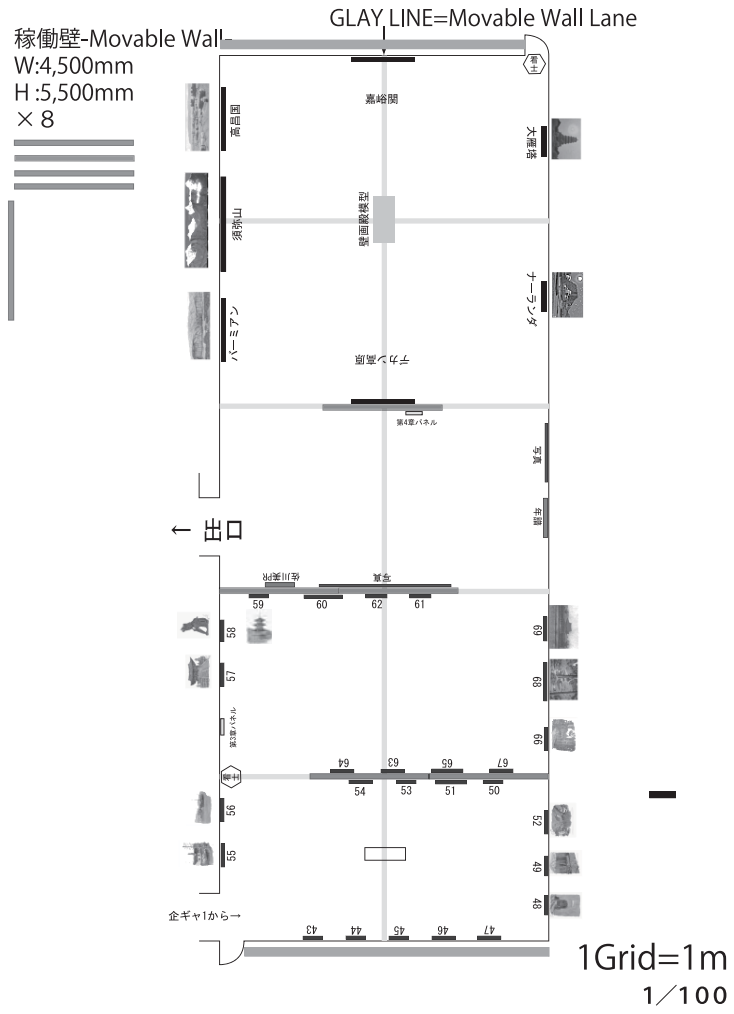


演奏会「二胡によるシルクロード演奏会」

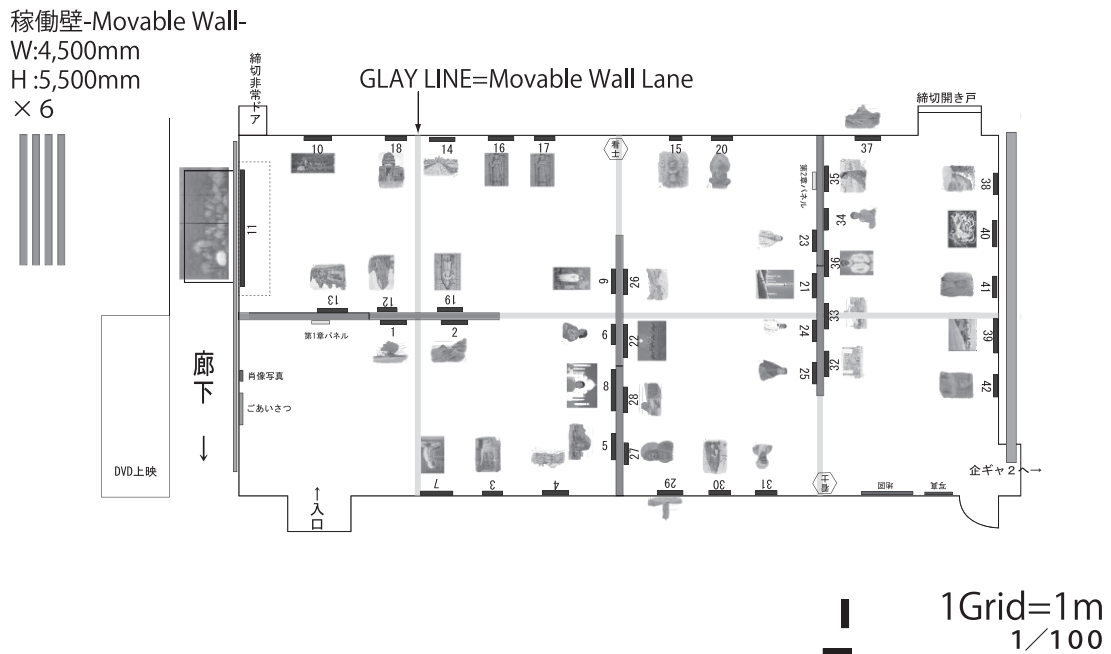
日 時：6月21日（金） 16：00～ / 18：00～ 2回公演  
場 所：エントランス  
演 奏：川崎達（御座楽復元演奏研究会会員、琉球新報カルチャーセンター講師、南風原カルチャーセンター講師）  
内 容：チェロ奏者でもある川崎氏に、二胡を使って展覧会のイメージに合わせた中国の音楽を演奏してもらった。観覧無料。  
参 加 者：16：00～ / 約70人、18：00～ / 約30人

【展示平面図】

企画展示室 2 -TEMPORARY EXHIBITION ROOM 2-



企画展示室 1 -TEMPORARY EXHIBITION ROOM 1-



(3) 「寛永再建三百八十年記念 京都 清水寺展」

会 期：11月2日(土)～12月8日(日) (開催日数：33日間)  
場 所：企画ギャラリー 1、2  
観 覧 料：一般1,200円、高校・大学生800円、小・中学生600円  
観 覧 者 数：20,352人 (1日平均616.7人)  
予 算 額：24,984,008円  
担当学芸員：仲里なぎさ、謝花佐和子

【開催形式】

主 催：文化の杜共同企業体 / 沖縄県立博物館・美術館 / 北法相宗大本山 音羽山清水寺  
共 催：沖縄テレビ放送  
特別協賛：琉球銀行  
特別協力：沖縄県教職員共済会  
協 賛：沖縄ファミリーマート、国建  
後 援：沖縄県教育委員会、沖縄タイムス社、琉球新報社、NHK 沖縄放送局、沖縄ケーブルネットワーク、ラジオ沖縄、エフエム沖縄、タイフーンfm、FMレキオ、花園大学

【開催趣旨】

宝亀九年(778年)、奈良小島寺の延鎮上人は観音の夢のお告げによって清水を求め、京都の音羽の滝をたずねた。清水寺は、延鎮上人がその地で出会った行叡居士から授けられた霊木に千手観音像を彫り、祀ったことから開基された。

「清水の舞台」、「音羽の滝」で特に有名な清水寺は、京都の名所としてのみならず、ユネスコ世界遺産に登録され国内外から多くの参詣者を集めている。しかし、これまでその歴史や寺宝はあまり知られていなかった。本展では、頭上に両手を伸ばした「清水型千手観音」とも呼ばれる本堂十一面千手観世音菩薩立像(御本尊御前立)をはじめ、本堂や奥の院などの仏像や曼荼羅、屏風、書画などの貴重な寺宝55点のほか資料などを紹介し、清水寺の全貌に迫った。沖縄初の大規模な仏教美術の展覧会となった。

【展示内容】

仏像や曼荼羅、屏風、書画などの寺宝55点と資料のほか、パネル展示「琉球・沖縄における仏教文化」では、戦前の寺院の写真11点と「しまくとぅばのなかの仏教用語」「琉球・沖縄の仏教略年表」を展示した。

【関連催事】

開眼法要

日 時：11月2日(土) 9:30～10:15  
場 所：企画ギャラリー内  
内 容：開会式終了後、清水寺僧侶の先導で展示室内に入場し、本堂と奥の院の御本尊御前立の前で法要を執り行い、場内を練り歩いて出口から退場して終了した。開館時から多くの見物客が訪れた。  
参 加 者：約200人(定員なし)



森清範貫主によるご揮毫

日 時：11月2日(土) 11:00～11:03  
場 所：エントランス  
揮 毫：森清範師  
内 容：日本漢字能力検定協会主催の「今年の漢字」の揮毫でおなじみの森清範貫主に、事前公募した「あなたの好きな漢字」104件79文字のなかから一番応募が多かった漢字「和」を揮毫してもらった。揮毫した作品は、会期中、展示室入り口に展示した。  
参 加 者：約300人(定員なし)

特別講演会「『清水寺展』をことほぐ」

日 時：11月2日(土) 14:00～15:00  
場 所：講堂、博物館講座室(第二会場)

内 容：本展開催を記念して開催した特別講演会では、講師に森清範貫主を招き、清水寺の歴史や本展展示の寺宝、仏教について、一般向けにわかりやすい内容で紹介した。

参 加 者：239人（定員200人、事前申込、当日参加100人）



ギャラリートーク

日 時：11月16日（土） 11：00 ～ 12：00

場 所：企画ギャラリー内

講 師：仲里なぎさ（展覧会担当学芸員）

参 加 者：38人



清水寺僧侶による解説会（各回75分～105分）

日 時：11月19日（火） 16：00 ～

20日（水）～22日（金） 11：00 ～ / 14：00 ～

22日（金） 10：00 ～

場 所：企画ギャラリー内

講 師：森清顕師（清水寺執事補）

内 容：11月19日から22日まで合計8回、追加開催した。清水寺の歴史や仏像、その他の寺宝について1回1時間余りの内容で紹介したほか、開館中は本展展示室内に留まり、観覧者に対して随時解説したり質疑に応じたりした。

参 加 者：19日16：00 ～ 38人、20日11：00 ～ 38人 / 14：00 ～ 53人、21日11：00 ～ 58人 / 14：00 ～ 55人、22日10：00 ～ 約30人 / 11：00 ～ 33人 / 14：00 ～ 87人（各回定員なし）

清水寺学芸員によるギャラリートーク

日 時：11月23日（土） 14：30 ～ 16：00 / 17：00 ～ 18：30、24日（日） 10：00 ～

11：30 / 14：00～16：00

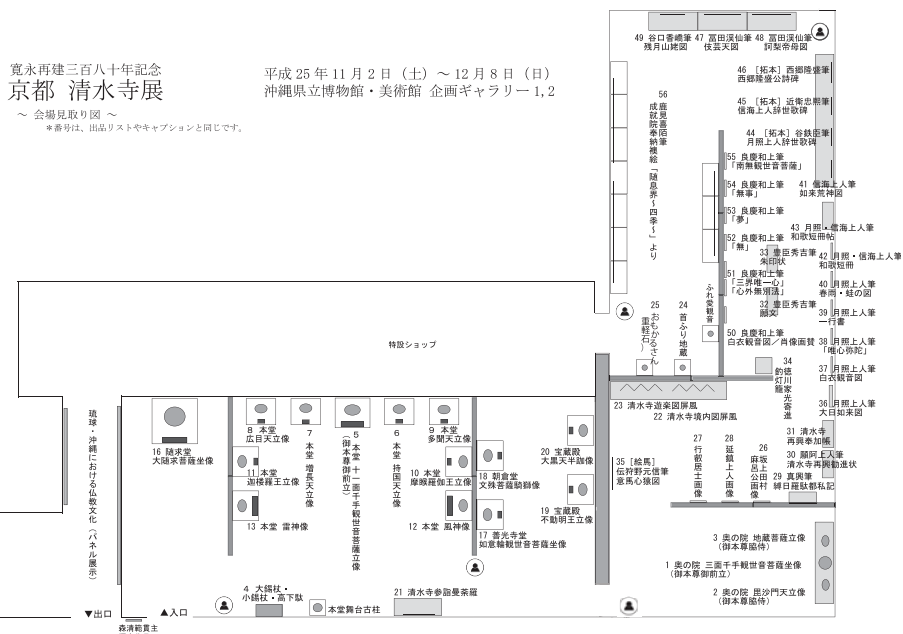
場 所：企画ギャラリー内

講 師：坂井輝久（清水寺学芸員）

内 容：11月23日から24日まで合計4回、追加開催した。清水寺の歴史や仏像、その他の寺宝について1回1時間半の内容で紹介した。

参 加 者：23日14：30 ～ 119人 / 17：00 ～ 41人、24日10：00 ～ 62人 / 14：00 ～ 103人（各回定員なし）

【展示平面図】



## 2. 自主企画事業

### (1) 「マリー・アントワネット物語展」

会 期：2013年2月8日（金）～4月14日（日）（開催日数58日）  
場 所：博物館企画・特別展示室  
観 覧 料：一般1,200円、高校・大学生800円、小・中学生400円、池田理代子特典付きチケット1,600円  
観 覧 者 数：43,528人（1日平均750人）  
予 算 額：29,311,590円  
担当学芸員：金城美奈子

#### 【開催形式】

主 催：文化の杜共同企業体 / 沖縄タイムス社 / 東映  
特別協賛：りゅうぎんグループ＝(株)琉球銀行 / (株)琉球リース / (株)りゅうぎんディーシー / (株)リウコム  
協 賛：株式会社ざまみダンボール  
協 力：カルナヴァレ博物館、ナポレオン財団、ブルトウイユ城、池田理代子プロダクション、エールフランス航空、ヤマトロジスティクス株式会社  
後 援：在日フランス大使館、沖縄県、沖縄県教育委員会、琉球放送、琉球朝日放送、NHK 沖縄放送局、FM 沖縄、沖縄フランス協会、沖縄観光コンベンションビューロー

#### 【開催主旨】

王妃として華やかな宮廷生活を送りながらも、妻として母として悩み、最後は一人の女性としてフランス革命の露と消えたマリー・アントワネット。本展ではその激動の生涯を作品でたどるとともに、洗練されたライフスタイルやファッションに代表される彼女の愛した“美”に焦点をあて、絵画や装飾品など約120点を展示。西洋の芸術文化に触れる機会が少ない沖縄において、ロココ美術後期の絵画やフランス革命期の史料などを紹介し、フランスの芸術、歴史、文化に対する造詣を深める機会とした。

#### 【展示構成】

本展はプロローグ、第1章「ヴェルサイユの華～フランスが恋した王妃～」、第2章「彼女の愛した美～マリー・アントワネット様式～ / 彼女の愛した美～ファッション～」、第3章「はかなく散った永遠の王妃」で構成。絵画や版画、装飾品、アントワネットが愛用した遺品等を通して、18世紀フランスの宮廷文化やその時代背景を紹介した。またファッションリーダーとして注目された彼女のファッションを当時の史料を基に再現し、撮影可能なコーナーとしてお客様に体感してもらおう展示も行った。



復元ドレスの展示

#### 【関連催事】

ワンコインで楽しもう！ひなまつりワークショップ

日 時：3月2日（土）・3月3日（日） 1日3回実施

11：00～12：00 / 13：30～14：30 / 15：30～16：30（定員各回15人）

参 加 費：500円 対象：小学生以上（ただし、低学年は保護者同伴）、事前申し込み制

#### a) “アントワネットの愛したバラと小花のドライフラワーボール”

場 所：博物館実習室

講 師：TSUBOMI・宮崎真己（フラワーコーディネーター）

内 容：ドライフラワーのバラや小花・木の実を使って作るフラワーボール。

参 加 者：1日目・1回目16人 / 2回目16人 / 3回目16人

2日目・1回目16人 / 2回目16人 / 3回目16人 合計96人

#### b) “ロココの女王アントワネット風ビーズアクセサリー”

場 所：博物館講座室

講 師：Foglia・喜友名葉弓（ビーズアクセサリー講師）

内 容：ピンク、パープル、イエロー、ホワイト、お好みのバラを選んで、ビーズのオリジナル指輪ま



たはチャームを作る。

参加者：1日目・1回目18人 / 2回目18人 / 3回目17人  
2日目・1回目17人 / 2回目19人 / 3回目19人  
合計108人

c) “アントワネットの愛したスイーツで作る・マカロンストラップ”

場所：博物館講座室  
講師：Sweet Heart Tiara・新里玲香（フェイクスイーツデコ作家）  
内容：粘土でつくるフェイクスイーツで可愛いマカロンストラップを作る。  
参加者：1日目・1回目15人 / 2回目15人 / 3回目17人  
2日目・1回目17人 / 2回目16人 / 3回目17人  
合計97人



ドレスアップしてマカロンストラップづくりに参加する女の子

宮廷舞踏「オールドタイムダンス」

日時：3月10日（日） 1回目14：00～ / 2回目16：00～  
2回公演  
場所：博物館・美術館1階 エントランスホール  
出演：(財)日本ボールルームダンス連盟東部総局沖縄県支局  
内容：18世紀に行われた宮廷舞踏会の解説を行いながら、実演披露を行った。鑑賞無料。  
参加者：1回目 約600人 / 2回目 約500人（定員なし）



エントランスホールで行われた華麗な宮廷舞踊

特別講座「マリー・アントワネットと18世紀の美術」

日時：3月17日（日）14：00～16：00  
場所：博物館講座室  
講師：浅野春男（沖縄県立芸術大学教授）  
内容：アントワネットの生涯にふれながら、“ロココ様式”や“新古典主義”など、18世紀フランス美術をめぐる動向を講演。  
参加者：85人（定員100人） 当日先着順

“ロココ・ファッションコンテスト”

実施日：3月23日（土）、24日（日）  
投票期間：3月26日（火）～31日（日）  
場所：マリー・アントワネット物語展会場入り口  
内容：ロココ・ファッション（コスプレ）に身を包んだ来場者がエントリーし、来場者の投票により、マリー・アントワネット大賞、ロココ賞、エレガント賞、ヴェルサイユ賞、マリー・テレーズ賞の各入賞者を決定した（会場出口掲示、HPにて公表）。  
参加者：20人



長蛇の列で賑わった蚤の市

オープンカフェ&蚤の市

日時：3月31日（日）11：00～17：00  
場所：正面入り口回廊（雨天のため回廊で実施）  
生演奏出演：Yugen11：30～ / 14：30～、グリーンノート（Guitar, 知念嘉哉、Bass, ジェフ蔵方、drums, 砂川アキヒロ）13：00～ / 16：00～ 4ステージ  
出店者：物販ブース / VINTAGE YARD（アンティーク雑貨）、20世紀ハイツ（アンティーク雑貨）、Ro cq：69（フランス雑貨）、Detail full（ドライフラワー）、atelier MAY（雑貨）、be clad.（アクセサリー）、Island Aroma（手作り石鹸）、Asian（ネイル）、COQU（雑貨・アクセサリー）、Gallery Grace（西洋アンティーク） 飲食ブース / Jacaranda Blue（チョコレート&ケーキ）、mon chouchou（焼き菓子・チーズケーキ）、patisserie naruru（洋菓子）、Le Bistro PETIT MARGURY

(フランス料理)、YANBAR (フランスお惣菜と自家製パン)、LE VILLAGE Galette et crepe (ガレット)、プカプカプーカ (ソーセージ)、L'ORANGE (焼き菓子)、Soup on ' (スープ&ベーグル)、Wine&interior CLASSICO (ワイン)

内 容：18世紀フランスのファッションリーダー・アントワネットにちなみ、県内で話題のスイーツやアンティーク雑貨を集めた一日限りの“オープンカフェ&蚤の市”を開催。

参 加 者：約5,905人 (総入館者数)

マリー・アントワネット物語展 愛の歌コンサート

日 時：4月6日(土) 13:30~14:00 / 15:00~15:30 / 16:30~17:00 4ステージ

場 所：博物館ホワイエ

出 演：阿波根由紀(第1ヴァイオリン)、大嶽有紀(ヴィオラ)、吉川絵里菜(第2ヴァイオリン)、川崎達(チェロ)、知念利律子(ソプラノ)

内 容：NPO法人沖縄県立美術館支援会happ主催により、モーツァルトなど18世紀に流行したクラシック音楽の演奏会を行った。

主 催：NPO法人沖縄県立美術館支援会happ

協 力：文化の杜共同企業体 / 沖縄タイムス社 / 東映

後 援：那覇新都心通り会

参 加 者：各回約50人

#### 【コラボレーション企画】

French Promotion 2013~ヴェルサイユの煌き~

実 施 期 間：2月8日(金)~3月31日(日) 場 所：ザ・ナハテラス

内 容：ホテルレストランにて、マリー・アントワネットからイメージしたフレンチ料理、スイーツ、トリートメントエステ、カクテル等を提供。展覧会チケットを組み合わせた宿泊プランも提供した。

メルキュールホテル沖縄那覇特別プラン

実 施 期 間：2月8日(金)~4月14日(日) 場 所：メルキュールホテル沖縄那覇

内 容：ホテルレストランにて、マリー・アントワネットが愛したお菓子「クグロフ」や「マカロン」を取り入れたアフタヌーンティーセットを提供。展覧会チケットを組み合わせた宿泊プランも提供した。

映画「マリー・アントワネットに別れを告げて」

実 施 期 間：3月2日(土)~4月5日(金)

場 所：シネマスQ(3月2日(土)~3月15日(金))、シネマパレット(3月16日(土)~4月5日(金))

内 容：同展覧会の半券提示で映画料金が200円割引、また映画の半券提示で展覧会観の当日券が2割引となる相互割引を実施した。

#### 【展覧会特典】

ドレスコード特典“ロココといえぱりボン”

実 施 期 間：2月8日(金)~2月28日(木)

内 容：期間中にリボンをつけてご来場された方にはオリジナル缶バッジをプレゼントした。

参 加 者：1,308人

バレンタイン&ホワイトデーカップル特典

実 施 期 間：2月9日(土)~2月11日(月) 参加組数：396組

期 間：3月9日(土)~3月10日(日) 参加組数：213組

内 容：期間中にカップルで来場された方にホテルランチ券等の景品が当たる抽選会を実施した。

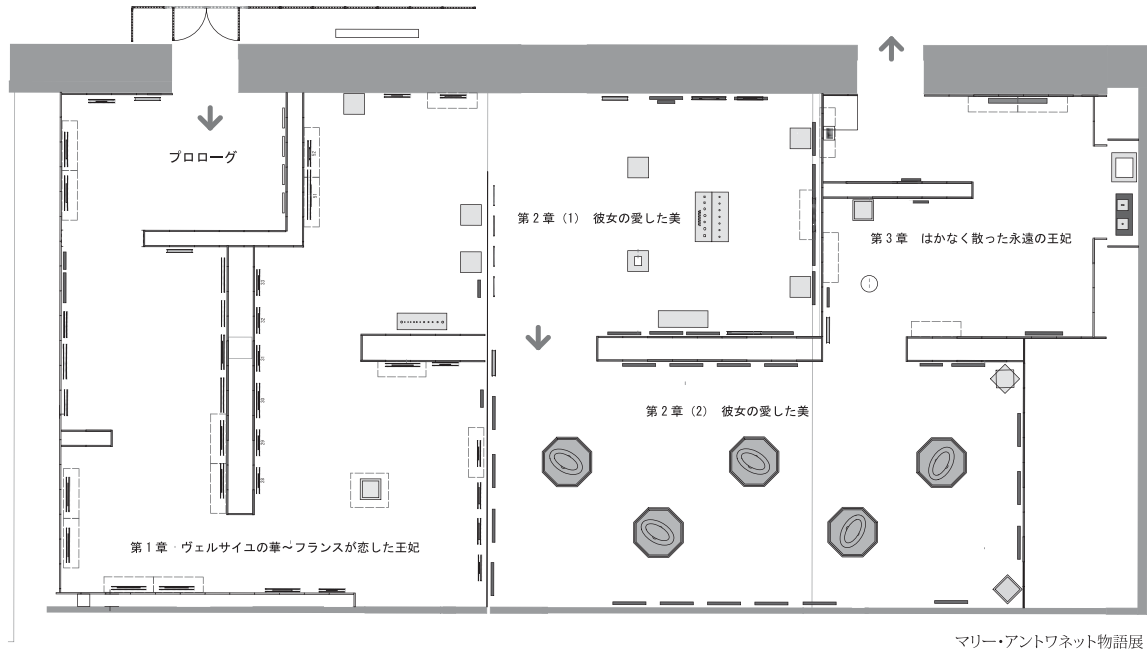
小中学生ぬりえ特典

実 施 期 間：2月8日(金)~4月14日(日)

内 容：期間中に小中学生用のチラシについているぬりえに色を塗って来場された方に、オリジナル缶バッジプレゼントを実施。ぬりえは回廊に提示した。

参 加 者：453人

## 【展示平面図】



## (2) 「ジミー大西作品展 - 挑戦と革新 - 」

会 期：7月13日（土）～9月1日（日）（開催日数44日）  
場 所：美術館企画ギャラリー1・2  
観 覧 料：一般800円、高校・大学生600円、小・中学生400円  
観 覧 者 数：45,725人（一日平均1,039人）  
予 算 額：35,158,125円  
担当学芸員：金城美奈子

## 【開催形式】

主 催：文化の杜共同企業体 / 沖縄タイムス社  
企 画 制 作：パステルアート  
企 画 協 力：よしもとクリエイティブ・エージェンシー  
協 賛：沖縄銀行 / 沖縄高速印刷(株) / 沖縄ディーエフエス(株)  
後 援：沖縄県、沖縄県教育委員会、琉球放送、琉球朝日放送、NHK 沖縄放送局、FM沖縄

## 【開催主旨】

希有な色彩感覚から生み出されるエネルギーあふれる作品群から「色の魔術師」とも称されるジミー大西。本展では、初公開となる絵本原画を中心に、今までの代表作から最新作まで約120点を展示。自由な発想で想いのままに描いた絵画作品からデザイン画・立体作まで、ジミー大西の多彩な創作活動を堪能できる展覧会。

## 【展示内容】

本展は第1章「絵本原画」、第2章「デザイン」、第3章「進化の過程」の3つの章で構成。絵本・デザインの原画や絵画作品を通して、多彩な才能を開花させたジミー大西の彩り豊かな作品世界を紹介した。また、本展ではグッチ新宿店のウィンドウディスプレイを飾った全長8メートルのオブジェ「大地の息吹き」を特別出品した。

## 【関連催事】

イベント「巨大動物づくり」  
日 時：7月6日（日） 9：00～15：00  
場 所：エントランスホール



「大地の息吹き」を解説するジミー大西

協 力：KBC 学園専修学校インターナショナルデザインアカデミー  
内 容：ダンボールを積み上げて、オリジナルの巨大動物をつくる。  
参 加 費：無料、事前予約制  
参 加 者：19人（定員30人） 対象：小学4年～6年生

#### ジミー大西サイン会

日 時：7月13日（土） 14：00～15：00  
場 所：エントランスホール  
参 加 者：150人（定員対象商品購入者先着100人）  
サプライズ演出として、ジミー大西による歌と一五一会の演奏が行われた。



サイン会の様子

#### 「砂と色あそび～グラスサンドアート～」

日 時：7月15日（月・海の日） 11：00、14：00 2回実施  
場 所：県民・子どもアトリエ  
講 師：砂あしび（グラスサンドアートジャパン）  
参 加 費：500円、事前予約制  
内 容：カラフルな色砂を積み重ねて、透明なグラスの中に絵を描く。  
参 加 者：午前20人、午後22人 合計42人（定員各回20人） 対象：5歳以上ならどなたでも可（ただし、低学年は保護者同伴）

#### 「絵本作り（連続講座）」

日 時：7月20日（土）、28日（日） 14：00～16：00  
場 所：県民・子どもアトリエ  
講 師：宜壽次美智（グラフィックデザイナー）  
参 加 費：1,000円、事前予約制  
内 容：ストーリー考案から製本まで、2回の講座でオリジナル絵本を完成させる。  
参 加 者：10人（定員16人） 対象：一般（親子での参加可）

#### 「カラフルキャンドル作り」

日 時：8月3日（土） 10：00～17：00  
場 所：エントランスホール  
講 師：こゆんキャンドル  
参 加 費：500円～1500円（好きなコースから選ぶ）、開催時間中、随時参加受け付け  
内 容：ピンク、黄色、緑、バラ、魚、貝殻などのカラフルなパーツを組み合わせて、キャンドルをつくる。  
参 加 者：93人（定員なし） 対象：どなたでも可（低学年は保護者同伴）、開催時間中、随時参加受け付け

#### 「子どものための色彩講座「色の実験室」」

日 時：8月4日（日） 10：00～12：00、14：00～16：00 2回実施  
場 所：県民・子どもアトリエ  
講 師：山川さやか（画家）  
参 加 費：500円、事前予約制  
内 容：三原色【青、赤、黄】+白、黒を使って自分だけの色を作る。  
参 加 者：午前19人、午後20人 合計39人（定員各回20人）  
対象：幼稚園児～小学低学年



ジミー大西作の絵本に聞き入る子どもたち

#### 「絵本読み聞かせ」

日 時：7月27日（土）、8月10日（土）、8月24日（土）  
11：00～、15：00～ 2回実施  
場 所：企画ギャラリー出口スペース  
読み聞かせ：沖縄県子どもの本研究会

- 参加費：ジミー大西展当日有効のチケットが必要  
 参加者：7月27日（土）午前の部30人、午後の部38人  
 8月10日（土）午前の部41人、午後の部53人  
 8月24日（土）午前の部58人、午後の部44人

【特別企画】「こんな動物、いたらいいな」

場所：企画ギャラリー出口廊下

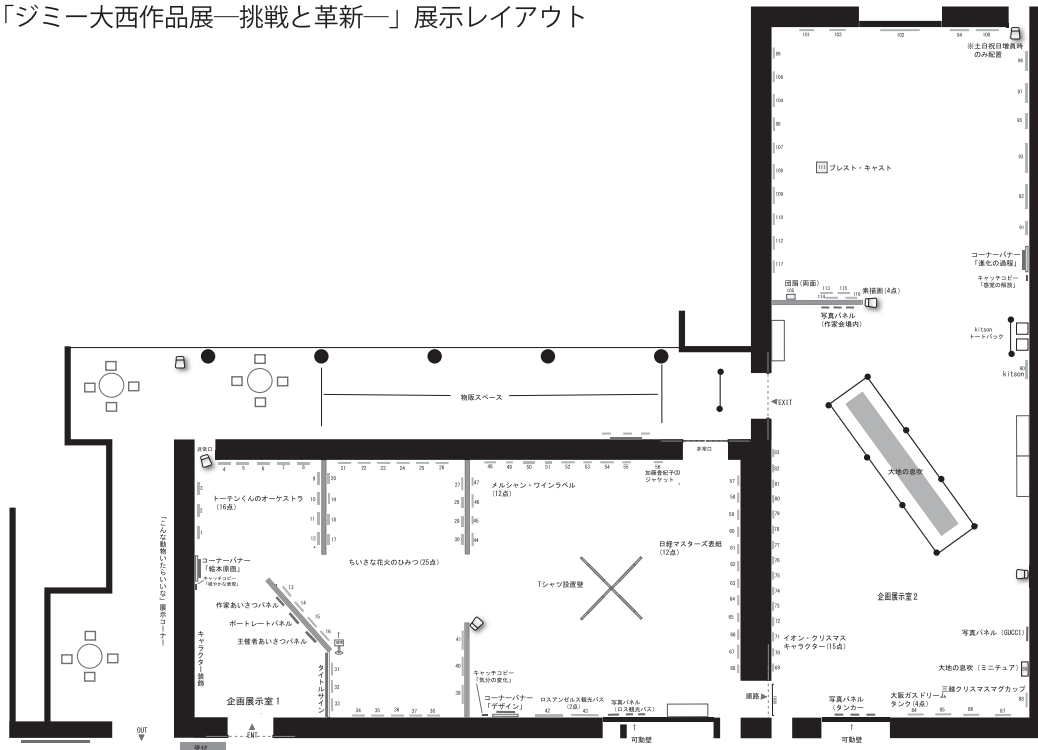
内容：会場出口にお絵かきコーナーを設置し、会場を訪れた子どもたちに想像した動物の絵を描いてもらった。作品は会期中廊下壁面に展示した。（約760点）



「こんな動物、いたらいいな」展示風景

【展示平面図】

「ジミー大西作品展—挑戦と革新—」展示レイアウト



教育・イベント活動

当企業体の教育普及担当および企画担当の企画立案によるプログラムで、博物館・美術館のファンの育成などを目的に気軽に足を運べるような参加しやすいプログラムを実施し、博物館・美術館班によるプログラムとの差別化を図り実施した。

1. ワークショップ等

(1) ふれあい体験室ワークショップ

ふれあい体験室における、体験キットの充実・発展を目的に、毎週土曜日に実施している親子対象のワークショップ。参加特典として、講座内容に関するこども向けひとくちコラムを掲載した「博士カード」の配布を行った。

実施日：毎週土曜日 10：00、10：30、11：00、11：30（1日4回実施）

10月～12月 10：00、10：45、11：30（1日3回実施）

場所：ふれあい体験室前エントランスホール

講師：渡部貴子・ふれあい体験室スタッフ（文化の杜）

### 「ふれたい博士のてづくりおもちゃ」

体験キット 19 「いろいろな玩具」から、アダン葉細工の「馬グウー・カエル・星コロ・ハブグウー」をカラフルな色画用紙やソフトテープで作製した。

実施日：4月6日(土)、13日(土)、20日(土)、27日(土)  
5月4日(土)、11日(土)、18日(土)、25日(土)  
6月1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土) 29日(土) 休館

参加費：100円

参加者：330人(開催日数12日/1日平均28人)

### 「ふれたい博士の封入標本」

体験キット 2 「ちいさな生き物の大きな仕事」から、「サメの歯の化石・サンダンカ(植物)・ホラシノブ(植物)・星砂」をプラスチック樹脂で固め、「封入標本」を作製した。

実施日：7月6日(土)、13日(土)、20日(土)、27日(土)  
8月3日(土)、10日(土)、17日(土)、24日(土)、  
31日(土)、9月7日(土)、14日(土)、21日(土)、  
28日(土)

参加費：100円

参加者：641人(開催日数13日/1日平均49人)

### 「ふれたい博士の小さなパーキづくり」

体験キット 17 「いろいろな道具」から、竹で編んだ背の低いカゴの「パーキ」を実物より1/4の大きさで、竹の代わりにPPバンド(梱包用テープ)を用いて作製した。

実施日：10月12日(土)、19日(土)、26日(土)  
5日(土)は台風接近の為、休館となり中止  
11月2日(土)、9日(土)、16日(土)、23日(土)、  
30日(土)、12月7日(土)、14日(土)、21日(土)、  
28日(土)

参加費：150円

参加者：213人(開催日数12日/1日平均18人)

### 「ふれたい博士のティラジャーでコマあそび！」

体験キット 15 「イノー～海の食料庫～」から、19 「いろいろな玩具」へ展開し、沖縄で食用として親しまれてきた海の生き物「ティラジャー」の貝殻で昔ながらの玩具、貝独楽を作製した。

実施日：1月4日(土)、11日(土)、18日(土)、25日(土)  
2月1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)  
3月1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土)

参加費：100円

参加者：171人(開催日数13日/1日平均13人)



## (2) ふれあい体験室ワークショップ特別編

毎週土曜日に定期開催しているふれあい体験室ワークショップが、臨時的に開催の申し入れがあった団体へ向け、ワークショップを行った。

### 「マリア保育園のみんなとふれあい体験室ワークショップ」

日時：7月19日(金) 9:30 ~ 10:00

場所：ふれあい体験室前エントランスホール

講師：渡部貴子(文化の杜)

参加費：100円

内容：ふれあい体験室体験キット 19 「いろいろな玩具」より、アダン葉細工の「星コロ」作製

対象：マリア保育園5~6歳児、10人

「城北幼稚園のみんなとふれあい体験室ワークショップ」

日 時：8月8日(木) 10:00～11:30

場 所：那覇市立城北幼稚園

講 師：渡部貴子(文化の杜)

参加費：1組につき200円

内 容：沖縄の伝統玩具の紹介およびふれあい体験室体験キット 19「いろいろな玩具」より、アダン葉細工の「星コロ・ハブグラー」作製

対 象：那覇市立城北幼稚園 PTA 主催の「夏休み幼稚園開放 DAY」に参加する5～6才児親子

参加者：27組 (渡部 貴子)

(3) 2013年ゴールデンウィークイベント「Chiri (チリ)でちぎり絵」

ゴールデンウィークイベントとして、博物館の展示や美術に興味をもつきっかけづくりを目的とする。今期開催予定の博物館特別展「目からウロコの大生き物展」の宣伝も兼ねて実施。ちぎり絵の材料は、館から出る期限切れのポスター・チラシを使用した。台紙の種類は「ヤンバルクイナ・イシカワガエル・港川人・ウッチリクブサー」の4種類を選定した。

実施日：5月5日(日)、6日(月曜祝日)

場 所：正面玄関横

参加費：100円

参加者：5日 77人、6日 90人(各日定員80人)

(宜保 はるな)

(4) 平成25年度お正月催事イベント

元旦から3日までの臨時閉館の誘客を目的とし、お正月のひと時を博物館・美術館で楽しんでいただけるよう、以下の催事を開催した。

「新春の舞」

新年の幕開けを祝い、恒例の「新春の舞」を上演した。

日 時：1月1日(水) 14:00～14:30

場 所：エントランスホール

出演者：沖縄県立芸術大学琉球芸能専攻学生有志10人

参加者：180人(観覧無料)

(國吉 貴奈)

2014年お正月工作教室 「馬ぐわーをつくろう」

2014年の干支にちなみ、アダン葉細工による「馬ぐわー」を真っ白な画用紙を用いて作る。完成後は、色鉛筆でオリジナルの「馬ぐわー」に仕上げる。

日 時：1月2日(木) 1回目10:00/2回目10:30/3回目11:00/4回目14:00/5回目14:30/  
6回目15:00

場 所：正面玄関横

参加費：100円

対 象：小さなお子さんから大人まで(小3以下、保護者同伴)

参加者：61人(定員90人)

(宜保 はるな、大瀧 萌子)

2014お正月工作教室 「トコトコ歩く馬のおもちゃづくり」

毎年、干支をモチーフとし、電気やバネを使わずちょっとしたしかけで坂道を歩く不思議な木製のおもちゃづくりを行う。

日 時：1月3日(金) 1回目10:00/2回目11:00/  
3回目14:00/4回目15:00

場 所：正面玄関横

講 師：上運天研成とピノキオの会のメンバー

参加費：300円

対 象：小さなお子さんから大人まで(小3以下、保護者同伴)

参加者：126人(定員120人)



(宜保 はるな、大瀧 萌子)

博物館で「うまを探せ！」

博物館常設展示室内において、新年の干支にちなみ「ウマ」に  
関係する14か所の展示場所を示したパネルをもちぎり横に設置した。  
新年の干支である「ウマ」を取り上げることにより、違った視点  
で展示を楽しんでもらうことを目的とした。

実施期間：1月1日（水）～31日（金）

場 所：博物館常設展示室



(渡部 貴子)

#### (5) ジョナス・メカス新作上映会

アメリカ実験映画を代表する映画監督 Jonas Mekas (ジョナス・メカス) の新作上映会。翻訳家の木下哲夫氏と映像批評家の仲里効氏のトークもあわせて開催。

実施日：3月21日（金） 17:30 ~ 21:00

場 所：博物館講座室

上映作品：「幸せな人生からの拾遺集」(68分)、「My mars bar movie」(87分)

ト ーク：木下哲夫（翻訳家）、仲里 効（批評家）

参加費：1,000円

参加者：51人

(町田 恵美)

## 2. 展示会等

#### (1) 慰霊の日企画「定点 慰霊の日」

実施期間：6月18日（火）～6月23日（日）

場 所：情報センター内 観覧料：無料

主 催：文化の杜共同企業体、写真協力：沖縄タイムス社

##### 【企画趣旨】

「慰霊の日」は、1961年に琉球立法院により制定され、1972年の施政権返還後の沖縄県になってから、県条例により1974年10月に制定された。制定されてから既に半世紀が経過した。

「慰霊の日」は、沖縄に生活しているもの、そしてこの日のことを心に刻んでいるものにとって「平和とは何か」を考える定点を示している。「慰霊の日」に記録された写真を展示することにより、記憶を記録にとどめるのではなく、現在につなげ、着実に次代につないでいく契機とする。

##### 【展示内容】

沖縄タイムス所蔵写真（1961～2012年各年の「慰霊の日」の様子が撮影された紙面掲載写真51点）

(謝花 佐和子)



#### (2) 展覧会関連図書コーナー

展覧会の開催にあわせて、情報センターにて関連図書を紹介。

実施日：「大嶺薫コレクション展」5月1日～6月16日

「新収蔵品展 - 平成24年度収蔵資料 - 」5月15日～6月16日

「平山郁夫展 - 大唐西域画への道 - 」5月15日～6月23日

場 所：情報センター

「展覧会ができるまで・・・」

「平山郁夫展」の展示作業風景をフォトパネルで紹介。普段は見ることのできない館の裏側を写真で紹介した。

実施日：5月15日（火）～6月23日（日）

場 所：情報センター



(玉城 淳子)



### 3. しまくとぅばプロジェクト

しまくとぅばの価値や重要性を認識し、活性化と可能性を広げる目的で、開館年の2007年に立ち上げた「しまくとぅばプロジェクト」。2013年度は全県的にしまくとぅば継承の機運が盛り上がったことから、参加者の数が増えた。しまくとぅばを知りたい、子や孫に伝えたいという参加者の思いが伝わってくる一年となった。事業内容としては、前年度から継続している連続講座や、しまくとぅばと琉球文化に親しむ講座などを実施し、しまくとぅばを話す会や民話を聞く企画なども実施した。

(1) 「『方言札』世代めハナシむぬ語い」

実施日：4月3日(水)、5月8日(水)、6月4日(水)、7月10日(水)、9月4日(水)、  
10月2日(水)、11月6日(水)、12月4日(水)、1月8日(水)、2月12日(水)、  
3月12日(水)

場 所：博物館実習室

進 行：上原美智子(しまくとぅばプロジェクト)

参加費：100円

実施内容：沖縄語を母語とする人たちが集まり、それぞれのしまくとぅばで語り合うおしゃべり会。子ども時代に標準語励行を経験した世代を対象に、とにかく声に出すことで、内に眠っているしまくとぅばを呼び起すことを目的とした。毎回、沖縄の行事や身近な話題などのテーマを決めて楽しくおしゃべりをした。

参加人数：122人

(2) しまくとぅばプロジェクト連続講座2013年度「しまくとぅばを知る」

実施日：4月21日(日)、5月12日(日)、6月16日(日)、7月21日(日)、8月11日(日)、  
9月1日(日)、10月13日(日)、11月17日(日)、12月15日(日)、1月12日(日)、  
2月16日(日)、3月16日(日)

場 所：美術館講座室

講 師：狩俣繁久(琉球大学)、西岡敏(沖縄国際大学)、仲原穰(大学非常勤講師)

参加費：300円

実施内容：しまくとぅばの文法や敬語、発音などを学ぶ講座。3人の講師が交代で月に1回開催した。

参加者：363人(各回定員50人)

(3) 6. 23慰霊の日関連シンポジウム「しまくとぅばで紡ぐ戦世め記憶」

日 時：6月22日(土) 13:15 ~ 17:00

場 所：講堂

進 行：上原美智子(しまくとぅばプロジェクト)

コーディネーター：比嘉豊光(琉球弧を記録する会)

パネリスト：玉那覇香代子(西原町中央公民館)、野村朝常(NPO法人沖縄県沖縄語普及協議会)、桑江テル子(NPO法人うちなあぐち会)、大谷高子(一般社団法人沖縄じんぶん考房)、赤嶺ゆかり(オキスタ107)、親川志奈子(くとうば・すりーじゃにぬふあぶし)、上間エドワルド明(しまんちゅスクール)、ブランドン・イング(城岳小学校ALT)

参加費：500円

実施内容：6月23日の慰霊の日に合わせ、戦争体験を日本語ではなく、“しまくとぅば”で語り聞く試み。しまくとぅば連絡協議会準備委員会の協力を得て、普及活動を行っている団体や個人に集ってもらった。シンポジウムの前には、演奏と紙芝居の上演、そして比嘉豊光氏の「しまくとぅばで語る戦世」を上映した。

参加者：200人(定員200人)

(4) しまくとぅばっし ちちんじゃびら「沖縄のとんち話」

日 時：8月31日(土) 14:00 ~ 15:00

場 所：博物館実習室

語 り：伊狩典子(方言キャスター)

解 説：西岡敏(沖縄国際大学)

実施内容：2012年度より開催している「しまくとぅばっしちちんじゃびら」シリーズ。



「渡嘉敷ペーケー」などの「沖縄のとんち話」を「すいくとぅば」でよみ聞き、しまくとぅばの響き、間合い、表現など、その豊かさを味わう。また、しまくとぅばの表現の特色（言葉を重ねた表現方法や敬語、時代背景など）を西岡敏氏が解説した。

参加者：75人（定員30人）

(5) しまくとぅばプロジェクト・NPO 沖縄語普及協議会合同開催

『しまくとぅばの日』関連企画 公演・講演・シンポジウム

日時：9月14日（土） 13：30～17：15

場所：講堂

- ・第1部 NPO 沖縄県沖縄語普及協議会（13：30～15：00）  
「琉球文化と沖縄語（ウチナーグチ）」 第1部は沖縄語普及協議会の主催

「かぎやで風」

出演者：野村朝常、宇地原さかえ、上原早苗

講演会「琉球文化と沖縄語（ウチナーグチ）」

講師：宮里朝光

寸劇「しまくとぅばや しまぬ宝、しまぬ命」

出演者：野村朝常、国吉朝政、上原早苗、喜納千鶴、

新垣トミ子、當真嗣伎

- ・第2部 しまくとぅばプロジェクトシンポジウム（15：15～17：15）

「深く掘れ わったーしまくとぅばぬ泉」

進行：仲原穰（大学非常勤講師）

パネリスト：宮里朝光（沖縄語普及協議会）、狩俣繁久（琉球大学）、比嘉豊光（琉球弧を記録する会）、謝花直美（沖縄タイムス）、平田大一（南島詩人・演出家）

参加費：300円

実施内容：しまくとぅばの継承について、それぞれの分野で活動している4人に登壇してもらい、取組の紹介や課題について報告した。全体討論では、最近盛り上がりを見せているしまくとぅば保存、継承運動について議論した。また第1部では、前年と同じく、沖縄語普及協議会による講演会と芝居を行った。

参加者：224人（定員200人）



(6) しまくとぅばプロジェクト新春企画 宮里朝光氏によるウチナーグチ講演会「琉球文化とうち言葉」

日時：1月19日、26日（日） 14：00～15：30

場所：美術館講座室（19日）、博物館講座室（26日）

講師：宮里朝光（沖縄語普及協議会）

参加費：300円

実施内容：しまくとぅばプロジェクトのメンバーでもある宮里朝光氏を講師に迎えての講演会シリーズを実施。昨年9月に当館で開催したイベントの講演内容を充実させ、1月19日と26日の二週にわたり、琉球王国の社会的な仕組みや、文書、料理、装束、踊りなど具体的なトピックを取り上げて、文化と言葉の関わりについて説明した。

参加者：95人（19日 定員50人）、88人（26日 定員100人）

(7) しまくとぅばプロジェクト「宮古民謡としまくとぅば」実施報告書

日時：3月22日（土） 14：00～15：30

場所：県民アトリエ、子どもアトリエ

演奏・解説：兼城克夫（琉球民謡音楽協会）

しまくとぅば解説：西岡敏（沖縄国際大学）

字幕投影：金城絵里香（沖縄国際大学修了生）

実施内容：民謡をとおしてしまくとぅばに親しむ企画の3回目。前2回は八重山民謡だったので、今回は宮古民謡を取り上げた。演奏は琉球民謡音楽協会の兼城克夫氏で、資料の作成と口頭での解説を担当してもらい、西岡氏が民謡にまつわる民話と説明を宮古語で行った。

参加者：65人

（國吉 貴奈）

## 4. おもろ夜会

### (1) おもろ夜会 vol.10 「芸能公演 - 京太郎 (チョンダラー) の歌」

日時：11月9日(土) 18:30 ~ 20:00

場所：美術館屋外展示場

入場料：一般1,000円(1,700円)、高・大学生500円(1,000円)、小・中学生無料

( )内は「京都 清水寺展」とのセット券

出演者：新城亘(沖縄三線音楽研究、芸術学博士)、入嵩西康文(沖縄三線音楽研究)、大城みゆき(太鼓)、末吉りえ(那覇市ぶんかテンプス館)、創作太鼓会 鏡鼓会

出店業者：パーラーじゅんちゃん(那覇市泊)

実施内容：第10回目となる「おもろ夜会」は、美術館企画展「京都 清水寺展」に関連して、沖縄にのこる仏教文化の影響の一つと考えられている遊行芸能者・チョンダラー(京太郎)の芸能を探るイベントを開催した。本イベントでは、遊行芸能者の芸能を調査・研究・復元活動をしている新城亘氏の協力を得て、チョンダラーの歴史や伝承、芸能の伝播について解説しながら、遊行芸の数々を紹介した。本イベント開催までに、早稲田大学、那覇市ぶんかテンプス館で公演した実績をもつ。

総入場者数：208人

### 【プログラム】

#### 第1部 「京太郎の歌」

遊行芸能者 太夫：新城 亘、才蔵：入嵩西康文、太鼓：大城みゆき、案内：末吉りえ

演目・万歳 = 《扇舞(オージメー)》《升斗舞(ショウトウマイ)》《万歳かぶす節》

・鳥刺し舞 = 《さいとりさし》鳥取県三朝町 / 《鳥刺し舞》鹿児島県種子島平山 / 《鳥刺し舞》沖縄県

・駒舞 = 《春駒》新潟県能生町 / 《馬舞者》沖縄県泡瀬 / 組踊『万歳敵討』 / 《馬乗者(ウマヌシャー)》

竹富島 / 《ジュリ馬》那覇市辻

・人形まわし = 《人形からくり》

・念仏歌 = 《ミンマン念仏》小浜島 / 《七月念仏》石垣島 / 《仲順流れ》沖縄本島

#### 第2部 創作エイサー

創作太鼓会 鏡鼓会

演目・《扇舞(オージメー)》《升斗舞(ショウトウマイ)》《鳥刺し舞》



(仲里 なぎさ)

## 5. その他

### (1) はくび通信

2012年度から発行を開始した沖縄県立博物館・美術館の情報誌、『はくび通信』を今年度も引き続き発行。博物館・美術館の展覧会情報、学芸員コラム・イベントカレンダーなど、3ヶ月に一度、年4回発行した。

部数：館内モノクロ印刷 初版1500部

2013年4月発行 春号 vol.5      2013年7月発行 夏号 vol.6

2013年10月発行 秋号 vol.7      2014年1月発行 新春号 vol.8



## ． 広報・交流事業活動

### 1. 広報事業

広報に関する業務として、当館の展覧会や事業・活動を県民や観光客に広くアピールしながら、博物館・美術館活動への理解を深めてもらうとともに一層の集客を図った。

当館で開催される展示会と関連イベント、教育普及事業、講演会、県民ギャラリー等の催しについては前年度同様、「県立博物館・美術館 週間展示会・イベント情報」を作成し、県内の主な新聞社（沖縄タイムス社、琉球新報社）やテレビ局（NHK 沖縄放送局、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄テレビ、沖縄ケーブルネットワーク）、ラジオ局（琉球放送 RBCi ラジオ、NHK 沖縄放送局、ラジオ沖縄、FM 沖縄、FM レキオ、タイフーン fm）に FAX やメールでデータを送信し、県民への情報の告知や取材をお願いした。

さらに、当館主催の講座や講演会、展覧会に連動するシンポジウムやアーティストトーク、催しの告知・募集についても、募集期間前あるいは開催前にその都度、新聞社、テレビ局、ラジオ局、雑誌社、イベント情報誌等に原稿や資料を送信し、掲載や取材・報道を要請した。県民ギャラリーの利用者や当館で展示会を予定している関係者には、県内マスコミを訪問して展示会をアピールするようアドバイスした。

沖縄タイムス紙面には朝刊情報面に「県立博物館・美術館催し」のコーナーを設けて、当日の情報を発信している（休館日を除く）。また、文化面、社会面等に、随時展覧会や講演会、県民ギャラリーの催事情報を掲載。琉球新報も情報面や文化面、社会面で展覧会や催事情報を載せてもらった。沖縄タイムスの副読誌「週刊ほーむぶらざ」や琉球新報の副読誌「週刊レキオ」、「かふう」のほか県内外で発行される観光・ガイド・情報関連誌も幅広く活用し、館情報の発信に努めた。

年間行事案内・・・年度初めに展覧会の会期や内容、講座や解説会の日時など、年間の行事案内を掲載した「平成25年度 沖縄県立博物館・美術館 行事案内」（リーフレット、3万部）を作成し、県内外の文化・観光施設、ホテル、レンタカー会社、那覇空港案内所、旅行会社等へ配布、設置の依頼し、年間の行事案内の配布に努めた。今年度はパンフレット配布委託業者へ依頼し、全島の観光施設、ホテル等も設置した。さらに沖縄県教職員互助会・退職互助部に依頼し会員個々人に行き渡るようにした。

チラシ、ポスター・・・県内の小・中・高校、図書館、文化施設、教育機関には展覧会ごとにチラシ、ポスターを配布し、展覧会の告知を行った。沖縄県立図書館には当館専用チラシラックを設置した。また、県内のコンビニ、文化・観光施設、レンタカー会社、那覇市内外の主要ホテル、県内書店、観光案内所、モノレール駅、那覇空港などにもチラシやポスターの設置協力を求めた。さらに有料ではあるが個々人に行き渡るように新聞、コープ配達会員へのチラシ折込みを活用し、誘客に努めた。

公共掲示板・・・那覇・浦添・西原・南部地区の公共掲示板約150カ所に、展覧会の度にポスターを張り出して展覧会の告知を行った。その内の30～40箇所にはラミネート加工をし、短期間で剥がれないようにした。

モノレール広告・・・県民の足・沖縄都市モノレール（ゆいレール）では「スタジオジブリ・レイアウト展」、「京都清水寺展」15駅でのポスター貼り、さらに「京都清水寺展」では県庁駅前での吊り下げ広告、その他の告知では那覇空港駅のドアステッカー広告で全館紹介および「三線のチカラ」展を告知した。



懸垂幕・・・館壁正面入り口側に横2メートル×縦6メートルの大型懸垂幕を設置し、展覧会の告知を行った。主に博物館特別展や大型企画展、美術館企画展の際に実施。

新聞紙面での記事や連載・・・取材や寄稿掲載の協力を積極的に依頼し、年間を通じて多数の記事で館情報を県民に広く伝えることができた。主な特集記事や連載に、「マリー・アントワネット物語展」作品紹介を6回連載、「スタジオジブリ・レイアウト展」作品紹介を5回連載、「平山郁夫展」の作品紹介を5回連載、寄稿1回掲載、「大生き物展」作品紹介5回、「ジミー大西作品展」作品紹介7回、「京都清水寺展」作品紹介を5回連載、寄稿1回掲載。（以上、沖縄タイムス）。

新聞広告（有料）・・・沖縄タイムス、琉球新報の紙面に有料広告を掲載した。主な方法としては、全5段もしくは半5段サイズのカラー広告掲載や、テレビ面突出・番組下などの目立つ枠への掲載など目的・予算に応じて利用した。「マリー・アントワネット物語展」、「平山郁夫展」、「ジミー大西作品展」、「京都清水寺展」では沖縄タイムスに共催、または特別協力を依頼し全面特集記事（5段は展覧会広告）を掲載した。その他、沖縄タイムス副読誌「週刊ほーむぷらざ」や琉球新報副読誌「週刊レキオ」では「京都清水寺展」の全面特集記事（3段は展覧会広告）を掲載した。

テレビ（無料：ニュース、特集番組など）・・・積極的に取材依頼を行い、イベントや展覧会の開幕の様子などもニュースとして報道してもらえるように努めた。今年度の実績では、NHK「ミュージアム探訪」、RBC「ザ・ニュース」、「マモデルの情報ポケット」、「ズバツとゲット」、QAB「ステーションQ」、OTV「お昼のニュース」、「FNNOTVスーパーニュース」、「ひーぷー ホップ」など。また、パブリシティでの無料告知枠を積極的に活用。NHK「りっかりっか沖縄」、RBC「マモデルの情報ポケット」、OTV「ひーぷー ホップ」など。番組での告知としては、「スタジオジブリ・レイアウト展」、「京都清水寺展」はOTVとの共催ということもあり「FNNOTVスーパーニュース」での会場特集やキャスターデスク上の告知板の設置によるPR、「ひーぷー ホップ」内での紹介等数多く共催者媒体（OTV）での広報ができた。

ラジオ（無料：ニュース、特集番組など）・・・積極的に取材依頼を行い、イベントや展覧会の開幕の様子などもニュースとして報道してもらえるように努めた。今年度の実績では、RBCiラジオ「シャキッとi」、「シャキィサタデー」、「ミュージックシャワー plus+」、「団塊花盛り」、FM沖縄「FINE!」、ラジオ沖縄「イブニングワイド Mix」など。また、パブリシティ、ラジオカーを手配での無料告知枠を積極的に活用。RBCiラジオラジオカー取材「シャキッとi」、「あまくま訪問」、FM沖縄ラジオカー取材「FINE!」、ラジオ沖縄ラジオカー取材「イブニングワイド Mix」に担当学芸員が出演し、展覧会告知のため担当学芸員が出演しPRした。その他コミュニティFMも積極的に活用し展覧会関係者が出演するなどの取り組みも実施した。

テレビ・ラジオ広告（有料）・・・テレビ・ラジオといったマスメディアでのCM展開については、制作費・放映料共に経費がかかるが、効果も大きいので広告出稿を行った。テレビは、「マリー・アントワネット物語展」、「スタジオジブリ・レイアウト展」、「平山郁夫展」、「大生き物展」、「ジミー大西作品展」、「安次嶺金正展」、「京都清水寺展」、「森山大道展」、「サキタリ洞遺跡発掘速報展」、「三線のチカラ」。ラジオは「マリー・アントワネット物語展」、「平山郁夫展」、「ジミー大西作品展」、「安次嶺金正展」、「京都清水寺展」、「森山大道展」、「三線のチカラ」を放映し出退勤の時間に合わせ放映した。「三線のチカラ」ではRBCiラジオ主催の「さんしんの日」に協賛をし、「さんしんの日」会場から USTREAM での12時時報の中継、ラジオ中継でのラジオCM放映を行った。その他、RBC、OTV、QAB、RBCiラジオ、ラジオ沖縄のお正月年賀テレビスポット（1月1日～1月5日）で、年始の営業日開館時間の案内、企画展の告知を行った。文化の杜共同企業体主催の展覧会告知の際には、沖縄タイムスがRBCやQABのテレビ、RBCiラジオ、FM沖縄に持っているCM放送枠を活用し「マリー・アントワネット物語展」、「平山郁夫展」、「ジミー大西作品展」のCMをテレビとラジオで放送し展覧会をPRした。通常ではテレビやラジオでの広告放映については多額の経費が必要だが、この放送枠の活用により、テレビやラジオで広報を展開しながら他媒体等へ集中活用が可能になっている。



雑誌、機関紙・・・雑誌社や出版社の取材には積極的に応じ、様々な媒体への露出を高めるよう努力した。県民へのPRを目的として県内イベント情報誌「おきなわ倶楽部」、「オキナワグラフ」、「be-o」、「ジェイウォーム」、「coupo」、「momoto」、「話くわっちー」（2014年1月より毎月掲載）、県内在住外国人向けの「ジャパンアップデート」などで展覧会や催事を告知。県内の医療機関や病院に配布する沖縄県社会保険診療報酬支払基金の月刊誌「基金沖縄支部だより」には平成25年度も一年を通して毎月開催中の展覧会を表紙で紹介してもらった。観光客向けには、有料広告「レンタカードライブマップ」、「楽天トラベルナビ14」、無料広告「沖縄タウンガイド YASA!」、「ちゅらナビ」などでも年間を通じて全館を告知。また、県外からの観光客などをターゲットにした全国版観光雑誌「沖縄の歩き方」、「沖縄レク情報」、「エースるるぶ沖縄」、「まっぷる」、「るるぶ」などでは主に博物館常設展や美術館コレクション展を無料で紹介した。修学旅行の団体をターゲットにした「移動教室年鑑」では有料広告で全館の紹介をした。個別の展覧会の告知について今年度は、「新美術新聞」、「美術手帖」、「芸術新潮」、JAL 旅鶴プランと連動する会員季刊誌「旅鶴倶楽部」などへ館の紹介を掲載した。

地域誌・・・毎月、那覇新都心通り会が発行する「新都心かわら板」に広告出稿し、様々な展覧会や催しを告知。

インターネット・・・無料で全国的に広く展覧会の告知を行えるイベント情報サイトを活用し、様々なサイトで告知活動を展開した。今年度の実績では、館全体のPRを目的としてYAHOO! JAPAN「地域情報」、「じゃらんnet」観光ガイド、「JTB るるぶインターネットサイト」、「自治体観光ガイド」など。個別の展覧会の告知を目的として「art scape」、「アートフラッシュニュース」、「ミュージアムカフェ」、「mixi」、「livedoor」、「@nifty」、「So-net」、「google ニュース」、「モバゲー」、「ケータイ livedoor」、「goo モバイル」、「日刊ウォーカー」、「エンタ魂」など。海外、県内在住外国人向けのPRとして沖縄観光webサイト「おきなわ物語英語版」、「Okinawa NightLile」、「OKINAWA INDEX」など。その他動画共有サイト「YouTube」に企画展テレビCMをアップロードし、企画展専用ページに埋め込みをした。通常であればテレビでしか見ることが出来ないが、YouTubeにアップロードすることでいつでも見ることができるようになった。

携帯専用サイト改善、スマートフォン専用サイトの開設・・・館の情報がどこでも確認できるように携帯サイト、スマートフォン専用サイト改善をした。携帯専用サイトは通信料を安くするためできるだけ容量を減らしながらも見やすくするようにし、スマートフォン専用サイトはアイコンを大きくし、各企画展が目にとまるようにした。

特設コーナー・・・今年度も館外での展覧会PR活動として、書店等の協力を得て、展覧会関連書籍の販売と併せて書店店頭で展覧会特設コーナーを設置してもらい、併せて前売り券の販売を行った。実施した展覧会は「スタジオジブリ・レイアウト展」、「森山大道展」。「森山大道展」ではジュンク堂書店で「森山大道サイン会」を実施。協力書店はジュンク堂書店那覇店、沖縄教販4店舗、球陽堂書房2店舗。館外での誘客活動を通して新しい客層の獲得につなげることを目的とした。

沖展・・・毎年3万人を超える来場者を数える県内最大規模の総合美術展である沖展（主催：沖縄タイムス社）会場で、開催者の協力を得て、当館の行事案内等のチラシ配布をした。また即売会場では当館で開催した過去の展覧会図録の委託販売なども行い、美術ファン層に向けて館外でのPR活動を行った。

プレイガイド・・・前売り券の販売およびチラシ・ポスターの設置場所としてプレイガイドの拡大・拡充を図った。ミュージアムショップゆいむい、リウボウサービスカウンター、コープあぶれ、ファミリーマート各店、ローソン各店、ジュンク堂書店那覇店、ブックスきょうはん美浜店・一日橋店・とよみ店、安謝店、TSUTAYA 那覇新都心店・首里店、球陽堂書房那覇メインプレイス店・西原シティ店。「スタジオジブリ・レイアウト展」では県内TSUTAYA（離島を除く）どんぐりガーデン ジャスコ那覇店、どんぐりフォレスト 宜野湾コンベンションシティ店、プチ&ハイム サンエー那覇メインプレイス店、プチ&ハイム ジャスコ具志川店、プチ&ハイム サンエー具志川メインシティ、プチ&ハイム ジャスコ北谷店、プチ&ハイム ジャスコ名護店、OZ-MALL サンエー経塚シティ店。コープあぶれ発行の「Aple」に前売り券販売をしている企画展の情報を無料で掲載し、前売り券の販売促進を行った。「マリー・アントワネット物語展」、「スタジオジブリ・レイアウト展」、「ジミー大西作品展」、「京都清水寺展」では沖縄タイムス読者局にチケットの取りまとめを依頼し、読者への前売り券の販売協力をしてもらった。

facebook・・・実名登録制ソーシャル・ネットワーキング・サービス facebook の運用を8月より開始した。既存での施設ページを使用し、当初のいいね！（ファン数）は200名程度だったが3月末には1,100名を超えた。広告を出稿しない限りは無料ツールなので、無料でファンへの告知が可能になった。さらに当館ホームページトップへfacebookの窓といわれるガジェット機能を貼付けし、まだファンではないfacebookユーザー、まだ登録していない未ユーザーに向けて告知した。

沖縄修学旅行誘致説明会・・・県外修学旅行生の誘致の為に東京、大阪、仙台の沖縄修学旅行誘致説明会（主催：沖縄県、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー）に参加した。各学校の担当職員、旅行代理店等にPRした。

レンタカー・・・観光客の60%近くが利用しているレンタカーに夏休み（7月～10月）の集客対策としてABCレンタカー保有のレンタカー330台の車両内助手席にステッカー広告を出稿した。330台と台数は少なかったが夏休み（7月～10月）のレンタカー訪問数が昨



年と比べ200台以上増えた。

那覇空港新国際線旅客ターミナルビル・・・今までは海外向けの告知は少なかったが、2014年2月17日にオープンした那覇空港新国際線旅客ターミナルビルの手荷物受取り所の電照掲示板に広告を出稿した。手荷物を預けた際は必ず目にする位置にあり、手荷物を預けていない方でも道順として通る位置にあり露出度が高い。その他ロビー付近のラックへ当館パンフレット（外国語版）を設置した。



(金城 正仁)

## ・ 調査・研究等の活動

### 1. 調査・研究等

謝花佐和子

調査・研究等

- ・「麗しき琉球の記憶 - 鎌倉芳太郎が発見した“美” -」に関する研究（那覇市、2013年6月～2014年3月）
- ・「麗しき琉球の記憶」に関する調査（沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館 / 那覇市、2013年7～8月、2014年2～3月）
- ・「麗しき琉球の記憶」に関する調査（石垣市立八重山博物館 / 石垣市 / 2014年1月22日～23日）

金城美奈子

調査・研究等

- ・「ジミー大西作品展 挑戦と革新」に関する展覧会視察（広島三越 / 広島県、2013年4月4日～5日）
- ・「木下晋展 生命の旅路」に関する展覧会視察及び調査（公益財団法人原爆の図丸木美術館 / 埼玉県、2013年11月15日～16日）
- ・「木下晋展 生命の旅路」に関する出張（公益財団法人原爆の図丸木美術館 / 埼玉県、2014年3月20日～21日）

國吉 貴奈

調査・研究等

- ・「20世紀フランス絵画展 山形美術館服部コレクション」に関する調査（安曇野市豊科近代美術館 / 長野県、2013年10月30日）

仲里なぎさ

調査・研究等

- ・「寛永再建三百八十年記念 京都 清水寺展」に関する展覧会視察（新潟県立万代島美術館 / 新潟県、2013年8月22日～23日）

大瀨 萌子

調査・研究等

- ・美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者に関する研修（東京国立近代美術館、国立新美術館 / 東京都、2013年7月29日～30日）

仲程 香野

調査・研究等

- ・「大哺乳類展」に関する展覧会視察（青森県立美術館 / 青森県、2013年5月16日）



## ．その他

### 1．職員研修

#### (1) 平成25年度スタッフ全体研修

博物館・美術館の役割や使命を再確認し、よりよいサービスの向上を目的として、現場スタッフ（文化の杜、博物館友の会、美術館支援会 happ、沖縄コングレ）を対象とした年に一度の研修。

日 時：5月26日（日） 15：00～19：00 / 5月27日（月） 13：00～17：00

場 所：博物館講座室

内 容：「IPMの取り組みについて」仲里健（博物館学芸員）  
「博物館・美術館とは何か？」久場政彦（博物館班長）  
「企画展が出来上がるまで」仲里なぎさ（文化の杜学芸員）  
「マニュアル研修およびグループディスカッション」渡部貴子（文化の杜）

参加者：157人

#### (2) 接遇研修

新規採用交流員を対象に、博物館・美術館の役割や業務内容の説明、心得、服装についての研修を行った。参加者には、名札を発行した。

日 時：7月30日（火） 17：30～19：30

場 所：博物館講座室、展覧会場

講 師：平良亜紀子・渡部貴子（文化の杜）

参加者：5人（所属：文化の杜）

日 時：9月29日（日） 10：00～12：00

場 所：県民アトリエ

講 師：平良亜紀子・渡部貴子（文化の杜）

参加者：14人（所属：文化の杜・美術館支援会 happ・博物館友の会）

#### (3) 展示会事前研修

来館者サービス向上を目指し、特別展や企画展の開催を前に、担当学芸員を講師に現場スタッフを対象とした研修を実施した。展示の概要や目玉展示、監視業務を行う上で注意すべき事柄などを説明してもらった。対象は、文化の杜とコングレ所属のアルバイトスタッフ（総合案内・発券・情報センター・もぎり・展示交流員）。

研修内容：美術館企画展「平山郁夫展 大唐西域画への道」、博物館企画展「新収蔵品展」

日 時：5月15日（水） 18：15～19：00

場 所：博物館講座室、展覧会場

講 師：國吉貴奈（文化の杜学芸員）

参加者：53人

研修内容：博物館特別展「目からウロコの大生き物展」、自主事業企画展「ジミー大西作品展」

日 時：7月11日（木） 18：15～20：15

場 所：博物館講座室、展覧会場

講 師：山崎仁也（博物館学芸員）、金城美奈子（文化の杜学芸員）

参加者：53人

研修内容：美術館企画展「緑の叙情 安次嶺金正展」

日 時：9月8日（日） 18：15～19：45

場 所：博物館講座室、展覧会場

講 師：仲里安広（美術館学芸員）

参加者：45人

研修内容：美術館企画展「京都 清水寺展」

日 時：11月1日（金） 20：15～21：30

場 所：博物館講座室、展覧会会場  
講 師：仲里なぎさ（文化の杜学芸員）  
参 加 者：56人

研修内容：美術館企画展「森山大道 終わらない旅 北/南」  
日 時：1月22日（水） 18：15 ～ 19：45  
場 所：博物館講座室、展覧会会場  
講 師：新里義和（美術館学芸員）  
参 加 者：43人

研修内容：博物館企画展「三線のチカラ 形的美と音の妙」  
日 時：2月18日（火） 18：15 ～ 19：45  
場 所：博物館講座室、展覧会会場  
講 師：園原謙（博物館学芸員）  
参 加 者：49人

（平良 亜紀子、渡部 貴子）

## 2. 消防訓練等

### (1) 消防訓練

日 時：10月21日（月） 10：30 ～ 11：30  
場 所：全館施設、美術館屋外展示場  
内 容：消火訓練、通報訓練、避難誘導、救護、消火器の操作要領習得

（平川 孝盛）



# 全館共同事業

- ・ 学芸員実習
- ・ 国際博物館の日
- ・ 移動展
- ・ 燻蒸・消毒処理
- ・ 刊行物
- ・ 展覧会一覧

## 学芸員実習

### 1. 博物館実習

当館では、1969（昭和44）年に最初の実習生を受け入れてから、2006～2007年度の新館準備のための休止年度を除き毎年学芸員実習を実施してきた。2000年度までは、実習生の在籍する大学毎に個別に実習期間を設置して対応してきたが、2001年度以降は年2回に集約して実施している。

2013年度の学芸員実習は前期（6月4日～17日）、後期（9月3日～17日）とも内容は下記のとおりである。

#### 1. 実習内容と指導職員

講義・実習	指導者		
博物館施設・事業概要	久場		
美術館施設・事業概要	大城		
IPMへの取り組み	仲里		
博物館展示の実際	與那嶺		
課題研究 実習生は「自然史」、「美工・歴史」、「民俗・考古」の3班に分かれ、特別展示室とロビーでミニ企画展を実施した。その過程には以下の作業が含まれる。 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;">               展示企画立案                資料調査・選定・借受交渉                展示環境調査（美工・歴史班）                パネル・キャプション作成                資料移動・開梱・梱包、開梱・梱包に伴う検品                資料配置・撤収                展示解説、観覧者調査、総括発表             </td> <td style="font-size: 3em; padding: 0 10px;">}</td> </tr> </table>	展示企画立案 資料調査・選定・借受交渉 展示環境調査（美工・歴史班） パネル・キャプション作成 資料移動・開梱・梱包、開梱・梱包に伴う検品 資料配置・撤収 展示解説、観覧者調査、総括発表	}	「自然史班」 仲里、山崎 藤田、山崎  「美工・歴史班」 與那嶺、園原 岸本、崎原  「民俗・考古班」 大湾、片桐 早瀬
展示企画立案 資料調査・選定・借受交渉 展示環境調査（美工・歴史班） パネル・キャプション作成 資料移動・開梱・梱包、開梱・梱包に伴う検品 資料配置・撤収 展示解説、観覧者調査、総括発表	}		
教育普及実習	金城、久田		

#### 2. 実習生

前期			後期		
1	青 徹	琉球大学	1	嘉数大吾	琉球大学
2	佐伯美生		2	田島棕太	
3	笠羽知葉		3	小度亜紗美	
4	仲嶺真太	沖縄国際大学	4	小倉菜奈美	沖縄国際大学
5	根原南		5	玉城史彬	
6	宮國由佳		6	新崎莉巳佳	
7	森田麻優里	帝京大学	7	大城優貴	沖縄国際大学
8	我如古遼		8	比嘉紗恵里	
9	座覇えみ	筑波大学	9	村田萌	日本大学

(久場 政彦)

## 2. 美術館実習

当美術館では、県内大学や県出身者で県外の大学で学芸員資格所得を目指す実習生を対象に、2013年度は8月26日（月）～9月6日（金）の10日間、学芸員実習を下記の通り実施した。

### 1. 実習内容と指導職員

講義・実習	担当	講義・実習	担当
博物館活動概要及び施設・設備	久場(博)	IPMへの取り組み	仲里(博)
美術館業務の考え方と実際	瑞慶山	美術館業務の考え方と実際	瑞慶山
美術館活動概要及び施設・設備	直也	監視ボランティア体験	直也
常設展示の実際	直也	共通課題研究(ミニ企画展)	直也
資料の分類	齋	平面資料の取り扱い(写真)	仁美
教育普及事業	直也	常設展示の実際	新里
企画展の実際(山田實展)	仁美	資料の保存・修復の実際	仲村
立体資料の取り扱い(彫刻)	仲里(美)	資料の修復実習	仲村
調査研究概要	翁長	収集事業概要	仁美
資料に関する情報処理	齋	作品調査の方法	翁長
企画展の実際(アジアをつなぐ展)	豊見山	平面資料の取り扱い(油彩画)	豊見山
平面資料の取扱い(前半・後半)	豊見山	平面資料の取り扱い(水彩画・版画)	瑞慶山

### 2. 実習生

1	嘉陽菜な子	沖縄県立芸術大学	6	北谷梓	沖縄県立芸術大学
2	島袋誠子		7	仲村文花	
3	田場彩乃		8	平山朋誉	
4	仲門由布子		9	松島悠佳	
5	勝連鈴奈		10	竹内まみ	

(大城 直也)

## 3. 職場体験の受け入れ

今年度も文化の杜が職場体験およびインターンシップ、ジョブシャドウイング等の窓口となり、7校14人を受け入れた。基本的な体験内容は、展示室入口でのもぎりやミュージアムショップ、ふれあい体験室での接客業務である。今年度はそれに加え、高校生以上の受け入れの際には、アンケート集計やリーフレットの在庫管理などの事務作業も取り入れ、多様な業務を体験できるように業務内容の幅を広げた。

### (1) 職場体験

体験内容：もぎり(入場券の確認)、ふれあい体験室(来館者対応、ワークショップの準備)、ミュージアムショップ(接客、商品の管理)、アンケート集計(アンケートの打込み、データ作成)

受け入れ校：6校11人(中学校2校、高等学校3校、専門学校1校)

那覇市立安岡中学校(2人) 実施日：8月28日～30日(3日)

那覇市立寄宮中学校(2人) 実施日：9月4日～6日(3日)

沖縄県立那覇工業高等学校(2人) 実施日：9月18日～20日(3日)

沖縄県立真和志高等学校(2人) 実施日：10月2日～4日(3日)

沖縄県立豊見城南高等学校（1人） 実施日：10月23日～25日（3日）

専修学校インターナショナルデザインアカデミー（2人）

実施日：2014年3月11日～12日（2日）

(2) ジョブシャドーイング

受け入れ校：1校3人（小学校1校）

伊江村立西小学校（3人） 実施日：11月14日（午前のみ）

グッジョブおきなわ推進事業局実施（ケイオーパートナーズ：沖縄県委託事業）



（島袋 百恵）

## ． 国際博物館の日

名 称：「国際博物館の日」

会 期：2013年5月8日（水）～5月26日（日）（19日間）

会 場：パネル展：エントランスホール ワークショップ：ふれあい体験室前

### 【開催趣旨】

毎年5月18日は、全世界で博物館活動の普及と向上を目的に、国際博物館会議（通称ICOM：イコム）によって「国際博物館の日」と定められている。日本博物館協会の会員である当博物館・美術館もこれに伴い、より多くの人々に博物館活動を広く報せ、博物館・美術館に対してより興味・関心、親近感を抱かせるとともに、博物館・美術館や社会教育の意義をさらに普及・啓発するために行う。

### 【実施内容】

博物館・美術館の活動を広く一般県民に伝えるためにエントランスホールにてパネル展示を実施した。無料入館日の設定や、バックヤードツアー、ワークショップ等を実施した。

パネル展 5月8日（水）～5月26日（日）

パネル展の目的、ICOM・「国際博物館の日」の説明、今年度の行事や講座などの紹介、沖博協加盟館の紹介、「沖縄の博物館ガイド」の紹介、展示会の様子、学芸員の仕事、ボランティア・友の会・happ等の活動の様子、指定管理者の仕事、過去に実施した展示会のチラシ展示。

無料入館日：5月18日（土）（企画展はのぞく）

バックヤードツアー 5月18日（土）

時 間：博物館 10：00～11：00 / 美術館 11：15～12：15

受 付：9：00～ 総合案内にて

定 員：当日先着24人（各回とも12人まで）

キュレータートーク（美術館） 5月18日（土） 14：00～15：00（各室20分×3室）

アーティストトーク（美術館） 5月28日（土） 15：30～16：30

場 所：コレクションギャラリー3

ワークショップ 「てづくりおもちゃ」「風車ときんぎょ」など 5月18日(土)のみ  
時 間：1回目10:00 2回目10:30 3回目11:00 4回目12:00 (各回30分)  
受 付：9:00～ ふれあい体験室にて  
参 加 費：100円  
定 員：当日先着40人(各回とも10人まで)

(岸本 弘人)

## ・ 移 動 展

名 称：第6回 沖縄県立博物館・美術館移動展 in 渡名喜  
会 期：2013年11月29日(金)・30日(土) 9:00～17:00  
開 催 地：渡名喜村立渡名喜小中学校体育館 博物館展示  
多目的活動施設ホール 美術館展示  
観 覧 料：無料  
予算執行額：6,048,686円  
入 場 者 数：延べ490人(博物館288人、美術館202人)

### 【開催趣旨】

ふだん沖縄県立博物館・美術館に足を運ぶことが出来ない離島や遠隔地の方々に移動展として、当館の収蔵資料を見てもらうことによって、沖縄県の自然・歴史・文化の広域普及を図り、あわせて美術品を鑑賞する機会を提供する。

### 【開催形式】

主 催：沖縄県立博物館・美術館、渡名喜村、渡名喜村教育委員会、文化の杜共同企業体  
協 力：県立博物館友の会、県立美術館支援会 happ

### 【展示内容】

博物館資料：「世界の化石と輝く石」・・・恐竜の骨格標本、岩石、鉱物  
「沖縄の自然、歴史、文化」・・・沖縄の自然、歴史、文化に関する総合展示  
美術館資料：「沖縄の美術(絵画)」・・・沖縄を代表する画家達の作品を展示  
「沖縄の映画」・・・県出身映画監督作品を上映

### 【関連催事】

名 称：渡名喜村立歴史民俗資料館ギャラリートーク  
日 時：2013年11月28日(木) 19:00～20:00  
会 場：渡名喜村立歴史民俗資料館  
学 芸 員：久場政彦(民俗)、片桐千亜紀(考古)、崎原恭子(歴史)  
対 象：一般  
定 員：なし

名 称：学芸員講座 「鉱物の宝庫-渡名喜島の起源～古生代からの物語～」  
学芸員講座 「生物多様性は島の宝だ！～生物よもやま話～」  
日 時：2013年11月29日(金) 19:00～20:30  
会 場：渡名喜村立渡名喜小中学校体育館  
学 芸 員： 仲里 健(地学)  
山崎仁也(生物)  
対 象：一般  
定 員：なし  
参 加 者：42人

名 称：「ちむドンドン(紙芝居と琉球楽器)体験」  
実 施 日：2013年11月29日(金)・30日(土)



会 場：渡名喜村立渡名喜小中学校体育館  
対 象：幼小中学生

名 称：「骨スーツで遊ぼう」  
日 時：2013年11月29日（金）・30日（土）9：00～17：00  
会 場：総合センター  
対 象：一般

名 称：「写真ワークショップ しまのたからもの」  
日 時：2013年11月26日（火）15：30～17：30  
会 場：渡名喜村立渡名喜小中学校 コンピュータ室  
学 芸 員：新里義和  
対 象：小5・6～中1・2・3

名 称：「アートカードを活用した鑑賞指導」  
実 施 日：2013年11月27日（水）・28日（木）  
会 場：渡名喜村立渡名喜小中学校  
学 芸 員：大城直也  
対 象：小中学生

名 称：「デッサンの基本」  
実 施 日：2013年11月27日（水）  
会 場：渡名喜村立渡名喜小中学校  
学 芸 員：仲里安広  
対 象：中学生



## ． 燻蒸・消毒処理

2013年度は、2007年度から実施している総合的防害虫管理（IPM）の運用を継続して行い、活動として、年2回の全館を休館しての燻蒸・消毒処理、簡易燻蒸・消毒処理、IPM モニタリング等を行い、毎月1回のIPM全体会議にて連絡・報告などを行っている。その目的は、収蔵資料の保存管理のため、定期的な消毒作業を行い、保存環境の適正化に努めている。

### (1) 2013年度 全館燻蒸・消毒処理

#### 第1回 全館燻蒸・消毒

期 間：6月24日（月）～7月2日（火）9日間

消毒箇所：全館

使用薬剤：シフェノトリン（商品名：ミラクンGX）

投 薬 量：0.7～7 g/m以下

処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

#### 第2回 燻蒸・消毒

期 間：2014年2月9日（日）（閉館後）～2月11日（火）3日間

消毒箇所：収蔵庫・バックヤード（美）・実習準備室

使用薬剤：シフェノトリン（商品名：ミラクンGX）

投 薬 量：0.7～7 g/m以下

処理方法：シフェノトリンを気化し、害虫に呼吸毒として作用させ殺虫

### (2) 簡易燻蒸・消毒処理

各トラックヤードに自動噴霧装置設置（博物館3ヶ所、美術館2か所、県民ギャラリー1か所）を設置、毎日深夜に散布（スミスリン乳剤）開閉する場所の害虫駆除に実施している。

また、必要に応じて作品等の燻蒸・消毒を「ふくろう君」（二酸化炭素）により実施している。

（宮里 宗彦）

## 刊行物

(全体)

	刊行物名	種類	部数	規格(頁)	内容
1	沖縄県立博物館・美術館 年報6号	定期	600	A4(216)	前年度の博物館・美術館活動報告
2	沖縄県立博物館・美術館 行事案内 -平成25年度-	"	30,000	A3(四折)	博物館・美術館行事案内
3	第6回移動展 リーフレット	"	500	A4	移動展リーフレット

(博物館班)

	刊行物名	種類	部数	規格(頁)	内容
1	沖縄県立博物館・美術館 博物館紀要第7号	定期	600	A4(152)	博物館学芸員の調査研究報告書
2	平成25年度博物館教育普及活動	"	1,000	A4(120)	博物館教育普及活動報告
3	新収蔵品展 -平成24年度収蔵資料	"	500	A4(12)	博物館企画展 図録
4	海山川のおくりもの 目からウロコの大生き物展 - 生物多様性ホットスポット JAPAN -	不定期	1,000	A5(192)	博物館特別展 図録
5	" ポスター	"	1,000	B2	" 告知ポスター
6	" チラシ	"	10,000	A4	" 告知チラシ
7	三線のチカラ - 形之美と音の妙 -	"	1,000	A4(108) CD付き	博物館企画展 図録
8	" チラシ	"	20,000	A4	" 告知チラシ
9	" ポスター	"	2,000	B2	" 告知ポスター
10	サキタリ洞遺跡発掘調査速報展図録	"	500	A4(12)	博物館企画展 図録
11	サキタリ洞遺跡発掘調査概要報告書	"	500	A4(20)	" 報告書
12	" チラシ	"	10,000	A4	" 告知チラシ
13	みんなでシリーズワークショップレポート みんなでつくろう - 糸から着物まで -	"	500	A5	博物館ワークショップレポート

(美術館班)

	刊行物名	種類	部数	規格(頁)	内容
1	美術館教育普及報告書 平成25年度	定期	1,000	B5(26)	美術館教育普及活動報告
2	沖縄県立博物館・美術館 美術館紀要第4号	"	500	A4	学芸員の調査研究報告書
3	安次嶺金正展 - 緑の抒情 -	不定期	800	A4変形	美術館企画展 図録
4	" ポスター	"	500	B2	" 告知ポスター
5	" リーフレット	"	10,000	A4	" 告知チラシ
6	森山大道 終わらない旅 北ノ南	不定期		B4変形	美術館企画展 図録
7	" ポスター	"	500	B2	" 告知ポスター
8	" リーフレット	"	10,000	A4	" 告知チラシ

(指定管理者)

	刊行物名	種類	部数	規格(頁)	内容
1	スタジオジブリ・レイアウト展 ポスター	不定期	3,500	A2・B2	企画展 告知ポスター
2	" チラシ	"	150,000	A4 2種	" 告知チラシ
3	平山郁夫展 ポスター	"	1,200	B2	" 告知ポスター
4	" チラシ	"	70,000	A4	" 告知チラシ
5	京都 清水寺展 ポスター	"	1,200	B2 2種	" 告知ポスター
6	" チラシ	"	120,000	A4 2種	" 告知チラシ
7	マリー・アントワネット物語展 ポスター	"	1,100	B2・B3	" 告知ポスター
8	" チラシ	"	32,000	A4	" 告知チラシ
9	ジミー大西作品展 ポスター	"	1,500	B2・B3	" 告知ポスター
10	" チラシ	"	25,000	A4・変形	" 告知チラシ

## ． 展覧会一覧（2013年度）

	展示会名	場 所	主 催	期 間
1	マリー・アントワネット物語展	博物館特別展示室 1・2、 企画展示室	文化の杜共同企業体/ 沖縄タイムス社/東映	2/8 ~ 4/14
2	スタジオジブリ・レイアウト展	美術館企画ギャラリー 1・2	文化の杜共同企業体 / 沖縄県立博物館・ 美術館	2/22 ~ 5/6
3	大嶺薫コレクション展	博物館特別展示室 2	沖縄県立博物館・美 術館	5/1 ~ 6/16
4	新収蔵品展 - 平成24年度収蔵資料 -	博物館企画展示室	沖縄県立博物館・美 術館	5/15 ~ 6/16
5	佐川美術館所蔵 平山郁夫展 - 大唐 西域画への道 -	美術館企画ギャラリー 1・2	文化の杜共同企業体 / 沖縄県立博物館・ 美術館	5/15 ~ 6/23
6	海山川のおくりもの 目からウロコ の大生き物展 - 生物多様性ホットス ポット JAPAN -	博物館特別展示室 1・2、 企画展示室	沖縄県立博物館・美 術館	7/12 ~ 9/1
7	ジミー大西作品展 - 挑戦と革新	美術館企画ギャラリー 1・2	文化の杜共同企業体 / 沖縄タイムス社	7/13 ~ 9/1
8	沖縄の美術シリーズ 4 安次嶺金正 展 - 緑の抒情 -	美術館企画ギャラリー 1・2	沖縄県立博物館・美 術館	9/10 ~ 10/27
9	京都 清水寺展	美術館企画ギャラリー 1・2	文化の杜共同企業体 / 沖縄県立博物館・ 美術館	11/2 ~ 12/8
10	マチュピチュ「発見」100年 インカ帝国展	博物館特別展示室 1・2、 企画展示室	琉球放送株式会社	11/9 ~ 2/2
11	沖縄県芸術文化祭	美術館企画ギャラリー 1・2	(公財)沖縄県文化振 興会	12/14 ~ 12/23
12	かりゆし美術展	美術館企画ギャラリー 1・2	沖縄県社会福祉協議会	1/7 ~ 1/13
13	森山大道 終わらない旅 北/南	美術館企画ギャラリー 1・2	沖縄県立博物館・美 術館	1/23 ~ 3/23
14	三線のチカラ - 形的美と音の妙 -	博物館特別展示室 1・2、 企画展示室	沖縄県立博物館・美 術館	2/18 ~ 5/11
15	サキタリ洞遺跡発掘調査速報展	博物館特別展示室 1・2、 企画展示室	沖縄県立博物館・美 術館	2/18 ~ 3/16

# その他の活動

- ・ 沖縄県博物館協会
- ・ 全国組織との関わり
- ・ 沖縄博物館友の会
- ・ happ (美術館友の会)

## ． 沖縄県博物館協会

当館からの参加者については「博物館 . 調査研究等の活動 7. 職員研修」の項を参照のこと。

### 【総会・春の研修会】

期 日：2013年6月5日(水)・6日(木)

場 所：平良港ターミナルビル2階研修室

総 会：議案第1号 平成24年度事業報告

議案第2号 平成24年度決算報告 会計監査結果報告

議案第3号 平成25年度事業計画案

議案第4号 平成25年度予算案

議案第5号 平成25年度役員改選について

議案第6号 沖博協事務局の持ち回りについて

研 修 会：講演「沖縄観光論～大空海時代における博物館への期待～」

下地 芳郎(琉球大学観光科学科教授・学長補佐)

事例報告1「首里城公園における展示のとりくみ - 復元調査と製作・文化財の収集について -」

上江洲安享(沖縄美ら島財団首里城公園管理部管理事業課長補佐)

事例報告2「一括交付金を活用した観光事業 - 博物館改修事業とNEO 歴史ロードの取組について -」

田名 幸吉(宮古島市総合博物館学芸係長)

新城 宗史(宮古島市教育委員会生涯学習振興課文化財係)

現地研修：「NEO 歴史ロード巡り」

ガ イ ド：久貝 弥嗣・新城 宗史(宮古島市教育委員会生涯学習振興課文化財係)

### 【秋の研修会】(台風27号接近のため中止)

期 日：2013年10月3日(木)・4日(金)

場 所：沖縄県青年会館会議室

研 修：講話「未来をつくるこどもと博物館の関係～こどもたちがくりかえし訪れる博物館づくり～」

松原 雅裕(デジタルリウムプロジェクト!主宰)

事例報告1「子どもたちと<平和学習>」 平良 次子(南風原文化センター学芸員)

事例報告2「対馬丸記念館と子どもたち～開館からつしま丸児童合唱団結成まで～」

慶田盛さつき・宇根 一磨(対馬丸記念館学芸員)

現地研修：那覇市の戦跡めぐり

### 【特別講演会】(秋の研修会中止による代替措置)

期 日：2013年12月4日(水)

場 所：沖縄県立博物館・美術館 博物館講座室

(久場 政彦)

## ． 全国組織との関わり

### 1. 日本博物館協会関連

#### (1) 全国博物館館長会議

期 日：2013年6月12日(水)

場 所：文部科学省講堂

参 加 者：安里 進

#### (1) 研究協議会

期 日：2014年1月30日(木)

場 所：大阪市立自然史博物館講堂

参 加 者：安里 進

## 2. 全国科学博物館協議会

(1) 第1回総会

期 日：2013年6月13日（木）  
場 所：国立科学博物館  
参 加 者：安里 進

## 3. 全国歴史民俗系博物館協議会

(1) 第2回年次集会

期 日：2013年7月11日（木）  
場 所：横浜市歴史博物館  
参 加 者：安里 進、崎原 恭子

## 4. 美術館連絡協議会

(1) 2013年度総会

期 日：2013年10月17日（木）  
場 所：リーガロイヤルホテル東京  
参 加 者：安里 進

## 5. 九州博物館協議会

(1) 総 会

期 日：2013年5月23日（木）  
場 所：効率学校共済組合福岡宿泊所  
参 加 者：安里 進

(山川 優)

## ． 沖縄博物館友の会

沖縄博物館友の会は、「博物館の事業に積極的に参加、協力し、さらに会員相互の教養を高め、親睦をはかる」ことを目的として1980年（昭和55年）に発足した。本年度の会員の内訳は、普通会员員344人、賛助会員5ヶ所、家族会員43家族（90人）となっております。

今年も博物館・美術館の諸事業に積極的に参加し、博物館ボランティア活動への支援、広く県民を対象とした文化講演会や会員を対象とした研修会の実施、博物館常設展示室への展示交流員配置事業を実施しております。友の会の更なる活発化をめざし会員への情報提供を進めています。

2013年度（平成25年度）の活動内容と事業内容は次のとおりです。

【講演会】沖縄博物館友の会 文化講演会『沖縄人はどこから来たか どこへ行くのか？』

実 施 日：2013年8月10日（日）

内 容：考古学者が考える、沖縄人が歩んできた道とその先は、「喜界島から琉球列島への人間の集団の移住があったと考えられている」との仮説は興味深く、沖縄博物館・美術館安里進館長のこれからの研究成果を楽しみに参加者は会場を後にした。

参 加 者：220人余



【文化講座】『王都散策 首里御城への御案内』

実 施 日：2013年9月30日（月）

内 容：城門・御殿・御嶽・樋川井戸などを沖縄口（ウチナーグチ）での通称、記録上の名称を添え、『おもろさうし』や『琉歌』に詠まれている名所を中心に訪ねた。資料作成とガイドは会員の高里盛国さん。

参加者：26人

【民族探訪】

『富盛の十五夜祭り』見学会

実施日：2013年9月22日（日）

内容：伝統芸能旗頭道ジュネー（無形民俗文化財 大和行列・唐人行列・女行列）富盛の石彫大獅子等を見学。

参加者：40人



『伊江島の村踊り』見学会

実施日：2013年11月9日（土）～11月10日（日）

内容：国指定重要無形民俗文化財である伊江島の村踊りは、地域の人々が他地域の芸能を受け入れ地域の特色を反映させつつ独自のものに工夫し、芸能の変遷と過程と地域的特色のある村踊りを見学。

参加者：18人



『真和志まーい』

実施日：2013年10月22日（火）

内容：識名園と有名人（唐大主・澤岷親方盛里・安里大親清信）のお墓めぐりを実施した

参加者：28人



【県外研修】

『学芸員と行く 琉球使節の足跡（広島県）』

実施日：2014年3月6日（木）～3月7日（金）

内容：松濤園・江戸みなとまち展示館・満舟寺・脇坂屋住宅・鞆の浦歴史民俗資料館・小松寺・太田家住宅・いろは丸記念館・福山城公園等を訪ねる旅。

参加者：22人



【国外研修】

『スリランカの世界遺産視察研修』（辺境と市場サークル主催）

実施日：2013年8月29日（木）～9月5日（木）

内容：世界遺産アヌラダプラ・イスラムニヤ遺跡・ルワンウェリー・サーヤ塔・シーギリア博物館・世界遺産ポロンナルワ・ろうけつ染工房・スパイスガーデン・世界遺産キャンディ歴史地区・紅茶工場・アラックの工場・ペターを散策・コロombo国立博物館等を訪ねる旅

参加者：10人



【交流員研修】

休館日を利用したの友の会展示交流員研修

実施日：2013年10月15日（火）

内容：「友の会展示交流員要領の再確認」

参加者：59人

【会誌発行】 年1回発行『博友』

【会員への情報提供】

博物館事業及び催し物の案内状発送

友の会事業の講演会・研修旅行・印刷物の案内及び文書発送

【サークル活動】

家譜サークル (毎月1回勉強会実施)  
 グスクサークル  
 辺境と市場サークル

【博物館サポート】

博物館常設展示室展示交流員の配置業務  
 博物館・美術館移動展への参加  
 博物館ボランティア活動の支援  
 「ボランティア通信」の印刷・発送業務





・ happ (特定非営利活動法人 沖縄県立美術館支援会 happ)

Happ とは2005年(平成17年)に沖縄県立美術館の活躍をサポートする組織として誕生した。その年の9月には、特定非営利法人としての認証を受けている。Happ と、happy や happen の起源となるスカンジナビア語の「happ (幸福)」からきている。h=happiness (しあわせ)・happening (できごと)、a=art (アート)、p=people (人々)、p=place (場所) の意味を込めている。アートを身近に感じ、アートを創造するような活動を通して、それぞれの「happ=しあわせ」を見つけれられる場所を作っていきたいと考え、主に美術館の教育普及活動をサポートしていく。

(1) 2013年度 happ 主催事業

	事業名	事業内容	実施日	場所	参加者
1	アクション部会事業	マリーアントワネット物語展 愛の歌コンサート 	2013年 4月6日	3階 ホワイエ	200人
2	アクション部会事業	閩琉音楽鑑賞会 ～大唐西域の調べ～ 	2013年 6月16日	エントランス	250人
3	鑑賞ツアーガイド育成事業(補助金事業)	読谷村立美術館へ行こう! 	2013年 10月15日	読谷村立美術館	約30人
4	美術講座	happ 会員向け講座 	2013年 9月11日、 10月10日、 11月7日、 (全3回)	県民スタジオ	55人
5	アクション部会事業	happまつりin半島芸術祭 	2012年 11月23日	カフェヤ ブサチ	20人



	事業名	事業内容	実施日	場所	参加者
6	鑑賞ツアーガイド育成事業（補助金）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞ツアーガイド育成講座（全2回）</li> <li>・地域にひらくミュージアム活動とは</li> </ul> 	2013年 12月14日 2014年 2月15日	美術館講座室、コレクションギャラリー	100人
7	鑑賞ツアーガイド育成事業（補助金）	happまつり in 県芸祭 	2013年 12月14日	美術館裏庭	300人
8	教育普及部会	東京見学会 	2014年 1月28日 ～ 1月30日	東京都江戸東京博物館、国立科学博物館、東京国立近代美術館本館、東京ステーションギャラリー、ブリヂストン美術館	5人
9	東日本大震災被災者支援事業（補助金）	うつくしま・ちゅらしま交流イベント <ul style="list-style-type: none"> <li>・陶器絵付け体験</li> <li>・日本画制作体験</li> <li>・柳光観 親子3代展～ときの輝き～</li> </ul> 	2014年 2月25日 ～ 3月2日	県民ギャラリー2 博物館実習室	700人
10	情報発信部会	F M レキオ ハップステップジャンプ 	2013年 4月～ 2014年 3月	FMレキオ	約200人
11	物品販売	ミュージアムショップ委託	2013年 4月～ 2014年 3月	ミュージアムショップ	
12	委託事業	展示交流員、展示監視業務	2013年 4月～ 2014年 3月	happ事務所にて	
13	委託事業	美術館催事チラシデザイン	2013年 4月～ 2014年 3月	happ事務局にて	
14	芸術文化発信事業	沖縄のアート情報 HP の運営	2013年 4月～ 2014年 3月	Webにて	

(2) 共催事業

	事業名	事業内容	実施日	場所	参加者
1	教育普及部会事業	主催：一般社団法人スターリイマンからの贈りものスターリイマンからの贈り物展～東北から沖縄へありがとうを込めて～	2013年 5月3日 ～ 5月6日	県民ギャラリー1・2	約700人
2	教育普及部会事業	主催：沖縄県立博物館・美術館夏休み子どもフェスタキッズカメラマン/ねん土アニメ	2013年 8月17日	エントランスホール	42人
3	教育普及部会事業	主催：沖縄県文化振興会似顔絵を描こう！	2013年 12月15日	エントランスホール	73人

# 関係法規抄録

博物館法	博物館法施行令
博物館法施行規則	博物館の登録に関する規則
沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則	
沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織に関する規則	
沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例	
沖縄県立博物館・美術館管理規則	沖縄県立博物館・美術館館長執務規程
博物館・美術館学芸業務嘱託員設置規程	博物館・美術館教育普及業務嘱託員設置規程
美術品調査嘱託員設置規程	美術品保存修復嘱託員設置規程
沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領	

# 関係法規抄録

博物館法

昭和26年12月1日 法律第285号

[最終改正] 平成23年12月14日 法律第122号

## 第1章 総則

### (この法律の目的)

第1条 この法律は、社会教育法（昭和24年法律第207号）の精神に基き、博物館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とする。

### (定義)

第2条 この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関（社会教育法による公民館及び図書館法（昭和25年法律第118号）による図書館を除く。）のうち、地方公共団体、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は政令で定めるその他の法人（独立行政法人（独立行政法人通則法（平成11年法律第103号）第2条第1項に規定する独立行政法人をいう。第29条において同じ。）を除く。）が設置するもので次章の規定による登録を受けたものをいう。

2 この法律において、「公立博物館」とは、地方公共団体の設置する博物館をいい、「私立博物館」とは、一般社団若しくは一般財団法人、宗教法人又は前項の政令で定める法人の設置する博物館をいう。

3 この法律において「博物館資料」とは、博物館が収集し、保管し、又は展示する資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他の人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。）をいう。

### (博物館の事業)

第3条 博物館は、前条第1項に規定する目的を達成するため、おおむね次に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等の博物館資料を豊富に収集し、保管し、及び展示すること。
  - (2) 分館を設置し、又は博物館資料を当該博物館外で展示すること。
  - (3) 一般公衆に対して、博物館資料の利用に関し必要な説明、助言、指導等を行い、又は研究室、実験室、工作室、図書室等を設置してこれを利用させること。
  - (4) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
  - (5) 博物館資料の保管及び展示等に関する技術的研究を行うこと。
  - (6) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
  - (7) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
  - (8) 当該博物館の所在地又はその周辺にある文化財保護法（昭和25年法律第214号）の適用を受ける文化財について、解説書又は目録を作成する等一般公衆の当該文化財の利用の便を図ること。
  - (9) 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。
  - (10) 他の博物館、博物館と同一の目的を有する国の施設等と緊密に連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、博物館資料の相互貸借等を行うこと。
  - (11) 学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する諸施設と協力し、その活動を援助すること。
- 2 博物館は、その事業を行うに当たっては、土地の事情を考慮し、国民の実生活の向上に資し、更に学校教育を援助し得るようにも留意しなければならない。

### (館長、学芸員その他の職員)

第4条 博物館に、館長を置く。

- 2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、博物館の任務の達成に努める。
- 3 博物館に、専門的職員として学芸員を置く。
- 4 学芸員は、博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる。
- 5 博物館に、館長及び学芸員のほか、学芸員補その他の職員を置くことができる。
- 6 学芸員補は、学芸員の職務を助ける。

### (学芸員の資格)

第5条 次の各号のいずれかに該当する者は、学芸員となる資格を有する。

- (1) 学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得したもの。
  - (2) 大学に2年以上在学し、前号の博物館に関する科目の単位を含めて62単位以上を修得した者で、3年以上学芸員補の職にあつたもの。
  - (3) 文部科学省大臣が、文部科学省令で定めるところにより、前2号に掲げる者と同等以上の学力及び経験を有する者と認められた者。
- 2 前項第2号の学芸員補の職には、官公署、学校又は社会教育施設（博物館の事業に類する事業を行う施設を含む。）における職で、社会教育主事、司書その他の学芸員補の職と同等以上の職として文部科学省大臣が指定するものを含むものとする。

### (学芸員補の資格)

第6条 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第1項の規定により大学に入学することのできる者は、学芸員補となる資格を有する。

### (学芸員及び学芸員補の研修)

第7条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、学芸員及び学芸員補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

### (設置及び運営上望ましい基準)

第8条 文部科学大臣は、博物館の健全な発達を図るために、博物館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

### (運営の状況に関する評価等)

第9条 博物館は、当該博物館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき博物館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(運営の状況に関する情報の提供)

第9条の2 博物館は、当該博物館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該博物館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

## 第2章 登録

(登録)

第10条 博物館を設置しようとする者は、当該博物館について、当該博物館の所在する都道府県の教育委員会に備える博物館登録原簿に登録を受けるものとする。

(登録の申請)

第11条 前条の規定による登録を受けようとする者は、設置しようとする博物館について、次に掲げる事項を記載した登録申請書を都道府県の教育委員会に提出しなければならない。

- (1) 設置者の名称及び私立博物館にあつては設置者の住所
- (2) 名称
- (3) 所在地

2 前項の登録申請書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。

- (1) 公立博物館にあつては、設置条例の写し、館則の写し、直接博物館の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及びその図面、当該年度における事業計画書及び予算の歳出の見積に関する書類、博物館資料の目録並びに館長及び学芸員の氏名を記載した書面
- (2) 私立博物館にあつては、当該法人の定款の写し又は当該宗教学法人の規則の写し、館則の写し、直接博物館の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及びその図面、当該年度における事業計画書及び収支の見積りに関する書類、博物館資料の目録並びに館長及び学芸員の氏名を記載した書面

(登録要件の審査)

第12条 都道府県の教育委員会は、前条の規定による登録の申請があつた場合においては、当該申請に係る博物館が左に掲げる要件を備えているかどうかを審査し、備えていると認めるときは、同条第1項各号に掲げる事項及び登録の年月日を博物館登録原簿に登録するとともに登録した旨を当該登録申請者に通知し、備えていないと認めるときは、登録しない旨をその理由を附記した書面で当該登録申請者に通知しなければならない。

- (1) 第2条第1項に規定する目的を達成するために必要な博物館資料があること。
- (2) 第2条第1項に規定する目的を達成するために必要な学芸員その他の職員を有すること。
- (3) 第2条第1項に規定する目的を達成するために必要な建物及び土地があること。
- (4) 1年を通じて150日以上開館すること。

(登録事項等の変更)

第13条 博物館の設置者は、第11条第1項各号に掲げる事項について変更があつたとき、又は同条第2項に規定する添付書類の記載事項について重要な変更があつたときは、その旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。

2 都道府県の教育委員会は、第11条第1項各号に掲げる事項に変更があつたことを知つたときは、当該博物館に係る登録事項の変更登録をしなければならない。

(登録の取消)

第14条 都道府県の教育委員会は、博物館が第12条各号に掲げる要件を欠くに至つたものと認めるとき、又は虚偽の申請に基いて登録した事実を発見したときは、当該博物館に係る登録を取り消さなければならない。但し、博物館が天災その他やむを得ない事由により要件を欠くに至つた場合においては、その要件を欠くに至つた日から2年間はこの限りでない。

2 都道府県の教育委員会は、前項の規定により登録の取消をしたときは、当該博物館の設置者に対し、速やかにその旨を通知しなければならない。

(博物館の廃止)

第15条 博物館の設置者は、博物館を廃止したときは、すみやかにその旨を都道府県の教育委員会に届け出なければならない。

2 都道府県の教育委員会は、博物館の設置者が当該博物館を廃止したときは、当該博物館に係る登録をまつ消ししなければならない。

(規則への委任)

第16条 この章に定めるものを除くほか、博物館の登録に関し必要な事項は、都道府県の教育委員会の規則で定める。

第17条 削除

## 第3章 公立博物館

(設置)

第18条 公立博物館の設置に関する事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

(所管)

第19条 公立博物館は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会の所管に属する。

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第22条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

(入館料等)

第23条 公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならない。但し、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。

(博物館の補助)

第24条 国は、博物館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、博物館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

## 第25条 削除

### (補助金の交付中止及び補助金の返還)

第26条 国は、博物館を設置する地方公共団体に対し第24条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、第1号の場合の取消が虚偽の申請に基いて登録した事実の発見に因るものである場合には、既に交付した補助金を、第3号及び第4号に該当する場合には、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

- (1) 当該博物館について、第14条の規定による登録の取消があつたとき。
- (2) 地方公共団体が当該博物館を廃止したとき。
- (3) 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。
- (4) 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

## 第4章 私立博物館

### (都道府県の教育委員会との関係)

第27条 都道府県の教育委員会は、博物館に関する指導資料の作成及び調査研究のために、私立博物館に対し必要な報告を求めることができる。

- 2 都道府県の教育委員会は、私立博物館に対し、その求めに応じて、私立博物館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

### (国及び地方公共団体との関係)

第28条 国及び地方公共団体は、私立博物館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき援助を与えることができる。

## 第5章 雑則

### (博物館に相当する施設)

第29条 博物館の事業に類する事業を行う施設で、国又は独立行政法人が設置する施設にあつては文部科学大臣が、その他の施設にあつては当該施設の所在する都道府県の教育委員会が、文部科学省令で定めるところにより、博物館に相当する施設として指定したものであるについては、第27条第2項の規定を準用する。

附則 (平成23年12月14日 法律第122号) 抄

### (施行期日)

第1条 この法律は、公布の日から起算して2月を超えない範囲において政令で定める日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

- 1 附則第6条、第8条、第9条、及び第13条の規定 公布の日

## 博物館法施行令

昭和27年3月20日 政令第47号  
[最近改正] 昭和34年4月30日 政令第157号

### (政令で定める法人)

第1条 博物館法（以下「法」という。）第2条第1項の政令で定める法人は、次に掲げるものとする。

- 1 日本赤十字社。
- 2 日本放送協会。

### (施設、設備に要する経費の範囲)

第2条 法第24条第1項に規定する博物館の施設、設備に要する経費の範囲は、次に掲げるものとする。

- 1 施設費 施設の建築に要する本工事費、附帯工事費及び事務費
- 2 設備費 博物館に備えつける博物館資料及びその利用のための器材器具の購入に要する経費

附則 (昭和34年4月30日 政令第157号) 抄

## 博物館法施行規則

昭和30年10月4日 文部省令第24号  
[最終改正] 平成24年6月29日 文部科学省令第24号

## 第1章 博物館に関する科目の単位

### (博物館に関する科目の単位)

第1条 博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第5条第1項第1号に規定する博物館に関する科目の単位は、次の表に掲げるものとする。

科目	単位数
生涯学習概論	2
博物館概論	2
博物館経営論	2
博物館資料論	2
博物館資料保存論	2
博物館展示論	2
博物館教育論	2
博物館情報・メディア論	2
博物館実習	3

- 2 博物館に関する科目の単位のうち、すでに大学において修得した科目の単位又は第6条第3項に規定する試験科目について合格点を獲得している科目は、これをもつて、前項の規定により修得すべき科目の単位に替えることができる。

**(博物館実習)**

第2条 前条に掲げる博物館実習は、博物館（法第2条第1項に規定する博物館をいう。以下同じ。）又は法第29条の規定に基づき文部科学大臣若しくは都道府県の教育委員会の指定した博物館に相当する施設（大学においてこれに準ずると認められた施設を含む。）における実習により修得するものとする。

- 2 博物館実習には、大学における博物館実習に係る事前及び事後の指導を含むものとする。

**第2章 学芸員の資格認定**

**(資格認定)**

第3条 法第5条第1項第3号の規定により学芸員となる資格を有する者と同等以上の学力及び経験を有する者と認められる者は、この章に定める試験認定又は審査認定（以下「資格認定」という。）の合格者とする。

**(資格認定の施行期日等)**

第4条 資格認定は、毎年少なくとも各1回、文部科学大臣が行う。

- 2 資格認定の施行期日、場所及び出願の期限等は、あらかじめ、官報で公告する。ただし、特別の事情がある場合には、適宜な方法によつて公示するものとする。

**(試験認定の受験資格)**

第5条 次の各号のいずれかに該当する者は、試験認定を受けることができる。

- (1) 学士の学位を有する者
- (2) 大学に2年以上在学して62単位以上を修得した者で2年以上学芸員補の職（法第5条第2項に規定する職を含む。以下同じ。）にあつた者
- (3) 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第2条第1項に規定する教育職員の普通免許状を有し、2年以上教育職員の職にあつた者
- (4) 4年以上学芸員補の職にあつた者
- (5) その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めたる者

**(試験認定の方法及び試験科目)**

第6条 試験認定は、大学卒業の程度において、筆記の方法により行う。

- 2 試験認定は、2回以上にわたり、それぞれ1以上の試験科目について受けることができる。
- 3 試験科目は、次表に定めるとおりとする。

試験科目		試験認定の必要科目
必須科目	生涯学習概論	上記科目の全科目
	博物館概論	
	博物館経営論	
	博物館資料論	
	博物館資料保存論	
	博物館展示論	
	博物館教育論	
	博物館情報・メディア論	
選択科目	文化史	上記科目のうちから受験者の選択する2科目
	美術史	
	考古学	
	民俗学	
	自然科学史	
	物理	
	化学	
	生物学	
	地学	

**(試験科目の免除)**

第7条 大学において前条に規定する試験科目に相当する科目の単位を修得した者又は文部科学大臣が別に定めるところにより前条に規定する試験科目に相当する学修を修了した者に対しては、その願出により、当該科目についての試験を免除する。

第8条 削除

**(審査認定の受験資格)**

第9条 次の各号のいずれかに該当する者は、審査認定を受けることができる。

- (1) 学位規則（昭和28年文部省令第9号）による修士若しくは博士の学位又は専門職学位を有する者であつて、2年以上学芸員補の職にあつた者
- (2) 大学において博物館に関する科目（生涯学習概論を除く。）に関し2年以上教授、准教授、助教又は講師の職にあつた者であつて、2年以上学芸員補の職にあつた者
- (3) 次のいずれかに該当する者であつて、都道府県の教育委員会の推薦する者
  - イ 学士の学位を有する者であつて、4年以上学芸員補の職にあつた者
  - ロ 大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者であつて、6年以上学芸員補の職にあつた者
  - ハ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第1項の規定により大学に入学することのできる者であつて、8年以上学芸員補の職にあつた者
  - ニ その他11年以上学芸員補の職にあつた者
- (4) その他文部科学大臣が前各号に掲げる者と同等以上の資格を有すると認めたる者

**(審査認定の方法)**

第10条 審査認定は、次条の規定により願い出た者について、博物館に関する学識及び業績を審査して行うものとする。

**(受験の手続)**

第11条 資格認定を受けようとする者は、受験願書（別記第1号様式により作成したもの）に次に掲げる書類等を添えて、文部科学大臣に願い出なければならない。この場合において、住民基本台帳法（昭和42年法律第81号）第30条の7第3項の規定により同法第30条の5第1項に規定する本人確認情報の提供を受けて文部科学大臣が資格認定を受けようとする者の氏名、生年月日及び住所を確認することができるときは、第3号に掲げる住民票の写しを添付することを要しない。

- (1) 受験資格を証明する書類
- (2) 履歴書（別記第2号様式により作成したもの）
- (3) 戸籍抄本又は住民票の写し（いずれも出願前6月以内に交付を受けたもの）
- (4) 写真（出願前6月以内に撮影した無帽かつ正面上半身のもの）

2 前項に掲げる書類は、やむを得ない事由があると文部科学大臣が特に認めた場合においては、他の証明書をもつて代えることができる。

3 第7条の規定に基づき試験認定の試験科目の免除を願い出る者については、その免除を受ける資格を証明する書類を提出しなければならない。

4 審査認定を願い出る者については、第1項各号に掲げるもののほか、次に掲げる資料又は書類を提出しなければならない。

- (1) 第9条第1号又は同条第2号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等
- (2) 第9条第3号により出願する者にあつては、博物館に関する著書、論文、報告等又は博物館に関する顕著な実績を証明する書類
- (3) 第9条第4号により出願する者にあつては、前2号に準ずる資料又は書類

**(試験認定合格者)**

第12条 試験科目（試験科目の免除を受けた者については、その免除を受けた科目を除く。）の全部について合格点を得た者（試験科目の全部について試験の免除を受けた者を含む。以下、「筆記試験合格者」という。）であつて、1年間学芸員補の職にあつた後に文部科学大臣が認定した者を試験認定合格者とする。

2 筆記試験合格者が試験認定合格者になるためには、試験認定合格申請書（別記第3号様式によるもの）を文部科学大臣に提出しなければならない。

**(審査認定合格者)**

第13条 第10条の規定による審査に合格した者を審査認定合格者とする。

**(合格証書の授与等)**

第14条 試験認定合格者及び審査認定合格者に対しては、合格証書（別記第4号様式によるもの）を授与する。

- 2 筆記試験合格者に対しては、筆記試験合格証書（別記第5号様式によるもの）を授与する。
- 3 合格証書を有する者が、その氏名を変更し、又は合格証書を破損し、若しくは紛失した場合において、その事由をしるして願い出たときは、合格証書を書き換え又は再交付する。

**(合格証明書の交付等)**

第15条 試験認定合格者又は審査認定合格者が、その合格の証明を願い出たときは、合格証明書（別記第6号様式によるもの）を交付する。

- 2 筆記試験合格者が、その合格の証明を申請したときは、筆記試験合格証明書（別記第7号様式によるもの）を交付する。
- 3 1以上の試験科目について合格点を得た者（筆記試験合格者を除く。次条及び第17条において「筆記試験科目合格者」という。）がその科目合格の証明を願い出たときは、筆記試験科目合格証明書（別記第8号様式によるもの）を交付する。

**(手数料)**

第16条 次表の上欄に掲げる者は、それぞれその下欄に掲げる額の手数料を納付しなければならない。

上 欄	下 欄
1 試験認定を願い出る者	一科目につき1,300円
2 審査認定を願い出る者	3,800円
3 試験認定の試験科目の全部について免除を願い出る者	800円
4 合格証書の書き換え又は再交付を願い出る者	700円
5 合格証明書の交付を願い出る者	700円
6 筆記試験合格証明書の交付を願い出る者	700円
7 筆記試験科目合格証明書を願い出る者	700円

2 前項の規定によつて納付すべき手数料は、収入印紙を用い、収入印紙は、各願書にはるものとする。ただし、行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律（平成14年法律第151号）第3条第1項の規定により申請等を行った場合は、当該申請等により得られた納付情報により手数料を納付しなければならない。

3 納付した手数料は、これを返還しない。

**(不正の行為を行った者等に対する処分)**

第17条 虚偽若しくは不正の方法により資格認定を受け、又は資格認定を受けるにあたり不正の行為を行った者に対しては、受験を停止し、既に受けた資格認定の成績を無効にするとともに、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

2 試験認定合格者、審査認定合格者、筆記試験合格者又は筆記試験科目合格者について前項の事実があつたことが明らかになつたときは、その合格を無効にするとともに、既に授与し、又は交付した合格証書その他当該合格を証明する書類を取り上げ、かつ、期間を定めてその後の資格認定を受けさせないことができる。

3 前2項の処分をしたときは、処分を受けた者の氏名及び住所を官報に公告する。



### 第3章 博物館協議会の委員の任命の基準を条例で定めるに当たつて参酌すべき基準

第18条 法第22条の文部科学省令で定める基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。

### 第4章 博物館に相当する施設の指定

#### (申請の手続)

第19条 法第29条の規定により博物館に相当する施設として文部科学大臣又は都道府県の教育委員会の指定を受けようとする場合は、博物館相当施設指定申請書(別記第9号様式により作成したもの)に次に掲げる書類等を添えて、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人(独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第2条第1項に規定する独立行政法人をいう。第21条において同じ。)が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県立の施設にあつては当該施設の長(大学に附属する施設にあつては当該大学の長)が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者(大学に附属する施設にあつては当該大学の長)が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ提出しなければならない。

- (1) 当該施設の有する資料の目録
- (2) 直接当該施設の用に供する建物及び土地の面積を記載した書面及び図面
- (3) 当該年度における事業計画書及び予算の収支の見積に関する書類
- (4) 当該施設の長及び学芸員に相当する職員の氏名を記載した書類

#### (指定要件の審査)

第20条 文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、博物館に相当する施設として指定しようとするときは、申請に係る施設が、次の各号に掲げる要件を備えているかどうかを審査するものとする。

- (1) 博物館の事業に類する事業を達成するために必要な資料を整備していること。
- (2) 博物館の事業に類する事業を達成するために必要な専用の施設及び設備を有すること。
- (3) 学芸員に相当する職員がいること。
- (4) 一般公衆の利用のために当該施設及び設備を公開すること。
- (5) 1年を通じて100日以上開館すること。

2 前項に規定する指定の審査に当たっては、必要に応じて当該施設の実地について審査するものとする。

第21条 文部科学大臣又は都道府県の教育委員会の指定する博物館に相当する施設(以下「博物館相当施設」という。)が第20条第1項に規定する要件を欠くに至つたときは、直ちにその旨を、国立の施設にあつては当該施設の長が、独立行政法人が設置する施設にあつては当該独立行政法人の長が文部科学大臣に、都道府県立の施設にあつては当該施設の長(大学に附属する施設にあつては当該大学の長)が、その他の施設にあつては当該施設を設置する者(大学に附属する施設にあつては当該大学の長)が当該施設の所在する都道府県の教育委員会に、それぞれ報告しなければならない。

第22条 削除

第23条 文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、その指定した博物館相当施設に対し、第20条第1項に規定する要件に関し、必要な報告を求めることができる。

#### (指定の取消)

第24条 文部科学大臣又は都道府県の教育委員会は、その指定した博物館相当施設が第20条第1項に規定する要件を欠くに至つたものと認められたとき、又は虚偽の申請に基いて指定した事実を発見したときは、当該指定を取り消すものとする。

### 第5章 雑則

#### (学士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)

第25条 第5条第1号及び第9条第3号イに規定する学士の学位を有する者には、次に掲げる者を含むものとする。

- (1) 旧大学令(大正7年勅令第388号)による学士の称号を有する者
- (2) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第155条第1項第2号から第8号までのいずれかに該当する者

#### (短期大学士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)

第26条 第5条第2号及び第9条第3号ロに規定する大学に2年以上在学し、62単位以上を修得した者には、次に掲げる者を含むものとする。

- (1) 旧大学令、旧高等学校令(大正7年勅令第389号)、旧専門学校令(明治36年勅令第61号)又は旧教員養成諸学校官制(昭和21年勅令第208号)の規定による大学予科、高等学校高等科、専門学校又は教員養成諸学校を修了し、又は卒業した者
- (2) 学校教育法施行規則第155条第2項各号のいずれかに該当する者

#### (修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)

第27条 第9条第1号に規定する修士の学位を有する者には、学校教育法施行規則第156条各号のいずれかに該当する者を含むものとする。

#### (博士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)

第28条 第9条第1号に規定する博士の学位を有する者には、次に掲げる者を含むものとする。

- (1) 旧学位令(大正9年勅令第200号)による博士の称号を有する者
- (2) 外国において博士の学位に相当する学位を授与された者

#### (専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者)

第29条 第9条第1号に規定する専門職学位を有する者には、外国において専門職学位に相当する学位を授与された者を含むものとする。

附 則 (平成24年6月29日 文部科学省令第24号)

#### (施行期日)

- 1 この省令は、住民基本台帳法の一部を改正する法律(平成21年法律第77号)の一部及び出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律(平成21年法律第79号)の

施行の日（平成24年7月9日）から施行する。

**(経過措置)**

- 2 この省令の施行の日から起算して6月を経過する日までの間における改正後の博物館法施行規則第11条第1項第3号の規定の適用については、同号中「住民票の写し」とあるのは、「住民票の写し（日本の国籍を有しない者にあつては、住民票の写し又は出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律第4条の規定による廃止前の外国人登録法（昭和27年法律第125号）に規定する登録原票の写し若しくは登録原票記載事項証明書）」とする。

**博物館の登録に関する規則**

昭和50年5月8日 教育委員会規則第5号  
[最終改正] 平成6年3月31日 教育委員会規則第2号

**(趣 旨)**

第1条 この規則は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第16条の規定に基づき博物館の登録に関し、必要な事項を定めるものとする。

**(登録原簿等の様式)**

第2条 法第10条、第11条第1項及び第11条第2項に規定する登録原簿等の名称及び様式は、次の表に掲げるとおりとする。

根拠条項	名 称	様 式
法第10条	博物館登録原簿	第1号様式
法第11条第1項	博物館登録申請書	第2号様式
法第11条第2項	博物館資料目録	第3号様式

**(博物館登録申請書の添付書類)**

第3条 博物館登録申請書には、法第11条第2項に規定する書類のほか、職員名簿（第4号様式）を添付するものとする。

**(登録要件の審査)**

第4条 法第12条の規定による登録要件の審査及び法第14条第1項の規定による登録の取消しを県教育委員会が行う場合は、当該博物館に対し、必要な資料を求め実地調査及び学識経験者の意見を聴くことができる。

**(登録事項等の変更)**

第5条 法第13条第1項の規定による変更の届出は、そのつど博物館登録事項等変更届出書（第5号様式）によつて行うものとする。ただし、博物館資料目録の軽微な変更については、毎年3月末日に届け出るものとする。

**(博物館の廃止)**

第6条 法第15条の規定による博物館の廃止の届出は、博物館廃止届（第6号様式）により行うものとする。

**(公 示)**

第7条 県教育委員会は、博物館の登録若しくは登録事項等の変更があつたとき、又は登録の取消し若しくはまつ消を行つたときは、その旨を沖縄県公報により公示するものとする。

**附 則**（平成6年3月31日 教育委員会規則第2号）

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

第1号様式  
(第2条関係)

第2号様式  
(第2条関係)

博物館登録申請書

No. \_\_\_\_\_

備考	所在地	名称	※の名称及び住所	登録	
				年月日	年月日
				記号番号	第号
				登録	変更
				年月日	年月日
				年月日	年月日

(※公立の場合は設置者の名称のみ記入)

(A4版)

文書番号  
年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

申請者 氏名 印

博物館法第11条第1項の規定により、下記施設を博物館として登録されるよう別添関係書類等を添えて申請します。

記

設置者の名称

私立博物館設置者の住所

名称

所在地

(A4版)

備考 この申請書には、次の書類を添付すること。

- (1) 公立博物館にあつては設置条例の写し、私立博物館にあつては、法人の定款若しくは寄附行為の写し又は宗教法人の規則の写し
- (2) 館則の写し
- (3) 直接博物館の用に供する建物及び面積を記載した書面並びにその図面
- (4) 当該年度における事業計画書及び公立博物館にあつては予算の歳出の見積り、私立博物館にあつては収支の見積りに関する書類
- (5) 博物館資料の目録並びに館長の氏名及び学芸員の種類ごとの氏名を記載した書面
- (6) 学芸員は、その資格を有することを証するにたる書類



第5号様式  
(第5条関係)

博物館登録事項変更届出書

文 書 番 号  
年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

施 設 名  
届出者氏名

印

文 書 番 号  
年 月 日

沖縄県教育委員会 殿

施 設 名  
届出者氏名

印

第6号様式  
(第6条関係)

博物館廃止届

博物館法第13条第1項の規定により、下記のとおり変更届を提出します。

記

変 更 年 月 日	年 月 日
変 更 の 理 由	
変 更 事 項 の 種 類	
変更事項の内容	旧
	新

(A 4版)

博物館法第15条第1項の規定により、下記のとおり届けます。

記

廃 止 年 月 日	年 月 日
廃 止 し た 理 由	
廃 止 後 の 財 産 処 分	
その他参考となるべき事項	

(A 4版)

沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則

平成23年3月31日 教育委員会規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条の7の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任することに関し、必要な事項を定めるものとする。

(委任)

第2条 沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務のうち、次に掲げる事務以外の事務を沖縄県部等設置条例（昭和47年沖縄県条例第32号）第2条第8号の規定により設置される文化観光スポーツ部の長（以下「部長」という。）に委任する。ただし、沖縄県立博物館・美術館管理規則（平成19年沖縄県教育委員会規則第1号）第2条第3項ただし書の規定による認定に関する事務にあつては、知事が定める沖縄県立博物館・美術館の組織に関する規則の規定により設置される館長に委任する。

(1) 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号）及び沖縄県立博物館・美術館管理規則（以下「条例等」という。）の改正及び廃止に関すること。

(2) 博物館法（昭和26年法律第285号）第21条及び沖縄県立博物館・美術館管理規則第12条第1項の規定による博物館・美術館協議会の委員の任免に関すること。

(合議等)

第3条 前条の規定により事務の委任を受ける者は、当該事務の執行について、この規則以外の教育委員会規則その他の規程により教育委員会又はその補助職員に対し、合議、協議、報告等（以下「合議等」という。）を要する定めのある事務については、合議等を行わなければならない。

2 前条の規定にかかわらず、委任された事務に関し、重要かつ異例の事態が生じたときは、あらかじめ、その処理方針について、教育委員会の承認を受けなければならない。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際条例等の規定により教育委員会がした処分その他の行為で現にその効力を有するもの又はこの規則の施行の日（以下「施行日」という。）前に条例等の規定により教育委員会に対してなされた申請その他の行為で、施行日以後においては部長に委任されることとなる事務に係るものは、施行日以後における条例等の適用については、部長がした処分その他の行為又は部長に対してなされた申請その他の行為とみなす。

(沖縄県教育庁組織規則の一部改正)

3 沖縄県教育庁組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第1号）の一部を次のように改正する。

第11条第8号を次のように改める。

(8) 博物館・美術館に関すること（沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成23年沖縄県教育委員会規則第2号）により委任される事務に関するものを除く。）。

(沖縄県立教育機関組織規則の一部改正)

4 沖縄県立教育機関組織規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第2号）の一部を次のように改正する。

第1条中「、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成18年沖縄県条例第72号）」を削る。

第4条を削り、第4条の2を第4条とする。

第6条を次のように改める。

(職制等)

第6条 総合教育センター、図書館、埋蔵文化財センター及び青少年の家（以下「教育機関」という。）に、所長又は館長（以下「所長等」という。）を置く。

2 所長等は、上司の命を受け、当該教育機関が所掌する事務を掌理する。

第7条及び第8条を削り、第9条を第7条とする。

第9条の2の表中「総合教育センター（総務班を除く。）博物館・美術館」を「総合教育センター（総務班を除く。）」に改め、同条を第8条とする。

第10条を第9条とし、第11条を第10条とし、第11条の2を第11条とする。

第12条第1項中「及び博物館・美術館」を削る。

第21条を第23条とし、第20条を第22条とし、第19条を第21条とする。

第18条中「第7条から第16条まで」を「第6条から第18条まで」に改め、同条の表中

「 学芸員 上司の命を受け、博物館・美術館の専門的事務に従事する。」

及び

「 学芸員補 上司の命を受け、学芸員の職務を助ける。」

を削り、同条を第20条とする。

第17条を第19条とする。

第16条中「第7条」を「第6条」に改め、同条を第18条とする。

第15条を第17条とし、第14条を第16条とし、第13条を削り、第12条の4を第15条とする。

第12条の3第1項中「、博物館・美術館」を削り、同条を第14条とする。

第12条の2を第13条とする。

(沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則の一部改正)

- 5 沖縄県教育委員会の所管する職員の勤務時間及び勤務時間の割り振り等に関する規則（昭和47年沖縄県教育委員会規則第22号）の一部を次のように改正する。
- 第4条第2項中「沖縄県立博物館・美術館、沖縄県立埋蔵文化財センター、」を「沖縄県立埋蔵文化財センター及び」に改める。

## 沖縄県立博物館・美術館の管理に関する事務を執行するための組織等に関する規則

平成23年3月31日 規則第8号

### (趣旨)

第1条 この規則は、沖縄県教育委員会の権限事務の一部を知事の補助機関である職員及びその管理に属する行政機関の長に委任する規則（平成23年沖縄県教育委員会規則第2号。以下「教育委員会事務委任規則」という。）第2条の規定により知事の補助職員に委任された沖縄県立博物館・美術館（沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例（平成19年沖縄県条例第72号）で設置された沖縄県立博物館・美術館をいう。以下「博物館・美術館」という。）の管理に関する事務を執行するための組織その他必要な事項について定めるものとする。

### (博物館・美術館の管理に関する事務の所掌)

第2条 博物館・美術館の管理に関する事務のうち、教育委員会事務委任規則第2条本文の規定により文化観光スポーツ部の長（以下「文化観光スポーツ部長」という。）に委任された事務は、沖縄県行政組織規則（昭和49年沖縄県規則第18号。以下「行政組織規則」という。）第76条の規定により設置する文化観光スポーツ部文化振興課が所掌する。

- 2 博物館・美術館の管理に関する事務のうち、前項に定める事務以外の事務は、博物館・美術館が所掌する。

### (内部組織)

第3条 博物館・美術館に総務班、博物館班及び美術館班を置く。

### (所掌事務)

第4条 総務班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 予算、決算その他会計事務に関すること。
- (2) 公印の保管に関すること。
- (3) 職員の服務及び福利厚生に関すること。
- (4) 博物館・美術館協議会に関すること。
- (5) 指定管理者との連絡調整に関すること。
- (6) 他班の所掌に属さない事務に関すること。

2 博物館班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 博物館・美術館の博物館施設に係る資料（以下「博物館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館資料の利用に関すること。
- (3) 博物館施設及びその他施設の利用に関すること。
- (4) 博物館資料の調査研究に関すること。
- (5) 博物館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 博物館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。）。)
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものを除く。）。)

3 美術館班の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 博物館・美術館の美術館施設に係る資料（以下「美術館資料」という。）の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術館資料の利用に関すること。
- (3) 美術館施設の利用に関すること。
- (4) 美術館資料の調査研究に関すること。
- (5) 美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。）。)
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること（美術館班が分掌して処理するものに限る。）。)

### (職の設置)

第5条 博物館・美術館に、館長、副館長、班長、主査、主事及び学芸員を置く。

- 2 博物館・美術館に、特に必要と認められるときは、主任学芸員、主任専門員、主任、専門員及びその他の職員を置くことができる。

### (職の職務内容)

第6条 前条に掲げる職の職務内容は、上司の命を受けて次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 館長は、博物館・美術館の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- (2) 副館長は、博物館・美術館の事務を整理し、館長を補佐する。
- (3) 班長は、班の事務を処理する。
- (4) 主査は、博物館・美術館の特定事務を分掌する。
- (5) 主事は、一般的な事務を処理する。
- (6) 学芸員は、学芸業務に従事する。
- (7) 主任学芸員は、学芸業務を処理する。
- (8) 主任専門員は、博物館・美術館の専門的業務を処理する。

- (9) 主任は、一般的な事務を分掌する。  
(10) 専門員は、博物館・美術館の専門的業務に従事する。

(その他組織に関する事項)

第7条 第3条から前条までに定めるもののほか、博物館・美術館の組織に関し必要な事項は、博物館・美術館を行政組織規則第5条に規定する公の施設とみなして、同規則の規定を適用する。

(委任された事務に係る決裁等)

第8条 教育委員会事務委任規則第2条本文の規定により、文化観光スポーツ部長に委任された事務は、沖縄県事務決裁規程(昭和48年沖縄県訓令第89号)の規定の例により文化観光スポーツ部長が決裁するものとする。

- 2 教育委員会事務委任規則第2条ただし書の規定により、館長に委任された事務の決裁は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則(昭和53年沖縄県規則第67号)の規定(第3条、第5条及び第13条を除く。)を準用する。この場合において、同規則の規定中「知事」とあるのは「沖縄県教育委員会」と、「所長等」とあるのは「館長」と読み替えるものとする。
- 3 前2項に定めるもののほか、文化観光スポーツ部長及び館長は、教育委員会事務委任規則第2条の規定により委任された事務の執行に関し重大な疑義が生じたときは、沖縄県教育委員会に協議する等をして適正に事務を処理しなければならない。
- 4 館長は、前2項の規定又は教育委員会事務委任規則第3条の規定が適用される事務については、文化観光スポーツ部長を経由して同条に規定する手続を講ずるものとする。

(委任された事務以外の事務の委任及び決裁)

第9条 博物館・美術館の管理に関する事務を執行する組織及び職員の管理その他必要な事務の処理は、館長を沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則第2条第1項第1号に規定する所長等とみなして、同規則の規定を適用する。この場合において、館長は、沖縄県出先機関の長に対する事務の委任及び決裁に関する規則の規定の適用に関し疑義が生じたときは、知事に協議しなければならない。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関する事務の執行に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長に委任された事務については文化観光スポーツ部長が、館長に委任された事務については館長がそれぞれ定める。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例

平成18年12月27日 条例第72号  
改正 平成24年3月30日 条例第46号

(設 置)

第1条 歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料(以下「博物館・美術館資料」という。)を収集し、保管し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせて博物館・美術館資料に関する調査研究を行うため、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館として沖縄県立博物館・美術館(以下「博物館・美術館」という。)を設置する。

(位置及び施設)

第2条 博物館・美術館の位置は、那覇市おもろまち3丁目1番1号とする。

- 2 博物館・美術館は、次に掲げる施設をもって構成する。
- (1) 博物館施設
  - (2) 美術館施設
  - (3) その他施設

(事 業)

第3条 博物館・美術館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館・美術館資料の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 博物館・美術館資料の利用に関すること。
- (3) 博物館・美術館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館・美術館資料の調査研究に関すること。
- (5) 博物館・美術館資料の目録、図録、案内書、解説書、調査研究報告書等の作成及び頒布に関すること。
- (6) 博物館・美術館資料についての講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (7) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (8) 教育、学術又は文化に関する施設への協力及びその活動の支援に関すること。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。

(博物館・美術館の管理)

第4条 博物館・美術館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて教育委員会が指定するもの(以下「指定管理者」という。)に行わせるものとする。

(指定管理者の業務)

第5条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館・美術館の設置の目的を達成するために教育委員会が必要と認める事業の実施に関する業務
- (2) 第11条の規定による観覧料の収受に関する業務、第12条の規定による観覧料の減免に関する業務、第13条ただし書の規定による観覧料の返還に関する業務その他の観覧料の収受に関する業務
- (3) 第14条の規定による利用の許可に関する業務、第17条の規定による利用の許可の取消し等に関する業務、第18条第2項の規



定による原状回復命令に関する業務その他の利用の許可に関する業務

(4) 第19条及び同条第3項において準用する第11条第5項から第7項までの規定による利用料金の収受に関する業務、第19条第3項において準用する第12条の規定による利用料金の減免に関する業務、第19条第3項において準用する第13条ただし書の規定による利用料金の返還に関する業務その他の利用料金の収受に関する業務

(5) 博物館・美術館の施設及び附属設備の維持及び修繕に関する業務

(6) 前各号に掲げるもののほか、博物館・美術館の管理運営に関して、教育委員会が必要と認める業務

#### (指定管理者の指定の申請)

第6条 第4条の規定による指定を受けようとするものは、教育委員会規則で定める申請書に事業計画書その他教育委員会規則で定める書類（以下「事業計画書等」という。）を添えて、教育委員会に提出しなければならない。

#### (指定管理者の指定)

第7条 教育委員会は、前条の規定による申請があったときは、次に掲げる基準により審査し、最も適切に博物館・美術館の管理を行うことができると認めるものを候補者として選定し、議会の議決を経て指定管理者を指定するものとする。

(1) 事業計画書等の内容が、県民の公平な利用を確保できるものであること。

(2) 事業計画書等の内容が、博物館・美術館の効用を最大限に発揮させるものであるとともに、効率的な管理がなされるものであること。

(3) 事業計画書に沿った管理を安定して行う物的及び人的能力を有するものであること。

(4) 前3号に掲げるもののほか、博物館・美術館の設置の目的を達成するために十分な能力を有するものであること。

#### (指定管理者の指定等の告示)

第8条 教育委員会は、前条の規定により、指定管理者を指定したときは、その旨を告示しなければならない。

2 前項の規定は、地方自治法第244条の2第11項の規定により、指定管理者の指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命じた場合に準用する。

#### (休館日)

第9条 博物館・美術館の休館日は、次に掲げるとおりとする。

(1) 月曜日

(2) 12月29日から翌年の1月3日までの日

2 前項第1号に規定する休館日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日又は沖縄県慰霊の日を定める条例（昭和49年沖縄県条例第42号）第2条に規定する慰霊の日に当たるときは、その日の後日において最も近い休館日でない日をもって、これに替えるものとする。

3 前2項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

#### (開館時間)

第10条 博物館・美術館の開館時間は、午前9時から午後6時（金曜日及び土曜日にあつては、午後8時）までとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、開館時間を臨時に変更することができる。

#### (観覧料)

第11条 常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする者は、観覧料を指定管理者に納めなければならない。

2 常設展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第1に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。

3 企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、3,000円を超えない範囲内で、その都度指定管理者が定めるものとする。

4 前2項の規定にかかわらず、1年間を通して常設展、企画展又は特別展を観覧しようとする場合の観覧料は、別表第2に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。

5 指定管理者は、第2項から前項までの規定により、観覧料を定めようとするときは、あらかじめ教育委員会の承認を受けなければならない。観覧料を変更しようとするときも、同様とする。

6 教育委員会は、前項の承認をしたときは、これを告示するものとする。

7 観覧料は、指定管理者の収入とする。

#### (観覧料の減免)

第12条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、教育委員会規則で定める場合は、教育委員会規則で定めるところにより、観覧料を減額し、又は免除するものとする。

#### (観覧料の返還)

第13条 既に納付した観覧料は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

#### (利用の許可)

第14条 別表第3に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備（以下「施設等」という。）を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた者（以下「利用者」という。）が許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 指定管理者は、博物館・美術館の管理上必要があると認めるときは、前項の許可をするに当たり、条件を付することができる。

3 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、第1項の許可をしないことができる。

(1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。

(2) 公益を害するおそれがあると認められるとき。

(3) 施設等を汚損し、損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、施設等の管理上支障があると認められるとき。

#### (利用期間)

第15条 施設等を引き続き利用することができる期間は、教育委員会規則で施設等ごとに定める日数以内とする。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該期間を変更することができる。

#### (権利の譲渡等の禁止)

第16条 利用者は、施設等を利用する権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

#### (許可の取消し等)

第17条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、第14条第1項の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくはその停止を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 偽りその他不正な手段により許可を受けたとき。
- (3) 許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 第14条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

#### (原状回復の義務)

第18条 利用者は、施設等の利用を終えたとき、又は前条各号のいずれかの規定に該当することにより利用の許可を取り消されたときは、速やかに施設等を原状に回復しなければならない。

- 2 指定管理者は、利用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置をとるべきことを命ずることができる。

#### (利用料金)

第19条 利用者は、施設等の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

- 2 利用料金は、別表第3に定める基準額に100分の70を乗じて得た額から当該基準額に100分の130を乗じて得た額までの範囲内で、指定管理者が定めるものとする。
- 3 第11条第5項から第7項まで、第12条及び第13条の規定は、利用料金について準用する。

#### (事業報告書の提出)

第20条 指定管理者は、毎年度終了後30日以内に、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

#### (博物館・美術館協議会)

第21条 博物館・美術館に、博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

- 2 協議会の委員（以下「委員」という。）の任命の基準は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から任命することとする。
- 3 委員の定数は、15人以内とする。
- 4 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 委員は、再任されることができる。
- 6 第2項から前項までに定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

一部改正 [平成24年条例46号]

#### (教育委員会規則への委任)

第22条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

#### 附 則

##### (施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から起算して1年を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(平成19年6月教育委員会規則第11号で、同19年11月1日から施行)

##### (準備行為)

- 2 第7条の規定による指定管理者の指定、第11条第5項の規定による観覧料の承認及び第19条第3項において準用する第11条第5項の規定による利用料金の承認並びにこれらに関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行前においても、第6条から第8条まで、第11条第2項から第6項まで並びに第19条第2項並びに同条第3項において準用する第11条第5項及び第6項の規定の例により行うことができる。

##### (沖縄県立教育機関設置条例の一部改正)

- 3 沖縄県立教育機関設置条例（昭和47年沖縄県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条中「、図書館法」を「及び図書館法」に改め、「及び博物館法（昭和26年法律第285号）第18条」を削り、「必要な事項」を「、必要な事項」に改める。

第5条及び第6条を削り、第6条の2を第5条とし、第7条を第6条とし、第7条の2を第7条とする。

第8条中「、第5条及び第6条の2」を「及び第5条」に改める。

##### (沖縄県立教育機関使用料徴収条例の一部改正)

- 4 沖縄県立教育機関使用料徴収条例（昭和47年沖縄県条例第37号）の一部を次のように改正する。

第2条第1項中「別表第1又は別表第2」を「別表」に改め、同条第2項を削る。

別表第1を削り、別表第2を別表とする。

#### 附 則（平成24年3月30日 条例第46号）

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表第1（第11条関係）

区 分		基準額（1人につき）	
		個人の場合	団体の場合
博物館施設	一般	400円	320円
	大学生及び高校生	250円	200円
	中学生及び小学生	150円（県外の中学生及び小学生に限る。）	120円（県外の中学生及び小学生に限る。）
美術館施設	一般	300円	240円
	大学生及び高校生	200円	160円
	中学生及び小学生	100円（県外の中学生及び小学生に限る。）	80円（県外の中学生及び小学生に限る。）

## 備 考

- 「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。
- 「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。
- 「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。
- 「団体の場合」とは、20人以上の団体が観覧する場合及び教育委員会規則で定める場合をいう。

別表第2（第11条関係）

区 分		基準額（1人につき）		
		一般	大学生及び高校生	中学生及び小学生
博物館施設	常設展	1,200円	750円	450円（県外の中学生及び小学生に限る。）
	常設展、企画展及び特別展	4,200円	2,600円	1,600円（県内の中学生及び小学生にあつては、1,150円）
美術館施設	常設展	900円	600円	300円（県外の中学生及び小学生に限る。）
	常設展及び企画展	3,900円	2,600円	1,300円（県内の中学生及び小学生にあつては、1,000円）

## 備 考

- 「一般」とは、「大学生及び高校生」及び「中学生及び小学生」のいずれにも該当しない者（小学校就学の始期に達するまでの者を除く。）をいう。
- 「大学生及び高校生」とは、大学の学生及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいう。
- 「中学生及び小学生」とは、中学校の生徒及び小学校の児童その他これらに準ずる者をいう。

別表第3（第14条、第19条関係）

## 1 施設利用料金

## (1) 博物館施設利用料金

区 分		基準額（1日につき）
企画展示室	入場料を徴収しない場合	29,100円
	入場料を徴収する場合	87,300円
特別展示室	入場料を徴収しない場合	38,100円
	入場料を徴収する場合	114,300円
実習室	入場料を徴収しない場合	9,000円
	入場料を徴収する場合	27,000円
講座室	入場料を徴収しない場合	15,900円
	入場料を徴収する場合	47,700円

## (2) 美術館施設利用料金

区 分		基準額（1日につき）
県民ギャラリー1		8,100円
県民ギャラリー2		7,500円
県民ギャラリー3		7,500円
県民ギャラリースタジオ		8,200円
県民アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,000円
	入場料を徴収する場合	21,000円
子供アトリエ	入場料を徴収しない場合	7,500円
	入場料を徴収する場合	22,500円
企画展示室1	入場料を徴収しない場合	32,800円
	入場料を徴収する場合	98,400円
企画展示室2	入場料を徴収しない場合	40,700円
	入場料を徴収する場合	122,100円
講座室	入場料を徴収しない場合	9,100円
	入場料を徴収する場合	27,300円

(3) その他施設利用料金

区 分		基準額 (1時間につき)
講堂	入場料を徴収しない場合	3,400円
	入場料を徴収する場合	10,200円

2 附属設備利用料金

種 別	単 位	基 準 額
舞台器具	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
音響器具	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
照明器具	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額
冷房設備	1時間につき	3,000円以内で教育委員会規則で定める額
その他教育委員会規則で定める附属設備	1回1点又は一式につき	10,000円以内で教育委員会規則で定める額

備 考

- 「入場料」とは、入場料、会費、会場整理費その他名称のいかんを問わず、入場の対価として徴収するものをいう。
- 利用料金の基準額が1時間を単位として定められている施設等の利用者が許可された利用時間を超過して当該施設等を利用する場合における利用料金の基準額は、この表の区分に従い、次のとおりとする。
  - 午前9時から午後6時(金曜日及び土曜日にあつては、午後8時)までの間は、超過時間30分間(30分間に満たない端数は、これを30分間とする。)につき、当該区分に定める基準額の2分の1の額に100分の120を乗じて得た額
  - 午後6時(金曜日及び土曜日にあつては、午後8時)後は、超過時間30分間(30分間に満たない端数は、これを30分間とする。)につき、当該区分に定める基準額の2分の1の額に100分の150を乗じて得た額

沖縄県立博物館・美術館管理規則

平成19年3月16日 教育委員会規則第1号  
改 正 平成24年2月21日 教育委員会規則第1号

(趣 旨)

第1条 この規則は、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例(平成18年沖縄県条例第72号。以下「条例」という。)の規定並びに地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第23条第1号及び博物館法(昭和26年法律第285号)第19条の規定に基づき、沖縄県立博物館・美術館(以下「博物館・美術館」という。)の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(寄贈及び寄託)

第2条 博物館・美術館に資料を寄贈又は寄託しようとする者は、博物館・美術館資料寄贈申込書(第1号様式)又は博物館・美術館資料寄託申請書(第2号様式)を提出しなければならない。

- 受贈又は受託を決定したものについては、博物館・美術館資料受贈受諾書(第3号様式)又は博物館・美術館資料受託承認書(第4号様式)を交付するものとする。
- 寄贈又は寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、博物館・美術館の館長(以下「館長」という。)が必要と認めた場合はこの限りでない。
- 第2項の規定により寄贈を受けた資料は、理由のいかんにかかわらず返却しない。
- 第2項の規定により寄託を受けた資料は、寄託者の請求又は博物館・美術館の都合により返付する。

(寄贈資料及び寄託資料の管理等)

第3条 寄託された資料の管理は、博物館・美術館所蔵の資料の管理に準ずるものとする。

- 寄託資料が火災その他の不可抗力により、滅失し、汚損し、又は損傷したときは、県及び館長並びに指定管理者は、損害賠償の責任を負わないものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第4条 条例第6条の規則で定める申請書は、指定管理者指定申請書(第5号様式)によるものとする。

- 条例第6条の規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。
  - 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書
  - 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書(市区町村長が発行するものに限る。)
  - 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類
  - 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他の経理的基礎を有することを明らかにする書類(申請の日の属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録)
  - 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類
  - 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

(観覧券の交付)

第5条 指定管理者は、博物館・美術館の展示品を観覧しようとする者が所定の観覧料を納付した場合又は指定管理者により後納が認められた場合は、観覧券を交付するものとする。

(観覧料の免除)

第6条 条例第12条第1項の規定により観覧料の免除を受けようとする者は、あらかじめ観覧料免除申請書(第6号様式)を指定管理者に提出し、その承認を受けなければならない。

- 条例第12条第2項の規定により観覧料を免除することができる場合は、次のとおりとする。
  - 県内の中学校の生徒及び小学校の児童並びにその他これらに準ずる者の引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・

美術館の常設展を観覧する場合

- (2) 県内の高等学校の生徒、その他これらに準ずる者及びその引率者が教育課程に基づく教育活動として博物館・美術館の常設展を観覧する場合
- (3) 70歳以上の者が常設展を観覧する場合
- (4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合
- (5) 知的障害者で都道府県知事又は地方自治法（昭和22年法律第67号）第252条の19第1項の指定都市の市長から療育手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合
- (6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護者が常設展を観覧する場合

(入館の禁止等)

第7条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して入館を禁止、又は退館を命ずることができる。

- (1) 館内の秩序を乱すおそれがあると認められる者
- (2) その他指定管理者が適当でないと認める者

(施設利用の許可等)

第8条 条例別表第3に掲げる博物館・美術館の施設又は附属設備を利用しようとする者は、あらかじめ博物館・美術館施設利用許可申請書（第7号様式）を提出しなければならない。

(利用期間)

第9条 条例第15条本文に規定する教育委員会規則で施設等ごとに定める日数は、次の各号に掲げる施設等の区分に応じ当該各号に定める日数とする。

- (1) 博物館施設の企画展示室及び特別展示室並びに美術館施設の企画展示室1及び企画展示室2並びにこれらの施設の冷房設備 6月
- (2) 前号に掲げる施設等以外の施設 7日

2 条例第15条ただし書の規定により利用期間を変更しようとする者は、沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願（第8号様式）を指定管理者に提出しなければならない。

(利用料金の免除)

第10条 条例第19条第3項において準用する第12条第2項の規定により利用料金を免除することができる場合は、沖縄県が条例第3条各号に掲げる事業を行うために利用する場合とする。

2 条例第19条第3項において準用する第12条第2項の規定により利用料金の免除を受けようとする者は、博物館・美術館施設利用許可申請書を提出する際に、併せて沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書（第9号様式）を指定管理者に提出しなければならない。

3 指定管理者は、利用料金の免除を承認したときは、沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書（第10号様式）を利用者に交付するものとする。

(事業報告書の内容等)

第11条 条例第20条の事業報告書は、次に掲げる事項を記載して提出するものとする。

- (1) 博物館・美術館の管理運営に関する業務（以下「業務」という。）の実施状況
- (2) 業務に係る収支状況
- (3) 博物館・美術館の利用状況
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

(博物館・美術館協議会の組織等)

第12条 博物館・美術館協議会（以下「協議会」という。）の委員は、沖縄県教育委員会が任命する。

- 2 協議会に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選する。
- 3 会長は協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 5 協議会の会議は、会長が招集し、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 6 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 7 協議会は協議のため必要があると認める場合は、調査を行い、又は専門家その他の関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。
- 8 協議会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。
- 9 協議会の庶務は、博物館・美術館において処理する。
- 10 その他協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(観覧料の割引)

第13条 条例別表第1備考4に規定する教育委員会規則で定める場合は、博物館施設又は美術館施設の常設展を観覧しようとする日と同じ日に博物館・美術館が行う他の展示と併せて観覧する場合とする。ただし、併せて観覧する他の展示の観覧料が無料の場合は、この限りでない。

(附属設備の利用料金の基準額)

第14条 条例別表第3第2項の表の教育委員会で定める額は、別表に掲げるとおりとする。

(補 則)

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館・美術館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規則は、条例の施行の日〔平成19年11月1日〕から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為として行う申請に必要な申請書等)

2 条例附則第2項の規定により準備行為として行う指定管理者の指定の申請に必要な申請書及び書類については、第4条の規定の例による。

(沖縄県立博物館の管理に関する規則等の廃止)

3 次に掲げる規則は、廃止する。

- (1) 沖縄県立博物館の管理に関する規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第13号)
- (2) 沖縄県立博物館協議会規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第29号)

(沖縄県教育庁組織規則の一部改正)

4 沖縄県教育庁組織規則(昭和47年沖縄県教育委員会規則第1号)の一部を次のように改正する。

第31条第3号中「沖縄県立博物館」を「沖縄県立博物館・美術館」に改める。

第33条第4号中「沖縄県立博物館協議会」を「博物館・美術館協議会」に改める。

附 則 (平成24年2月21日 教育委員会規則第1号)

この規則は、公布の日から施行する。

別表(第14条関係)

1 附属設備(冷房設備を除く。)の利用料金

種 別	品 名	単 位	基 準 額
舞台器具	演台	1台	300円
	花台	1台	100円
	司会台	1台	150円
音響器具	メインスピーカー	1式	1,000円
	コンデンサーマイク	1本	300円
	ワイヤレスマイク	1本	600円
	ダイナミックマイク	1本	200円
	ビデオテープレコーダー	1台	700円
	DVD プレーヤー	1台	1,250円
	CD、MD プレーヤー	1台	400円
	HD/DVD レコーダー	1台	1,250円
照明器具	ポーターライト	1列	300円
	サスペンションライト	1列	500円
	アッパーホリゾンライト	1列	700円
	シーリングライト	1列	600円
	センターピンスポットライト	1台	400円
	その他	35ミリフィルム映写機	1式
その他	書画カメラ	1台	800円
	ビデオプロジェクター	1台	1,400円
	電動スクリーン	1式	1,100円

備 考 附属設備利用料金の基準額は、1ステージごとの額とする。ただし、長時間連続して利用する場合は、4時間ごとに1ステージとみなす。

2 冷房設備の利用料金

区 分	単 位	基 準 額	
博物館施設	企画展示室	1時間までごとに	630円
	特別展示室	1時間までごとに	830円
	実習室	1時間までごとに	190円
	講座室	1時間までごとに	340円
美術館施設	県民ギャラリー1	1時間までごとに	170円
	県民ギャラリー2	1時間までごとに	160円
	県民ギャラリー3	1時間までごとに	160円
	県民ギャラリースタジオ	1時間までごとに	180円
	県民アトリエ	1時間までごとに	150円
	子供アトリエ	1時間までごとに	160円
	企画展示室1	1時間までごとに	710円
	企画展示室2	1時間までごとに	880円
	講座室	1時間までごとに	200円
その他施設	講 堂	1時間までごとに	590円

第1号様式  
(第2条関係)

博物館・美術館資料寄贈申込書		年 月 日
沖縄県立博物館・美術館長 殿		
申込者 住 所 氏 名		印
私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄贈したいので、受領されるよう申込みます。		
記		
1 種 別		
2 作 者 名		
3 作 品 名		
4 製作年月日		
5 附 属 品		
6 資料所在地		
7 時 価 見 積 額		
8 寄 贈 の 理 由		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第2号様式  
(第2条関係)

博物館・美術館資料寄託申請書		年 月 日
沖縄県立博物館・美術館長 殿		
申請者 住 所 氏 名		印
私所有の下記の資料を沖縄県立博物館・美術館へ寄託したいので、受託されるよう申請します。		
記		
1 種 別		
2 作 者 名		
3 作 品 名		
4 製作年月日		
5 附 属 品		
6 資料所在地		
7 寄 託 期 間	年 月 日 から 年 月 日まで	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第3号様式  
(第2条関係)

博物館・美術館資料受贈承諾書		年 月 日
殿	沖縄県立博物館・美術館長 印	
<p>年 月 日付け申込のあった博物館・美術館資料の寄贈については下記により受諾          します。ただし、寄贈を受けた資料については、沖縄県立博物館・美術館管理規則第2条第4項の          規定により返却されません。</p>		
記		
1 種 別		
2 作 者 名		
3 作 品 名		
4 製作年月日		
5 附 属 品		
6 資料所在地		
7 時 価 見 積 額		
8 寄 贈 の 理 由		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第4号様式  
(第2条関係)

博物館・美術館資料受託承認書		年 月 日
殿	沖縄県立博物館・美術館長 印	
<p>年 月 日付け申請のあった博物館・美術館資料の寄託については下記により受託          します。</p>		
記		
1 種 別		
2 作 者 名		
3 作 品 名		
4 製作年月日		
5 附 属 品		
6 受託期間	年 月 日 から	年 月 日まで
7 備 考		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。



第5号様式  
(第4条関係)

沖縄県教育委員会 殿	年 月 日
申請者 所在地 団体の名称 代表者の氏名	印
指定管理者指定申請書	
<p>沖縄県立博物館・美術館の管理に係る指定管理者の指定を受けたいので、沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例第6条の規定により申請します。</p>	
添付書類	
1 事業計画書	
2 法人である団体にあつては、定款又は寄附行為及び登記事項証明書	
3 法人でない団体にあつては、定款又は寄附行為に相当する書類及び代表者の身分証明書（市区町村長が発行するものに限る）	
4 申請に係る業務の実施の方法を記載した書類	
5 最近の事業年度における事業報告書、貸借対照表、収支決算書、財産目録その他経理的基礎を有することを明らかにする書類（申請の日に属する事業年度に設立された法人にあつては、その設立時における財産目録）	
6 役員の氏名、住所及び履歴を記載した書類	
7 前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第6号様式  
(第6条関係)

沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 殿	観覧料免除申請書	年 月 日
申請者 住所 氏名 電話		印
<p>下記の理由により博物館・美術館観覧料の免除を受けたいので、沖縄県立博物館・美術館管理規則第6条第1項の規定に基づき申請します。</p>		
記		
1 観覧者 団体名 引率者名		
2 観覧者数	人	
3 観覧日時	年 月 日 ( 曜日)	時 ~ 時
4 申請理由	.....	
承認証		
殿		
年 月 日	年 月 日	年 月 日
沖縄県立博物館・美術館 指定管理者		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第7号様式  
(第8条関係)

博物館・美術館施設利用許可申請書

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館  
指定管理者 殿

申請者氏名 \_\_\_\_\_ 印  
電話 \_\_\_\_\_

下記により貴館施設を利用したいので、申請します。

記

1 利用者 団体名 \_\_\_\_\_ 印 職業 ( \_\_\_\_\_ )  
代表者名 \_\_\_\_\_ 印 電話 \_\_\_\_\_  
住 所 \_\_\_\_\_

2 利用目的 \_\_\_\_\_

3 利用する施設 \_\_\_\_\_

4 利用する日時及び期間  
自： 年 月 日 時 分 } ( ) 日間  
至： 年 月 日 時 分 }

5 予定参加人数 \_\_\_\_\_ 人

許 可 証  
年 月 日付け申請の ( ) 使用の件、申請どおり許可します。  
年 月 日  
沖縄県立博物館・美術館  
指定管理者 印

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第8号様式  
(第9条関係)

沖縄県立博物館・美術館利用期間変更願

年 月 日

沖縄県立博物館・美術館  
指定管理者 殿

申請者 住 所  
団 体 名  
代 表 者 氏 名  
電 話 番 号 \_\_\_\_\_ 印

沖縄県立博物館・美術館・美術館管理規則第9条第2項の規定により次のとおり利用期間の変更を願います。

記

1 催物の名称 \_\_\_\_\_

2 利用する日時及び期間  
自： 年 月 日 時 分 } ( ) 日間  
至： 年 月 日 時 分 }

3 利用期間の変更を願う理由 \_\_\_\_\_

4 備考 \_\_\_\_\_

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第9号様式  
(第10条関係)

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除申請書		年 月 日
沖縄県立博物館・美術館 指定管理者 殿	申請者 住 所 団 体 名 代表者氏名 電話番号	印
次のとおり利用料金の免除を申請します。		
記		
1 催物の名称		
2 利用目的		
3 催物の内容		
4 利用する日時及び期間	自： 年 月 日 時 分	} ( ) 日間 至： 年 月 日 時 分
5 減額・免除を申請する理由		
6 備考		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

第10号様式  
(第10条関係)

沖縄県立博物館・美術館利用料金免除承認書		年 月 日
殿	沖縄県立博物館・美術館 指定管理者	印
次のとおり利用料金の免除を承認します。		
記		
1 催物の名称		
2 利用目的		
3 催物の内容		
4 利用する日時及び期間	自： 年 月 日 時 分	} ( ) 日間 至： 年 月 日 時 分
5 利用料金免除額		
6 備考		

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とする。

## 沖縄県立博物館・美術館館長執務規程

平成23年4月1日 訓令第103号  
改正 平成25年3月30日 訓令第63号

### (趣旨)

第1条 沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）の館長（以下「館長」という。）を地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条第3項第3号に規定する非常勤の特別職とした場合における館長の執務等に関しては、この訓令によるものとする。

### (任命及び任期)

第2条 館長は、博物館・美術館の管理運営に関し識見及び能力を有する者のうちから知事が任命する。

- 2 館長の任期は、1年以内とし、2回に限り更新することができる。
- 3 前項の規定にかかわらず、2回を超えて更新する必要がある場合には、文化観光スポーツ部観光政策課長は、総務部行政管理課長と協議するものとする。

### (報酬等)

第3条 館長の報酬及び費用弁償の額は、沖縄県特別職に属する非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する規則（昭和47年沖縄県規則第111号）に定めるところによる。

### (勤務条件)

第4条 館長の勤務場所は、博物館・美術館とする。

- 2 館長の1月の勤務日数は、16日以内とし、勤務する日は、文化観光スポーツ部長が別に定める。
- 3 館長の勤務時間は、沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例（昭和47年沖縄県条例第43号）の適用を受ける職員の勤務時間に準ずるものとする。

### (服務)

第5条 館長は、その職務の遂行に当たって、法令、条例、規則等に従い、かつ、上司の職務上の命令に従わなければならない。

- 2 館長は、その職務の信用を傷つけ、又は職員全体の不名誉となるような行為をしてはならない。
- 3 館長は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。
- 4 館長は、勤務時間中は職務に専念しなければならない。

### (解任)

第6条 知事は、館長が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、任期内であつても解任することができる。

- (1) 館長の職務を怠ったとき。
- (2) 前条の規定に違反したとき。
- (3) 館長として不適当と認められる行為をしたとき。
- (4) 心身の故障その他の理由により職務を行うに適しなくなったとき。
- (5) 任命の必要がなくなったとき。

### (補則)

第7条 この訓令に定めるもののほか、館長を非常勤の特別職とした場合における館長の執務等に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長が別に定める。

### 附則

この訓令は、平成23年4月1日から施行する。

附則（平成25年3月30日 訓令第63号）

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

## 博物館・美術館学芸業務嘱託員設置規程

平成23年4月1日 訓令第106号  
改正 平成25年3月30日 訓令第63号

### (設置)

第1条 沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）の学芸業務を円滑に行うため、博物館・美術館に博物館・美術館学芸業務嘱託員（以下「嘱託員」という。）を設置する。

### (身分)

第2条 嘱託員は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条第3項第3号に規定する非常勤の嘱託員とする。

### (職務)

第3条 嘱託員は、博物館・美術館の館長（以下「館長」という。）の指揮監督を受けて、次に掲げる業務を行う。

- (1) 資料の調査、収集及び整理に関すること。
- (2) 資料の保存、修復等に関すること。
- (3) 展示に関すること。
- (4) その他博物館・美術館の事業に関すること。

### (委嘱及び委嘱期間)

第4条 嘱託員は、次に掲げる者のうちから知事が委嘱する。

- (1) 博物館法（昭和26年法律第285号）第5条第1項に規定する学芸員となる資格を有する者
  - (2) 前号に規定する者と同等以上の能力を有すると認められる者
- 2 嘱託員の委嘱期間は、1年以内とし、2回に限り更新することができる。
- 3 前項の規定にかかわらず、2回を超えて更新する必要がある場合には、文化観光スポーツ部観光政策課長は、総務部行政管理課

長と協議するものとする。

**(報酬等)**

第5条 嘱託員の報酬及び費用弁償の額は、沖縄県特別職に属する非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する規則（昭和47年沖縄県規則第111号）に定めるところによる。

**(勤務条件)**

第6条 嘱託員の勤務場所は、博物館・美術館とする。

2 嘱託員の1月の勤務日数は、16日以内とし、勤務する日は、館長が別に定める。

3 嘱託員の勤務時間は、沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例（昭和47年沖縄県条例第43号）の規定の適用を受ける職員の勤務時間に準ずるものとする。

**(服 務)**

第7条 嘱託員は、その職務の遂行に当たって、法令、条例、規則等に従い、かつ、上司の職務上の命令に従わなければならない。

2 嘱託員は、その職務の信用を傷つけ、又は職員全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

3 嘱託員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

4 嘱託員は、勤務時間中は職務に専念しなければならない。

**(解 嘱)**

第8条 知事は、嘱託員が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、委嘱期間内であっても解嘱することができる。

(1) 第3条に規定する職務を怠ったとき。

(2) 前条の規定に違反したとき。

(3) 嘱託員として不適当と認められる行為をしたとき。

(4) 心身の故障その他の理由により職務を行うに適しなくなったとき。

(5) 委嘱の必要がなくなったとき。

**(補 則)**

第9条 この訓令に定めるもののほか、嘱託員に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長が別に定める。

**附 則**

この訓令は、平成23年4月1日から施行する。

**附 則**（平成25年3月30日 訓令第63号）

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

**博物館・美術館教育普及業務嘱託員設置規程**

平成23年4月1日 訓令第107号

[最終改正] 平成25年3月30日 訓令第63号

**(設 置)**

第1条 沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）の教育普及業務を円滑に行うため、博物館・美術館に博物館・美術館教育普及業務嘱託員（以下「嘱託員」という。）を設置する。

**(身 分)**

第2条 嘱託員は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条第3項第3号に規定する非常勤の嘱託員とする。

**(職 務)**

第3条 嘱託員は、博物館・美術館の館長（以下「館長」という。）の指揮監督を受けて、次に掲げる業務を行う。

(1) 教育普及プログラムの調査及び策定に関すること。

(2) 教育関係機関への学習支援に関すること。

(3) ボランティア活動に関すること。

(4) その他博物館・美術館の事業に関すること。

**(委嘱及び委嘱期間)**

第4条 嘱託員は、次に掲げる者のうちから知事が委嘱する。

(1) 博物館法（昭和26年法律第285号）第5条第1項に規定する学芸員となる資格を有する者

(2) 前号に規定する者と同等以上の能力を有すると認められる者

2 嘱託員の委嘱期間は、1年以内とし、2回に限り更新することができる。

3 前項の規定にかかわらず、2回を超えて更新する必要がある場合には、文化観光スポーツ部観光政策課長は、総務部行政管理課長と協議するものとする。

**(報酬等)**

第5条 嘱託員の報酬及び費用弁償の額は、沖縄県特別職に属する非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する規則（昭和47年沖縄県規則第111号）に定めるところによる。

**(勤務条件)**

第6条 嘱託員の勤務場所は、博物館・美術館とする。

2 嘱託員の1月の勤務日数は、16日以内とし、勤務する日は、館長が別に定める。

3 嘱託員の勤務時間は、沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例（昭和47年沖縄県条例第43号）の規定の適用を受ける職員の勤務時間に準ずるものとする。

**(服 務)**

第7条 嘱託員は、その職務の遂行に当たって、法令、条例、規則等に従い、かつ、上司の職務上の命令に従わなければならない。

2 嘱託員は、その職務の信用を傷つけ、又は職員全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

3 嘱託員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職務を退いた後も、また、同様とする。

4 嘱託員は、勤務時間中は職務に専念しなければならない。

**(解 嘱)**

第8条 知事は、嘱託員が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、委嘱期間内でも解嘱することができる。

- (1) 第3条に規定する職務を怠ったとき。
- (2) 前条の規定に違反したとき。
- (3) 嘱託員として不相当と認められる行為をしたとき。
- (4) 心身の故障その他の理由により職務を行うに適しなくなつたとき。
- (5) 委嘱の必要がなくなつたとき。

**(補 則)**

第9条 この訓令に定めるもののほか、嘱託員に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長が別に定める。

**附 則**

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

**美術品調査嘱託員設置規程**

平成23年4月1日 訓令第104号  
改正 平成25年3月30日 訓令第63号

**(設 置)**

第1条 県が収蔵する美術品等の調査業務を円滑に推進するため、沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）に美術品調査嘱託員（以下「嘱託員」という。）を設置する。

**(身 分)**

第2条 嘱託員は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条第3項第3号に規定する非常勤の嘱託員とする。

**(職 務)**

第3条 嘱託員は、博物館・美術館の館長（以下「館長」という。）の指揮監督を受けて、次に掲げる業務を行う。

- (1) 県が収蔵する美術品の調査に関すること。
- (2) 県が収蔵を予定している美術品の調査に関すること。
- (3) その他美術品の調査に関すること。

**(委嘱及び委嘱期間)**

第4条 嘱託員は、次に掲げる者のうちから知事が委嘱する。

- (1) 博物館法（昭和26年法律第285号）第5条第1項に規定する学芸員となる資格を有する者
- (2) 前号に規定する者と同等以上の能力を有すると認められる者

2 嘱託員の委嘱期間は、1年以内とし、2回に限り更新することができる。

3 前項の規定にかかわらず、2回を超えて更新する必要がある場合には、文化観光スポーツ部観光政策課長は、総務部行政管理課長と協議するものとする。

**(報酬等)**

第5条 嘱託員の報酬及び費用弁償の額は、沖縄県特別職に属する非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する規則（昭和47年沖縄県規則第111号）に定めるところによる。

**(勤務条件)**

第6条 嘱託員の勤務場所は、博物館・美術館とする。

2 嘱託員の1月の勤務日数は、16日以内とし、勤務する日は、館長が別に定める。

3 嘱託員の勤務時間は、沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例（昭和47年沖縄県条例第43号）の規定の適用を受ける職員の勤務時間に準ずるものとする。

**(服 務)**

第7条 嘱託員は、その職務の遂行に当たって、法令、条例、規則等に従い、かつ、上司の職務上の命令に従わなければならない。

2 嘱託員は、その職務の信用を傷つけ、又は職員全体の不名誉となるような行為をしてはならない。

3 嘱託員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

4 嘱託員は、勤務時間中は職務に専念しなければならない。

**(解 嘱)**

第8条 知事は、嘱託員が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、委嘱期間内であつても解嘱することができる。

- (1) 第3条に規定する職務を怠ったとき。
- (2) 前条の規定に違反したとき。
- (3) 嘱託員として不相当と認められる行為をしたとき。
- (4) 心身の故障その他の理由により職務を行うに適しなくなつたとき。
- (5) 委嘱の必要がなくなつたとき。

**(補 則)**

第9条 この訓令に定めるもののほか、嘱託員に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長が別に定める。

**附 則**

この訓令は、平成23年4月1日から施行する。

**附 則**（平成25年3月30日 訓令第63号）

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

## 美術品保存修復嘱託員設置規程

平成23年4月1日 訓令第105号  
改正 平成25年3月30日 訓令第63号

### (設置)

第1条 県が収蔵する美術品の保存修復業務を円滑に推進するため、沖縄県立博物館・美術館（以下「博物館・美術館」という。）に美術品保存修復嘱託員（以下「嘱託員」という。）を設置する。

### (身分)

第2条 嘱託員は、地方公務員法（昭和25年法律第261号）第3条第3項第3号に規定する非常勤の嘱託員とする。

### (職務)

第3条 嘱託員は、博物館・美術館の館長（以下「館長」という。）の指揮監督を受けて、次に掲げる業務を行う。

- (1) 県が収蔵する美術品の保存及び修復に関すること。
- (2) 県が収蔵する美術品の保存状態の調査及び管理に関すること。

### (委嘱及び委嘱期間)

第4条 嘱託員は、次に掲げる者のうちから知事が委嘱する。

- (1) 博物館法（昭和26年法律第285号）第5条第1項に規定する学芸員となる資格を有する者
  - (2) 前号に規定する者と同等以上の能力を有すると認められる者
- 2 嘱託員の委嘱期間は、1年以内とし、2回に限り更新することができる。
- 3 前項の規定にかかわらず、2回を超えて更新する必要がある場合には、文化観光スポーツ部観光政策課長は、総務部行政管理課長と協議するものとする。

### (報酬等)

第5条 嘱託員の報酬及び費用弁償の額は、沖縄県特別職に属する非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する規則（昭和47年沖縄県規則第111号）に定めるところによる。

### (勤務条件)

第6条 嘱託員の勤務場所は、博物館・美術館とする。

- 2 嘱託員の1月の勤務日数は、16日以内とし、勤務する日は、館長が別に定める。
- 3 嘱託員の勤務時間は、沖縄県職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例（昭和47年沖縄県条例第43号）の規定の適用を受ける職員の勤務時間に準ずるものとする。

### (服務)

第7条 嘱託員は、その職務の遂行に当たって、法令、条例、規則等に従い、かつ、上司の職務上の命令に従わなければならない。

- 2 嘱託員は、その職務の信用を傷つけ、又は職員全体の不名誉となるような行為をしてはならない。
- 3 嘱託員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。
- 4 嘱託員は、勤務時間中は職務に専念しなければならない。

### (解嘱)

第8条 知事は、嘱託員が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、委嘱期間内であつても解嘱することができる。

- (1) 第3条に規定する職務を怠ったとき。
- (2) 前条の規定に違反したとき。
- (3) 嘱託員として不適当と認められる行為をしたとき。
- (4) 心身の故障その他の理由により職務を行うに適しなくなったとき。
- (5) 委嘱の必要がなくなったとき。

### (補則)

第9条 この訓令に定めるもののほか、嘱託員に関し必要な事項は、文化観光スポーツ部長が別に定める。

### 附 則

この訓令は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成25年3月30日 訓令第63号）

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

## 沖縄県立博物館保管資料の利用に関する取扱要領

平成14年3月14日 教育長決裁

### (目的)

第1条 この要領は、沖縄県立博物館が保管する資料（以下「資料」という。）の利用について必要な事項を定めるものとする。

### (定義)

第2条 この要領において利用とは、次の各号に掲げることをいう。

- (1) 展示会等における原資料等の借用。
- (2) 同資料の撮影。
- (3) 原資料等を被写体として製作された写真原板や印画などの借用。
- (4) 撮影等による複製品の製作。
- (5) 原資料等の閲覧。
- (6) 教育普及資料の借用。

**(許可の基準)**

第3条 博物館長（以下「館長」という。）は、教育・学術・文化等に係わる事業、学術研究の推進並びに文化の向上に資する事業、又は館長が特に必要と認めた場合において資料の利用を許可することができる。ただし、次の各号の一に掲げる事項はこの限りでない。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じると認められる場合。
- (2) 好ましくない用途に供されると認められる場合。
- (3) 館の事務処理に支障が生じると認められる場合。
- (4) 資料のうち、ほかに権利を有する者があるものについて、事前に書面による同意を得ていない場合。
- (5) 過去に目的外使用の事実又は許可条件に違反する事実があると認められる場合。
- (6) その他、許可することが適当でないと認められる場合。

**(許可申請の手続き)**

第4条 資料の利用を希望する者は、以下の各号に応じ、資料利用申請書（以下「申請書」という。）に事業の趣旨や主体者、事業計画等を記載した企画書等を添えて館長に利用開始14日前までに、申請しなければならない。

- (1) 原資料等の借用（第1号様式）
- (2) 写真撮影、原板・印画の借用（第2号様式）
- (3) 複製品の製作（第3号様式）
- (4) 原資料等の閲覧（第4号様式）
- (5) 教育普及資料の借用（第5号様式）

**(審査及び決定)**

第5条 前条の規定による申請があつた場合、館長は次の各号に掲げる事項について、審査し、許可するかどうかを決定しなければならない。

- (1) 事業の趣旨及び内容。
- (2) 事業の主体者。
- (3) 事業計画。
- (4) その他必要な事項。

**(許可書の交付)**

第6条 資料利用を許可する決定を行つたときは、次の各号により当該申請者に対し別表のとおり条件を付した資料利用許可書（以下「許可書」という。）を交付するものとする。ただし、館長が特に必要と認めた軽微なものについては、その限りでない。

- (1) 原資料等の借用（第1-1号様式）
- (2) 写真撮影、原板・印画の借用（第2-1号様式）
- (3) 複製品の製作（第3-1号様式）
- (4) 原資料等の閲覧（第4-1号様式）
- (5) 教育普及資料の借用（第5-1号様式）

2 館長は前項のほか、必要と認められる場合は、別に条件を付することができる。

**附 則**

この要領は、平成14年4月1日から実施する。



別表（第6条関係）各申請の資料利用の許可条件

資料利用の許可条件	
利用申請の内容 (各申請様式)	共通条件
<p>原資料等の借用 (第1号様式)</p>	<p>当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。 資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館所蔵」と明記すること。 資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に 係る実費を負担すること。 資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の 同意書を添付すること。 申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。</p>
<p>写真撮影、原板 ・ 印画の借用 (第2号様式)</p>	<p>撮影は原則として休館日の午後に行うこと。 製作された写真デューブやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が 展示等で自由に使うことができる。 写真原板の貸与期間は3週間以内とする。 郵送費は申請者が負担すること。 資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。</p>
<p>複製品の製作 (第3号様式)</p>	<p>撮影は原則として休館日の午後に行うこと。 撮影等製作過程における事故等によつて与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。 製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。 製作された写真デューブやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製作品は当館が 展示等で自由に使うことができる。 写真原板の貸与期間は3週間以内とする。 資料利用によつて製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しないものとする。</p>
<p>原資料等の閲覧 (第4号様式)</p>	<p>展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。 閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。 閲覧によつて得られた成果（論文や著作等）は、当館に1部（1点）納付すること。</p>
<p>教育普及資料の 借用 (第5号様式)</p>	<p>与期間は1週間以内とする。 資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。 資料の利用にあつては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。 万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。</p>

第1号様式（第4条関係）

資料利用申請書 (原資料等の借用)															
沖縄県立博物館・美術館長 殿  申請者 団体名： (担当者氏名) 住所：〒 代表者名： TEL： FAX：	平成 年 月 日 印														
記															
下記により原資料等の館外利用を許可くださるようお願いいたします。															
記															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>事業名</th></tr> <tr><th>借用希望期間</th></tr> <tr><th>目的</th></tr> <tr><th>展示等場所</th></tr> <tr><th>資料名</th></tr> <tr><th>員数</th></tr> <tr><th>備考</th></tr> </table>	事業名	借用希望期間	目的	展示等場所	資料名	員数	備考	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>事業名</th></tr> <tr><th>借用希望期間</th></tr> <tr><th>目的</th></tr> <tr><th>展示等場所</th></tr> <tr><th>資料名</th></tr> <tr><th>員数</th></tr> <tr><th>備考</th></tr> </table>	事業名	借用希望期間	目的	展示等場所	資料名	員数	備考
事業名															
借用希望期間															
目的															
展示等場所															
資料名															
員数															
備考															
事業名															
借用希望期間															
目的															
展示等場所															
資料名															
員数															
備考															
1. 2. 3. 4.	1. 2. 3. 4.														
<p><b>留意事項</b>                  当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。                  資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。                  資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。                  資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。                  申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。                  資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。                  資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。                  貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。                  借用によって生じた成果品を当館に1部（1点）を納付すること。                  前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。</p>															

第1-1号様式（第6条関係）

資料利用許可書 (原資料等の借用)															
殿  沖縄県立博物館・美術館長	平成 年 月 日 号														
記															
平成 年 月 日付けで申請のあった資料の館外利用については、下記により許可します。															
記															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>事業名</th></tr> <tr><th>借用希望期間</th></tr> <tr><th>目的</th></tr> <tr><th>展示等場所</th></tr> <tr><th>資料名</th></tr> <tr><th>員数</th></tr> <tr><th>備考</th></tr> </table>	事業名	借用希望期間	目的	展示等場所	資料名	員数	備考	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th>事業名</th></tr> <tr><th>借用希望期間</th></tr> <tr><th>目的</th></tr> <tr><th>展示等場所</th></tr> <tr><th>資料名</th></tr> <tr><th>員数</th></tr> <tr><th>備考</th></tr> </table>	事業名	借用希望期間	目的	展示等場所	資料名	員数	備考
事業名															
借用希望期間															
目的															
展示等場所															
資料名															
員数															
備考															
事業名															
借用希望期間															
目的															
展示等場所															
資料名															
員数															
備考															
1. 2. 3. 4.	1. 2. 3. 4.														
<p><b>許可条件</b>                  当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。                  資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。                  資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。                  資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。                  申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。                  資料の梱包または輸送、借用期間の保存管理については申請者が一切の責任を負うこと。                  資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。                  貸与期間は原則として2ヶ月以内とする。                  借用によって生じた成果品を当館に1部（1点）を納付すること。                  前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。</p>															

第2号様式 (第4条関係)

資料利用申請書  
(写真撮影、原板・印画の借用)

沖縄県立博物館・美術館長 殿

平成 年 月 日

代表者名： 印  
申請者 団体名： (担当者氏名)  
住 所：〒  
TEL：  
FAX：

下記により資料の写真撮影、原板・印画の利用を許可くださるようお願いいたします。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	で囲む	
希望日時・期間	年 月 日	年 月 日	部 数	時 時	時 時
事項	名 称		部 数	制作予定日	備 考
目 的	出版物 映画 テレビ DVD C D その他				
	資 料 名		数 量	仕 様	備 考
1.					
2.					
3.					

留意事項

当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。  
撮影は原則として休館日の午後に行うこと。  
製作された写真テープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製  
写真原板の貸与期間は3週間以内とする。  
郵送費は申請者が負担すること。  
資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しない  
ものとする。  
前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。

第2-1号様式 (第6条関係)

資料利用許可書  
(写真撮影、原板・印画の借用)

博 美 第 号  
平 成 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成 年 月 日付で申請のあった資料の利用については、下記により許可します。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	で囲む	
希望日時・期間	年 月 日	年 月 日	部 数	時 時	時 時
事項	名 称		部 数	制作予定日	備 考
目 的	出版物 映画 テレビ DVD C D その他				
	資 料 名		数 量	仕 様	備 考
1.					
2.					
3.					

許可条件

当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
申請の際には、返信用封筒（切手貼付）を添えること。  
撮影は原則として休館日の午後に行うこと。  
製作された写真テープやビデオ、CD等を当館に無償で1部（1点）納付すること。納付された製  
写真原板の貸与期間は3週間以内とする。  
郵送費は申請者が負担すること。  
資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しない  
ものとする。  
前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。

第3号様式 (第4条関係)

資料利用申請書 (複製品の製作)	平成 年 月 日	印
沖縄県立博物館・美術館長 殿	代表者名:	申請者
申請者	団体名:	(担当者氏名)
住所: 〒	TEL:	)
FAX:		

下記により複製品製作のため資料の利用を許可くださるようお願いいたします。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	で囲む	
借用希望期間	年 月 日 ~ 月 日				
目的					
製作仕様					
製作予定日	平成 年 月 日	製作点数	数量	仕様	販売価格
資料名					
1.					円
2.					備考
3.					

**留意事項**  
 当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。  
 撮影は原則として休館日の午後に行うこと。  
 撮影等製作過程における事故等によって与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。  
 製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。  
 製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部(1点)納付すること。納付された製  
 作品は当館が展示等で自由に使うことができる。  
 写真原板の貸与期間は3週間以内とする。  
 資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しない  
 ものとする。  
 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。

第3-1号様式 (第6条関係)

資料利用許可書 (複製品の製作)	平成 年 月 日	博 美 第 号 平 成 年 月 日
殿	沖縄県立博物館・美術館長	

平成 年 月 日付けで申請のあった特別利用については、下記により許可します。

記

利用区分	1 写真原板使用	2 撮影	3 掲載	で囲む	
借用希望期間	年 月 日 ~ 月 日				
目的					
製作仕様					
製作予定日	平成 年 月 日	製作点数	数量	仕様	販売価格
資料名					
1.					円
2.					備考
3.					

**許可条件**  
 当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 資料のうち、当館以外に所有者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること。  
 撮影は原則として休館日の午後に行うこと。  
 撮影等製作過程における事故等によって与えた損傷は、申請者が一切の責任を負うこと。  
 製作工程表、製作記録など当館の指示するものを提出すること。  
 製作された写真デュープやビデオ、CD等を当館に無償で1部(1点)納付すること。納付された製  
 作品は当館が展示等で自由に使うことができる。  
 写真原板の貸与期間は3週間以内とする。  
 資料利用によって製作されたものは、登録商標化等により独占しないものとし、所有権を侵害しない  
 ものとする。  
 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。

第4号様式 (第4条関係)

資料利用申請書 (原資料等の閲覧)		平成 年 月 日
沖縄県立博物館・美術館長 殿	申請者 代表者名: 団体名: (担当者氏名 ) 住所: 〒 TEL: FAX:	印
下記により原資料等の閲覧を許可くださるようお願いいたします。		
記		
目的	平成 年 月 日 時~ 時	閲覧人員
閲覧希望日時		
資料名	員数	備考
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
留意事項		
<p>当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。 資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。 資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。 資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。 申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること 展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。 閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。 閲覧によって得られた成果(論文や著作等)は、当館に1部(1点)納付すること。 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。</p>		

第4-1号様式 (第6条関係)

資料利用許可書 (原資料等の閲覧)		平成 年 月 日
殿		博 美 第 号 平 成 年 月 日
沖縄県立博物館・美術館長		
平成 年 月 日 付けで申請のあった資料の閲覧については、下記により許可します。		
記		
目的	平成 年 月 日 時~ 時	閲覧人員
閲覧日時		
担当学芸員		
資料名	員数	備考
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
許可条件		
<p>当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。 資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。 資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。 資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。 申請の際には、返信用封筒(切手貼付)を添えること 展示資料の閲覧は休館日の午後に行うこと。 閲覧する資料は、原則として1日5点以内とする。 閲覧によって得られた成果(論文や著作等)は、当館に1部(1点)納付すること。 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。</p>		

第5号様式 (第4条関係)

資料利用申請書  
(教育普及資料の借用)

平成 年 月 日

沖縄県立博物館・美術館長 殿

申請者 代表者名: \_\_\_\_\_ 印  
 団体名: \_\_\_\_\_  
 (担当者氏名)  
 住 所: 〒 \_\_\_\_\_  
 TEL: \_\_\_\_\_  
 FAX: \_\_\_\_\_

記

下記により教育普及資料の利用を許可くださるようお願いいたします。

利用区分	1 学校 (学年・学級) 行事	2 地域・団体行事	3 その他
希望日時・期間	年 月 日 ( 時 ) ~ 年 月 日 ( 時 )		
行事名			
目的			
	資料名	数量	備考
1.			
2.			
3.			
4.			

**留意事項**  
 当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 申請の際には、返信用封筒 (切手貼付) を添えること。  
 貸与期間は1週間以内とする。  
 資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。  
 資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。  
 万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。  
 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。

第5 - 1号様式 (第6条関係)

資料利用許可書  
(教育普及資料の借用)

博 美 第 号  
平 成 年 月 日

殿

沖縄県立博物館・美術館長

平成 年 月 日付で申請のあった資料利用については、下記により許可します。

記

利用区分	1 学校 (学年・学級) 行事	2 地域・団体行事	3 その他
希望日時・期間	年 月 日 ( 時 ) ~ 年 月 日 ( 時 )		
行事名			
目的			
	資料名	数量	備考
1.			
2.			
3.			
4.			

**許可条件**  
 当館学芸員の指示に従い、館員の勤務時間内に行うこと。  
 資料の利用に当たっては、必要に応じ「沖縄県立博物館・美術館所蔵」と明記すること。  
 資料の紛失あるいは損傷を与えた場合は、修理、製作等に係る実費を負担すること。  
 資料のうち、当館以外に所有権者がいる場合は、当該者の同意書を添付すること。  
 申請の際には、返信用封筒 (切手貼付) を添えること。  
 貸与期間は1週間以内とする。  
 資料の運搬その他費用を要する場合は、申請者が負担すること。  
 資料の利用にあたっては、事故が生じないよう取り扱いに十分留意すること。  
 万一の事故等については、申請者が一切の責任を負うこと。  
 前項に違反した行為があったときは、この許可を取り消すことがある。